

# SIMPLE LIFE

「シンプルライフみたけ」



御嵩町シンボルキャラクター  
ミーモくん

**第2次一般廃棄物処理基本計画**

平成29年3月 御嵩町

# 御嵩町一般廃棄物処理基本計画 目次

## 第1章 計画策定の背景

1. 計画の位置づけ	2
2. 計画の対象区域	2
3. 計画で扱う廃棄物の範囲	3
4. 計画の期間	3
5. 廃棄物処理事業の経緯	4
6. ごみ処理の評価	7
7. 御嵩町の概要	8

## 第2章 前計画の総括

1. 目標進捗状況	10
2. 施策実施状況	14

## 第3章 ごみ処理の現状

1. ごみ処理の体制	17
2. ごみ処理の実績	22
3. アンケート調査結果	27
4. ごみ組成調査	32
5. ごみ処理の課題	34

## 第4章 ごみ処理基本計画

1. 将来像・基本方針	35
2. 数値目標	36
3. 目標達成のための施策	38
4. ごみの発生量及び処理量の見込み	54
5. ごみ処理に関する基本的事項	60
6. ごみ処理施設整備に関する事項	63
7. その他ごみ処理に関し必要な事項	63

## 第5章 生活排水処理の現状

1 .	生活排水処理の沿革 .....	64
2 .	生活排水の処理主体 .....	64
3 .	処理体系 .....	65
4 .	生活排水処理形態別人口の推移 .....	66
5 .	し尿及び汚泥の排出状況 .....	67
6 .	収集・運搬 .....	67
7 .	生活排水処理施設 .....	68
8 .	生活排水処理事業の課題 .....	71

## 第6章 生活排水処理基本計画

1 .	基本理念 .....	73
2 .	生活排水処理の数値目標 .....	73
3 .	目標達成のための取り組み .....	74
4 .	生活排水処理の将来予測 .....	75
5 .	し尿及び浄化槽汚泥の処理計画 .....	77
6 .	広報・啓発活動 .....	78

## 資 料 編

資料1	本町の概況 .....	81
資料2	ごみ量の将来予測 .....	89
資料3	生活排水処理の将来予測 .....	130
資料4	アンケート結果 .....	132
資料5	策定の経緯 .....	144

### 和暦・西暦早見表

平成 18 年	2006 年	平成 25 年	2013 年	平成 32 年	2020 年
平成 19 年	2007 年	平成 26 年	2014 年	平成 33 年	2021 年
平成 20 年	2008 年	平成 27 年	2015 年	平成 34 年	2022 年
平成 21 年	2009 年	平成 28 年	2016 年	平成 35 年	2023 年
平成 22 年	2010 年	平成 29 年	2017 年	平成 36 年	2024 年
平成 23 年	2011 年	平成 30 年	2018 年	平成 37 年	2025 年
平成 24 年	2012 年	平成 31 年	2019 年	平成 38 年	2026 年

# 第1章 計画策定の背景



御嵩町（以下、「本町」といいます。）は、恵まれた自然にいだかれ、中山道の宿場を有する里山のまちとして発展してきましたが、かつては、環境に対する町の姿勢を問われる時代がありました。産業廃棄物処分場建設問題です。

問題が持ち上がった当時には、大変忌まわしい事件も発生し、町民の心は大きく揺さぶられました。凶らずも「暴力に屈しない意思」と「環境に関する問題意識」が生まれました。

こうした町民の環境への高い意識を背景に、様々な環境問題への取り組みを進めていたところ、低炭素社会の実現に向け目標を掲げて先駆的な取組にチャレンジしている都市として、平成25（2013）年3月に内閣府より「環境モデル都市」に選定されました。

翌年3月に策定した行動計画のなかでは目指す都市像を『地域資源を活かした低炭素コミュニティ「みたけ」』とし、温室効果ガスの大きな吸収源である森林の再生を目指すことと、企業や各家庭からの温室効果ガス排出量を削減させることを両輪としています。ライフスタイルの転換や家庭におけるリサイクルの徹底、生ごみ排出量削減などを積極的に推進していくことで、環境モデル都市として掲げた町内の温室効果ガス排出量削減の目標がクリアされ则认为しています。

一方、本町は、平成19（2007）年3月に策定した御嵩町一般廃棄物処理基本計画（以下、「前計画」といいます。）に基づき、循環型社会システムの構築を目指し、廃棄物の減量・資源化と適正な処理を推進してきました。

循環型社会とは、「天然資源の消費を抑制し、環境負荷の低減を図る」社会であり、この「天然資源」には、化石燃料も当然含まれています。循環型社会の形成において、「天然資源の消費を抑制する」ことは、地球温暖化防止対策の要である低炭素社会の実現にもつながります。

低炭素社会と循環型社会を実現していくためには、大量のものにあふれた生活から意識を変えていく必要があります。野焼きをしないことやごみの分別を行うことなど「日常生活に環境配慮を盛り込む」だけにとどまらず、地球の資源が有限であることを念頭において持続可能性にも配慮した、「積極的な環境への配慮」を行うことは、心の豊かさや生活の質も向上させてくれます。

私たちが大量消費・大量廃棄の時代から「持続可能な社会」へ変えていくメッセージとして「シンプルライフみたけ」を私たちの目指す姿に掲げ、前計画の期間が満了することから御嵩町第2次一般廃棄物処理基本計画（以下、「本計画」といいます。）へ改訂します。

## シンプルライフみたけ



御嵩町シンボルキャラクター ミーモくん

## 1. 計画の位置づけ

本計画と関連計画の位置づけは、図 1-1 に示すとおりです。

本計画は、本町総合計画及び本町環境基本計画で示された将来像を目指すための一般廃棄物分野における計画として、国が示す廃棄物処理法に基づく基本方針や循環型社会形成推進基本法の趣旨に則った計画です。

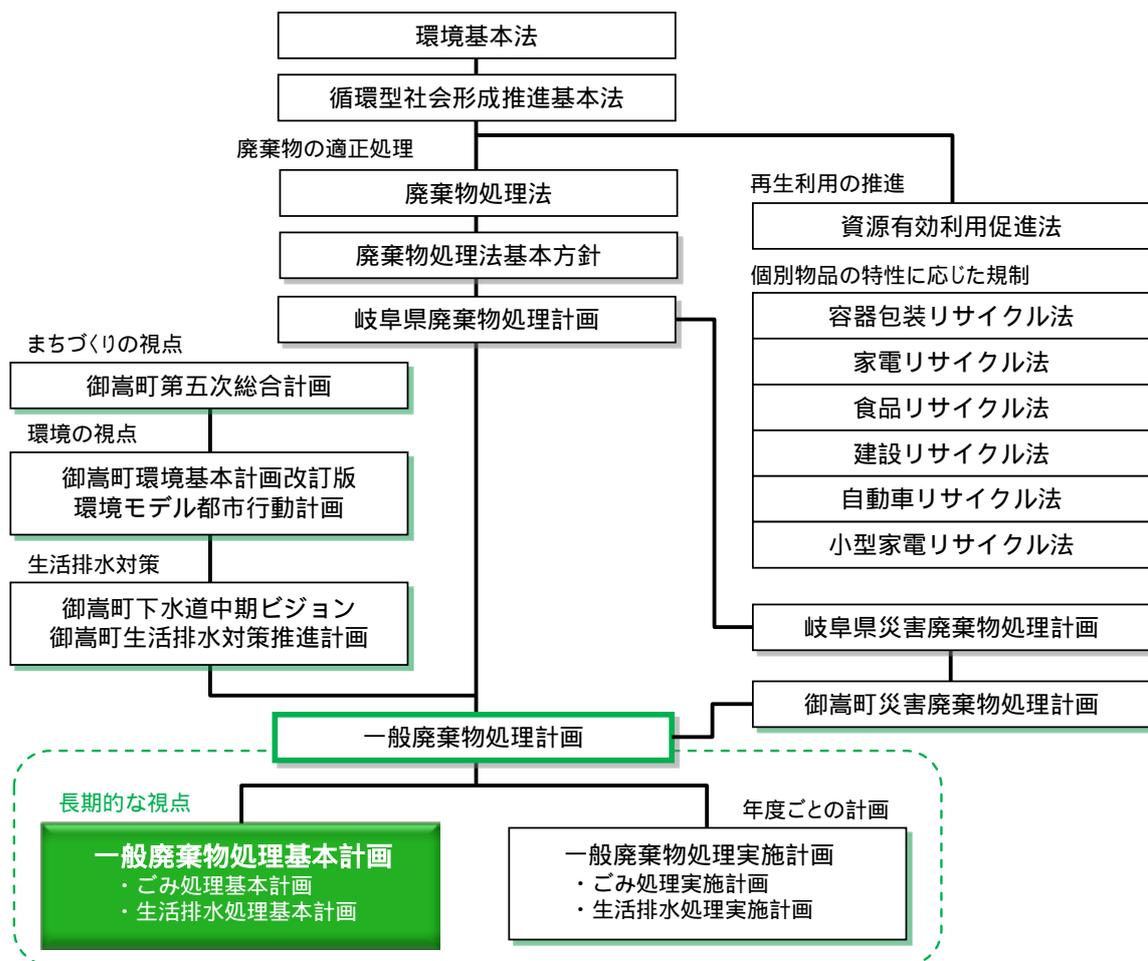


図 1-1 計画の位置づけ

## 2. 計画の対象区域

本計画の対象区域は、本町全域とします。

### 3. 計画で扱う廃棄物の範囲

廃棄物の種類と本計画の範囲は、図 1-2 に示すとおりです。

廃棄物は一般廃棄物と産業廃棄物に区分され、処理において本町が統括的な責任を有する一般廃棄物を、本計画の範囲とします。

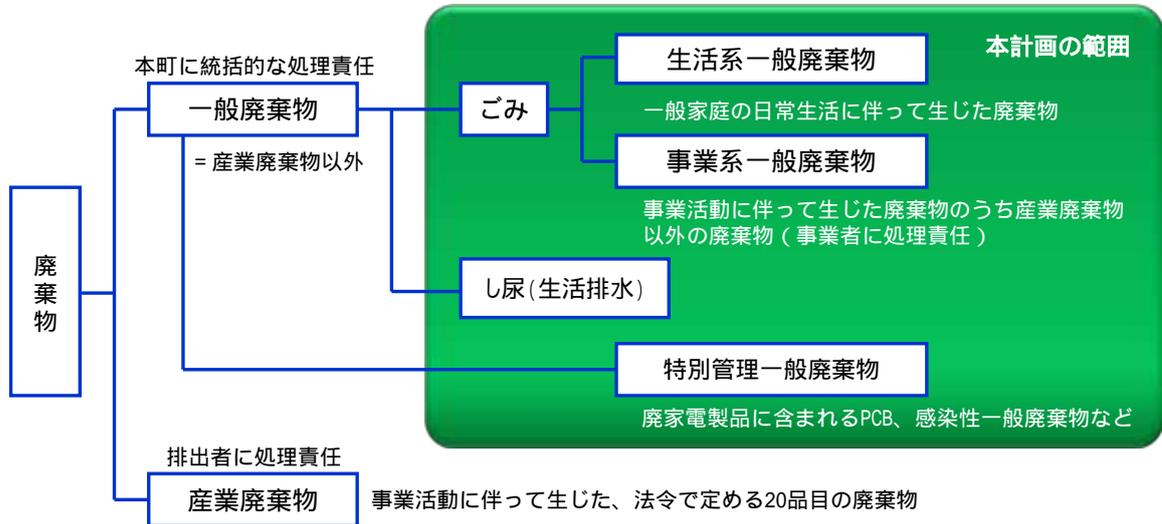


図 1-2 計画の範囲

### 4. 計画の期間

本計画の期間は、平成 29(2017)年度から平成 38(2026)年度の 10 年間とします。

なお、計画は 5 年ごとに見直すこととしますが、計画策定の前提となっている諸条件に大きな変動があった場合は、見直しを行います。

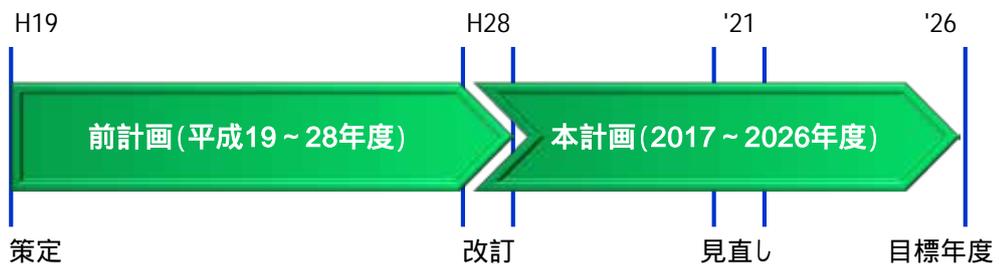


図 1-3 計画の期間

5. 廃棄物処理事業の経緯

本町におけるごみ処理及び生活排水処理事業の経緯は、表 1-1 及び表 1-2 に示すとおりです。

表 1-1 (1) ごみ減量化・再利用の取り組み

ごみ処理手数料に関する施策	
昭和 37 年	ごみ・燃え殻の処理にかかる手数料の徴収開始 ・ 1 箱 1 回あたり 25 円 (縦 30cm、横 60cm、高さ 30cm)
昭和 45 年 2 月	・ 1 回あたり 30 円
平成 3 年 12 月	可燃ごみの収集容器を袋に変更 ・ 1 枚 31 円
平成 9 年	・ 1 枚 32 円
平成 12 年 4 月	・ 可燃ごみ・不燃ごみ (金物類)・不燃ごみ (ガラス類) 指定袋 (大) 1 枚 50 円 (小) 1 枚 30 円 ・ 粗大ごみシール 500 円 ・ 不燃ごみ (陶磁器類) 1 枚 30 円
平成 22 年 4 月	御嵩町南山一般廃棄物最終処分場の利用に係る投棄料の徴収開始 (瓦、コンクリート、陶磁器、ブロック、タイル、スレート) ・ 1 t 以下/台 1,050 円 ・ 1 t /台 ~ 2 t /台 2,100 円 ・ 2 t /台 ~ 3 t /台 3,150 円 ・ 3 t /台 ~ 4 t /台 4,200 円
平成 26 年 4 月	消費税増税に伴い最終処分場投棄料を改正 (消費税 5% から 8% への改正)
平成 26 年 6 月	プラスチック製容器包装袋の新設 ・ 1 枚 10 円
平成 26 年 10 月	可燃ごみ指定袋の料金変更、中サイズの新設 ・ 可燃ごみ (小) 1 枚 30 円 35 円 ・ 可燃ごみ (中) 1 枚 45 円 (新設) ・ 可燃ごみ (大) 1 枚 50 円 70 円 不燃ごみ (金物類)、不燃ごみ (ガラス類)、不燃ごみ (陶磁器類) を不燃ごみに統一 ・ 不燃ごみ (小) 1 枚 35 円 ・ 不燃ごみ (大) 1 枚 70 円

表 1-1 (2) ごみ減量化・再利用の取り組み

分別収集に関する施策	
平成 9 年 8 月	ペットボトルの分別収集を開始
平成 15 年 4 月	分別収集 (16 品目) を開始 平成 12 年 9 月から 4 地区 4 自治体、平成 13 年 9 月からは 10 自治会でモデル事業として実施
平成 19 年 10 月	分別収集に 2 品目 (古着類、廃プラスチック) を追加
平成 23 年 4 月	有色ペットボトルとその他ペットボトルを統合 分別収集品目 18 17
平成 26 年 6 月	廃プラスチック、発砲トレイ・スチロールをプラスチック製容 器包装として別に収集 分別収集品目 17 15
平成 27 年 1 月	使用済小型家電についてボックス回収を開始 (環境省からの実証事業)
平成 27 年 4 月	使用済小型家電についてボックス回収を継続
集団回収に関する施策	
平成 3 年 4 月	集団回収に対する奨励金の交付を開始 ・ 5 円/kg
平成 11 年 4 月	・ 全て 7 円/kg に変更
平成 17 年 4 月	・ 全て 5 円/kg に変更
各種助成制度に関する施策	
平成 3 年	助成補助制度の開始 ・ コンポスト容器 (購入金額の 1/3・限度額 5,000 円)
平成 9 年	・ 堆肥化容器 (購入金額の 1/2・限度額 1,000 円)
平成 11 年	・ 生ごみ処理機 (購入金額の 1/2・限度額 20,000 円)
平成 15 年	・ 枝葉粉碎機 (購入金額の 1/2・限度額 20,000 円)
平成 22 年 8 月	・ コンポスト容器 (購入金額の 1/3 購入金額の 1/2)
平成 22 年 8 月	・ ダンボールコンポスト (購入金額の 1/2・限度額 1,000 円)
買い物袋に関する施策	
平成 10 年 4 月	買い物袋持参運動を展開
平成 13 年	マイバック持参キャンペーンを実施
平成 20 年 9 月	レジ袋有料化を開始 (町内 3 店舗と協定)
廃食用油せっけんに関する施策	
昭和 60 年	廃食用油を利用したせっけんづくりに取り組む
平成 6 年	粉せっけん製造機を購入

表 1-2 生活排水処理事業の経緯

事業の経緯	
平成 2 年	下水道全体計画策定（汚水 935ha、雨水 935ha）
平成 2 年 10 月	下水道都市計画決定
平成 2 年 12 月	下水道法認可
平成 5 年	可見川流域が生活排水対策重点地域に指定
平成 7 年	下水道全体計画見直し（汚水 935ha、処理分区追加） 生活排水対策指導員会議設置
平成 7 年 3 月	生活排水対策推進計画策定
平成 7～9 年	1 ミリ目キッチンストレーナーを合併処理浄化槽設置の大型団地を除き全戸配布
平成 8 年	流域関連公共下水道 上恵土処理区供用開始 合併処理浄化槽設置補助事業開始
平成 13 年	下水道全体計画見直し（汚水 935ha、区域変更）
平成 20 年 3 月	一般廃棄物処理基本計画策定
平成 21 年	下水道全体計画見直し（汚水 935ha）
平成 25 年	台所用水切りネットを全戸配布
平成 25 年 3 月	生活排水対策推進計画（第 2 次改訂版）策定
平成 27 年 3 月	下水道中期ビジョン策定
平成 27 年	下水道全体計画見直し（汚水 935ha、雨水 935ha）
平成 28 年度	御嵩町汚水処理施設整備構想（案）策定

## 6. ごみ処理の評価

本町のごみ処理の状況（平成 27 年度実績）を、表 1-3 に示す 7 つの項目について岐阜県の平均値（平成 26 年度実績）と比較・評価しました。

図 1-4 は、岐阜県平均を 100 とした時の本町の評価値の比率を表しており、100 よりも大きな値であると高評価になることから、レーダーチャートの七角形の面積が大きいほど、ごみ処理が優れていることを表します。

本町の評価値は、家庭系資源物排出量が岐阜県平均値よりも少なく基準値 100 をやや下回っていますが、その他の項目は良好な評価となっています。

表 1-3 7 つの評価項目及び評価値

評価項目	単位	御嵩町	岐阜県	評価値
1人1日あたりごみ総排出量	g/人・日	704	911	122.7
家庭系可燃ごみ排出量	g/人・日	399	479	116.8
家庭系不燃・粗大ごみ排出量	g/人・日	28	48	142.0
家庭系資源物排出量	g/人・日	117	129	91.0
リサイクル率	%	20.1	19.9	101.0
最終処分率	%	8.5	8.8	103.4
1人あたり処理費用	円/人・年	11,400	13,071	112.8

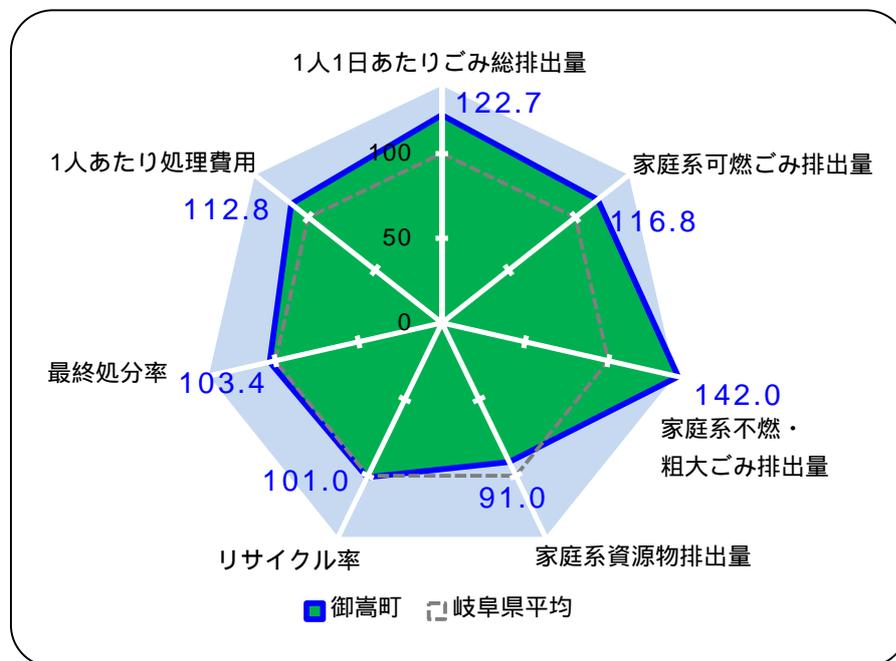


図 1-4 本町のごみ処理の評価（岐阜県平均値との比較）

評価値は『市町村における循環型社会づくりに向けた一般廃棄物処理システムの指針』（平成 25 年 4 月・環境省）により算出。

## 7. 御嵩町の概要

### (1) 人口

平成 27 年の国勢調査によると、本町の人口は 18,111 人となっています。昭和 50 年からの推移をみると、昭和 50 年から平成 7 年までは増加傾向にありましたが、その後減少傾向に転じています。

一方、世帯数は増加傾向にあり、平成 27 年度は 6,514 世帯となっています。こうしたことから 1 世帯あたりの人数は減少傾向にあり、平成 27 年度は 2.78 人となり、核家族化が進んでいることがうかがえます。

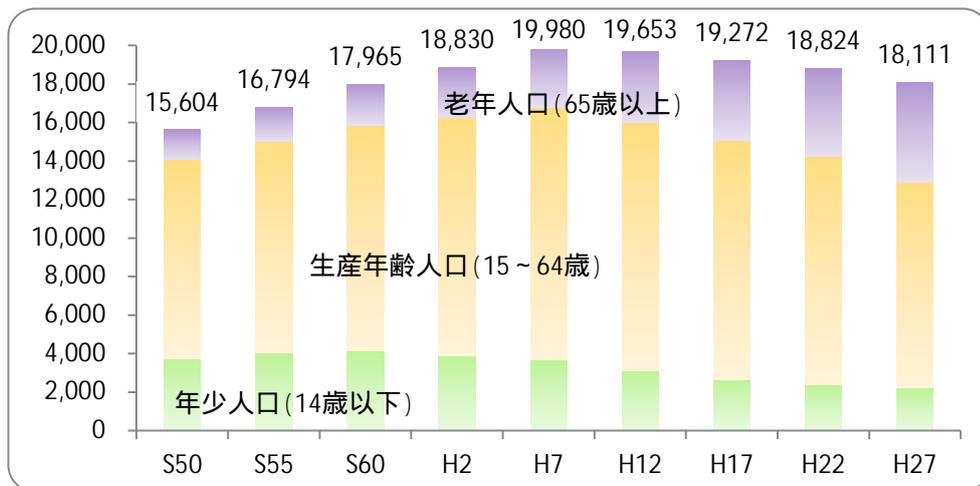


図 1-5 人口の推移

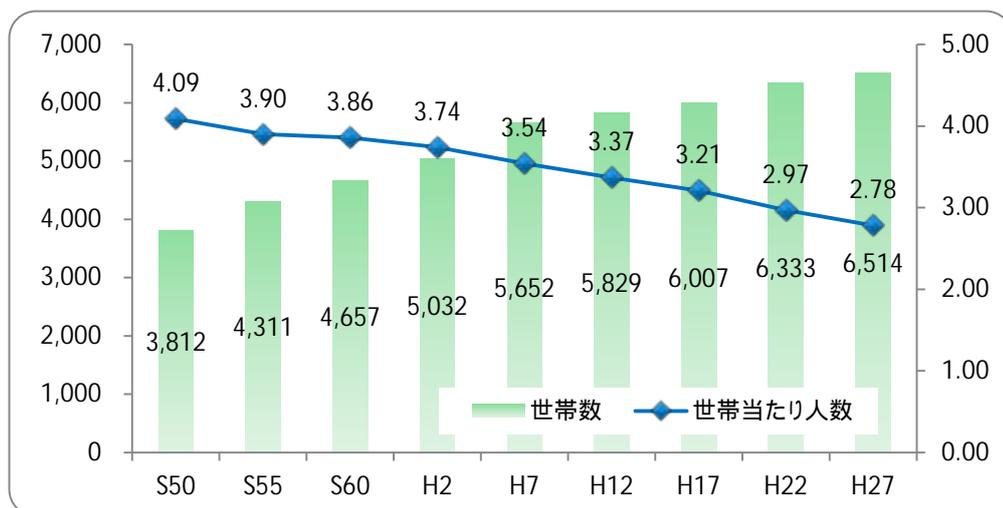


図 1-6 世帯数および世帯あたり人数の推移

出典はいずれも「国勢調査」(総務省統計局) 各年 10 月 1 日現在。

(2) 産業

本町の産業の動向<sup>1</sup>を、表1-4及び図1-7に示します。産業別従業者数で見ると、製造業に従事している人が約半数を占め、全国平均と比べると製造業及び生活関連サービス業<sup>2</sup>の特化係数<sup>3</sup>が高くなっています。

表1-4 産業の動向

項目	事業所数		従業者数(人)		産業別従業者数の構成比による特化係数	
	事業所数	構成比(%)	従業者数(人)	構成比(%)	全国=1.00	岐阜県=1.00
農林漁業	2	0.3	5	0.1	0.11	0.08
鉱業・採石業・砂利採取業	1	0.1	2	0.0	0.77	0.52
建設業	89	13.0	437	5.8	0.88	0.83
製造業	97	14.1	3,704	49.1	3.07	1.96
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0	0	0.0	0.00	0.00
情報通信業	0	0.0	0	0.0	0.00	0.00
運輸業、郵便業	8	1.2	74	1.0	0.17	0.23
卸売業、小売業	180	26.2	1,182	15.7	0.75	0.79
金融業、保険業	7	1.0	48	0.6	0.24	0.26
不動産業、物品賃貸業	16	2.3	32	0.4	0.16	0.25
学術研究、専門・技術サービス業	16	2.3	54	0.7	0.23	0.35
宿泊業、飲食サービス業	71	10.3	395	5.2	0.55	0.54
生活関連サービス業、娯楽業	75	10.9	641	8.5	1.95	1.79
教育、学習支援業	28	4.1	73	1.0	0.31	0.42
医療、福祉	45	6.6	641	8.5	0.68	0.75
複合サービス事業	7	1.0	61	0.8	0.90	0.70
サービス業(他に分類されないもの)	44	6.4	195	2.6	0.32	0.40
合計	686	100.0	7,544	100.0	1.00	1.00

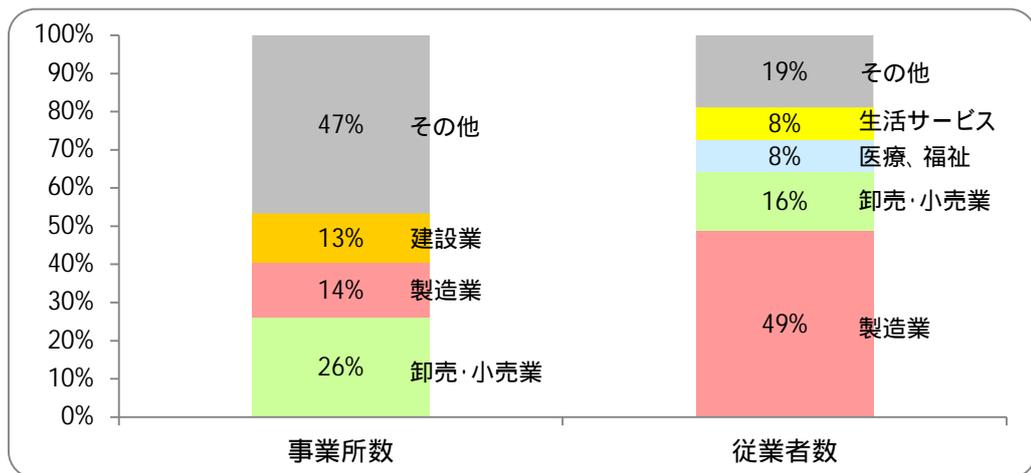


図1-7 産業の状況(上位3業種)

1 出典：総務省「平成26年経済センサス基礎調査」

2 生活関連サービス業・娯楽業とは、理美容店、クリーニング店、浴場、パチンコなどの業種です。

3 特化係数とは、その構成比を全国と比較し、地域の卓越した業種を見る指標です。

## 第2章 前計画の総括

### 1. 目標進捗状況

前計画で数値目標を定めた項目の目標達成状況は、以下に示すとおりです。

表 2-1 前計画の目標値と実績

項目	単位	実績値		目標値	評価
		平成 18 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	
生活系ごみ排出量	t/年	4,703	3,707	4,191	
生活系ごみ原単位	g/人・日	650	537	590	
事業系ごみ発生量	t/年	1,082	1,150	1,048	×
事業系ごみ原単位	t/日	3.0	3.1	2.9	×
焼却処理量	t/年	4,229	3,950	3,727	×
破碎・選別処理量	t/年	298	175	238	
最終処分量	t/年	123	418	101	×
生活排水処理率	%	61.0	73.4	97.2	×

評価は、「○」：20%以上達成、「△」：達成、「×」：未達成」としました。

#### (1) 生活系ごみ

生活系ごみの目標値と実績は、以下に示すとおりです。

年間排出量、原単位（1人1日あたり排出量）ともに目標値を満足しています。

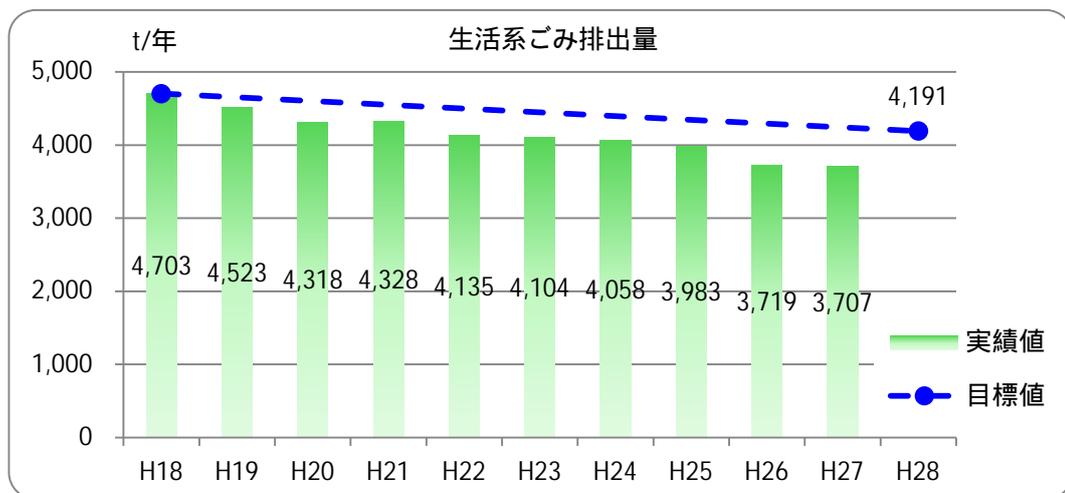


図 2-1 生活系ごみ排出量の目標と実績

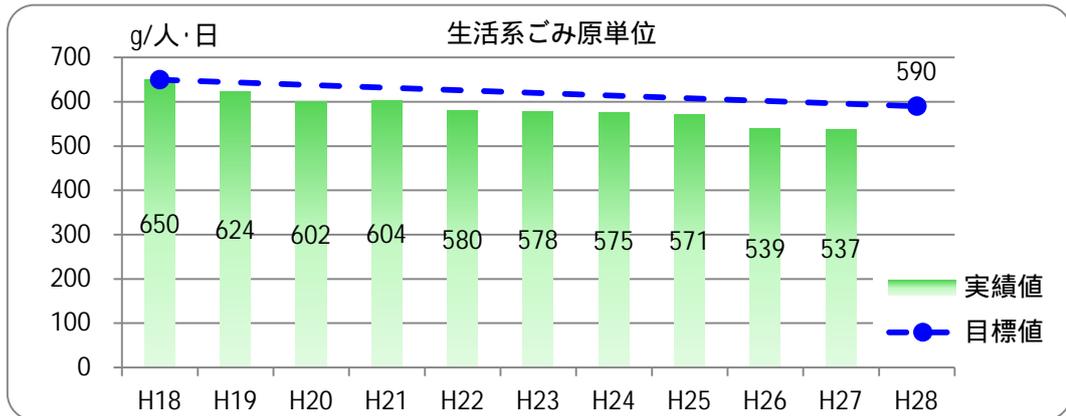


図 2-2 生活系ごみ原単位の目標と実績

(2) 事業系ごみ

事業系ごみの目標値と実績は、以下に示すとおりです。

排出量・原単位ともに、平成 21 年度以降は目標値を達成できていません。

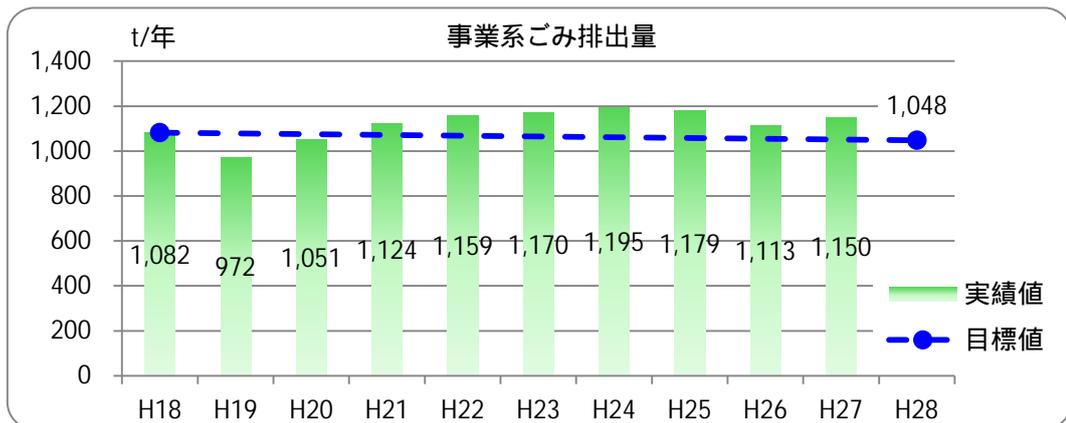


図 2-3 事業系ごみ排出量の目標と実績

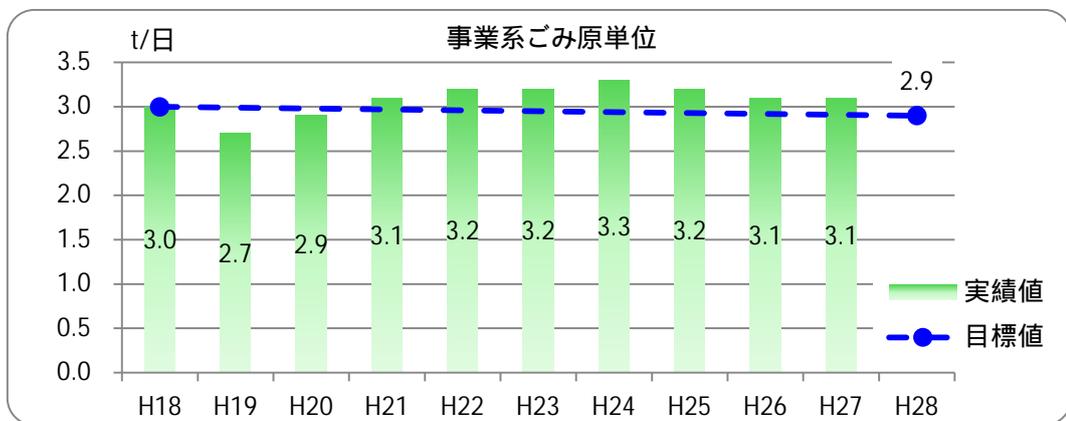


図 2-4 事業系ごみ原単位の目標と実績

### (3) 焼却処理量

焼却処理量の目標値と実績は、以下に示すとおりです。

生活系ごみの目標値は下回っているものの、事業系ごみが目標を上回っています。このため、可茂衛生施設利用組合（以下、「組合」といいます。）に委託する焼却処理量の実績は、全体としてはやや減少傾向であるものの、目標値を上回り達成できていません。

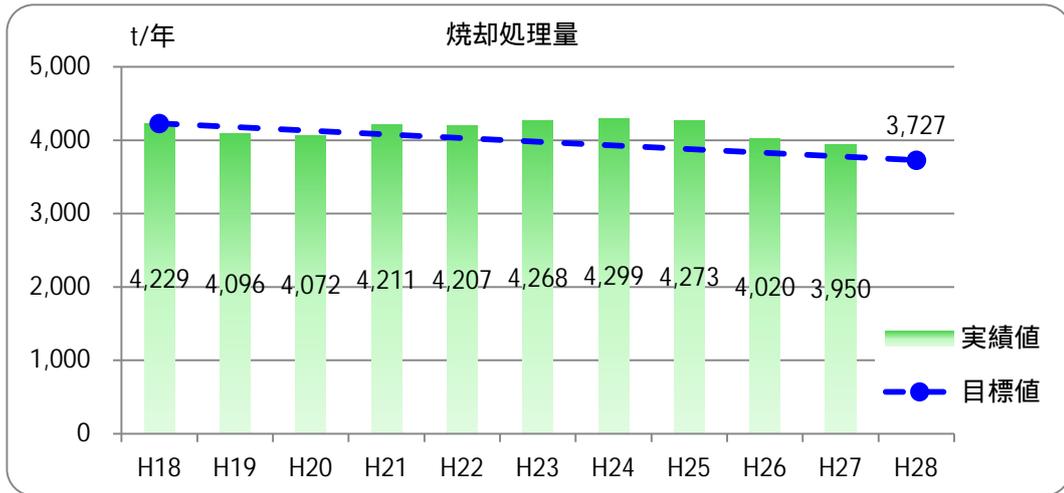


図 2-5 焼却処理量の目標と実績

### (4) 破碎・選別処理量

破碎・選別処理量の目標値と実績は以下に示すとおりであり、目標値を大きく下回り満足しています。

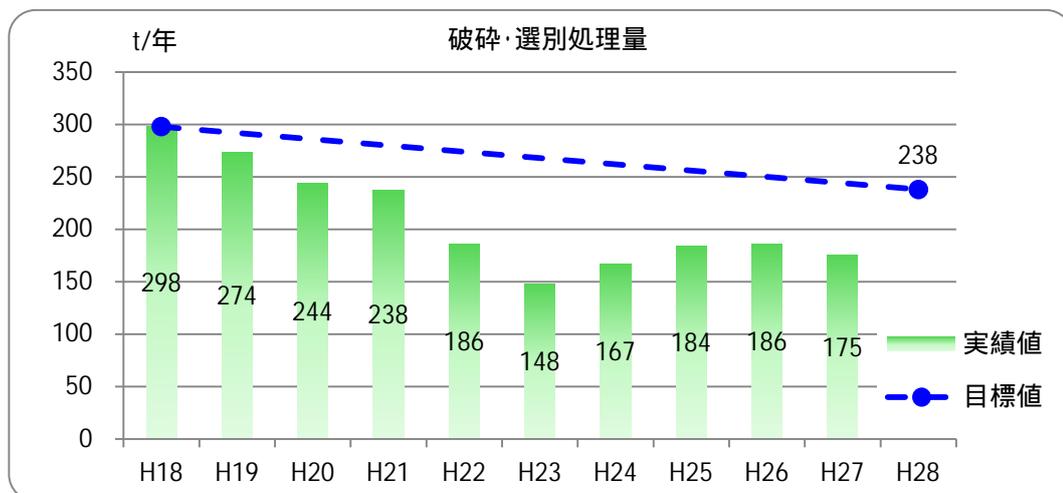


図 2-6 破碎・選別処理量の目標と実績

### (5) 最終処分量

最終処分量の目標値と実績は、以下に示すとおりです。

焼却処理に伴い発生するスラグの再生利用が低調なため、最終処分量の目標値は全ての年で上回り達成が困難な状況です。

なお、平成23、26、27年度の最終処分量は、組合が溶融処理を行ったスラグの保管量が含まれています。

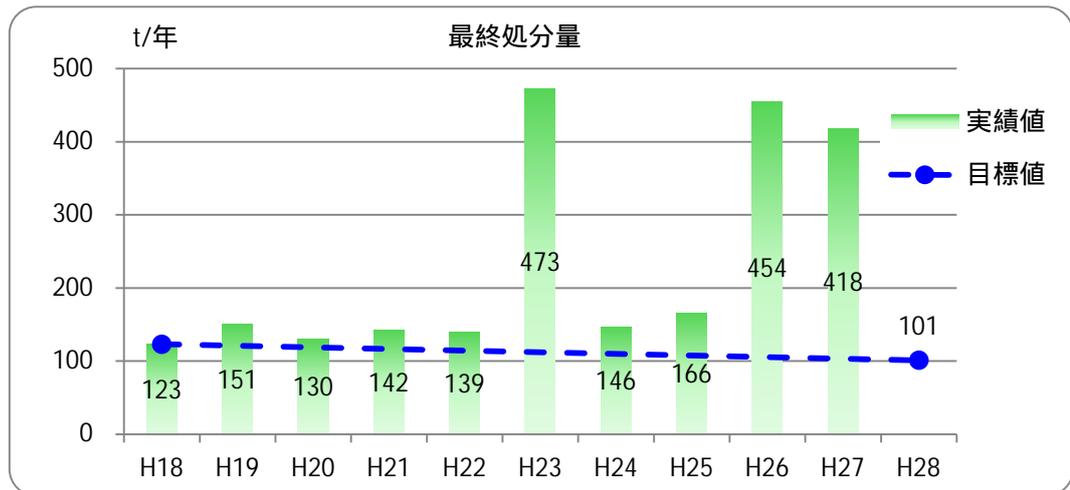


図 2-7 最終処分量の目標と実績

### (6) 生活排水処理率

生活排水処理率の目標値と実績は、以下に示すとおりです。

単独処理浄化槽及びくみ取りから下水道及び合併処理浄化槽への転換が進んでいないため、生活排水処理率の目標達成は困難な状況です。

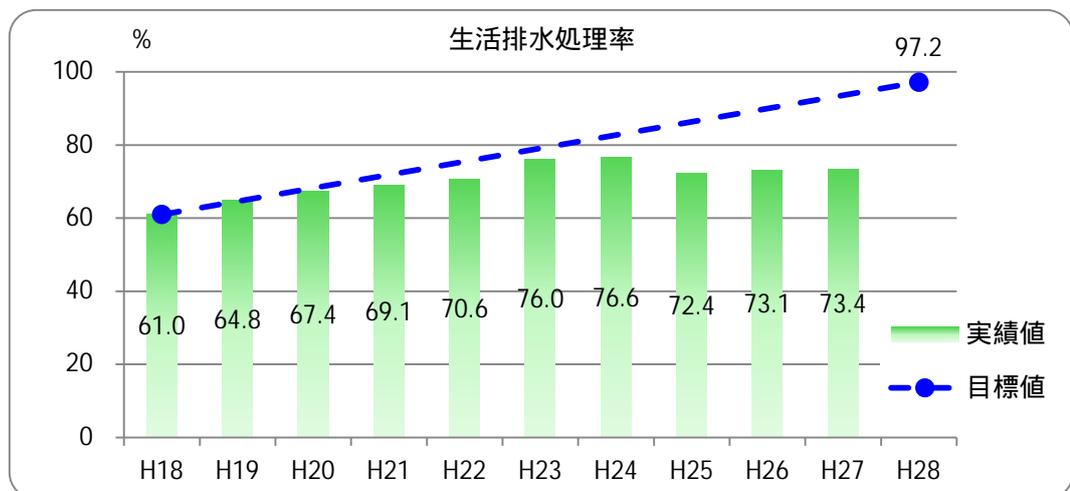


図 2-7 生活排水処理率の目標と実績

## 2. 施策実施状況

前計画に示された施策の実施状況は、以下のとおりです。

表 2-2 (1) 前計画の施策実施状況 (ごみ)

項目	施策	実施状況	評価
ごみ減量・資源化の施策	マイバックの推進	マイバック持参運動を展開し、事業者とレジ袋有料化に関する協定を締結(3店舗)し、レジ袋の辞退率向上を進めています。	
	レジ袋の有料化		
	事業所への過剰包装抑制の要請	事業所への要請はできていません。	×
	堆肥化容器による生ごみの減量	ダンボールコンポストの使い方講座を実施しています。 ダンボールコンポスト、設置型コンポスト、生ごみ堆肥化密閉容器の購入に対し、補助金を出しています。	
	大規模事業者の把握と減量化計画の作成指導	大規模事業者の把握が出来ていません。	×
	事業者向けパンフレットの配布	事業者向けのパンフレットは作成出来ていません。	×
	役場での排出抑制・資源化の推進	環境マネジメントシステムに基づき、再生用紙使用、分別排出を実施しています。	
	フリーマーケットや交換会の開催・情報提供	再利用をするためのシステムが確立されていません。 フリーマーケットなどの開催に関する情報提供ができていません。	×
	集団回収に関する啓発	集団回収の実施を広報紙「ほっとみたけ」、防災無線「こうほうみたけ」などで周知案内しています。 集団回収団体に、奨励金を出しています。	
	店舗拠点回収の実施	主にラスパ御嵩店、バロー御嵩店で回収を実施しています。	
	ごみ減量・資源化に関する目標値の設置	目標値が設定できていません。	×
ごみ組成の現状把握	平成 28 年 5 月に上之郷地区・御嵩地区の各 30 袋を調査しました。		

評価指標 「○」：実施 「△」：一部実施 「×」：手がつけられなかった

表 2-2 (2) 前計画の施策実施状況 (ごみ)

項目	施策	実施状況	評価
適正処理 の施策	収集方法の見直し	収集場所については、自治会からの要望など地元と協議しながら新規設置や変更をしています。	
	分別区分の見直し	平成 23 年 4 月: ペットボトルの分別品目変更。 平成 26 年 6 月: プラスチック製容器包装の分別収集開始。 平成 27 年 1 月: 小型家電のボックス回収開始。	
	常設ステーションの設置	平日の午前 9 時から午後 5 時まで、あゆみ館にリサイクルステーションを開設しています。	
	高齢者や身障者に対する収集	高齢者や身障者のごみ出しなどに関する施策はできていません。	×
施設整備	現施設の延命化	ごみ減量化を推進することで、ささゆりクリーンパークの延命化を図っています。	
	最終処分場の設置	平成 22 年 4 月から南山処分場の利用を開始しました。(平成 71 (2059) 年度まで)	
その他の 施策	環境教育の実施	平成 27 年度は、環境をテーマとした講座として「緑のカーテンづくり」、「エコクッキング」、「ダンボールコンポストで生ごみ堆肥づくり」を実施しました。	
	小・中学校の環境教育の充実	町内の小学校及び東濃高校でごみ減量に関する講座を実施しています。	
	環境フェアの実施	毎年 2 月の環境フェアに参画しています。 平成 27 年度はラスパ御嵩店で実施しました。	
	廃棄物減量等推進審議会の開催	年 3 回開催しています。	

評価指標「 : 実施」「 : 一部実施」「× : 手がつけられなかった」

表 2-2 (3) 前計画の施策実施状況 (生活排水)

項目	施策	実施状況	評価
施設整備に関する事項	合併処理浄化槽の設置を促進	合併処理浄化槽の設置に対して補助金を交付しています。	
	合併処理浄化槽への転換を促進		
	下水道区域における整備の推進	下水道計画に基づき整備を推進しています。	
	下水道区域の見直し	御嵩町公共下水道計画が平成32年度末までとなっており、次期計画については現在策定中の岐阜県汚水処理施設整備構想による効率的な個別又は集中処理として整合させるべく、下水道区域等の見直しを行う予定です。	
し尿・汚泥処理	収集体制の検討	浄化槽の管理者に向けて、年1回広報紙で浄化槽法に基づく3つの義務(清掃、保守点検、法定検査)の遵守を啓発し、適正な維持管理を推進しています。	
	法定検査など適切な維持管理の推進		
その他の施策	発生源対策の促進	ブルーリバー作戦の一環として、平成26年に町内1,000世帯に水切りネットを配布しました。	
	環境教育の実施	夏休みエコ講座として「カワゲラウォッチングと水質調査」を開催しています。	
	環境イベントの開催	毎年2月の環境フェアに参画しています。	
	生活排水指導員会議の開催	指導員会議や視察研修を実施しています。	

評価指標「 : 実施」「 : 一部実施」「× : 手がつけられなかった」

## 第3章 ごみ処理の現状

### 1. ごみ処理の体制

#### (1) 分別区分

本町における平成28(2016)年度の家庭ごみ分別区分は、表3-1に示すとおりです。

表3-1 分別区分(平成28年度)

区分	種類	出し方	
可燃ごみ	台所ごみ、プラスチック製品、履物、ゴム製品、紙おむつなど	<ul style="list-style-type: none"> <li>水分のあるものは水切り</li> <li>剪定枝などは太さ3cm以下</li> <li>紙おむつの汚物は取り除く</li> <li>靴、カバンなどの金具は不燃ごみ</li> </ul>	
不燃ごみ	ガラス類、金物類、スプレー、カセットボンベ、調理器具(フライパン・鍋、包丁、まな板)、陶磁器類など	<ul style="list-style-type: none"> <li>スプレー、カセットボンベは穴あけ・ガス抜き</li> <li>指定袋に入らないものは粗大ごみ</li> <li>陶磁器類の直接搬入は事前に役場で申し込み</li> </ul>	
粗大ごみ	指定袋に入らない可燃物・不燃物	<ul style="list-style-type: none"> <li>粗大ごみシール</li> <li>一番長いところが150cmを超え230cmまでのものは戸別収集</li> </ul>	
資源物	缶	スチール缶、アルミ缶	<ul style="list-style-type: none"> <li>飲食用に限る</li> <li>潰さないでゆすいで出す</li> </ul>
	ペットボトル	無色ペットボトル 有色・その他ペットボトル	<ul style="list-style-type: none"> <li>潰さないでゆすいで出す</li> <li>ラベルは取らない</li> <li>キャップやフタは外す</li> </ul>
	びん	無色(透明)、茶色、その他色 再利用びん	<ul style="list-style-type: none"> <li>飲食用に限る</li> <li>ゆすいで出す</li> <li>ラベルは取らない</li> <li>キャップやフタは外す</li> </ul>
	紙類	ダンボール、新聞紙、雑誌類、 その他紙製容器包装	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひもで十字に縛る</li> <li>紙以外の付着物は取る</li> </ul>
		飲料用紙パック	<ul style="list-style-type: none"> <li>内側にアルミニウムを使用せず500ml以上のもの</li> </ul>
	廃食用油	家庭用廃食用油	<ul style="list-style-type: none"> <li>空きペットボトルに入れてフタをする</li> </ul>
	古着類	Tシャツ、ズボン、スーツ、着物、 布団カバー、タオルケット、洋服など	<ul style="list-style-type: none"> <li>洗ってから出す</li> <li>ボタン、ファスナーは取らない</li> <li>濡れたもの、汚れのひどいものは出さない</li> </ul>
	プラスチック製容器包装	袋・ラップ類、ボトル・チューブ類、 カップ・パック類、トレイ類、 発泡スチロール類	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定袋に入れて出す</li> <li>汚れがついている場合は拭いたり、洗って乾かしてから出す</li> <li>プラスチック製でも商品そのものは対象外</li> </ul>
小型家電	携帯電話、パソコン、電子辞書、時計、 ミキサーなど20品目	<ul style="list-style-type: none"> <li>役場などに設置の回収ボックス</li> </ul>	
特別ごみ	乾電池、蛍光灯、水銀体温計	<ul style="list-style-type: none"> <li>乾電池、蛍光灯、水銀体温計は回収箱</li> </ul>	

(2) ごみ処理フロー

本町における平成 28(2016)年度のごみ処理フローは、図 3-1 に示すとおりです。

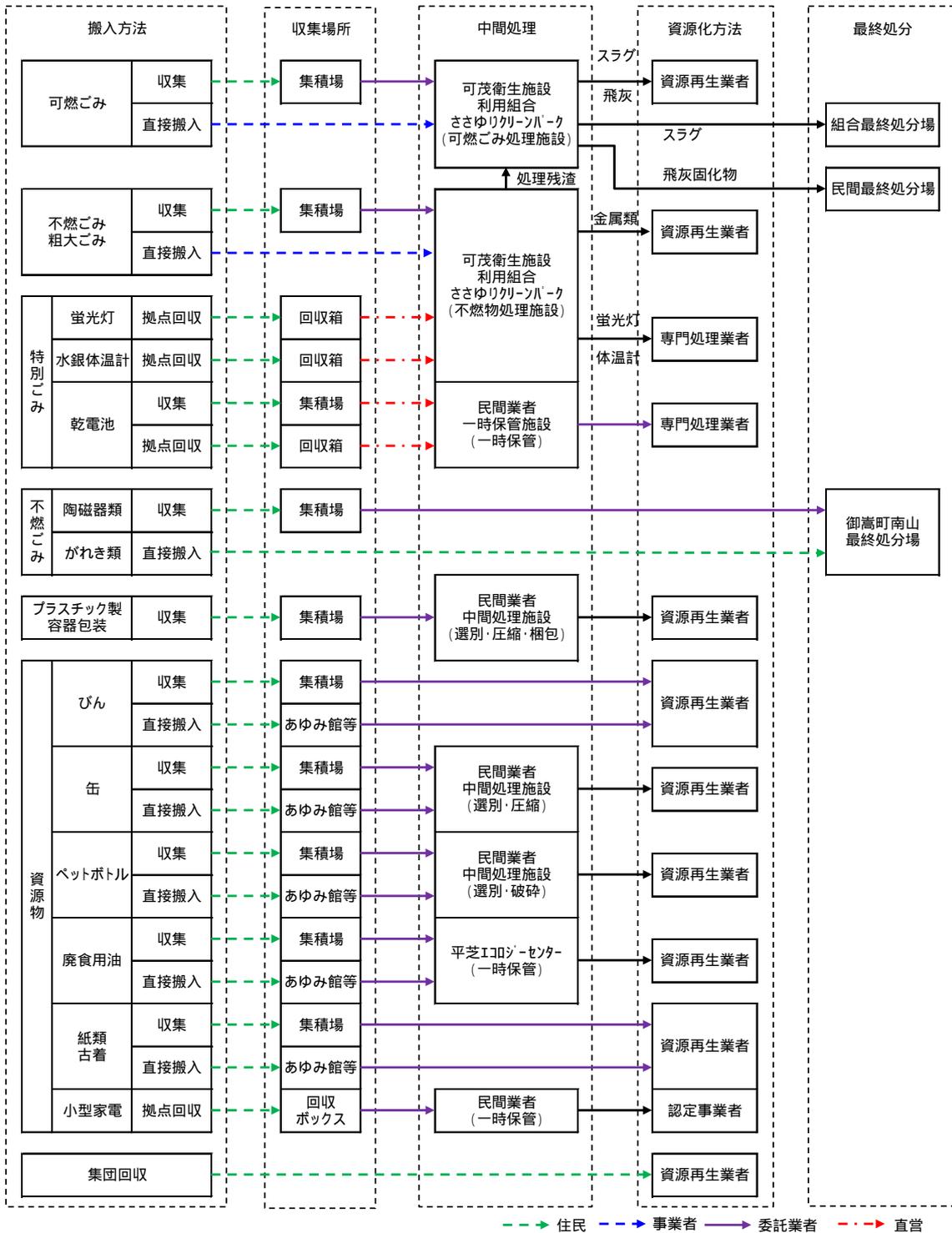


図 3-1 ごみ処理フロー (平成 28 年度)

(3) 収集・運搬

本町における平成 28(2016)年度の収集・運搬体制は、表 3-2 に示すとおりです。  
家庭から出る資源物を持ち込める施設として「あゆみ館」などにリサイクルステーションを開設しています。

表 3-2 収集・運搬体制(平成 28 年度)

ごみの種類		収集形態	収集方法	収集回数	収集容器
可燃ごみ		委託	ステーション	週 2 回	指定袋
不燃ごみ	金物・ガラス類			月 1 回	
	陶磁器類			年 2 回	
粗大ごみ		委託	ステーション	月 1 回	指定シール
		直営	戸別収集	週 1 回	
特別ごみ	蛍光灯・水銀体温計	直営	拠点回収	随時	回収箱
	乾電池		ステーション	年 2 回	コンテナ
			拠点回収	随時	
資源物	びん	委託	ステーション	月 1 回	コンテナ
	缶				コンテナ
	ペットボトル				コンテナ
	紙類				-
	古着				-
	廃食用油				-
	プラスチック製容器包装				月 2 回
	小型家電		拠点回収	随時	回収ボックス

表 3-3 リサイクルステーションの概要(平成 28 年度)

項目	内容	
名称	あゆみ館	生活学校
運営主体	特定非営利活動法人ささゆり	御嵩町生活学校
所在地	可児郡御嵩町中 1151 番地 24	御嵩町役場本庁舎裏の駐車場
開設日時	平日：9 時～17 時	毎月 第 1 日曜日：9 時～11 時
回収品目	無色(透明)びん、茶色びん、その他色びん、再利用びん、 スチール缶、アルミ缶、無色ペットボトル、有色・その他ペットボトル、 ダンボール、新聞紙、雑誌類(新聞広告を含む)、飲料用紙パック、 その他紙製容器包装、家庭用廃食用油、古着類	

9月を除く。

(4) 中間処理

本町の可燃ごみは組合の「ささゆりクリーンパーク可燃ごみ処理施設」で焼却処理が行われ、焼却残渣は灰溶融炉で溶融スラグ化されています。

不燃ごみ及び粗大ごみは「ささゆりクリーンパーク不燃ごみ処理施設」で破碎・選別処理が行われ、アルミ、鉄、可燃物、残渣に分けられています。

資源物である缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装は民間業者の中間処理施設に運ばれ、缶は選別・圧縮処理が、ペットボトルは選別・破碎処理でフレークに、プラスチック製容器包装は選別・圧縮・梱包処理が行われたのち、資源再生業者に引き渡されています。

表 3-4 中間処理施設（可茂衛生）の概要

項目	内容	
名称	ささゆりクリーンパーク	
	可燃ごみ処理施設	不燃ごみ処理施設
所在地	岐阜県可児市塩河 839 番地	
敷地面積	25,789m <sup>2</sup>	
建築面積	24,595m <sup>2</sup>	
延床面積	16,606m <sup>2</sup>	7,989m <sup>2</sup>
供用開始年月	平成 11 年 4 月	
処理対象物	可燃ごみ	不燃ごみ・粗大ごみ
処理能力	焼却炉：240t/日（80t×3 炉） 溶融炉：60 t /日（30t×2 炉）	32t×5h（不燃粗大 21t/5h、 可燃粗大 11t/5h）
処理方式	焼却炉：全連続式ストーカ炉 溶融炉：電気プラズマ式	油圧式二軸低速破碎機及び 高速回転破碎機併用型
運転管理	可茂衛生施設利用組合	

表 3-5 一時保管施設の概要

項目	内容
名称	平芝エコロジーセンター
所在地	可児郡御嵩町御嵩字南山 2193 番地 34
敷地面積	2,300 m <sup>2</sup>
一時保管品目	廃食用油、不法投棄された廃棄物など

(5) 最終処分

本町は御嵩町南山一般廃棄物最終処分場及び御嵩町一般廃棄物最終処分場（埋立終了・廃止手続き中）を所有し、陶磁器類、がれき類の埋め立てを行っています。

本町で発生した可燃ごみの熔融スラグ、飛灰固化物は組合により処分され、熔融スラグは組合が管理する最終処分場で埋め立てられ、飛灰固化物は民間の最終処分場に埋立処分を委託しています。

本町及び組合が所有する最終処分場の概要は、表 3-6 に示すとおりです。

表 3-6 最終処分場の概要

項目	内容	
名称	御嵩町南山一般廃棄物最終処分場	ささゆりクリーンパーク最終処分場
管理主体	御嵩町	可茂衛生施設利用組合
埋立対象物	陶磁器類、がれき類	熔融スラグ
所在地	御嵩町御嵩字南山 2192 番地 589	可児市塩河 814 番地 1
埋立面積	1,254m <sup>2</sup>	19,900m <sup>2</sup> 第 1 期：6,440m <sup>2</sup> 、第 2 期：4,650m <sup>2</sup>
埋立容量	4,288m <sup>3</sup>	80,200m <sup>3</sup> 第 1 期：20,800m <sup>3</sup> 、第 2 期：22,400m <sup>3</sup>
埋立方式	サンドイッチ方式	-
埋立期間	平成 22 年度～ 平成 71 (2059) 年度	平成 11 年度～ 平成 34 (2022) 年度
備考	安定型	浸出水を処理し中間処理施設に送水し再利用するクローズド方式

御嵩町一般廃棄物最終処分場については、廃止手続き中のため掲載していません。



御嵩町南山一般廃棄物最終処分場

## 2. ごみ処理の実績

### (1) ごみ排出区分の定義

本計画におけるごみに関する用語の定義は、図3-2 に示すとおりとします。

本計画では、住民及び事業者などによって排出される全ての不用物の量を「ごみ発生量」とします。

しかし、潜在ごみである事業者独自の資源回収・処理や民間事業者による資源の回収、住民による自家処理（生ごみの減量化など）によって資源回収などがなされているものなどについては、実数として捉えることが困難なことから、これを除いたものを「ごみ総排出量」とし、本計画で扱うごみの量とします。

「ごみ総排出量」のうち、本町の家庭から排出されたものを「生活系ごみ」、事業所や公共施設から排出されたごみを「事業系ごみ」とし、生活系ごみのうち資源物と資源集団回収で集められた資源を除いた処理・処分が必要な、可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ及び特別ごみを「家庭系ごみ」とします。

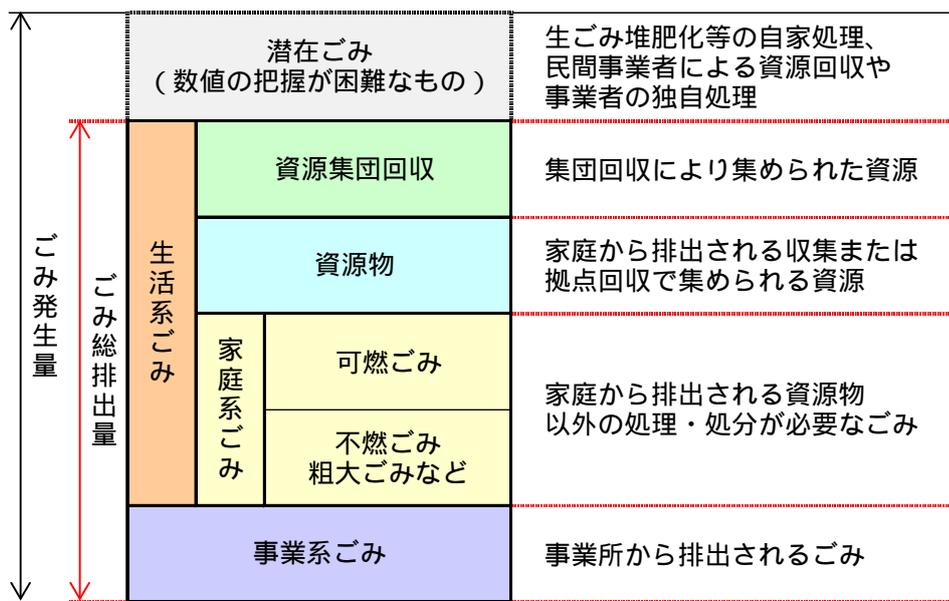


図3-2 ごみ区分の定義

### (2) ごみ総排出量・処理量の推移

本町における過去10年間のごみ排出量、中間処理量、資源化量及び最終処分量の推移は、表3-7及び以下に示すとおりです。

本計画の掲げる図表内の数値について、端数処理のため合計があわない場合があります。

表3-7 ごみ排出量・処理量の推移

項目	単位	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
ごみ総排出量	t/年	5,783	5,495	5,368	5,452	5,295	5,274	5,253	5,161	4,832	4,857
収集ごみ	t/年	3,897	3,787	3,619	3,601	3,474	3,484	3,464	3,433	3,239	3,120
可燃ごみ	t/年	3,068	2,956	2,859	2,921	2,908	2,983	2,980	2,972	2,792	2,689
不燃ごみ	t/年	219	210	186	178	127	108	133	141	133	110
粗大ごみ	t/年	80	74	70	64	68	53	44	48	42	44
資源物	t/年	525	541	496	429	362	338	299	265	268	267
びん	t/年	84	82	77	71	67	61	59	52	35	37
缶	t/年	23	20	19	17	15	15	14	13	11	12
ペットボトル	t/年	21	21	19	16	15	17	16	17	14	15
プラスチック製容器包装	t/年	4	6	10	9	8	10	9	9	63	81
廃食用油	t/年	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4
紙類	t/年	387	403	362	308	249	227	194	168	138	115
古着類	t/年	0	4	5	4	4	4	3	3	3	2
特別ごみ	t/年	6	6	8	8	9	2	8	8	5	9
直接搬入ごみ	t/年	1,116	1,026	1,109	1,257	1,287	1,307	1,335	1,317	1,271	1,344
可燃ごみ	t/年	1,070	968	1,051	1,119	1,147	1,162	1,192	1,163	1,078	1,118
家庭系	t/年	7	7	7	9	4	3	6	6	5	5
事業系	t/年	1,062	961	1,044	1,110	1,143	1,159	1,186	1,157	1,073	1,113
不燃ごみ	t/年	25	43	27	35	26	17	18	19	47	34
家庭系	t/年	6	6	4	6	4	3	2	2	3	3
事業系	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき類	t/年	19	37	22	29	22	14	16	17	45	31
粗大ごみ	t/年	22	16	9	21	18	14	17	23	41	43
家庭系	t/年	2	5	3	8	2	2	7	2	1	7
事業系	t/年	19	11	7	14	16	11	10	21	39	37
資源物(リサイクルステーション)	t/年	0	0	22	82	96	114	109	111	105	149
びん	t/年	0	0	3	8	10	11	15	15	16	19
缶	t/年	0	0	1	4	5	5	6	6	5	6
ペットボトル	t/年	0	0	1	2	4	4	5	5	5	1
プラスチック製容器包装	t/年	0	0	0	1	2	2	2	3	0	0
廃食用油	t/年	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1
紙類	t/年	0	0	17	65	74	89	78	79	75	120
古着類	t/年	0	0	1	1	2	2	2	2	2	2
集団回収量	t/年	770	682	641	593	533	483	454	412	323	393
ダンボール	t/年	100	92	87	91	83	74	67	63	54	73
新聞	t/年	359	325	300	260	235	207	198	178	138	145
雑誌類	t/年	281	237	230	214	189	177	164	148	111	142
飲料用紙パック	t/年	5	4	4	5	4	4	3	4	3	16
布類	t/年	9	9	7	7	7	7	7	7	5	5
缶類	t/年	10	9	8	11	10	10	10	9	8	9
再利用びん(リターナブルびん)	t/年	6	5	5	6	5	4	5	4	4	3
生活系ごみ	t/年	4,701	4,523	4,318	4,328	4,135	4,104	4,058	3,983	3,719	3,707
家庭系ごみ	t/年	3,407	3,301	3,159	3,223	3,144	3,169	3,197	3,195	3,024	2,898
事業系ごみ	t/年	1,082	972	1,051	1,124	1,159	1,170	1,195	1,179	1,113	1,150
1人1日あたりごみ総排出量	g/人・日	799	758	748	760	742	742	745	740	700	704
1人1日家庭系ごみ排出量	g/人・日	471	455	440	450	441	446	453	458	438	420
中間処理量(さきゆりクリーンパーク)	t/年	5,210	4,924	4,813	4,932	4,775	4,714	4,809	4,834	4,583	4,485
焼却・溶融処理	t/年	4,322	4,096	4,072	4,211	4,207	4,268	4,299	4,273	4,020	3,950
破碎・選別処理	t/年	294	274	244	238	186	148	167	184	186	175
特別ごみ	t/年	6	6	8	8	9	2	8	8	5	9
総資源化量	t/年	1,554	1,483	1,377	1,328	1,106	1,037	986	943	848	979
資源物	t/年	525	541	518	512	459	452	407	376	373	416
集団回収	t/年	770	682	641	593	533	483	454	412	323	393
中間処理後資源化量	t/年	260	260	218	223	114	102	125	156	153	171
リサイクル率	%	26.9	27.0	25.6	24.4	20.9	19.7	18.8	18.3	17.6	20.2
最終処分量	t/年	123	151	130	142	139	473	146	166	454	418
不燃ごみ	t/年	51	69	47	60	52	44	44	47	76	56
陶器類	t/年	32	32	25	32	30	30	29	30	32	25
がれき類	t/年	19	37	22	29	22	14	16	17	45	31
中間処理後最終処分量	t/年	72	82	83	82	87	429	102	119	378	362
最終処分率	%	2.1	2.7	2.4	2.6	2.6	9.0	2.8	3.2	9.4	8.6
1日あたり最終処分量	t/日	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	1.3	0.4	0.5	1.2	1.1

### ごみ排出量・発生原単位

ごみ総排出量はやや減少傾向にあります。

しかし、発生原単位を見ると「1人1日あたりごみ総排出量<sup>1</sup>」は減少しているものの、家庭から出るごみのうち、処理・処分を必要とする「1人1日家庭系ごみ排出量<sup>2</sup>」は概ね横ばいであることから、ごみ総排出量が減少しているのは、古紙類などが集団回収から民間の資源回収に移動していることが要因であると考えられます。

なお、平成26年度、平成27年度に「1人1日家庭系ごみ排出量」が減少しているのは、プラスチック製容器包装の分別収集が始まったことが一つの要因です。

また、生活系ごみがやや減少しているのに対し、事業系ごみ排出量は横ばいであるため、事業系ごみの割合が増加しています。

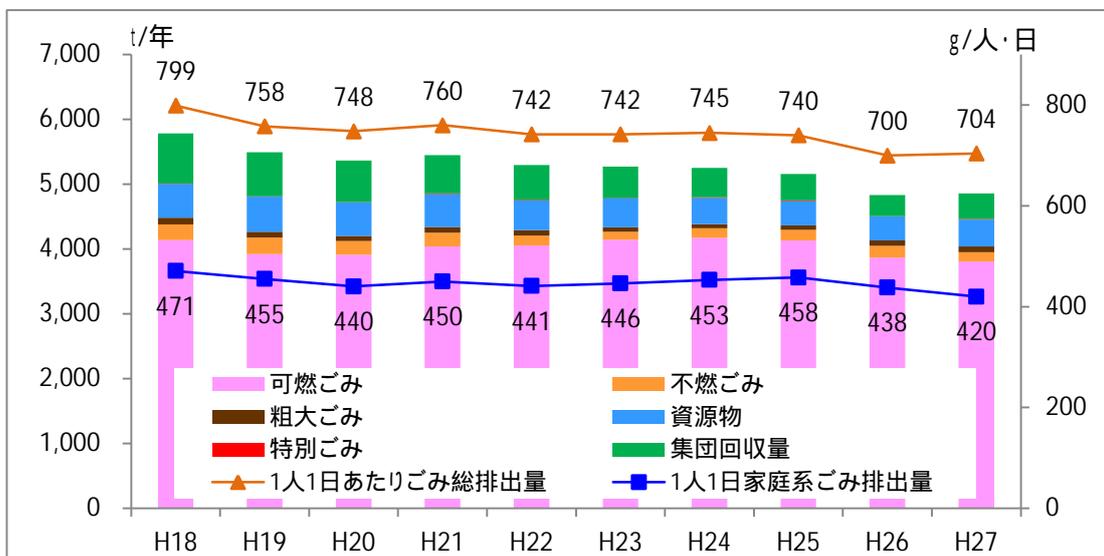


図 3-3 ごみ排出量の実績

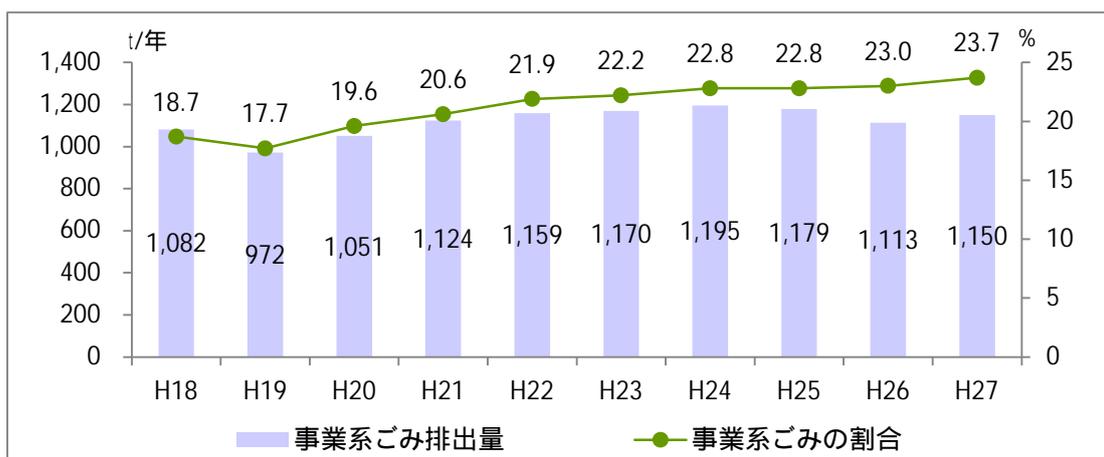


図 3-4 事業系ごみ排出量の実績

1 1人1日あたりごみ総排出量 = ごみ総排出量 ÷ 人口 ÷ 年間日数

2 1人1日家庭系ごみ排出量 = (ごみ総排出量 - 資源物 - 集団回収量) ÷ 人口 ÷ 年間日数

### 中間処理量

本町が組合に委託している中間処理量の実績は、図 3-5 に示すとおりです。

焼却・溶融処理量は増加傾向でしたが、プラスチック製容器包装の分別収集を開始したことにより、平成 26 年度以降減少傾向に転じています。

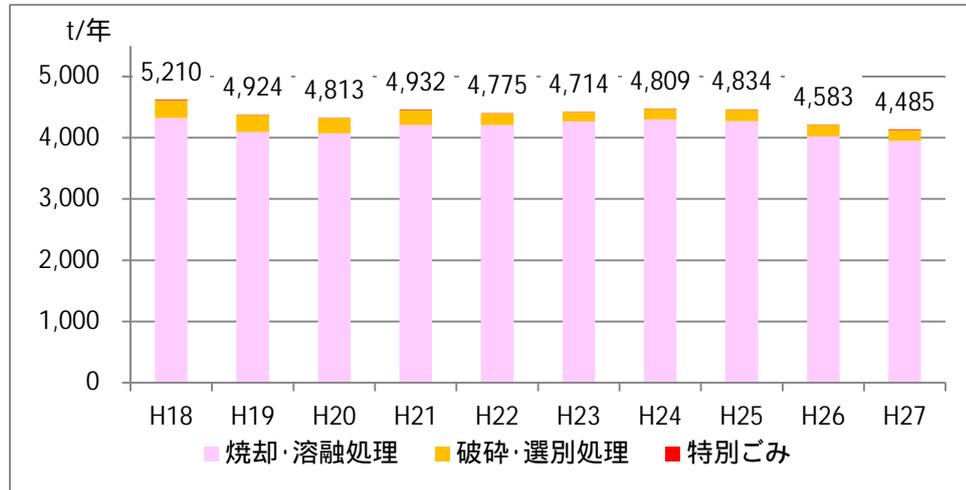


図 3-5 中間処理量の実績

### 資源化量・リサイクル率

本町における資源化量及びリサイクル率の推移は、図 3-6 に示すとおりです。

民間業者による資源回収ルート拡大に伴い、集団回収量が減少していることでリサイクル率も減少してきましたが、平成 27 年度はプラスチック製容器包装の分別収集を開始したことで収集による資源物量が増えリサイクル率も上昇しています。

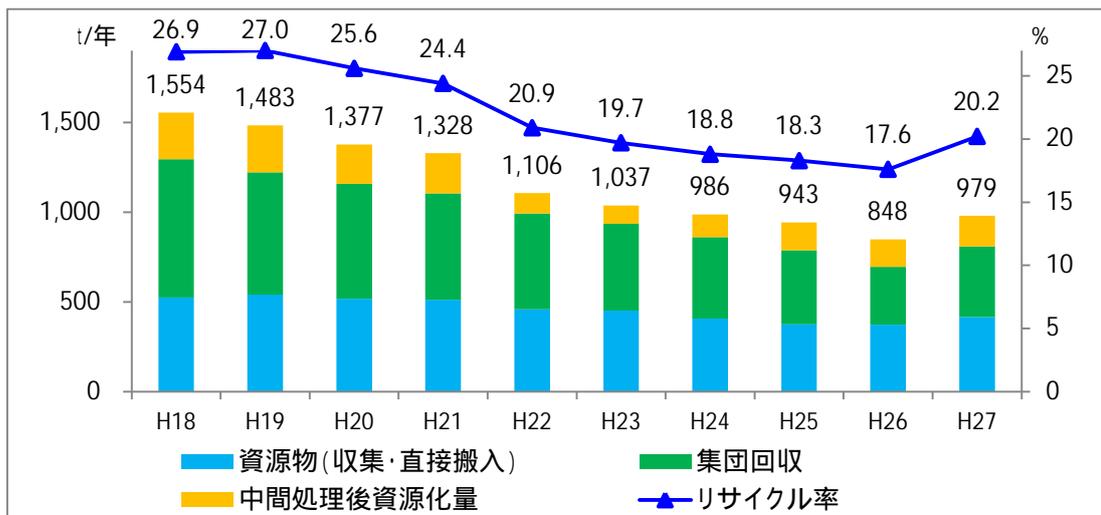


図 3-6 資源化量の実績

$$\text{リサイクル率} = \text{総資源化量} \div \text{ごみ総排出量} \times 100$$

### 最終処分量・最終処分率

本町における最終処分量及び最終処分率の推移は、図3-7に示すとおりです。

最終処分量の増減は、組合で処理を行う中間処理後の最終処分量が大きく影響しており、平成23、26、27年度の中間処理後最終処分量には、組合によるスラグ保管量が含まれています。

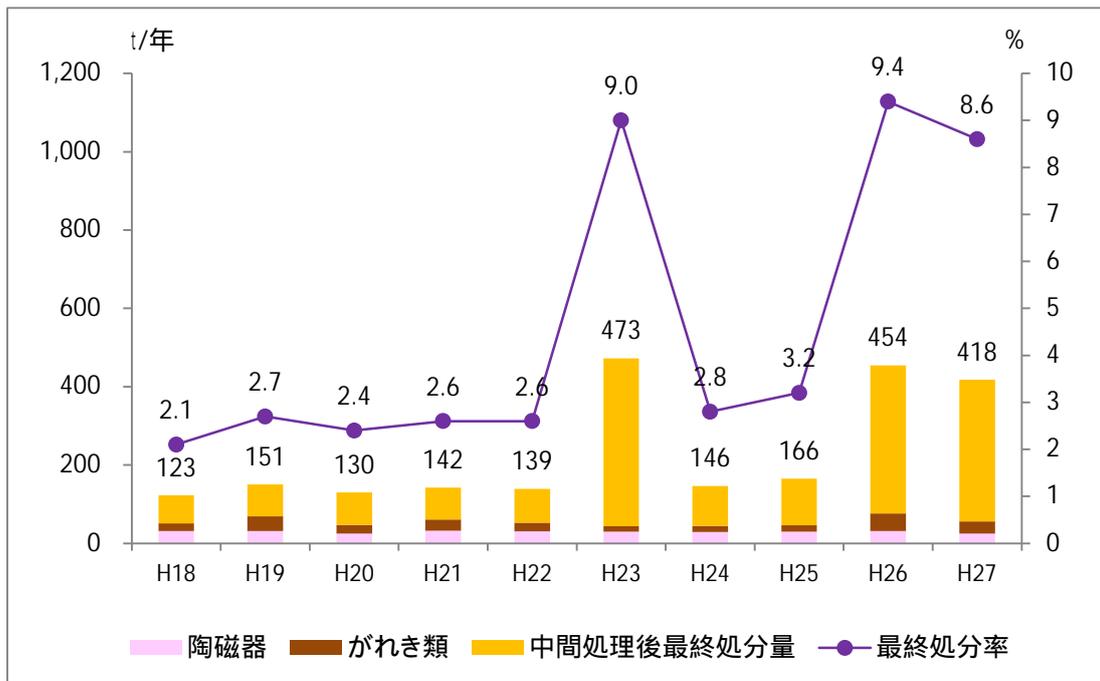


図3-7 最終処分量の実績

$$\text{最終処分率} = \text{最終処分量} \div \text{ごみ総排出量} \times 100$$

### 3. アンケート調査結果

一般廃棄物処理基本計画の改定にあたり、住民満足度を把握するとともに、ごみ出しの状況やごみに対する考え方を把握し、計画策定のための資料とすることを目的にして、アンケート調査を実施しました。

#### (1) 調査の概要

調査の概要は、表 3-8 に示すとおりです。

表 3-8 アンケート調査の概要

項目	内容
調査対象	住民基本台帳から 20 歳以上 1,000 件を無作為に抽出
調査方法	郵送による送付・回収、無記名式
実施期間	平成 28 年 6 月 16 日（送付日）～6 月 30 日（調査票回収期限）
回収状況	回収数：445 通、回収率：44.5%、標本誤差：4.6%

標本誤差とは、アンケート結果の正確さを表す数値であり、本調査は国が実施している調査の目安である「誤差率 5%」を下回り良好です。

#### (2) 調査結果（抜粋）

後述するごみ処理の課題に関するアンケート結果を、以下に抜粋します。

問 2 あなたの世帯の人数を教えてください。

70 代の 6 割以上、60 代・80 代の 4 割以上が 1 人もしくは 2 人世帯であり、高齢者のみの世帯が多いと推測されます。

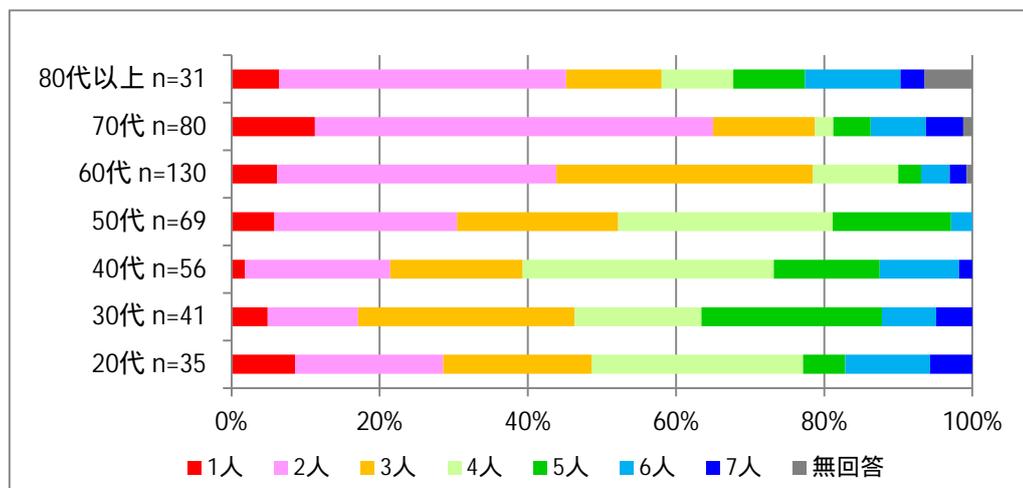


図 3-8 年齢別世帯人数

問5 ごみの収集（収集や分別区分など）に関して満足していますか？

7割以上が満足していると回答していますが、20代・30代・50代における不満が2割程度あり、他の年代と比較すると高くなっています。

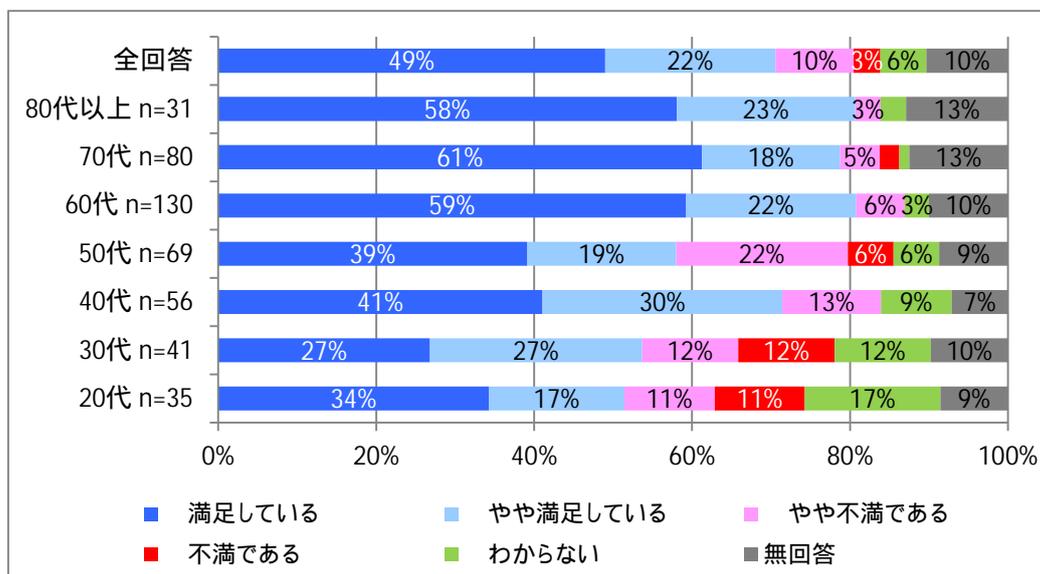


図 3-9 ごみ収集の満足度

問6 どのごみの収集回数に不便を感じたことがありますか？

住民の2割が不燃ごみ（陶磁器類）の収集回数に不満を感じています。

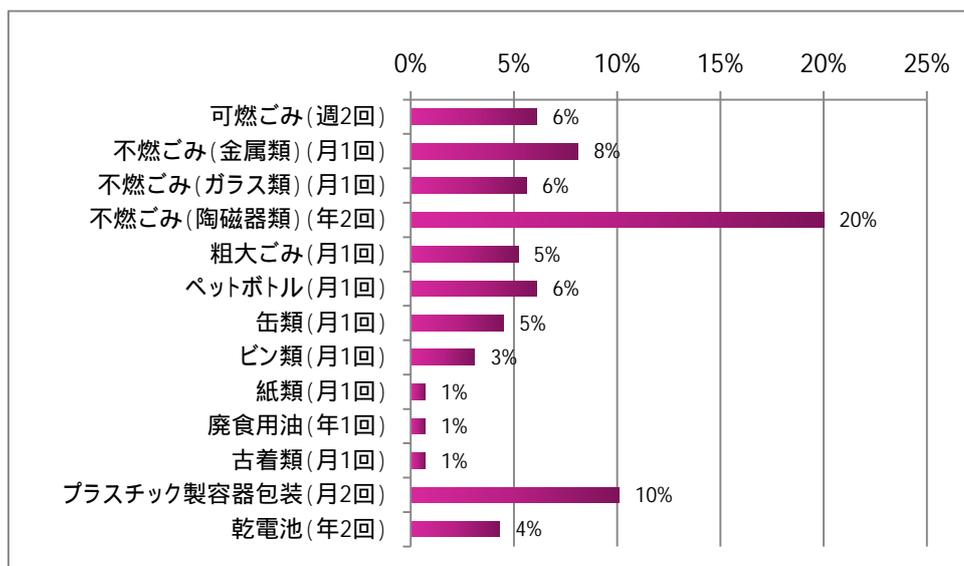


図 3-10 不満のあるごみの収集回数

問7 あなたはごみの出し方で困ったことがありますか？

約4分の1の方が困ったことがあると回答しており、30代～50代の困ったことのある割合が高くなっています。

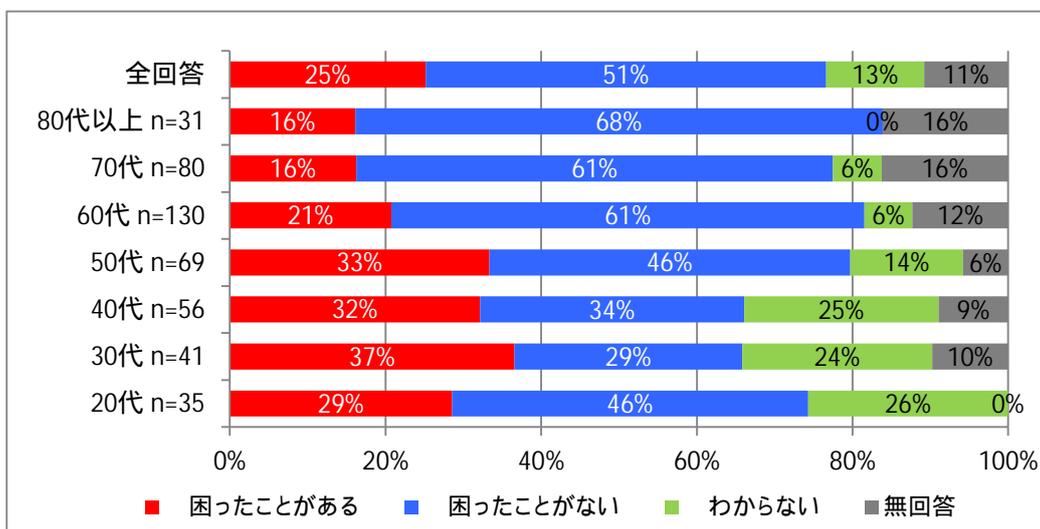


図 3-11 ごみ収集の満足度

問8 あなたの家庭では剪定した枝や草をどのように処理していますか？

5割以上の方が剪定した枝や草を可燃ごみに出しています。堆肥にしている人が約4割いる一方で、庭や畑で燃やす人も4%いました。

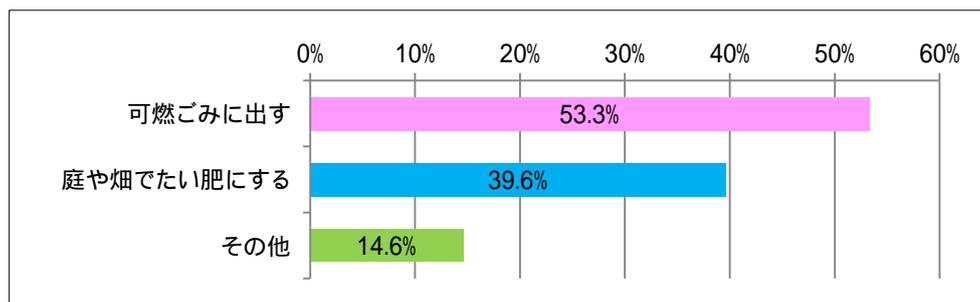


図 3-12 剪定枝の処分方法

表 3-9 その他の内訳

内容	件数	割合
庭や畑で燃やす	18件	4.0%
庭師など業者に依頼	6件	1.3%
空き地や畑など自宅で処分	6件	1.3%

問9 小・中学校のPTAなどが行う資源集団回収に古紙などを出していますか？

約6割が出していると回答していますが、校区別で見ると御嵩校区、中校区は出していないという回答が多くなっています。

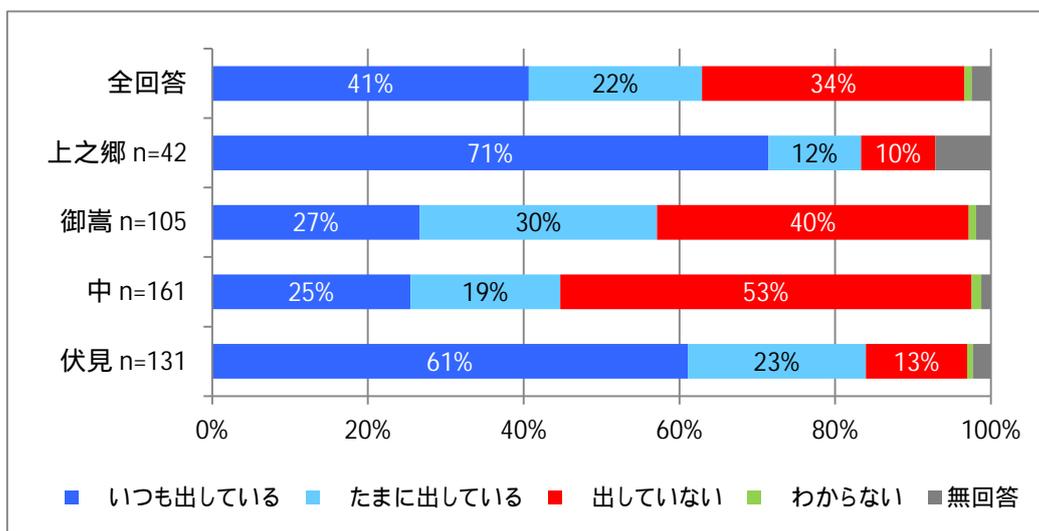


図 3-13 資源集団回収の利用状況

問11 あゆみ館などに設置している「リサイクルステーション」を利用したことがありますか？

約3割の人が利用していると回答していますが、知らなかったと回答している人も1割以上います。

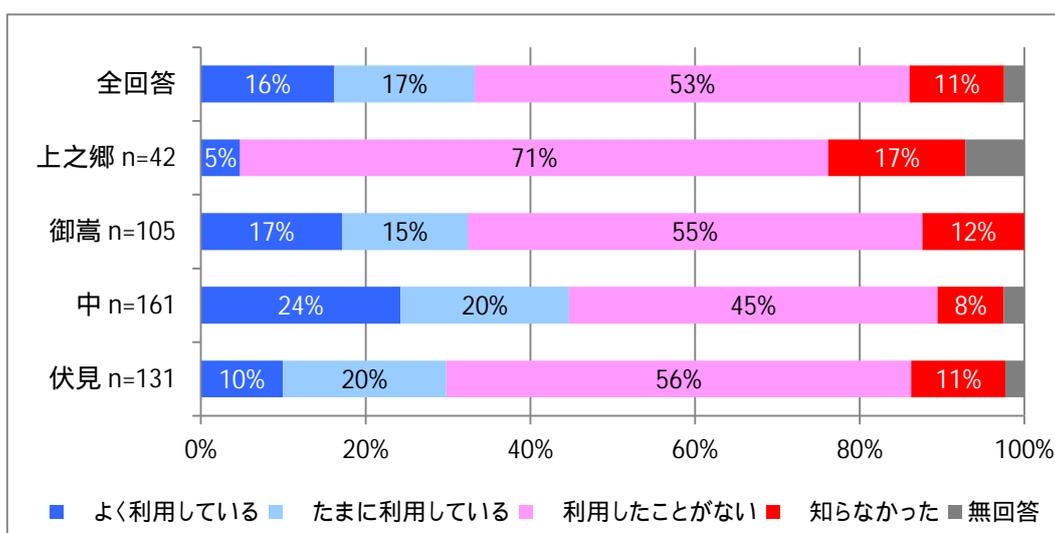


図 3-14 リサイクルステーションの利用状況

(3) 住民満足度

『市町村における循環型社会づくりに向けた一般廃棄物処理システムの指針』に示された調査項目についてアンケート調査を実施し、住民満足度を算出しました。

調査の結果住民満足度は「4.0点」となり、平均点3点を大きく上回りましたが、3Rへの取り組み、情報公開に関する認知度が低いことから、住民にとってより一層わかりやすい情報の提供方法を検討する必要があります。

表 3-10 住民満足度アンケート調査項目

項目	設 問
収集	ごみの収集（収集回数や分別区分など）に関して満足していますか？
取り組み	御嵩町の3R（ごみ減量・再使用・リサイクル）への取り組みに満足していますか？
情報公開	ごみ処理や3Rの情報公開や提供に満足していますか？
清潔さ	御嵩町の街の清潔さに満足していますか？

表 3-11 住民満足度算出結果

項目	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	総回答数	有効回答数	得点	平均点
収集	218	96	44	15	26	399	373	1,577	4.2
取り組み	97	171	17	7	132	424	292	1,210	4.1
情報公開	75	144	51	7	147	424	277	1,060	3.8
清潔さ	64	221	64	15	67	431	364	1,347	3.7
総合評価									4.0

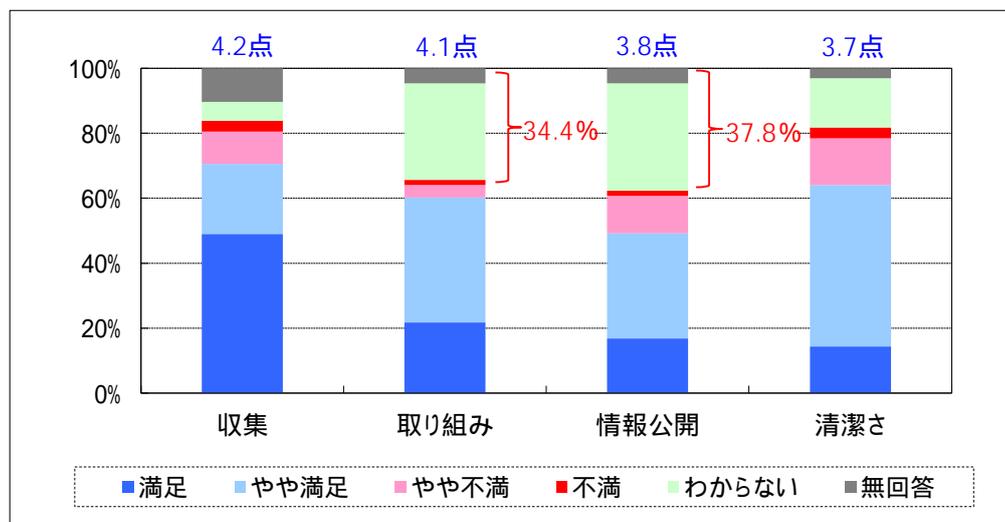


図 3-15 住民満足度調査結果

#### 4. ごみ組成調査

可燃ごみ中に含まれる資源の割合を調査し、住民の分別努力を数値化するため、平成28年5月24日に可燃ごみの組成調査を実施しました。

上之郷地区及び御嵩地区の集積場から無作為に30袋(約150kg)採取した可燃ごみの組成調査結果は、以下のとおりです。

##### (1) 可燃ごみ中の資源の割合

可燃ごみの中に約2割の資源物が混入していました。

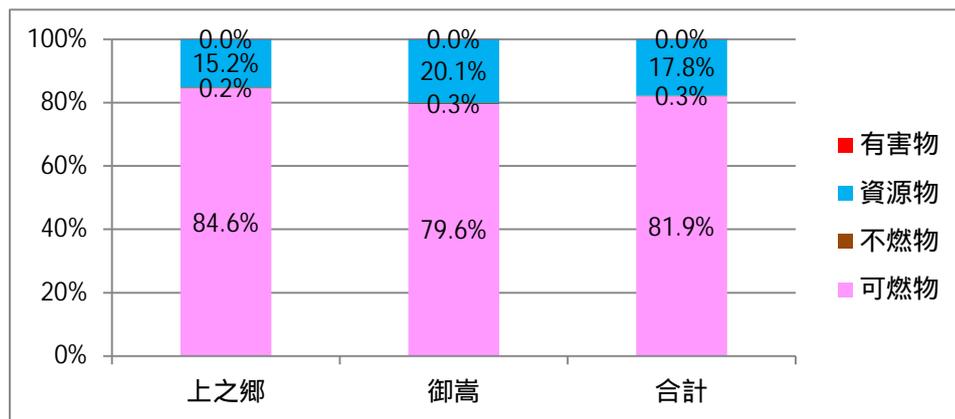


図3-16 可燃ごみ中の資源の割合

##### (2) 可燃物の内訳

可燃物の約4割を生ごみが占めています。

資源化できる可能性がある雑がみ が約7%、剪定枝は約8%ありました。

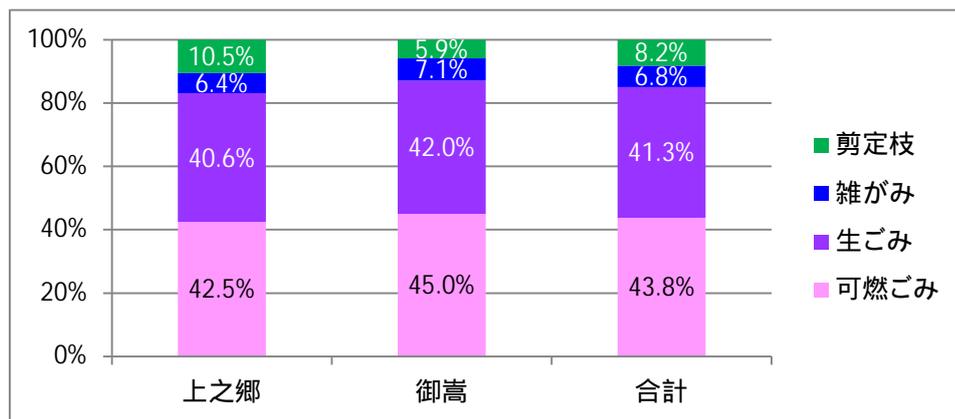


図3-17 可燃物の内訳

雑がみとは、家庭から排出される古紙のうち、新聞(折込チラシを含む)、雑誌、段ボール、飲料用パックのいずれの区分にも入らないものを言います。具体的には本町で回収している紙製容器包装に加えて、投込みチラシ、コピー紙、包装紙、紙袋、紙箱などの紙全般を指します。

( 3 ) 混入した資源の内訳

可燃ごみに混入していた資源物のうち、約 4 割がプラスチック製容器包装でした。

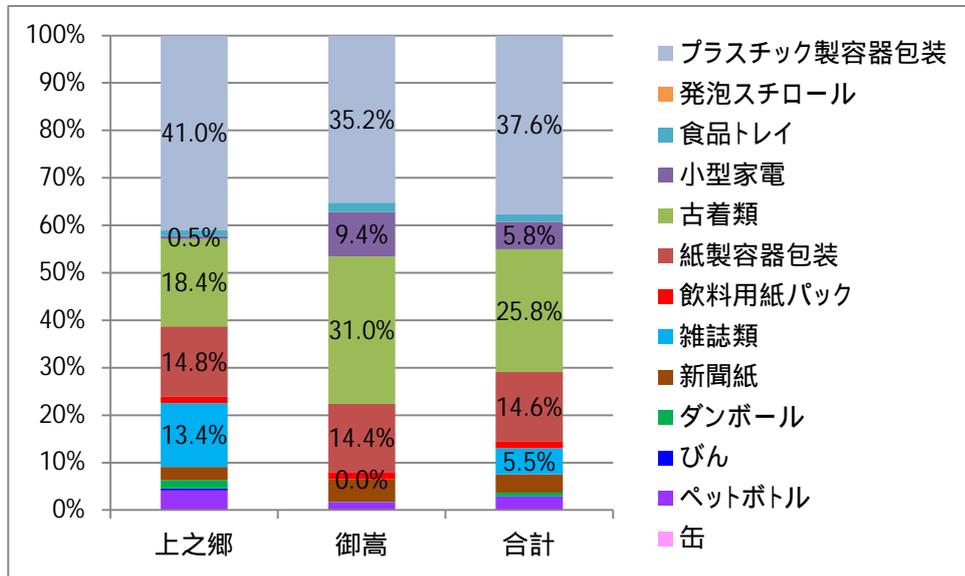


図 3-18 混入した資源の内訳

( 4 ) 調査結果詳細

可燃ごみ組成調査結果の詳細は、図 3-19 に示すとおりです。資源化できない可燃ごみが 3 分の 1、生ごみが 3 分の 1、剪定枝、雑がみなどを含めた資源化できる可能性があるごみが残りの 3 分の 1 となっていました。

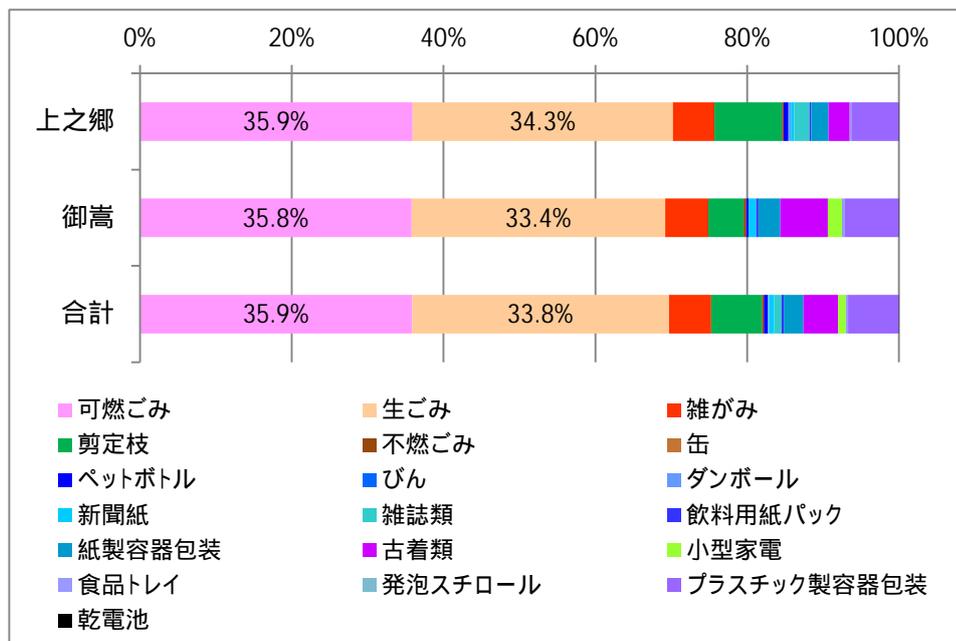


図 3-19 ごみ組成調査結果

## 5. ごみ処理の課題

ごみ処理の現状から抽出した課題と取り組みの方向性は、図3-20に示すとおりです。

可燃ごみの削減を行うため、生ごみの資源化を促進し、可燃ごみから更に分別して資源化する方法を検討するとともに、資源を出しやすい仕組みづくりを検討します。

事業系ごみについては、現状の把握を行い多量排出事業者への指導を行います。

また、安心してごみ出しのできる環境整備とともに、ごみについて多様な情報提供を行います。

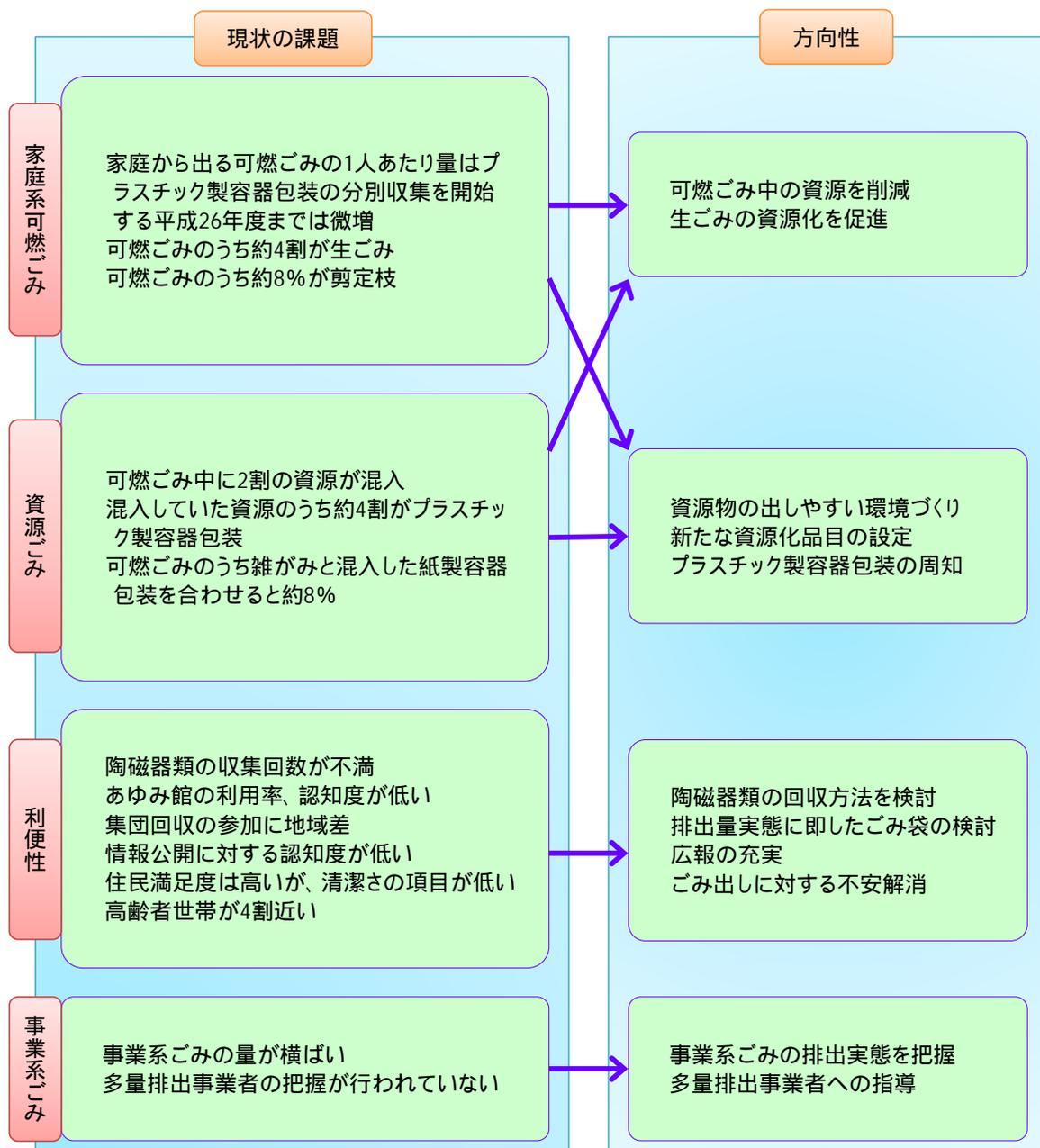


図3-20 ごみ処理の課題と施策の方向性

## 第4章 ごみ処理基本計画

### 1. 将来像・基本方針

大量生産・大量消費・大量廃棄のシステムは、有限である資源を浪費し、温室効果ガスによる地球温暖化の要因になるなど、地球規模の環境問題を生み出しました。これは人類共通の課題であり解決していくためには、一人ひとりがライフスタイルを変えていくこと、それぞれの事業者が環境に配慮した活動を進める必要があります。

本町では「環境モデル都市」として地球温暖化対策を進め、低炭素社会と循環型社会を実現するため、「ごみにしない暮らしを誇りにするまち」を本計画の将来像に掲げ、「発生抑制」「資源化」「適正処理」の3つの基本方針のもと、5つの「重点プロジェクト」と、「適正処理を進める施策」「計画を推進するための施策」を実施していくことで、私たち一人ひとりが「シンプルライフみたけ」を実践していきます。

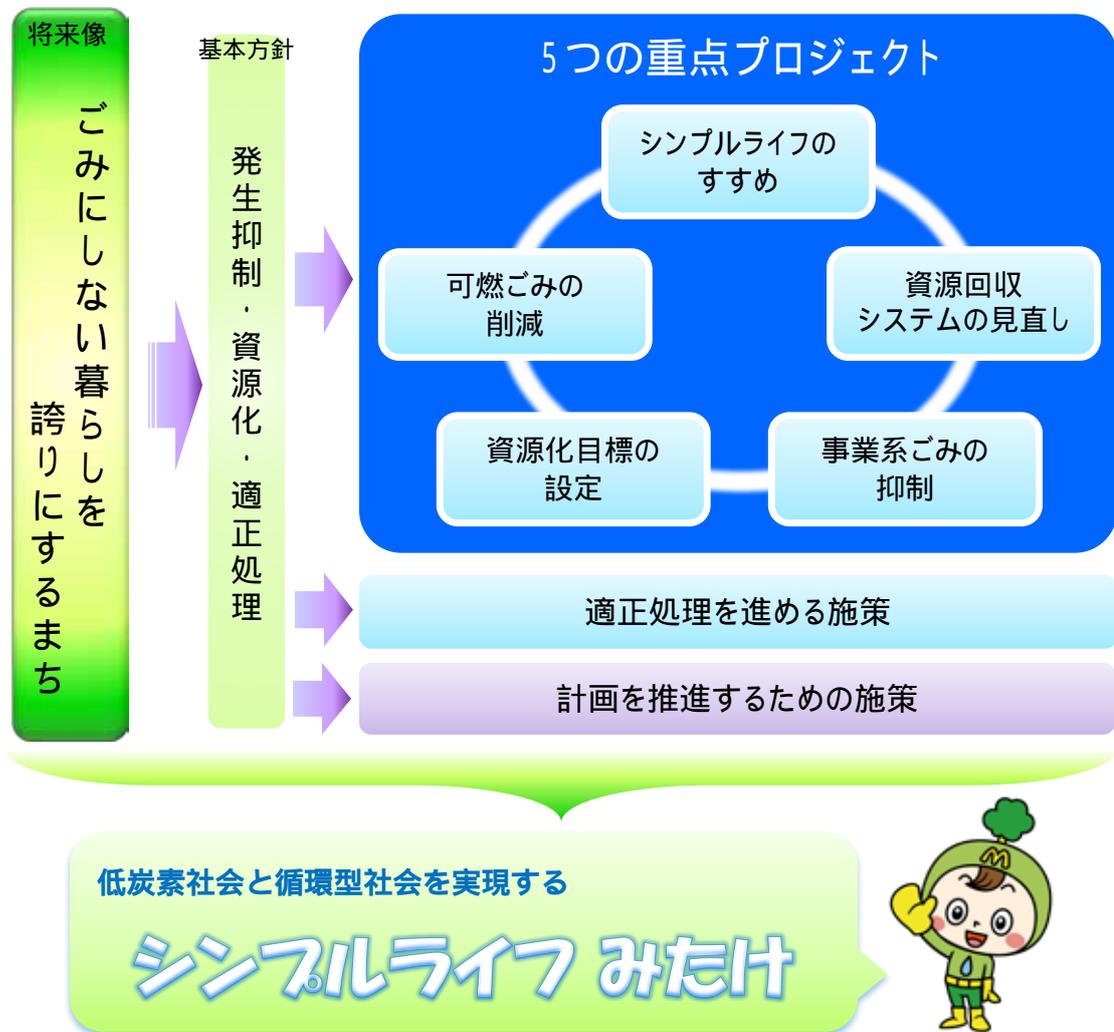


図4-1 計画の体系

## 2. 数値目標

3つの基本方針「発生抑制」「資源化」「適正処理」の進捗を確認するため、3つの数値目標と2つの指標値を設定します。

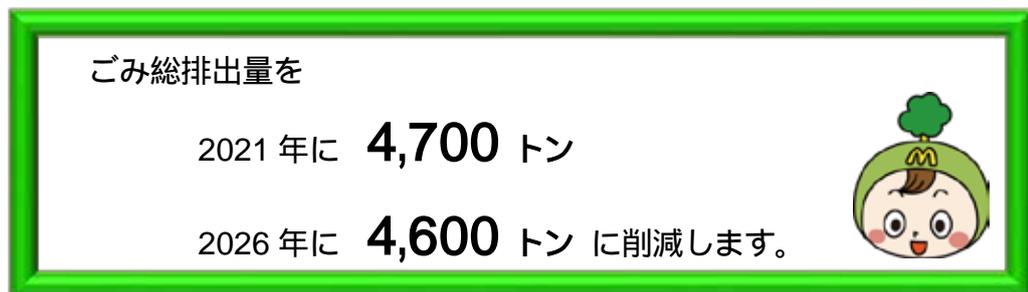
### (1) 目標値

発生抑制の取組状況を評価するため、住民のみなさんの取り組みや、本町が施策を行うことで削減できるごみの量として、本町から排出される全てのごみの量を表す「ごみ総排出量」、住民のごみ減量の努力や分別収集への努力を表す代表的な指標として資源物・集団回収量を除いた、可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ等の処理・処分の必要なごみが家庭からどれだけ排出されたかを表す「1人1日家庭系ごみ排出量」、事業所から出るごみの総量を表す「事業系ごみ排出量」の3項目を数値目標とします。

#### ごみ総排出量

平成27年度におけるごみ総排出量は4,857トンですが、人口の減少に伴いごみ排出量は減っていく予測となっています。

国の定める平成32(2020)年度の1人1日あたりごみ総排出量の目標値848グラムを、本町はすでに大きく下回っている(平成27年度実績:704グラム)ことから、本計画における目標は現在の減少傾向を維持し、平成38(2026)年度に4,609トン(約5%削減)とすることを目標とします。



#### 1人1日家庭系ごみ排出量

平成27年度における1人1日家庭系ごみ排出量は420グラムで、すでに国が定める平成32(2020)年度の目標値500グラムを大きく下回っているため、現在の減少傾向を維持し、平成38(2026)年度に407グラム(約3%削減)とすることを目標とします。



### 事業系ごみ排出量

平成 27 年度における事業系ごみの排出量は 1,150 トンです。国の定める平成 32 (2020) 年度の目標は「3%の増加を抑制」ですが、本町では事業系ごみの実態を把握し、多量排出事業者への指導を行うことで、現状の 1,150 トンを維持します。



### (2) 指標値

資源化及び適正処理の取り組みは、組合における資源化率・最終処分率の変化や、民間業者による資源回収ルートが増加など、本町における取り組み以外の要因が大きく影響します。このため、資源化及び適正処理の進捗状況を評価する以下の2項目は、目安としての指標値に設定します。

#### リサイクル率

重点プロジェクト4の取り組みで、新たな「ごみ減量・資源化に関する目標」が設定されるまでの間は、リサイクル率を指標値として取り組みの進捗管理を行います。

#### 最終処分量

最終処分量は組合のスラグ利用状況に大きく影響を受けますが、国全体でみると最終処分場の残余容量は年々減少していることから、本町においても最終処分量を取り組みの進捗を測る指標値として設定します

表 4-1 指標値

項目	現状 (平成 27 年度)	中間年度 (2021 年度)	最終年度 (2026 年度)
リサイクル率	20.2%	20.5%	21.8%
最終処分量	418 トン	304 トン	295 トン

### 3. 目標達成のための施策

目標達成のための重点プロジェクトと施策の一覧は、表 4-2 に示すとおりです。

表 4-2 (1) 重点プロジェクト・施策の一覧

重点プロジェクト・施策	基本方針		
	発生抑制	資源化	適正処理
<b>重点プロジェクト1 シンプルライフのすすめ</b>			
本当に必要? グリーンコンシューマーのすすめ			
マイボトル・マイ箸の持参			
マイバック運動の推進			
イベントごみの削減(リユース食器の利用)			
<b>重点プロジェクト2 可燃ごみの削減</b>			
家庭でできる生ごみ堆肥化の促進			
生ごみ減量方法の調査・研究			
剪定枝資源化の開始			
雑がみ資源化の開始			
プラスチック製容器包装の周知徹底			
廃食用油のバイオディーゼル燃料化促進			
<b>重点プロジェクト3 資源回収システムの見直し</b>			
集団回収実施回数・主体の調整			
リサイクルステーションのPR			
リユースに関する調査・研究			
使用済小型家電回収量増加の調査・研究			
<b>重点プロジェクト4 資源化目標の設定</b>			
可燃ごみ組成調査の実施			
ごみ減量化・資源化に関する目標値の設定			

表 4-2 (2) 重点プロジェクト・施策の一覧

重点プロジェクト・施策	基本方針		
	発生抑制	資源化	適正処理
重点プロジェクト5 事業系ごみの抑制			
事業系ごみの実態調査			
多量排出事業者への指導			
事業所への周知			
食品リサイクルの調査・研究			
適正処理を進める施策			
不燃ごみ回収方法の調査・研究			
資源持ち去り防止に関する調査・研究			
高齢者などへの戸別収集の検討			
計画を推進するための施策			
ごみ処理（再商品化）に関する積極的な情報の提供			
環境教育の推進			
小・中学校の環境学習の充実			
環境フェアへの参画（参加）			
廃棄物減量等推進審議会の開催			



生ごみ減量と緑を育む運動講座・環境フェア



## 重点プロジェクト1 「シンプルライフのすすめ」

私たちにいちばん身近なごみから持続可能な地域づくりを行うために、一人ひとりが家庭などでできる「ごみにしない暮らし」を実践します。

### No.1 本当に必要？グリーンコンシューマーのすすめ **NEW!**

私たちの日々のあらゆる活動は、環境汚染やごみを生み出しています。しかし、現代社会では生活のスタイルを大きく変えて、自給自足で環境負荷の小さな暮らしを行うことは難しくなっています。

私たちが暮らしていく中で最も身近な活動、それが「お買い物」です。「商品」を購入する時に「価格」を重視することは多いでしょう。耐久性やデザイン、味などを含めた「性能」「安全性」も大事なことです。これに「環境」の視点をプラスして買い物をしてみませんか？

すぐに壊れてごみになってしまう「たくさんのモノ」に囲まれる生活よりも、「長く愛せる質の良いもの」を身の回りに置く。過剰包装でなく量り売りの商品を選ぶ。近くで生産された商品を選ぶ。リサイクルできる素材でできたものを選ぶ。

いつもの買い物を少し変えることから「シンプルライフ」を始めてみませんか？

#### グリーンコンシューマー

消費者が環境物品（環境負荷の低減に資する物品・サービス）を積極的に購入したり、そうでない物品を忌避したりするなどの消費行動を通して、供給サイドを環境経営に誘導し、持続可能な社会の構築を目指すことをグリーン・コンシューマリズム（緑の消費者運動）といい、このような行動をとる消費者をグリーン・コンシューマー（緑の消費者）と呼びます。

#### 買い物10原則

- 必要なものを必要なだけ買う
- 使い捨て商品ではなく、長く使えるものを選ぶ
- 容器や包装はないものを優先し、次に最小限のもの、容器は再使用できるものを選ぶ
- 作るとき、買うとき、捨てるときに、資源とエネルギー消費の少ないものを選ぶ
- 化学物質による環境汚染と健康への影響の少ないものを選ぶ
- 自然と生物多様性をそこなわないものを選ぶ
- 近くで生産・製造されたものを選ぶ
- 作る人に公正な分配が保証されるものを選ぶ
- リサイクルされたもの、リサイクルシステムのあるものを選ぶ
- 環境問題に熱心に取り組み、環境情報を公開しているメーカーや店を選ぶ

（特定非営利活動法人 環境市民のウェブサイトから引用）

## No.2 マイボトル・マイ箸の持参 **NEW!**



最近、マイボトル・マイ箸という言葉を目にしたり耳にしたりする機会が増えてきました。お金さえあればいつでも買うことのできる自動販売機の「ペットボトル飲料」。たしかに手軽で便利ですが、一方で毎回ごみになってしまうことも事実です。また、外食をすると多くの場合は「割り箸」を使うことになります。ということは、毎日膨大な数の割り箸が使われ、捨てられていることになります。

そこで、スポーツやレジャーの時以外にも自分の水筒を積極的に持ち歩く「マイボトル」や洗って何度でも使う自分専用の「マイ箸」を持ち歩いて利用すれば、無駄なごみを出すことはありません。

身近にできるちょっとしたことから「シンプルライフ」を始めてみませんか？

## No.3 マイバック運動の推進 **発展!**



「マイバック」はスーパーなどでの買い物の時にお店のレジ袋ではなく自分のバックを利用することです。本町では生活学校での取り組みを更に拡大し、平成20年9月に町内の3店舗とレジ袋の有料化協定を締結してマイバック運動を進めてきました。

今後は、マイバック持参運動を更に展開するため、協定締結店舗の拡大や、締結の難しいコンビニエンスストアなどでは買い物客へのレジ袋辞退の呼びかけやポスター掲示などにより、マイバック運動を推進していきます。

## No.4 イベントごみの削減（リユース食器の利用） **NEW!**

お祭りやコンサート、スポーツ観戦といったイベント会場では、使い捨て容器の利用が主流となっています。「祭りのあとには大量のごみ」を改善するために、紙コップ・紙皿・発泡スチロール製のどんぶり・割り箸などの使い捨て容器に変えて、繰り返し洗って使えるリユース食器の利用を調査・研究していきます。

### どれだけ減らせるの？

**マイボトル**：月に1回ペットボトル飲料を購入しないと？

月1回・年12本×18,000人 = **21万6千本**

**マイ箸**：月に1回割り箸を断ると？

4グラム（割り箸）×12本（月1回）×18,000人÷5キロ（ごみ1袋） = **約170袋**

**マイバック**：月に1回レジ袋を断ると？

10グラム（レジ袋）×12枚（月1回）×6,500世帯÷5キロ（ごみ1袋） = **約150袋**



182トン資源化

## 重点プロジェクト2 「可燃ごみの削減」

家庭から出る可燃ごみを削減するため、生ごみの堆肥化や、新たな資源化品目の検討などを行います。

### No.5 家庭でできる生ごみ堆肥化の促進 **継続**

コンポスト容器などによる家庭でできる生ごみ堆肥化の支援を行うため、生活環境整備施設購入補助金制度を継続するとともに、ダンボールコンポストによる堆肥作り講座を継続的に開催します。

### No.6 生ごみ減量方法の調査・研究 **NEW!**

可燃ごみの約3分の1を占める生ごみについて、分別して収集する方法と、資源化の方法について先進自治体の事例について調査・研究を行います。

また、計画5年目の見直しまでには、家庭から出る生ごみの減量方法について判断を行います。

### No.7 剪定枝資源化の開始 **NEW!**

現在は可燃ごみとして排出されている剪定枝について、ステーション収集・拠点回収方式などの回収方法を検討するとともに、民間業者の状況を調査し、資源化を開始します。

#### 資源化量の算出方法

**剪定枝**：住民1人あたり年間3.6キログラムを資源化すると？

$$3.6 \text{ キロ} (1 \text{ 日 } 10 \text{ グラム}) \times 18,000 \text{ 人} = \text{約} 65 \text{ トン}$$

**雑がみ**：紙製容器包装以外の雑がみを1人あたり年間3キログラムを資源化すると？

$$3 \text{ キロ} (1 \text{ 日 } 8.5 \text{ グラム}) \times 18,000 \text{ 人} = \text{約} 54 \text{ トン}$$

**プラスチック製容器包装**：1人あたり年間3.3キログラムを資源化すると？

$$3.3 \text{ キロ} (1 \text{ 日 } 9 \text{ グラム}) \times 18,000 \text{ 人} = \text{約} 59 \text{ トン}$$

**廃食油**：1人あたり年間220グラムを資源化すると？

$$220 \text{ グラム} (1 \text{ 日 } 0.6 \text{ グラム}) \times 18,000 \text{ 人} = \text{約} 4 \text{ トン}$$

## No.8 雑がみ資源化の開始 **NEW!**

可燃ごみのうち約5%を占める雑がみについて、製紙業者の分類区分(禁忌品)を調査するとともに、先進自治体におけるステーション収集・拠点回収・集団回収などの回収方法を検討し、資源化を開始します。

## No.9 プラスチック製容器包装の周知徹底 **発展!**

平成26年6月からプラスチック製容器包装の分別収集を開始しましたが、まだ分別意識が浸透しておらず可燃ごみの中に多く混入しているため、プラスチック製容器包装の分別について周知徹底を行います。

## No.10 廃食用油のバイオディーゼル燃料化促進 **継続**

各家庭から分別収集される廃食用油をバイオディーゼル燃料化し、今後も公用車の燃料として利用していきます。

表4-3 重点プロジェクト2のスケジュール

No.	取り組み	年度(西暦)										
		'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24	'25	'26	
5	家庭でできる生ごみ堆肥化	継続	→									
6	生ごみ減量方法の研究	---	→	研究	検討	判断						
7	剪定枝資源化の開始	→	検討	実施	→							
8	雑がみ資源化の開始	→	検討	実施	→							
9	プラスチック製容器包装の周知徹底	継続	→									
10	廃食用油のバイオディーゼル燃料化	継続	→									

禁忌品とは製紙原料にならない異物のことで、防水加工された紙、カーボン紙、写真用紙、臭いのついた紙、油のついた紙などがあり、製紙業者により異なります。



### 重点プロジェクト3 「資源回収システムの見直し」

ごみから資源への流れを今まで以上に進めるため、資源回収システムの見直しを行います。

#### No.11 集団回収実施回数・主体の調整 **NEW!**

実施場所や実施間隔が一定となるよう、役場主導で集団回収について割り振りなどの調整を行うとともに、地域で行われている拠点回収について調査・研究を行います。

また、収集資源が重複している古紙類について、集団回収が一定の実施頻度を確保できた場合は、町のステーション収集の廃止も検討します。

#### No.12 リサイクルステーションのPR **継続**

御嵩町生活学校、あゆみ館の設置しているリサイクルステーションが周知されるよう広報を充実するとともに、設置場所のわかりづらいあゆみ館については、案内看板の設置を検討します。

また、リサイクルステーションの利便性を向上するため、開設日時・開設場所の変更なども含めて、開設者とともに調査・検討を行います。



あゆみ館「リサイクルステーション」

### No.13 リユースに関する調査・研究 **NEW!**

粗大ごみとして排出されているものには、まだ使えるものも多くあります。粗大ごみのリユース（再使用）について、先進自治体の事例を調査し、本町でできる「もったいない」の取り組みを研究し、計画5年目の見直し時に、粗大ごみのリユースの方針について判断を行います。

### No.14 使用済小型家電回収量増加の調査・研究 **発展!**

平成27年1月から役場などに設置している専用ボックスで回収している使用済小型家電製品ですが、不燃ごみ（金物類）や粗大ごみとしても排出することができるため、一部は組合の不燃物処理施設で破碎・選別処理が行われています。小型家電に含まれるレアメタルなどの資源化を進めるため、施設でのピックアップ回収について組合などと協議を行うとともに、周知方法の調査・研究を行い、計画5年目の見直し時に、小型家電リサイクルの方針について判断を行います。

表 4-4 重点プロジェクト3のスケジュール

No.	取り組み	年度（西暦）										
		'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24	'25	'26	
11	集団回収実施の調整	---	---	→	調査	判断						
12	リサイクルステーションPR	実施	→									
13	リユースの調査・研究	---	---	→	研究	判断						
14	使用済小型家電回収量の増加	---	---	→	研究	判断						



## 重点プロジェクト4 「資源化目標の設定」

可燃ごみ中に含まれる資源の量を把握することで、5年後の計画見直し時に新たな資源化の目標値設定を検討します。

### No.15 可燃ごみ組成調査の実施 **NEW!**

本計画策定時に実施した可燃ごみの組成調査を拡大し、新たに年1回・地区別の可燃ごみ組成調査を実施します。

また、組成調査の中で家庭から出る食品廃棄物のうち、食品ロスの割合を把握する方法を研究します。

### No.16 ごみ減量化・資源化に関する目標値の設定 **発展!**

排出されたごみのうち資源化された量を表すリサイクル率は、組合のスラグ利用率や、民間事業者による古紙回収量にも影響されるため、住民の分別努力が反映されにくくなっています。

可燃ごみの削減を進めるため、可燃ごみ中に含まれる資源の量を把握することで、計画5年目の見直し時に、住民の努力が反映できる新たな資源化の目標値を設定します。



可燃ごみ組成調査

表 4-5 重点プロジェクト 4 のスケジュール

No.	取り組み	年度（西暦）										
		'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24	'25	'26	
15	可燃ごみ組成 調査の実施	実施	→									
16	資源化目標値 の設定	---	---	→	研究	判断						

## もったいない！食べられるのに捨てられる 「食品ロス」を減らそう

まだ食べられるのに捨てられている食べ物、いわゆる「食品ロス」が日本では年間約 632 万トンにも上ります。これを日本人 1 人あたりに換算すると、毎日お茶碗約 1 杯分（約 136g）のご飯の量を捨てていることとなります。私たちは多くの食べ物を輸入しながら、大量に捨てているのです。

### 食品ロス削減の工夫

食材を「買い過ぎず」「使い切る」「食べ切る」

残った食材は別の料理に活用しよう

「消費期限」と「賞味期限」の違いを理解しよう

外食時での食べ残しを防ぐためには？

小盛メニューがあれば利用する。

料理を注文する際にボリュームを確認し、「食べ切れないかも」と思ったら「少なめにできますか？」とお願いする。

セットメニューの中に食べられない物があれば、注文の際に、あらかじめそれを抜いてもらう。

（政府広報オンラインから引用）



食べものに、  
もったいないを、  
もういちど。

NO-FOODLOSS PROJECT



## 重点プロジェクト5 「事業系ごみの抑制」

110トン抑制



事業系ごみの排出実態を把握し、多量排出事業者への指導を行うとともに、小規模事業所に対してもごみ減量の啓発を行います。

### No.17 事業系ごみの実態調査 発展！

家庭から排出されるごみが減少しているのに対し、事業系ごみは横ばいとなっています。

収集運搬業者から事業所ごとの前年度排出量の聞き取り調査を行い、1日平均100キログラム以上の一般廃棄物を排出する全ての多量排出事業所に対して立入検査を実施し、事業系ごみの実態把握を行います。

### No.18 多量排出事業所への指導 発展！

御高町廃棄物の処理及び清掃に関する条例では、建物延べ床面積3,000平方メートル以上または1日平均100キログラム以上の一般廃棄物を排出する事業所は、減量計画を作成し届け出を行うことになっています。

減量計画作成の対象となる事業所に対して、計画の作成と届出の指導を行うとともに、届出された減量計画をもとに立入検査を実施し、紙ごみの分別・資源化や生ごみの水切り・資源化などについて指導を行います。

### No.19 事業所への周知 発展！

減量計画作成の対象とならない中小規模の事業所についても、ごみ減量の取り組みを進める必要があります。中小規模の事業所に対しては、ごみ減量や資源化に関するパンフレットやチラシを作成し、周知・啓発を行います。

#### 事業系ごみの啓発効果

事業系可燃ごみ 約1,100トンが、啓発効果で約1割抑制されると、

1,100トン×1割=110トン

## No.20 食品リサイクルの調査・研究 **NEW!**

食品ロスは、食品メーカーや卸、小売店、飲食店、家庭など、「食べる」ことに関する様々な場所で発生しています。

食品メーカーや卸、小売店では、加工食品の製造日から賞味期限まで3分の1を切った段階で返品・廃棄するいわゆる3分の1ルールなどで売れ残り品が、レストランなどの飲食店では、客が残した料理（特に野菜や穀類）などが食品ロスとなっています。

事業所内での堆肥化装置の設置や、登録再生事業者による飼料化など、事業所から出る食品廃棄物のリサイクルについて調査・研究を行います。

表 4-6 重点プロジェクト5のスケジュール

No.	取り組み	年度（西暦）										
		'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24	'25	'26	
17	事業系ごみの実態調査	調査	実施	→								
18	多量排出事業所への指導		実施	→								
19	事業所への周知	実施	啓発	→								
20	食品リサイクルの調査・研究	---	---	→	研究	判断						



## 適正処理を進める施策

ごみの適正な処理とごみ出しへの不安感を解消するために、資源の持ち去り防止や高齢者などへの個別収集を検討します。

### No.21 不燃ごみ回収方法の調査・研究 **NEW!**

アンケート調査結果では陶磁器類の回収回数（年2回）に不満をいただいている人が約2割いました。陶磁器類は指定袋制（有料）で回収を実施していることから、無人の回収ボックスを適用することはできませんが、少量の陶磁器類を公民館や役場などで受け付ける方法について調査・研究を行い、計画5年目の見直し時に新たな回収方針について判断します。

### No.22 資源持ち去り防止に関する調査・研究 **NEW!**

本町ではまだ目立った被害は発生していませんが、岐阜県内の多くの自治体では収集日に集積場から金属類などの資源を持ち去る行為が横行しています。

持ち去られた資源は売却できる金属類などを抜き取った後に不要なプラスチック類などが不法投棄されたり、不適正な処理により環境汚染が引き起こされたりしています。

本町では条例で持ち去り行為を禁止していますが、所有権の明確化や罰則は適用されていません。このため、先進自治体の事例などを調査・研究し、2020年をめどに持ち去り対策を強化する方針について判断します。



資源持ち去り状況（撮影：岐阜県内）

## No.23 高齢者などへの戸別収集の検討 **継続**

平成 27 年の国勢調査によると、75 歳以上の後期高齢者のみの世帯が約 8%に達しており、今後も高齢化が進んでいくと予測されています。

福祉部門と連携して、ごみ出しに不安のある高齢者、障がい者、生活困窮者世帯などに対して、安否確認を兼ねた戸別収集を体制が整いしたい実施します。

表 4-7 適正処理を進める取り組みのスケジュール

No.	取り組み	年度（西暦）											
		'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24	'25	'26		
21	不燃ごみ回収方法の調査・研究	---	---	---	▶	調査	判断						
22	資源持ち去り防止に関する調査・研究	---	---	▶	調査	判断							
23	高齢者などへの戸別収集の検討	---	---	▶	検討	実施	▶						

### **無許可の回収業者を利用しないでください！**

家庭から出るごみを業務として収集運搬や処分するためには、町の委託や許可（一般廃棄物処理業許可）が必要となります。また、テレビ・エアコン・洗濯機・衣類乾燥機・冷蔵庫・冷凍機の処分には、家電リサイクル法に定められた手続きが必要となります。

無料回収をうたう業者にごみの回収を依頼し、あとから高額な手数料を請求されたり、無許可業者と知らずに手数料を支払いごみの処分を依頼し、不法投棄や不適切な処分をされたりするケースが全国的に発生しています。

### **どうして「無許可」の業者に依頼してはいけないの？**

**不法投棄**：無許可の業者によって回収された廃家電や粗大ごみが不法投棄された事例が多く報告されています。

**不適正処理**：環境対策を行わずに廃家電を破壊すると、フロンガスや鉛などの有害物質が環境中に放出されます。

**不適正な管理による火災**：廃家電は電池やプラスチック類を含むため、海外へ持ち出すために集めた不適正に管理されたヤードで火災が発生しています。



## 計画を推進するための施策

計画を効率的に推進していくため、情報提供や環境学習を進めるとともに、廃棄物減量等推進審議会にて計画の点検・見直し・評価を実施します。

### No.24 ごみ処理（再商品化）に関する積極的な情報の提供 **発展！**

ごみの分別方法にとどまらず、具体的なごみ処理の方法や処理にかかる費用などを積極的にホームページや広報に掲載します。

### No.25 環境教育の推進 **継続**

自ら環境について考え行動できる「人づくり」を目指すため、緑のカーテン作りなどの講座を継続して実施します。また、新たな講座を検討するなど、環境教育の普及を推進します。

### No.26 小・中学校の環境学習の充実 **継続**

環境学習の時間など、小・中学生に対するごみの分別に関する出前講座を継続的に実施し、御嵩町の未来を担う、環境に対して意識の高い子どもたちを育成します。

### No.27 環境フェアへの参画（参加） **継続**

住民・事業者・行政が一体となって「シンプルライフ」に取り組んでいけるよう、環境フェアにて積極的な情報提供を行い、住民の環境に対する意識を高めていきます。

### No.28 廃棄物減量等推進審議会の開催 **継続**

住民や事業者の意見・要望を反映させ本計画を効率的に推進していくために、廃棄物減量等推進審議会にて計画の進捗状況を報告するとともに、「計画」(Plan)・「実行」(Do)・「評価」(Check)・「見直し」(Action)のいわゆるPDCAサイクルで継続的に本計画の点検・見直し・評価を実施します。



図 4-2 PDCA サイクル

#### 4. ごみの排出量及び処理量の見込み

将来ごみ量の予測は、人口の将来予測値及び過去 10 年間のごみ排出量の実績に基づいて、トレンド推計式<sup>1</sup>により将来数値を推計する手法を用いました。この手法は、『ごみ処理施設構造指針解説<sup>2</sup>』に示された方法です。

家庭系ごみ及び集団回収量については、ごみ種別の発生原単位推計結果×人口推計の予測値×年間日数で算出し、事業系ごみについては、ごみ種別の発生原単位×年間日数で算出しました。

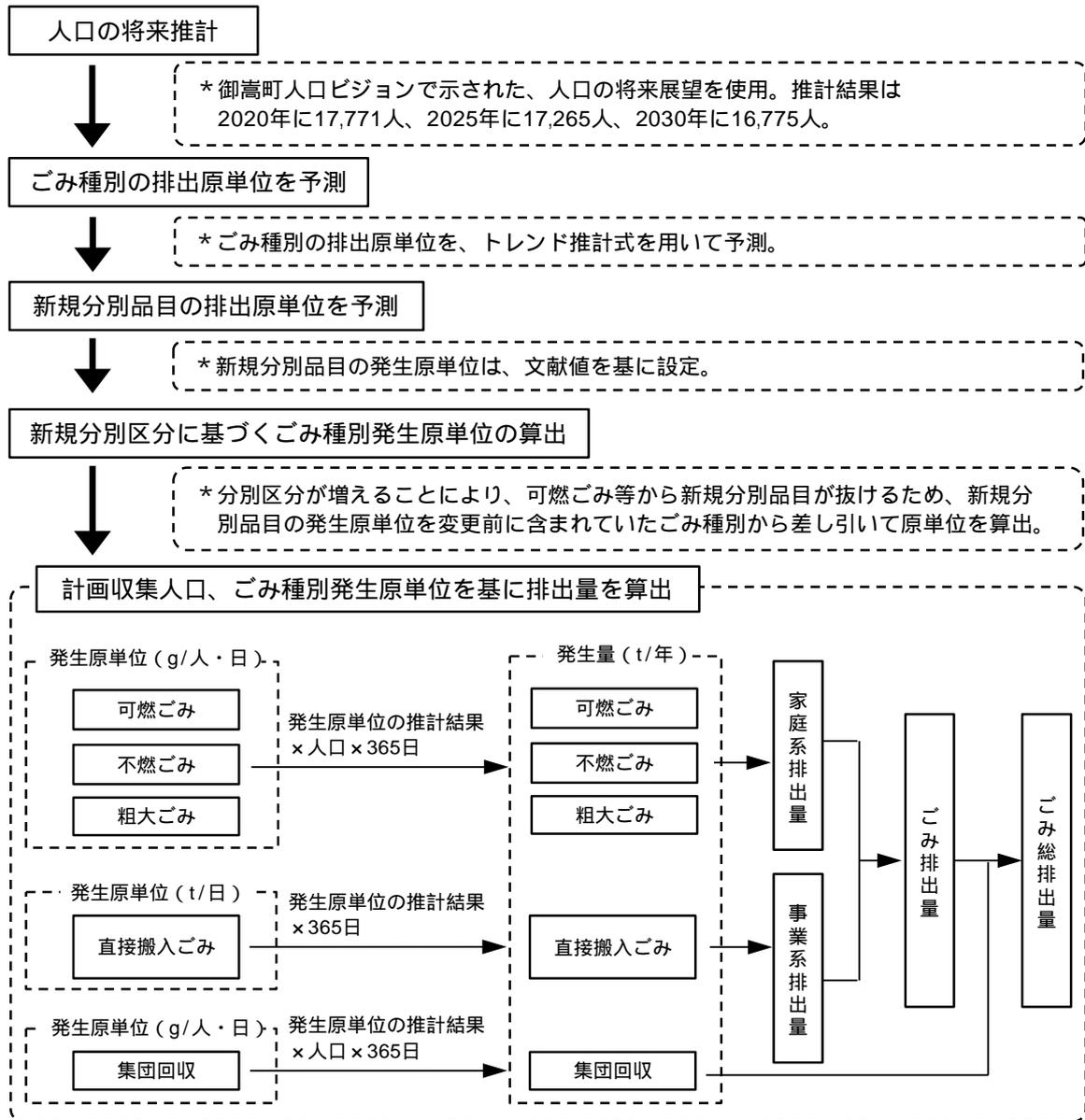


図 4-3 将来ごみ量の予測フロー

1:トレンド推計式とは、過去の実績から規則性を見出し、その規則性から適合する傾向線を最小二乗法により算出する方法です。

2:『ごみ処理施設構造指針解説』( 社団法人全国都市清掃会議編・昭和 54 年 6 月 )

(1) 人口推計

本計画で使用する推計人口は、御嵩町人口ビジョン（平成 27（2015）年 10 月）に示された、人口の将来展望を使用します。

使用する将来人口は、表 4-8 及び図 4-4 に示すとおりです。

表 4-8 将来人口の推計結果

項目	年	人口	備考
実績	平成 22（2010）年	19,546 人	4 月 1 日
	平成 27（2015）年	18,856 人	
推計	平成 28（2016）年	18,639 人	計算値
	平成 29（2017）年	18,422 人	
	平成 30（2018）年	18,205 人	
	平成 31（2019）年	17,988 人	
	平成 32（2020）年	17,771 人	人口ビジョン
	平成 33（2021）年	17,670 人	計算値
	平成 34（2022）年	17,569 人	
	平成 35（2023）年	17,467 人	
	平成 36（2024）年	17,366 人	
	平成 37（2025）年	17,265 人	人口ビジョン
平成 38（2026）年	17,167 人	計算値	

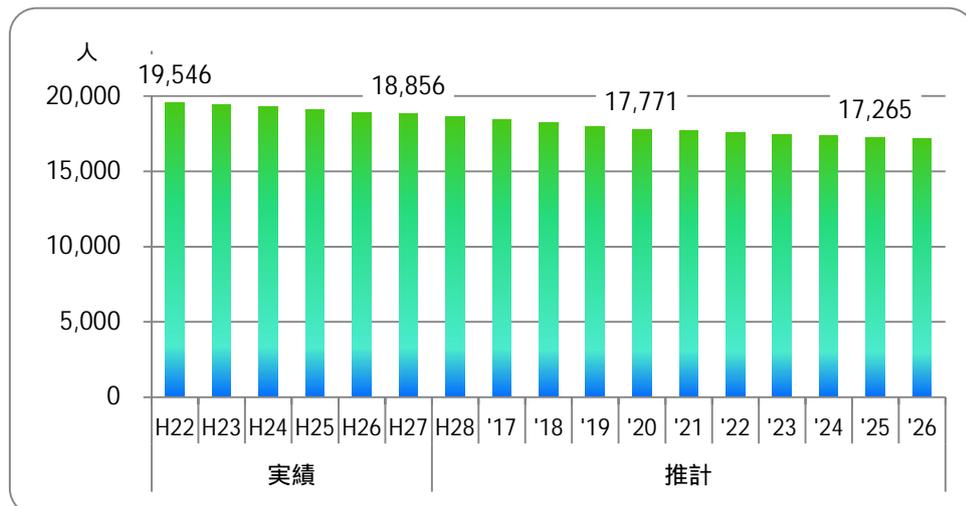


図 4-4 将来人口の推計結果

(2) ごみ排出量の将来予測

施策実施後のごみ排出量の実績と予測は、表4-9及び図4-5に示すとおりです。

人口の減少に伴いごみ総排出量は減少しますが、1人1日あたりごみ総排出量は横ばいとなります。しかし、剪定枝や雑がみの資源化を行うことで、一部が可燃ごみから資源物に移行するため、1人1日家庭ごみ排出量が減少する見込みです。

表4-9 ごみ排出量の実績と予測

項目	年度	単位	実績					予測	
			H23	H24	H25	H26	H27	'21	'26
ごみ総排出量		t/年	5,274	5,253	5,161	4,832	4,857	4,717	4,609
可燃ごみ		t/年	4,145	4,172	4,135	3,870	3,807	3,696	3,543
不燃ごみ		t/年	124	151	160	180	144	120	121
粗大ごみ		t/年	67	60	71	82	87	87	87
資源物		t/年	452	407	376	373	416	456	499
特別ごみ		t/年	2	8	8	5	9	6	5
集団回収量		t/年	483	454	412	323	393	352	353
1人1日あたりごみ総排出量		g/人・日	742	745	740	700	704	731	735
1人1日家庭系ごみ排出量(対策前)		g/人・日	446	453	458	438	420	429	426
1人1日家庭系ごみ排出量(対策後)		g/人・日	446	453	458	438	420	419	407

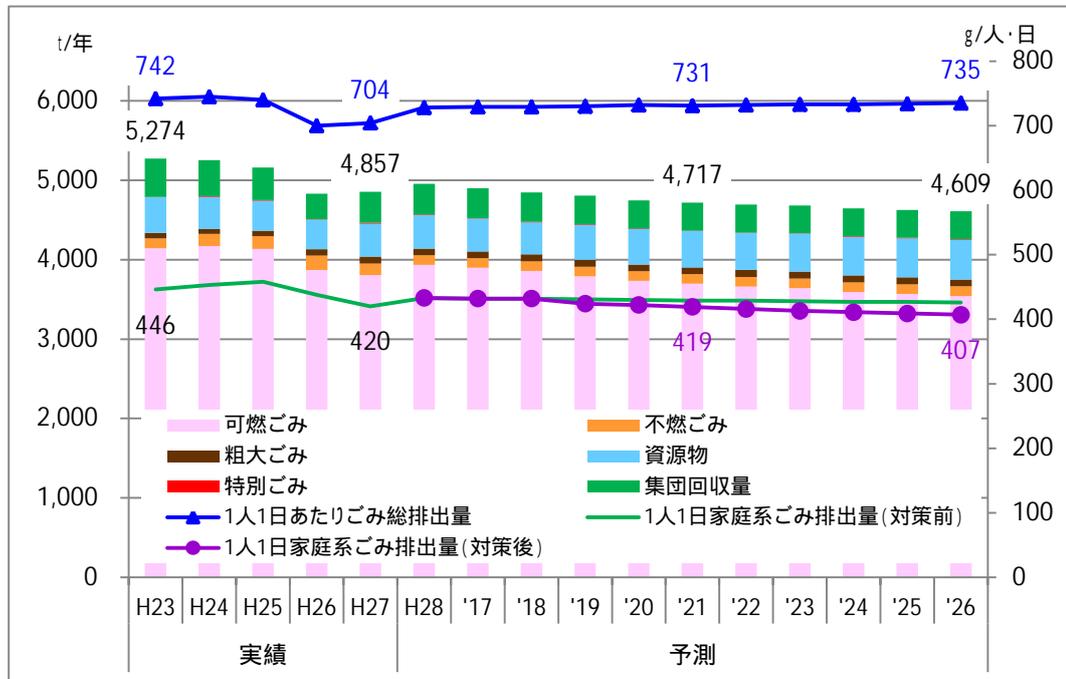


図4-5 ごみ排出量の実績と予測

(3) 資源化量の将来予測

施策実施後の資源化量とリサイクル率の実績及び予測は、表4-10及び図4-6に示すとおりです。

新たに剪定枝や雑がみの資源化を進めることにより、リサイクル率が向上する見込みです。

表4-10 資源化量の実績と予測

項目	年度	単位	実績					予測	
			H23	H24	H25	H26	H27	'21	'26
総資源化量		t/年	1,037	986	943	848	979	966	1,005
資源物量		t/年	452	407	376	373	416	456	499
集団回収量		t/年	483	454	412	323	393	352	353
中間処理後資源化量		t/年	102	125	156	153	171	158	153
リサイクル率(対策前)		%	19.7	18.8	18.3	17.6	20.2	18.9	18.9
リサイクル率(対策後)		%	19.7	18.8	18.3	17.6	20.2	20.5	21.8

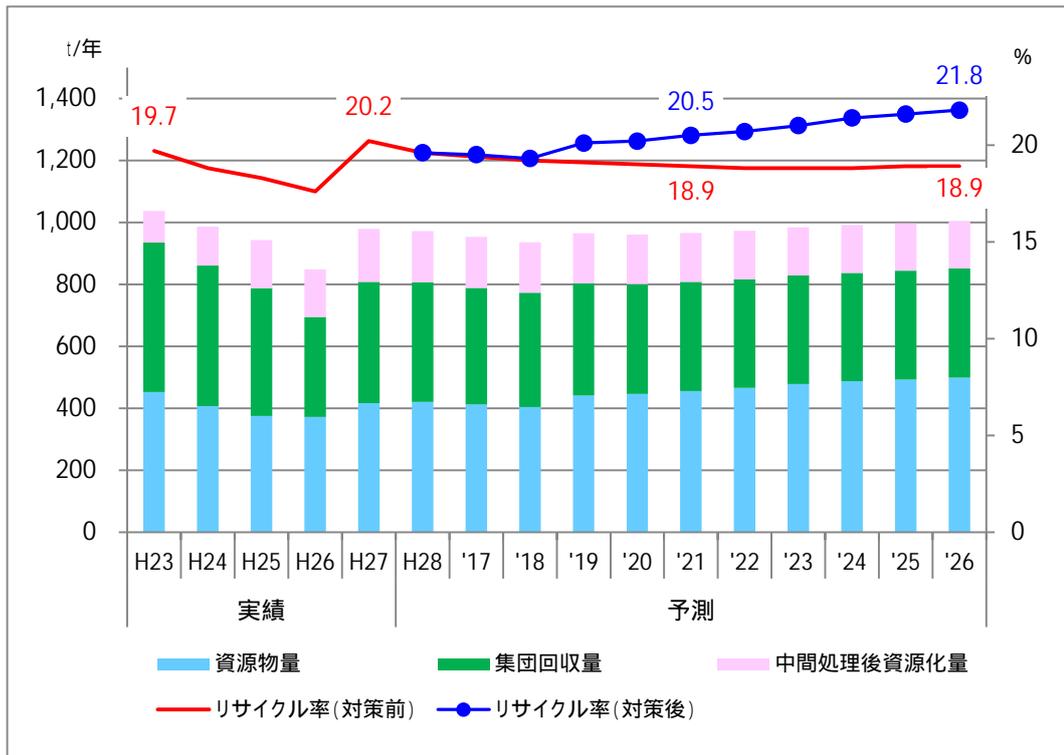


図4-6 資源化量の実績と予測

(4) 最終処分量の将来予測

施策実施後の最終処分量の実績及び予測は、表4-11及び図4-7に示すとおりです。  
 組合で処理を行う可燃ごみの中間処理後最終処分量が最終処分量の約8割を占めています。

表4-11 最終処分量の実績と予測

項目	年度	単位	実績					予測	
			H23	H24	H25	H26	H27	'21	'26
最終処分量		t/年	473	146	166	454	418	304	295
陶磁器・がれき類		t/年	44	44	47	76	56	56	57
中間処理後最終処分量		t/年	429	102	119	378	362	249	239
最終処分率		%	9.0	2.8	3.2	9.4	8.6	6.5	6.6
1日あたり最終処分量		t/日	1.3	0.4	0.5	1.2	1.1	0.8	0.8

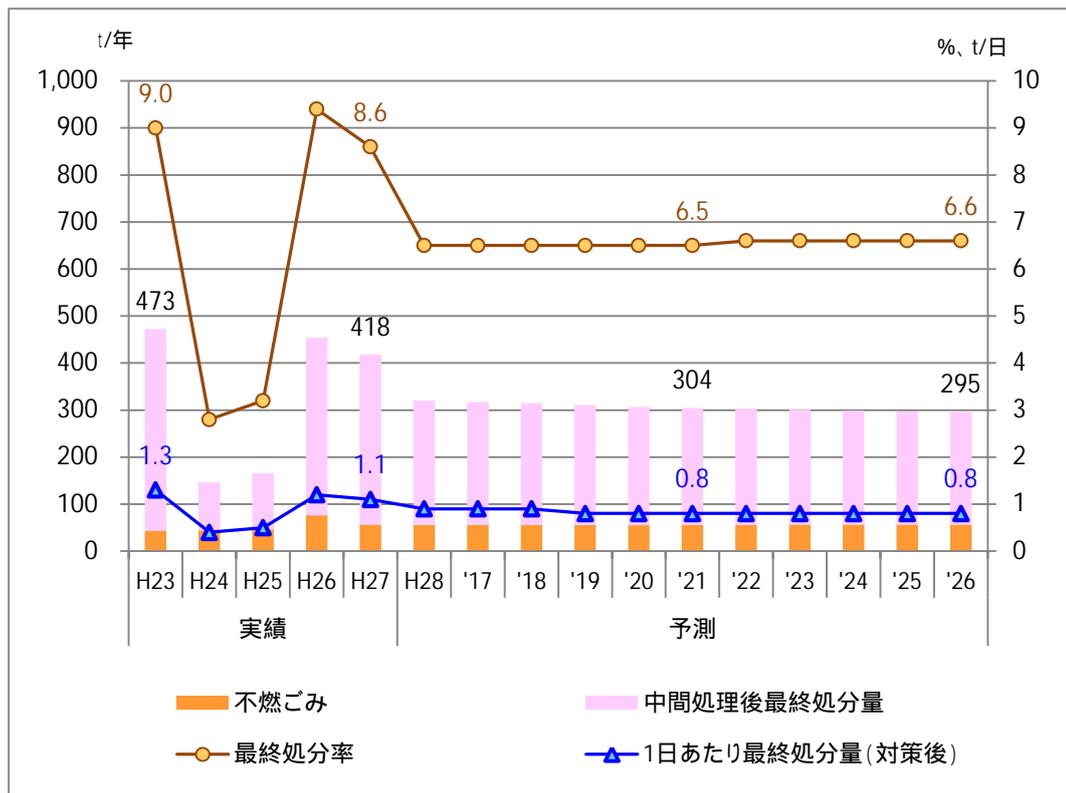


図4-7 最終処分量の実績と予測

(5) 事業系ごみ排出量の将来予測

施策実施後の事業系ごみ排出量の予測は、表4-12及び図4-8に示すとおりです。  
事業所に対する指導・啓発を強化することで、事業系可燃ごみの増加を抑制します。

表4-12 事業系ごみ排出量の実績と予測

項目	年度	単位	実績					予測	
			H23	H24	H25	H26	H27	'21	'26
生活系ごみ		t/年	4,104	4,058	3,983	3,719	3,707	3,510	3,404
事業系ごみ		t/年	1,170	1,195	1,179	1,113	1,150	1,207	1,205
1日あたり事業系ごみ排出量(対策前)		t/日	3.2	3.3	3.2	3.1	3.1	3.5	3.7
1日あたり事業系ごみ排出量(対策後)		t/日	3.2	3.3	3.2	3.1	3.1	3.3	3.3
事業系ごみの割合		%	22.2	22.8	22.8	23.0	23.7	25.6	26.1

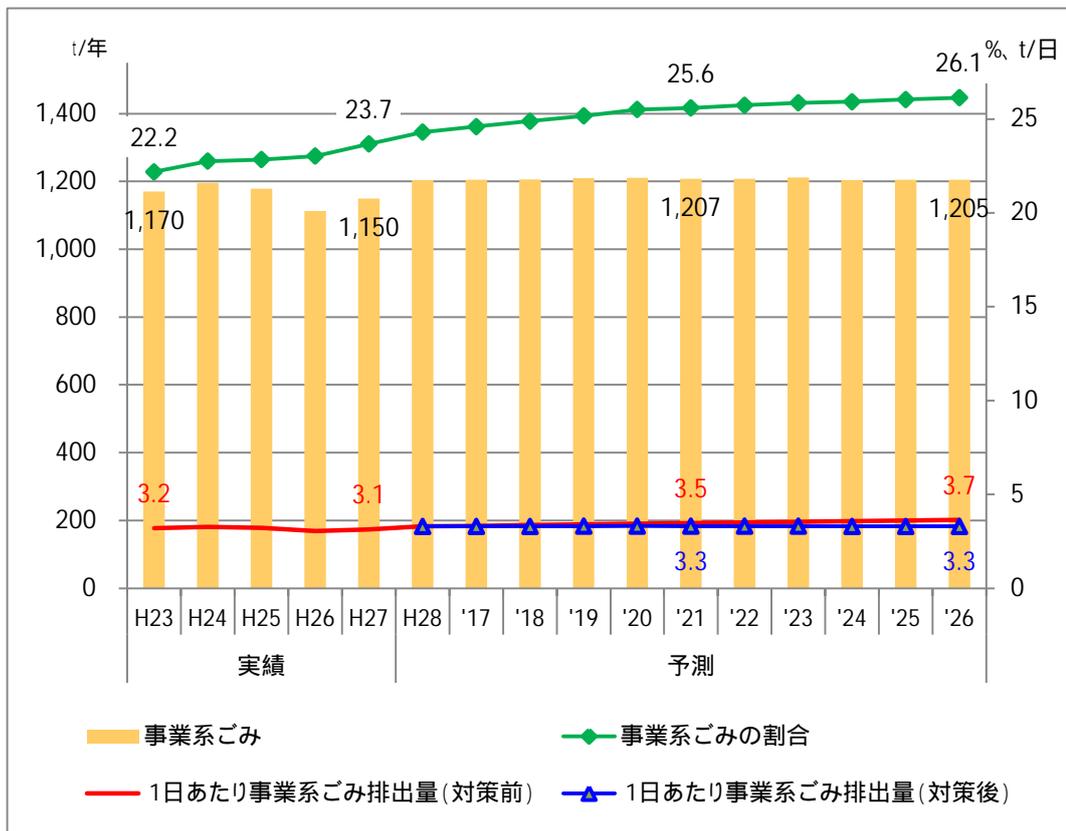


図4-8 事業系ごみ排出量の実績と予測

## 5. ごみ処理に関する基本的事項

### (1) ごみ処理フロー

目標年度（平成 38（2026）年度）におけるごみ処理フローは、図 4-9 に示すとおりであり、資源物として剪定枝と雑がみを追加します。

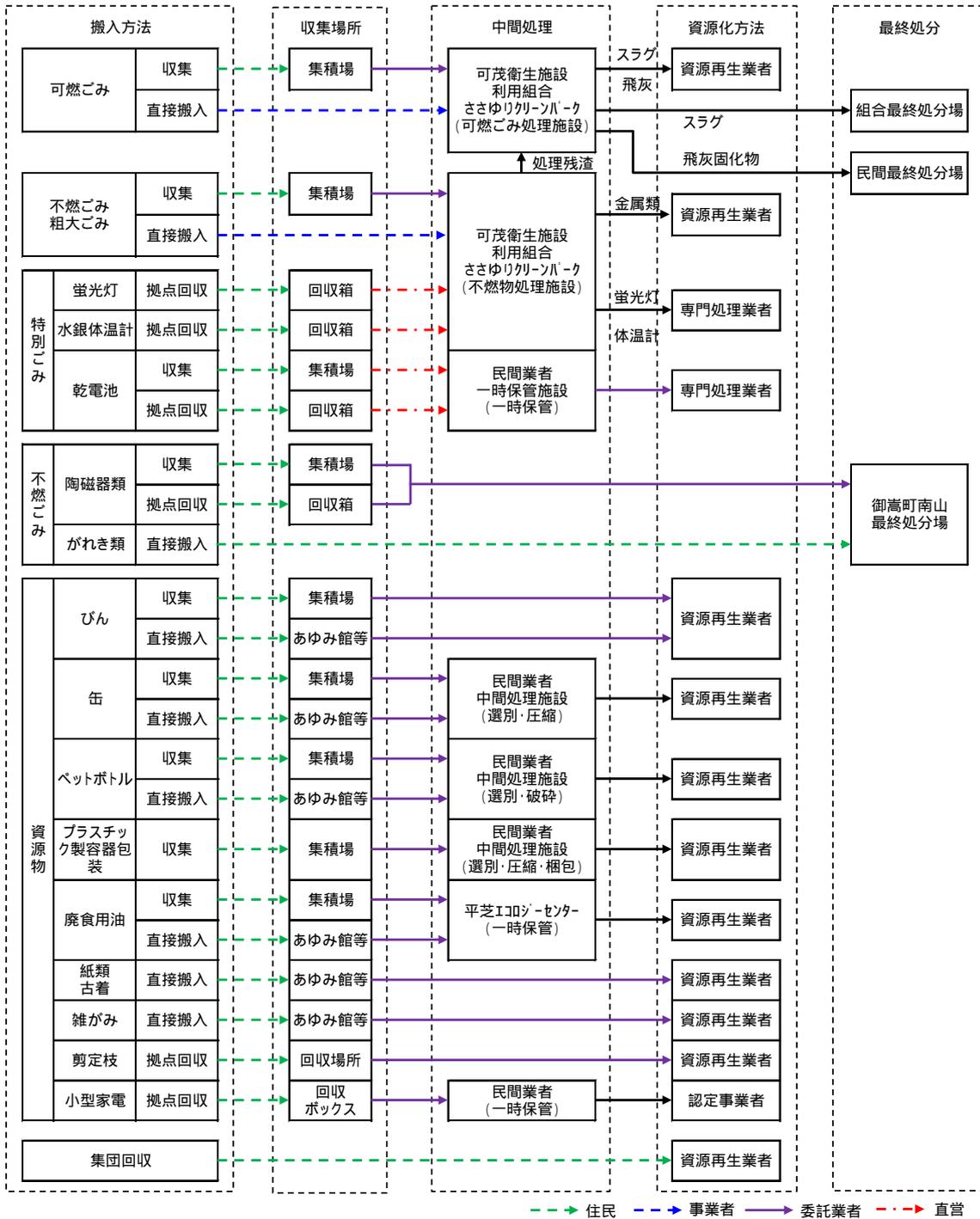


図 4-9 ごみ処理フロー（2026 年度）

(2) 収集運搬計画

収集形態・収集回数

平成 38 (2026) 年度における生活系ごみの収集・運搬体制は、表 4-13 に示すとおりです。なお、事業系ごみの収集・運搬は、現状と同様に事業者自ら行います。

表 4-13 収集・運搬体制 (2026 年度)

ごみの種類		収集形態	収集方法	収集回数	収集容器
可燃ごみ	金物類・ガラス類	委託	ステーション	週 2 回	指定袋
				月 1 回	
	陶磁器類	委託	ステーション	年 2 回	
不燃ごみ	陶磁器類	直営	拠点回収	随時	指定シール
				粗大ごみ	
粗大ごみ		直営	戸別収集	週 1 回	指定シール
				特別ごみ	
特別ごみ	乾電池	ステーション	年 2 回	コンテナ	
			拠点回収		随時
資源物	びん	委託	ステーション	月 1 回	コンテナ
	缶				コンテナ
	ペットボトル				コンテナ
	廃食用油			-	
	プラスチック製容器包装			月 2 回	指定袋
	剪定枝			拠点回収	随時
	小型家電		回収ボックス		

排出禁止物

ごみの適正かつ効率的な処理のため、表 4-14 に示すものをステーション及び回収場所への排出禁止物とします。

表 4-14 排出禁止物

項目	内容
適正処理困難物	揮発油 (ガソリン、シンナーなど) 灯油、廃油、花火、火薬類、タイヤ、オートバイ、エンジン、バッテリー、モーター、消火器、塗料、プロパンガス、ボンベ、耐火金庫、ピアノ、農薬、殺虫剤、容器入りの薬品、注射針、点滴用チューブなど
一時多量ごみ	引っ越しなどにより多量に出るごみ、建築廃材、多量の草木類など
事業ごみ	事業活動 (商店、飲食店など) 農業 (農業用機械、育苗箱、農業用ビニールなど) に伴って出るごみ

### 収集・運搬体制

平成 38 (2026) 年度における収集運搬体制は、現状の体制の維持を予定しており、今後も直営による拠点回収と業務委託による収集の併用により、収集・運搬を実施する予定です。

### (3) 中間処理計画

平成 38 (2026) 年度における中間処理体制は、表 4-15 に示すとおりです。現状の処理体制に、剪定枝の資源化体制を追加しています。

表 4-15 中間処理体制 (2026 年度)

ごみの種類		中間処理体制
可燃ごみ		収集後、組合の可燃ごみ処理施設で焼却・溶融処理を行います。
不燃ごみ		収集後、組合の不燃ごみ処理施設で破碎・選別処理を行います。
粗大ごみ		
特別ごみ	蛍光灯・水銀体温計	回収後、組合で一時保管した後、専門の処理業者に引き渡します。
	乾電池	回収後、民間業者の中間処理施設で一時保管した後、専門の処理業者に引き渡します。
資源物	びん	収集後、資源再生業者に引き渡します。
	缶	収集後、民間業者の中間処理施設で選別・圧縮した後、資源再生業者に引き渡します。
	ペットボトル	収集後、民間業者の中間処理施設で選別・破碎した後、資源再生業者に引き渡します。
	廃食用油	収集後、平芝エコロジーセンターで一時保管した後、資源再生業者に引き渡します。
	プラスチック製容器包装	収集後、民間業者の中間処理施設で選別・圧縮・梱包した後、資源再生業者に引き渡します。
	剪定枝	回収後、資源再生業者に引き渡します。
	紙類・古着	回収後、資源再生業者に引き渡します。
	小型家電	回収後、民間業者の中間処理施設で一時保管した後、認定事業者に引き渡します。

#### (4) 最終処分計画

本町の所有する御嵩町南山一般廃棄物最終処分場は、平成 22 (2010) 年度に供用を開始しており、平成 71 (2059) 年度までの埋立期間を有しています。

今後も定期的な最終処分場の残余容量把握や水質検査を実施することで、適切な維持管理を行います。

#### 6. ごみ処理施設整備に関する事項

組合の所有するささゆりクリーンパーク最終処分場は、平成 34 (2022) 年に第 2 期最終処分場の埋立を終了し、平成 35 (2023) 年から第 3 期最終処分場の供用を開始する予定です。

#### 7. その他ごみ処理に関し必要な事項

##### (1) 災害対策

本町の災害時における廃棄物処理は、御嵩町災害廃棄物処理計画(平成 20 年策定・平成 23 年一部改訂)に基づき実施します。

また、災害廃棄物処理計画は適宜見直しを行います。

##### (2) 不適正排出・不法投棄対策

不適正排出・不法投棄は生活環境や自然環境に大きな影響を及ぼすため、本計画の着実な実施を図るためにも、不法投棄に係る取り組みを強力に進めていきます。

表 4-16 不法投棄に関する取り組み

項目	内容
啓発の推進	住民や事業者に、広報など様々な機会を通じてごみの適正な処理方法を周知します
監視体制の強化	不法投棄の多い場所に対し、重点的なパトロールの実施や、監視カメラの設置などを検討し、不法投棄されにくい環境づくりを進めます。
投棄者への対応	投棄者が判明した場合には、投棄者自身に処理させるなど厳しく指導します。また、投棄者の調査や処罰については警察と連携して厳格に対処します。
持ち去り防止への対応	本町では、御嵩町廃棄物の処理及び清掃に関する条例に基づき、生活系廃棄物の持ち去り行為を禁止しています。さらに持ち去り防止を強化する手法について、他自治体の事例などを調査・研究します。

## 第5章 生活排水処理の現状

### 1. 生活排水処理の沿革

生活排水処理に係る処理施設には、集合処理施設（下水道、農業集落排水施設等）及び個別処理施設（浄化槽等）があります。

本町の下水道は、平成2（1990）年より汚水施設整備を中心に事業を進めてきましたが、ここ数年は、国の公共事業予算の財源節約や、これまでの建設投資に要した費用の元利償還が増大してきたことから、新たな地方債の発行を抑制するため、その整備規模を縮小して事業を進めています。

各家庭の早期の水洗化を促進するため、「御嵩町水洗便所等改造資金融資あっせん及び利子補給規則」を定めて、必要な工事資金の融資あっ旋及びその借入に係る利子の全部を補助（利子補給）し、接続率向上に努めています。

合併処理浄化槽の設置については、平成9（1997）年6月に国が単独処理浄化槽の廃止対策の推進を都道府県に通知したことを受け、以降、新設時には合併処理浄化槽の設置が義務付けられました。既設の単独処理浄化槽については、平成13（2001）年4月の浄化槽法改正後においても浄化槽法上の浄化槽とみなすものとされていますが、既設の単独処理浄化槽を使用するものは、原則として合併処理浄化槽への設置替えまたは構造変更を努めなければならないこととされています。本町においては、下水道未整備地域での合併処理浄化槽の設置を推進しています。

本町のし尿の収集・運搬については、本町が許可した業者が行っています。

### 2. 生活排水の処理主体

本町における生活排水の処理主体は、表5-1に示すとおりです。

なお、下水道の種別は、流域関連公共下水道（木曽川右岸処理区）です。

表5-1 生活排水の処理主体

処理施設の種類	対象となる生活排水	処理主体
流域関連公共下水道 （流域下水道に接続）	し尿、生活雑排水	御嵩町 （流域下水道は岐阜県）
合併処理浄化槽	し尿、生活雑排水	個人など
単独処理浄化槽	し尿	個人など
し尿処理施設	し尿、浄化槽汚泥	可茂衛生施設利用組合

### 3. 処理体系

本町における生活排水の処理フローは、図 5-1 に示すとおりです。

生活排水のうち、し尿と生活雑排水を合わせて処理をしている施設は、面整備型の集合処理施設として、国道 21 号沿いに広がった住宅地等を対象にした流域関連公共下水道と、個別処理施設として家庭や団地等の敷地内に設置した合併処理浄化槽があります。

これらの施設で処理している人口は約 73%で、残りは生活雑排水を未処理のまま河川等に排出しています。

合併処理浄化槽及び単独処理浄化槽から発生した浄化槽汚泥とくみ取り便槽のし尿は、組合の汚泥再生処理施設「緑ヶ丘クリーンセンター」で処理され、発生する汚泥は内燃式炭化装置により炭化肥料として資源化されています。

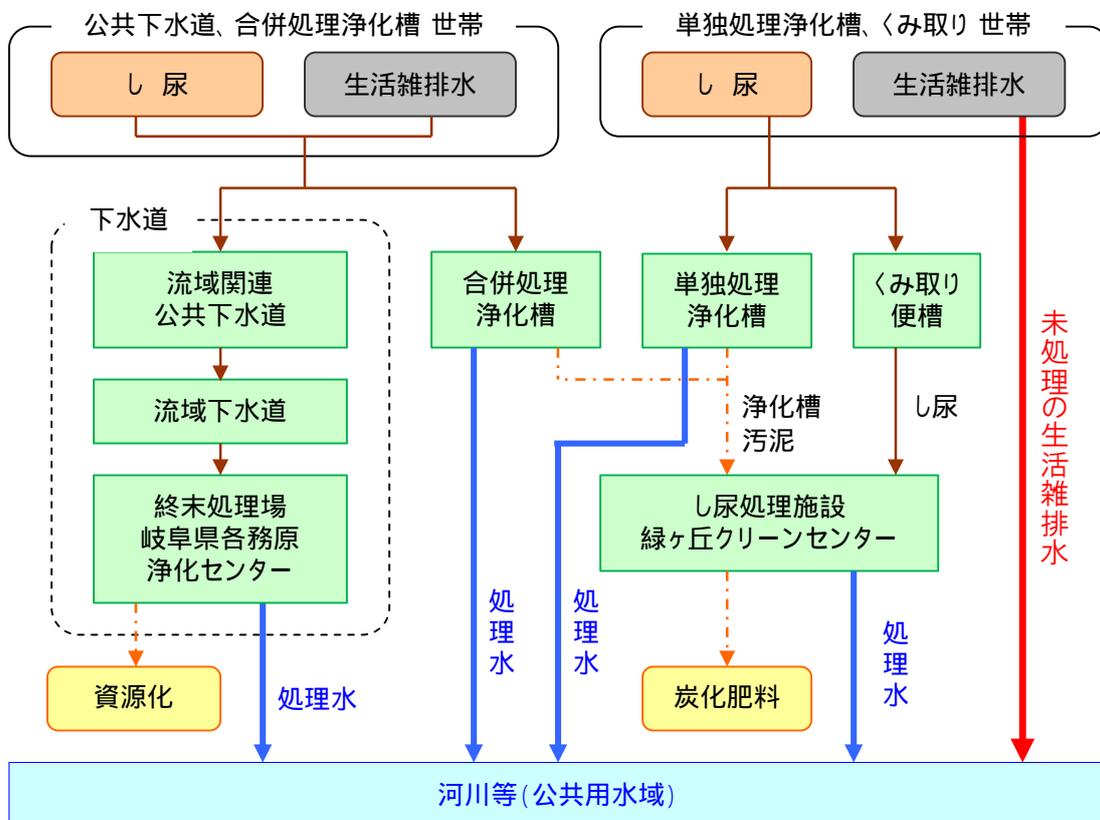


図 5-1 生活排水処理の流れ

#### 4. 生活排水処理形態別人口の推移

本町における過去5年間の生活排水処理形態別人口の推移は、表5-2及び図5-2に示すとおりです。

平成27(2015)年度における本町の生活排水処理率は、73.4%です。

表5-2 処理形態別人口の推移

区分	単位	実績				
		H23	H24	H25	H26	H27
計画処理区域内人口	人	18,909	19,124	18,922	18,856	18,718
水洗化・生活雑排水処理人口	人	14,373	14,647	13,706	13,786	13,743
公共下水道人口	人	10,935	11,268	10,373	10,433	10,428
合併処理浄化槽人口	人	3,438	3,379	3,333	3,353	3,315
水洗化・生活雑排水未処理人口	人	1,434	1,250	1,221	1,169	1,114
単独処理浄化槽人口	人	1,434	1,250	1,221	1,169	1,114
非水洗化人口	人	3,102	3,227	3,995	3,901	3,861
し尿人口(くみ取り)	人	3,102	3,227	3,995	3,901	3,861
自家処理人口	人	0	0	0	0	0
生活排水処理率	%	76.0	76.6	72.4	73.1	73.4
世帯数	戸	6,943	7,007	7,096	7,158	7,160
1世帯当たり的人数	人/戸	2.7	2.7	2.7	2.6	2.6

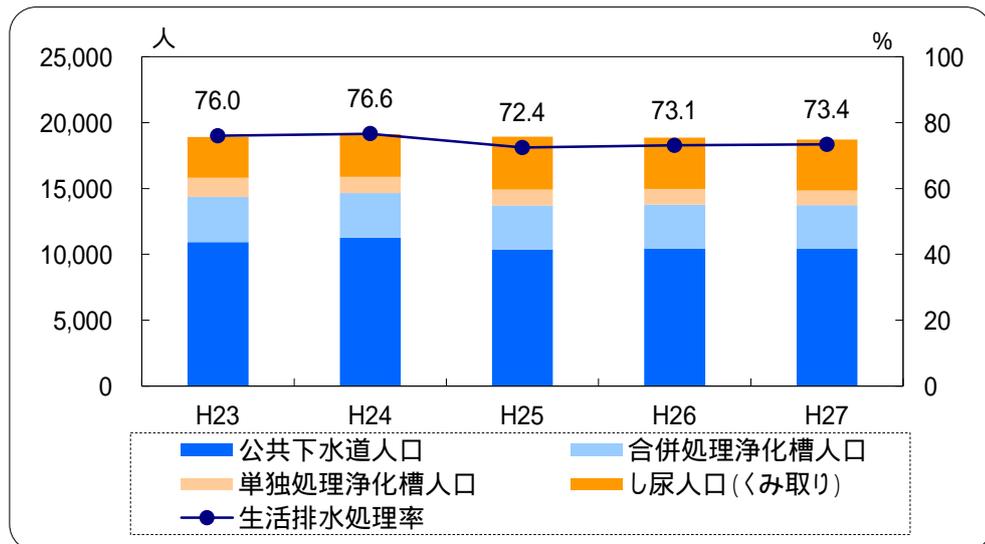


図5-2 処理形態別人口の推移

$$\text{生活排水処理率} = \text{水洗化・生活雑排水人口} \div \text{計画処理区域内人口} \times 100$$

## 5. し尿及び汚泥の発生状況

本町における過去5年間のし尿及び浄化槽汚泥発生量の推移は、表5-3及び図5-3に示すとおりです。

浄化槽人口及びし尿人口の減少に伴い、し尿及び浄化槽汚泥発生量も減少しています。

表5-3 し尿及び浄化槽汚泥発生量の推移

区分		単位	実績				
			H23	H24	H25	H26	H27
発生量	し尿	kL/年	2,070	1,788	1,701	1,620	1,505
	浄化槽汚泥	kL/年	4,233	4,090	3,935	3,861	3,793
	合計	kL/年	6,303	5,878	5,636	5,481	5,298
	1日平均排出量	kL/日	17.2	16.1	15.4	15.0	14.5

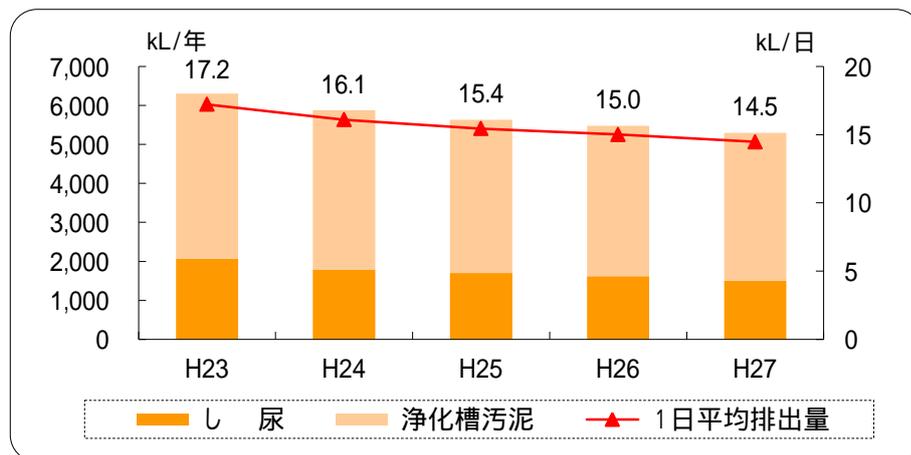


図5-3 し尿及び浄化槽汚泥発生量の推移

## 6. 収集・運搬

本町における収集運搬体制は、表5-4に示すとおりです。

表5-4 し尿及び汚泥発生量の推移

区分	収集運搬	業者数	収集回数	収集方法
し尿	許可業者	1社	月2回	バキューム式収集運搬車による個別収集方式
浄化槽汚泥	許可業者	1社	年1回以上	バキューム式収集運搬車及び汚泥濃縮車による個別収集方式

## 7. 生活排水処理施設

### (1) 合併処理浄化槽及び単独処理浄化槽

本町における合併処理浄化槽及び単独処理浄化槽の設置基数は、表 5-5 に示すとおりです。下水道への切り替えが進み単独処理浄化槽設置基数は減少しています。

表 5-5 浄化槽設置基数の推移

区 分	単位	実 績				
		H23	H24	H25	H26	H27
浄化槽設置基数	基	1,037	998	991	988	983
合併処理浄化槽基数	基	531	539	538	549	557
単独処理浄化槽基数	基	506	459	453	439	426

### (2) 下水道

本町における下水道計画の概要及び木曽川右岸流域下水道各務原浄化センターの概要は、表 5-6 及び表 5-7 に示すとおりです。

表 5-6 公共下水道の概要

事業主体		御嵩町	
下水道種別		流域関連公共	
処理区名		木曽川右岸処理区	
都市計画決定年月日	当初	平成 2 年 10 月 16 日	
	最終	平成 19 年 10 月 19 日	
下水道法第 4 条第 2 項に基づく協議終了日	当初	平成 2 年 12 月 11 日	
	最終	平成 28 年 2 月 26 日	
都市計画法第 63 条第 1 項認可	当初	平成 2 年 12 月 18 日	
	最終	平成 28 年 3 月 18 日	
		全体計画	事業認可
処理区域面積 (ha)		935.0	654.9
計画処理人口 (人)		16,800	14,458
基礎家庭汚水量 (L/人・日平均)		270	270
計画工場排水量 (m <sup>3</sup> /日平均)		838	164
計画汚水量 (m <sup>3</sup> /日)	日平均	6,568	4,642
	日最大	8,085	5,828
	時間最大	12,043	8,430
下水道着手年月		平成 2 年 12 月	
処理開始年月		平成 8 年 3 月 31 日	

表 5-7 流域関連公共下水道の概要

項目	内容		
	全体計画	事業認可	
計画処理区域面積	16,773ha	13,251ha	
計画処理人口	466,200 人	433,510 人	
浄化センター	名称	各務原浄化センター	
	所在地	各務原市前渡西町 1521 番地	
	面積	約 37 ha	
	処理方式	標準活性汚泥法・嫌気好気法・嫌気無酸素好気法・ステップ流入式多段硝化脱窒法	
	処理能力	242,000 m <sup>3</sup> /日	235,000 m <sup>3</sup> /日
	放流先河川	木曽川、境川（長良川）	
管渠	幹線管渠	内径 250～2,600mm 約 78km	
	ポンプ場	長森・岐南・兼山・川島	
	放流管渠	内径 400～1,500mm 約 9km	
計画年次	平成 37 年度	平成 32 年度	

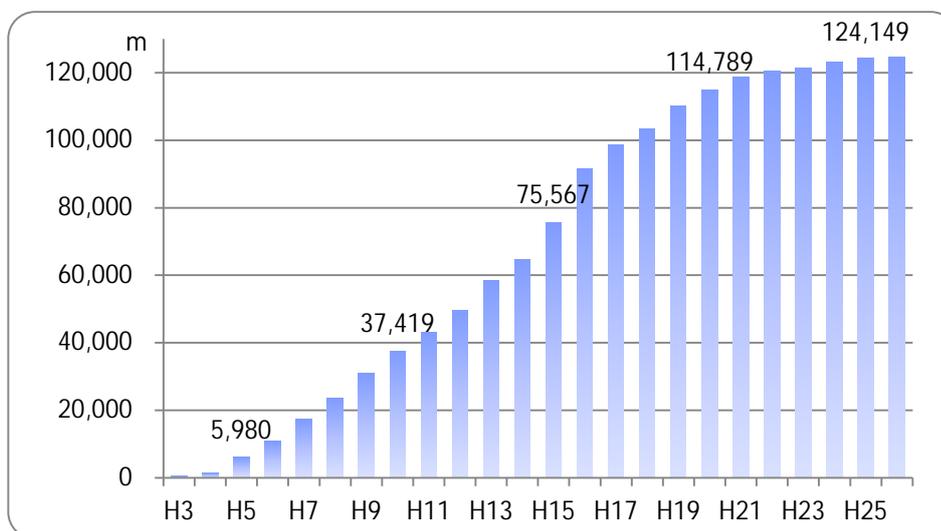


図 5-4 公共下水道管路総延長の推移

(3) し尿処理施設

本町におけるし尿及び浄化槽汚泥は、可茂衛生施設利用組合「緑ヶ丘クリーンセンター汚泥再生処理施設」で処理されています。

緑ヶ丘クリーンセンターの概要及び処理実績は、表 5-8 及び図 5-5 に示すとおりであり、くみ取り世帯の減少に伴い浄化槽汚泥混入率は年々増加しており、施設の設計条件である浄化槽汚泥混入率 64%を上回っている状況です。

表 5-8 し尿処理施設の概要

項目	内容
管理主体	可茂衛生施設利用組合
施設名称	緑ヶ丘クリーンセンター汚泥再生処理施設
所在地	美濃加茂市牧野 1912 番地 2
供用開始	平成 16 年 4 月
処理能力	100kL/日 (し尿 36kL/日、浄化槽汚泥 64kL/日)
処理方式	前処理：細目スクリーン+スクリュープレス 水処理：標準脱窒素処理方式 高度処理：凝集沈殿+オゾン+砂ろ過 汚泥処理：多重円盤脱水+乾燥+炭化または焼却 臭気処理：高濃度=生物脱臭 中濃度=アルカリ洗浄+活性炭吸着 低濃度=活性炭吸着
放流先	木曽川

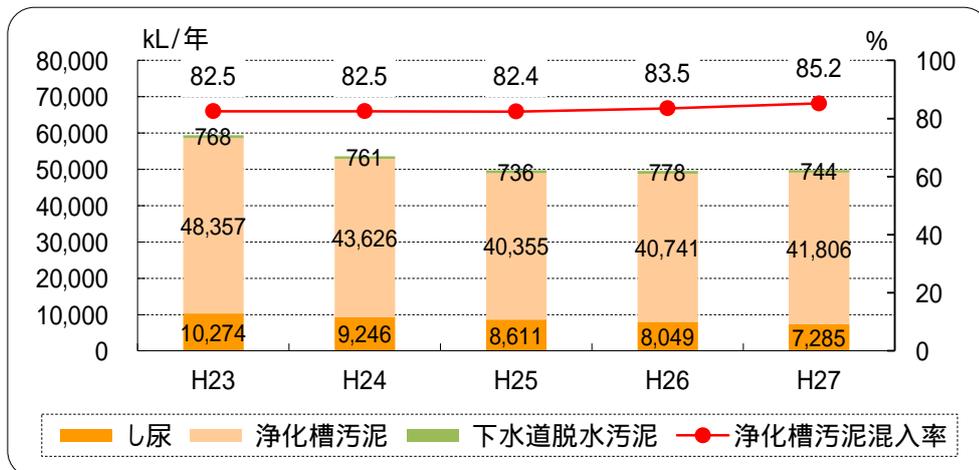


図 5-5 し尿及び浄化槽汚泥処理量の推移

## 8. 生活排水処理事業の課題

本町における生活排水処理の現状を考慮し、生活排水処理事業の課題を整理すると、次のとおりです。

### (1) 生活排水処理率の向上

岐阜県では下水道整備の推進などによる生活排水処理が進められており、生活排水処理率の向上によって、公共用水域の水質保全が図られています。

「平成 26 年度一般廃棄物処理実態調査」(環境省)によると、岐阜県の生活排水処理率は 80.9%でした。

平成 27(2015)年度における本町と平成 26(2014)年度における岐阜県及び全国との生活排水処理形態別人口の比較は、表 5-9 に示すとおりです。

本町はし尿人口(くみ取り)が 2 割以上を占め、約 3 割の生活排水が処理されていないことから、生活排水処理率は岐阜県及び全国の値を下回っています。

引き続き公共下水道の整備と接続率の向上を進めるとともに、下水道整備区域外では合併処理浄化槽への転換を促すことで、生活排水処理率の向上を図る必要があります。

表 5-9 生活排水処理形態別人口の比較

区 分	単 位	御嵩町	岐 阜 県	全 国
計画処理区域内人口	人	18,718	2,045,952	128,181,493
水洗化・生活雑排水処理人口	人	13,743	1,655,451	108,550,116
下水道人口	人	10,428	1,299,704	93,684,668
コミュニティ・プラント人口	人	0	21,830	301,586
合併処理浄化槽人口	人	3,315	333,917	14,563,862
水洗化・生活雑排水未処理人口	人	1,114	287,971	11,821,756
単独処理浄化槽人口	人	1,114	287,971	11,821,756
非水洗化人口	人	3,861	102,530	7,809,621
し尿人口(くみ取り)	人	3,861	102,080	7,726,901
自家処理人口	人	0	450	82,720
生活排水処理率	%	73.4	80.9	84.7

注) 本町の処理形態別人口は、平成 27 年度末の値で比較しています。

## (2) 浄化槽の適正な維持管理

合併処理浄化槽を使用している家庭の一部で、法定検査の受検などの適正な維持管理がなされていない場合があります。

これらについて、引き続き啓発活動などにより適正な維持管理を推進する必要があります。

## (3) 下水道整備

平成 27 年度末における下水道普及率は 66.3%であり、下水道事業計画に基づき整備を進めて行き、下水道整備率の向上を図る必要があります。

公共下水道を整備しても、単独処理浄化槽世帯やくみ取り世帯が下水道に接続しなければ、生活排水処理は向上しません。

本町の下水道接続率は約 84%に達していますが、公共下水道が整備された区域の世帯のうち、まだ下水道に接続していない世帯で生活雑排水の処理がされていない単独処理浄化槽世帯及びくみ取り世帯については、引き続き下水道に接続するように働きかける必要があります。

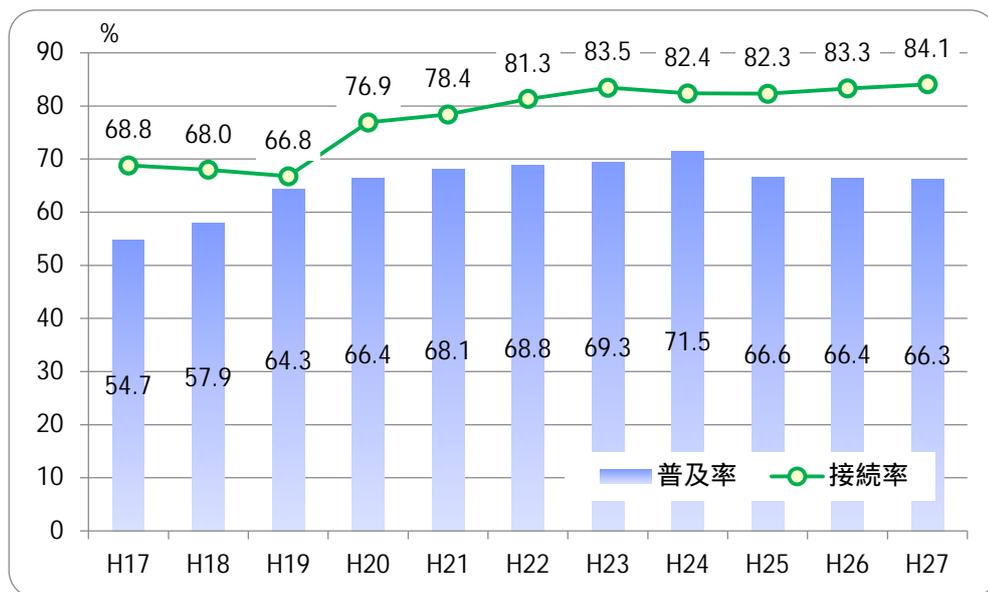


図 5-6 下水道普及率・接続率の推移

## 第6章 生活排水処理基本計画

### 1. 基本理念

本町では平成 19（2007）年度に一般廃棄物処理基本計画（生活排水処理基本計画）を策定し、基本理念「環境について考え行動するまち」のもと「水と水辺をまもる」「環境について自ら責任のある行動を行える人づくり」を基本方針として、生活排水の処理に関する啓発と、生活排水処理施設の整備を進めてきました。

また、本町における生活排水処理に関する計画では、先行して「生活排水対策推進計画（第2次改訂版）・平成26年3月」と「御嵩町下水道中期ビジョン・平成27年3月」を策定しており、本計画（生活排水処理基本計画）と同様に、本町の今後の生活排水処理のあり方を示しています。

このため、生活排水処理として共通の理念を持って実施にあたることを望ましいと考えることから、「生活排水対策推進計画」及び「御嵩町下水道中期ビジョン」で定められている基本理念「ふれあいたくなる川を共に育む 環境のまち みたけ」を本計画の基本理念に踏襲しました。

本計画では、この基本理念を踏まえ、更なる生活排水処理対策を推進し、川に入って遊びたいくなるような水環境の保全を進めていきます。

ふれあいたくなる川を共に育む 環境のまち みたけ

### 2. 生活排水処理の数値目標

現在、岐阜県が策定中の「（仮称）岐阜県汚水処理施設整備構想」に関連し策定した、「御嵩町汚水処理施設整備構想（案）」における本町の平成38（2026）年度における汚水処理普及率（下水道及び合併処理浄化槽が整備済みの人口）は95.4%としています。公共下水道の整備については、次期「御嵩町公共下水道事業計画（平成33年～）」に反映し、整備を進めます。

このことから、本計画の数値目標は汚水処理普及率に下水道接続率を考慮し、平成38（2026）年度の生活排水処理率83%とします。

2026年の生活排水処理率を **83%** にします。

### 3. 目標達成のための取り組み

効率性・経済性を基本とし、早期の汚水処理人口普及率 100%を目指し、下水道による整備を中心としつつ、合併処理浄化槽の特性も活かした整備手法を導入していきます。

#### (1) 下水道の整備

下水道区域における整備の推進

「御嵩町汚水処理施設整備構想(案)」に基づき、下水道整備を行うべき区域については、平成 47(2035)年度の整備完了を目指します。

下水道接続率の上昇

下水道の整備を行っても、単独処理浄化槽やくみ取り便槽から下水道に接続しないと、生活排水は処理されません。

このため、下水道を整備した供用開始後 3 年以内の区域内の方には、接続工事資金の融資あっせんや利子補給の制度により経済的な支援を行い、早期の接続を促します。

#### (2) 合併処理浄化槽への転換

下水道整備区域外のかみ取り世帯及び単独処理浄化槽世帯については、合併処理浄化槽設置整備補助金により、合併処理浄化槽への転換・新規設置に対して補助金を交付することで、合併処理浄化槽への転換を進めます。

#### (3) 浄化槽の適切な維持管理

浄化槽の適切な保守点検、清掃及び検査の啓発活動を、県や関係業者と連携して実施します。

#### 4. 生活排水処理の将来予測

##### (1) 処理形態別人口の将来予測結果

「御嵩町汚水処理施設整備構想(案)」における汚水処理普及率及び下水道接続率を考慮した、処理形態別人口の将来予測は、表 6-1 及び図 6-1 に示すとおりです。

表 6-1 生活排水処理形態別人口の将来予測結果

区 分	単位	実績					予測	
		H23	H24	H25	H26	H27	'21	'26
計画処理区域内人口	人	18,909	19,124	18,922	18,856	18,718	17,670	17,167
水洗化・生活雑排水処理人口	人	14,373	14,647	13,706	13,786	13,743	13,489	14,316
公共下水道人口	人	10,935	11,268	10,373	10,433	10,428	11,479	13,125
合併処理浄化槽人口	人	3,438	3,379	3,333	3,353	3,315	2,010	1,191
水洗化・生活雑排水未処理人口	人	1,434	1,250	1,221	1,169	1,114	936	638
単独処理浄化槽人口	人	1,434	1,250	1,221	1,169	1,114	936	638
非水洗化人口	人	3,102	3,227	3,995	3,901	3,861	3,245	2,213
し尿人口(くみ取り)	人	3,102	3,227	3,995	3,901	3,861	3,245	2,213
自家処理人口	人	0	0	0	0	0	0	0
生活排水処理率	%	76.0	76.6	72.4	73.1	73.4	76.3	83.4

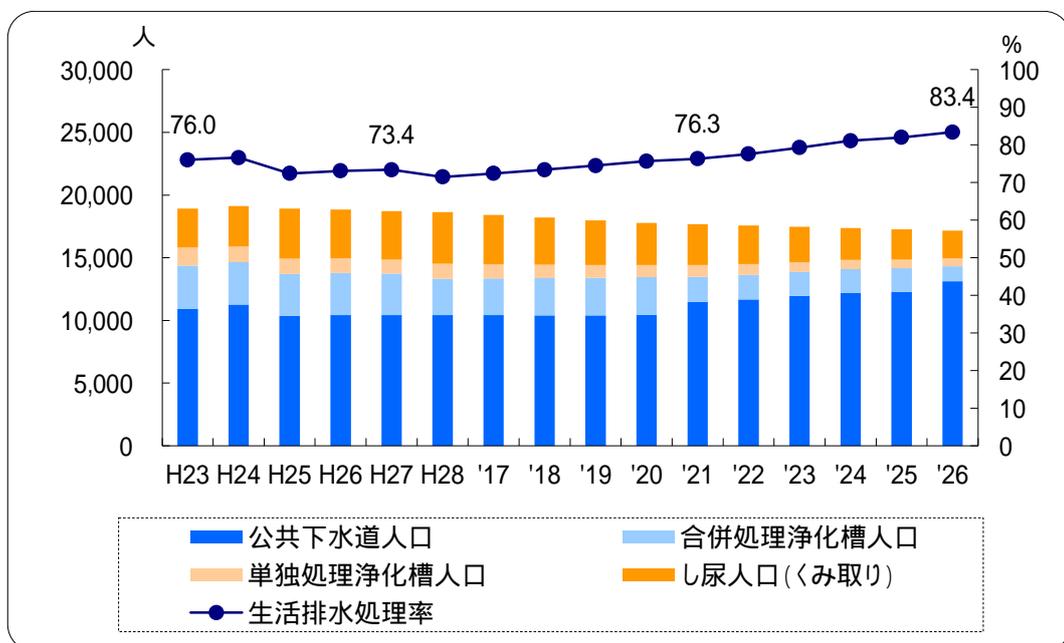


図 6-1 生活排水処理形態別人口の将来予測結果

(2) し尿及び浄化槽汚泥発生量の将来予測結果

し尿及び浄化槽汚泥発生量の将来予測結果は、表 6-2 及び図 6-2 に示すとおりです。くみ取り人口及び浄化槽人口が減少するに従い、し尿及び浄化槽汚泥発生量も減少していきます。

表 6-2 し尿及び浄化槽汚泥発生量の将来予測結果

区分	単位	実績					予測		
		H23	H24	H25	H26	H27	'21	'26	
発生量	し尿	kL/年	2,070	1,788	1,701	1,620	1,505	1,261	860
	浄化槽汚泥	kL/年	4,233	4,090	3,935	3,861	3,793	2,546	1,581
	合計	kL/年	6,303	5,878	5,636	5,481	5,298	3,808	2,441
	1日平均排出量	kL/日	17.2	16.1	15.4	15.0	14.5	10.4	6.7

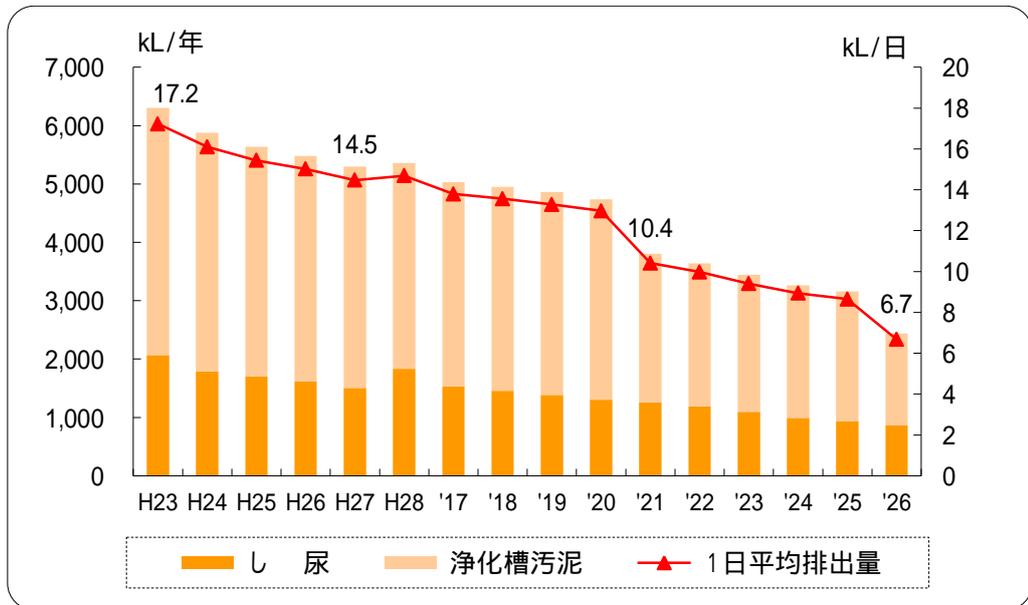


図 6-2 し尿及び浄化槽汚泥発生量の将来予測結果

## 5. し尿及び浄化槽汚泥の処理計画

し尿及び浄化槽汚泥は、現状と同様に組合の緑ヶ丘クリーンセンター汚泥再生処理施設で適正処理を実施していきます。

### (1) 収集・運搬計画

し尿の収集運搬は、一般廃棄物収集運搬業の許可を受けた業者が実施しています。浄化槽の清掃に伴って生じた汚泥の運搬は、浄化槽法に基づく浄化槽清掃業の許可及び一般廃棄物収集運搬業の許可を受けた業者が、一台の業務としてバキューム式汚泥収集車及び汚泥濃縮車で行っています。

今後も、この体制を継続していくとともに、収集対象物の排出量の変化への対応、計画的な収集作業の指導により、より安定的な収集・運搬を行います。

### (2) 中間処理・資源化計画

収集されたし尿及び浄化槽汚泥は、現状と同様に、組合の緑ヶ丘クリーンセンター汚泥再生処理施設で処理を行い、処理過程で発生する汚泥は炭化肥料として資源化します。

## 6. 施設整備計画

下水道整備区域については、平成 28 (2016) 年度に策定した「御嵩町污水处理施設整備構想(案)」を次期「御嵩町公共下水道事業計画(平成 33 年~)」に反映し、平成 47 (2035) 年度の整備完了を目指します。



カワゲラウオッチング

## 7. 広報・啓発活動

生活排水対策を推進していくためには、住民・事業者・行政がそれぞれの役割に応じた取り組みを進める必要があります。

本町では、啓発・情報収集の施策として表 6-3 に示す内容を実施するとともに、表 6-4 に示す内容の広報を今後も継続的に実施していきます。

表 6-3 啓発・情報収集の施策

項目	内容
河川の水質調査	生活環境項目については年4回、健康項目については年2回、可児川本流3ヶ所とその支流7ヶ所で水質調査を実施しています。
河川の水生生物調査 (カワゲラウオッチング)	河川の水質を知るとともに、調査の体験を通じて水質の保全及び浄化の重要性の認識を深めることを目的に、小・中学生及び水質保全体など参加により、水生生物調査を行っています。
県・関係市町との連携	県からは必要に応じて資料の提供を受けるとともに、関係市町とは定期的な会議で情報交換を行っています。

表 6-4 広報の取り組み

項目	内容
広報・回覧	年12回発行の広報や回覧を通じて、生活排水などの記事を掲載し、情報の共有化を図るとともにPRしていきます。
環境学習	地域の子どもたちの環境への関心を高めたり、生涯学習講座などによる環境関連講座の開講により、環境に関する学習の機会を提供していきます。
年次報告書	河川水質調査の結果を、「御嵩町環境汚染総合調査報告書」に掲載し、公表していきます。
生活排水対策指導員	定期的な生活排水対策指導員会議の開催により、河川環境への関心の喚起を促すとともに、情報の提供・PRを行います。

# 資料編 目次

## 資料1 本町の概況

1. 位置と自然環境 .....	81
2. 社会環境 .....	83

## 資料2 ごみ量の将来予測

1. トレンド推計の方法 .....	89
2. 個別予測の結果 .....	90
3. ごみ量の実績及び将来予測 .....	113

## 資料3 生活排水処理の将来予測

1. 生活排水処理形態別人口の予測 .....	130
2. し尿及び汚泥発生量の予測 .....	131

## 資料4 アンケート結果

1. 調査概要 .....	132
2. アンケート結果 .....	133

## 資料5 策定の経緯

1. 策定の経緯 .....	144
2. パブリック・コメント .....	144
3. 廃棄物減量等推進審議会 .....	145
4. 生活排水指導員会議 .....	145

和暦・西暦早見表

平成 18 年	2006 年	平成 25 年	2013 年	平成 32 年	2020 年
平成 19 年	2007 年	平成 26 年	2014 年	平成 33 年	2021 年
平成 20 年	2008 年	平成 27 年	2015 年	平成 34 年	2022 年
平成 21 年	2009 年	平成 28 年	2016 年	平成 35 年	2023 年
平成 22 年	2010 年	平成 29 年	2017 年	平成 36 年	2024 年
平成 23 年	2011 年	平成 30 年	2018 年	平成 37 年	2025 年
平成 24 年	2012 年	平成 31 年	2019 年	平成 38 年	2026 年

# 資料1 本町の概況

## 1. 位置と自然環境

### (1) 位置と地勢

本町は、名古屋市及び県都岐阜市から 35 km 圏域で、可茂地域の南部、岐阜県の中南部に位置し、東は瑞浪市、西は美濃加茂市、可児市、南は土岐市、北は八百津町と接しています。

町域の 59.9%が山林であり、町内の中央を可児川が東西に流れ、北部には木曾川が流れています。西には可茂盆地が広がり、木曾川などにより形成された濃尾平野の末端に位置すると言え、南は緩やかな丘陵地、北は小高い山が連なっています。



図 7-1 御嵩町位置図

(2) 気象

気象の状況は、表7-1及び図7-2に示すとおりであり、平成27年の平均気温は16.0と、太平洋側気候に属して温暖な気候に恵まれています。

表7-1 気象の状況(平成27年)

月	降水量	平均気温	最高気温	最低気温	平均風速
1月	73.0	4.1	14.8	-5.4	1.6
2月	106.5	5.0	18.0	-4.8	1.9
3月	128.5	9.3	21.6	-1.8	2.1
4月	204.5	14.9	26.1	2.3	1.9
5月	157.5	20.0	33.3	9.8	1.8
6月	222.0	22.5	33.4	11.8	1.7
7月	140.5	26.4	35.7	19.9	1.5
8月	119.5	28.0	38.4	20.3	1.7
9月	345.0	24.7	34.4	15.9	1.4
10月	183.5	18.7	29.5	7.1	1.6
11月	96.5	11.4	21.1	1.0	1.6
12月	96.5	6.5	18.4	-1.9	1.6
年間	1,873.5	16.0	38.4	-5.4	1.7

出典：気象庁(美濃加茂地域気象観測所)

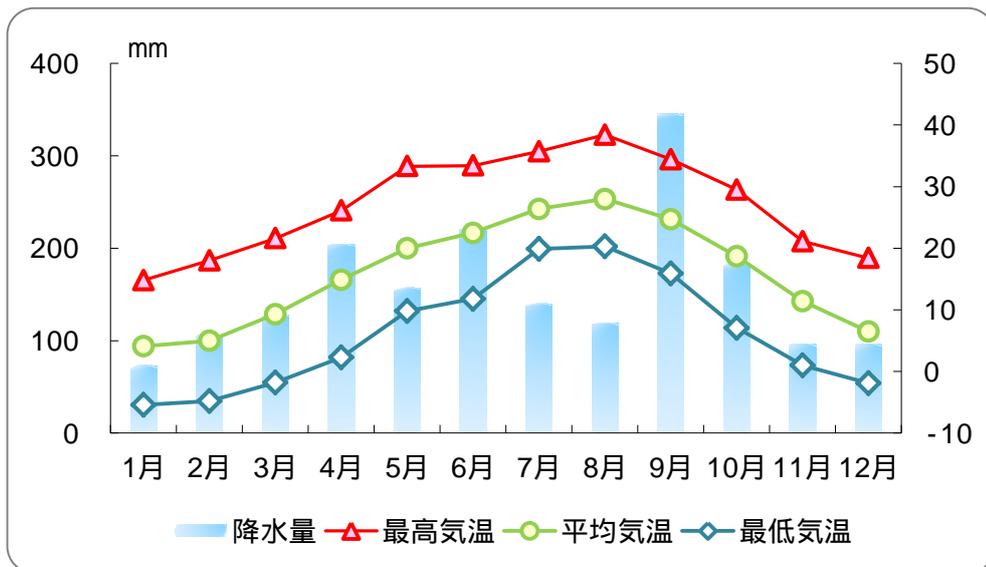


図7-2 気温と降水量(平成27年)

## 2. 社会環境

### (1) 人口

#### 人口及び世帯数

過去10年間の人口及び世帯数の推移は、表7-2及び図7-3に示すとおりです。

人口が緩やかに減少しているのに対し、世帯数は増加しているため、1世帯あたりの人数は減少しています。

表7-2 人口及び世帯数の推移

年度	人口 (人)	世帯数 (世帯)	1世帯当たりの 人口(人)
平成18年度	19,835	6,464	3.07
平成19年度	19,800	6,595	3.00
平成20年度	19,653	6,694	2.94
平成21年度	19,643	6,801	2.89
平成22年度	19,546	6,886	2.84
平成23年度	19,414	6,951	2.79
平成24年度	19,319	6,943	2.78
平成25年度	19,103	7,007	2.73
平成26年度	18,922	7,023	2.69
平成27年度	18,856	7,083	2.66

注) 各年4月1日現在

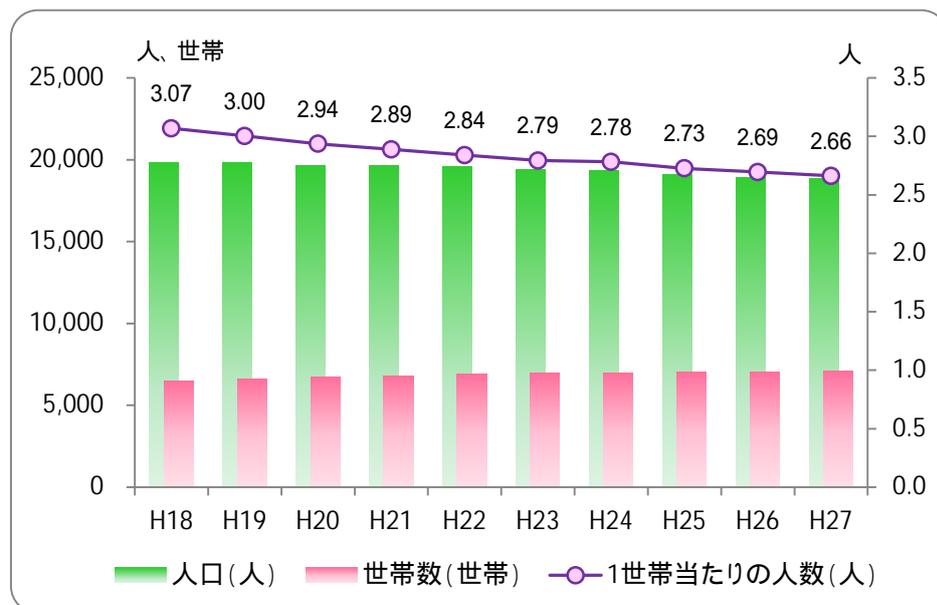
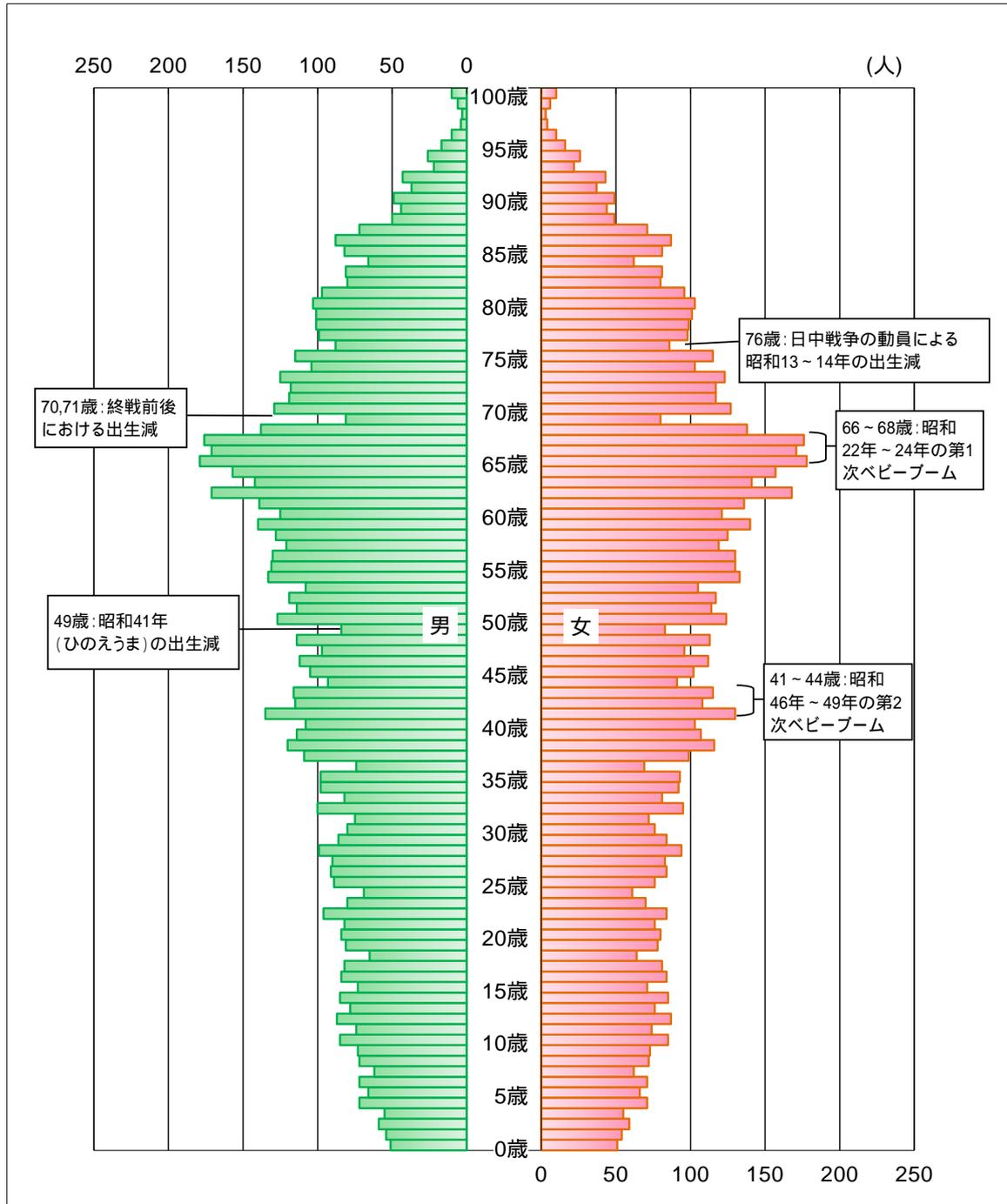


図7-3 人口及び世帯数の推移

### 人口の年齢構成

本町の平成 27 年における人口構成は、図 7-4 に示すとおりです。

若い世代が少なく、中高年層に厚みのある年齢構造であり、団塊世代と団塊ジュニア世代が多い人口構成となっています。



出典：総務省統計課「国勢調査」

図 7-4 人口ピラミッド (平成 27 年)

(2) 土地利用

本町における土地利用の状況は、表7-3及び図7-5に示すとおりです。

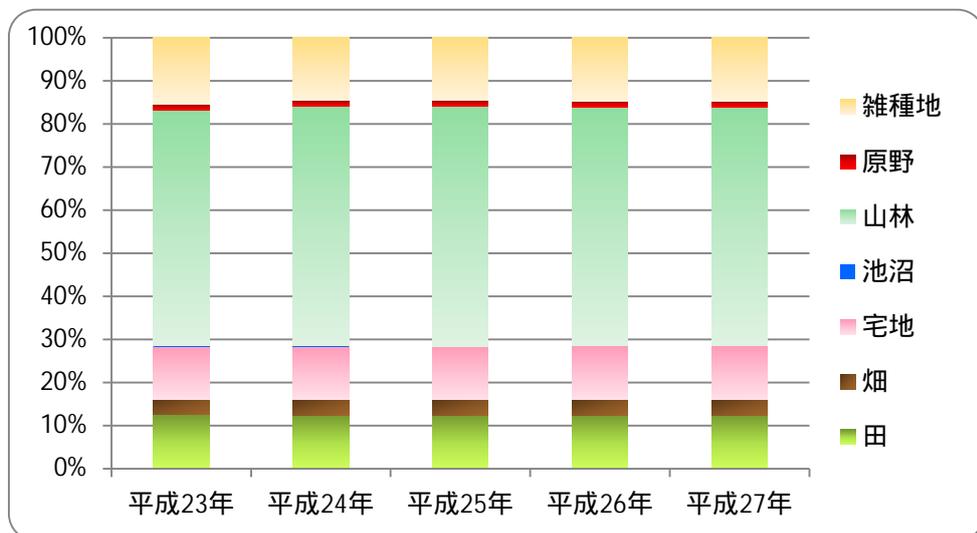
過去5年間で雑種地（ゴルフ場を含む）がやや減少していますが、大きな変化は見られません。

表7-3 土地利用の推移

単位：千m<sup>2</sup>

年	田	畑	宅地	池沼	山林	原野	雑種地	その他	合計
平成23年	4,339	1,258	4,253	41	18,990	444	5,385	21,901	56,610
平成24年	4,325	1,250	4,274	40	19,303	444	5,074	21,900	56,610
平成25年	4,307	1,240	4,294	40	19,320	444	5,079	21,887	56,610
平成26年	4,298	1,238	4,301	40	19,122	444	5,086	22,081	56,610
平成27年	4,290	1,231	4,315	40	19,066	444	5,087	22,136	56,610

出典：御嵩町税務課「概要調書」



注) その他を除く

図7-5 土地利用の推移

### (3) 産 業

#### 産業別就業者人口

本町における産業大分類別人口の推移は、表 7-4 及び図 7-6 に示すとおりです。

産業別就業者人口の割合は、第 1 次・第 2 次産業が減少し、第 3 次産業が増加しています。

表 7-4 産業大分類別人口の推移

単位：人

年度	第1次産業	第2次産業	第3次産業	分類不能	就業人口
平成12年	372	4,456	5,234	0	10,062
平成17年	300	4,096	5,391	43	9,830
平成22年	174	3,732	5,204	348	9,458
岐阜県(H27)	35,700	325,300	635,600	16,700	1,013,500

出典：総務省統計課「国勢調査」

注) 岐阜県の値は平成 27 年速報値、本町の速報値は未発表。

確報値は平成 29 年 4 月予定。

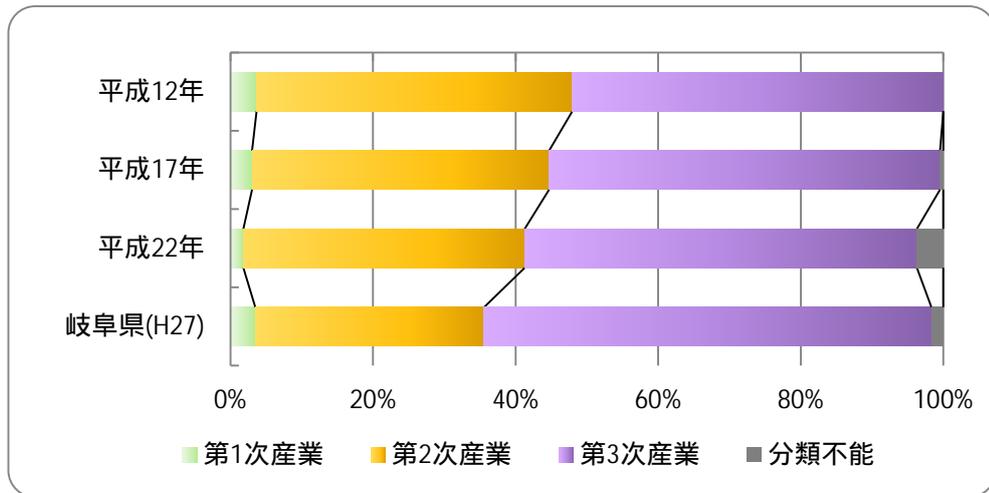


図 7-6 産業大分類別人口の推移

#### 農 業

本町における農業の概要は、表 7-5 及び図 7-7 に示すとおりです。

総農家数は年々減少しており、自給的農家の割合が増えています。

表 7-5 農家数の推移

単位：戸

年	総農家数	専業農家	兼業農家		自給的農家
			第1種	第2種	
平成12年	956	59	20	467	410
平成17年	905	58	9	363	475
平成22年	829	55	15	270	489
平成27年	711	14	24	229	444

出典：農林水産省「農林業センサス」

兼業農家第1種は農業所得を主とする兼業農家、第2種は農業所得を従とする兼業農家

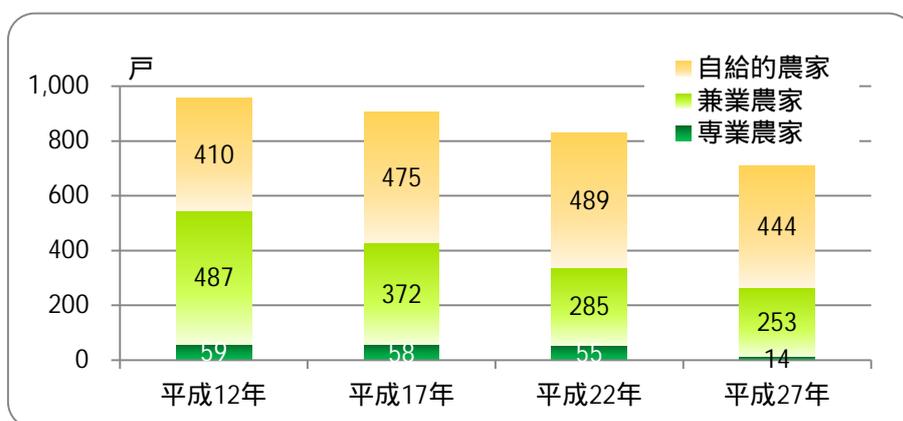


図 7-7 農家数の推移

## 工業

本町における工業の概要は、表 7-6 及び図 7-8 に示すとおりです。

製造業の従業員数及び製造品出荷額は、増加しています。

表 7-6 工業の概要

年	事業所数 (事業所)	従業員数 (人)	製造品出荷額 (百万円)
平成21年	59	3,403	85,759
平成22年	54	3,485	104,929
平成24年	51	3,683	110,589
平成25年	50	3,663	112,315
平成26年	49	3,720	120,264

出典：経済産業省「工業統計調査」

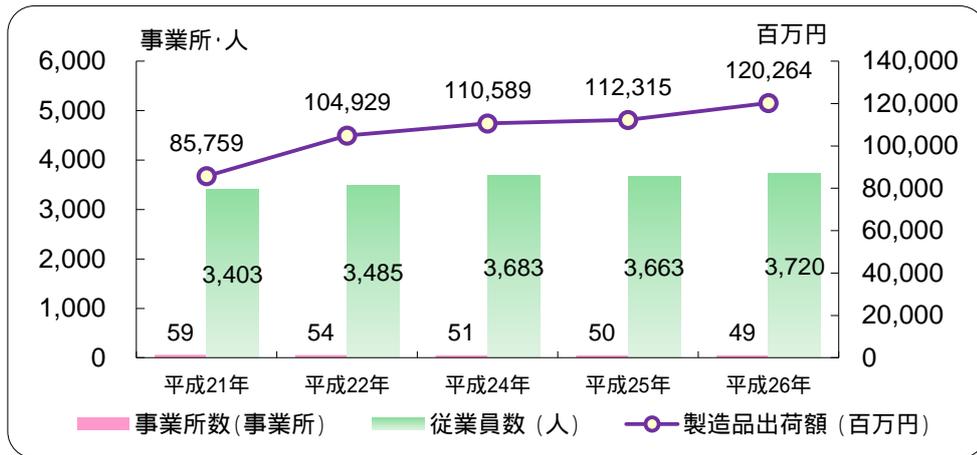


図 7-8 工業の概要

## 商 業

本町における商業の概要は、表 7-7 及び図 7-9 に示すとおりです。

平成 26 年の調査で、従業員数及び小売業の年間商品販売額が大きく増加しています。

表 7-7 商業の概要

年	事業所数 (事業所)	従業員数 (人)	年間商品販売額(百万円)		
			計	卸売業	小売業
平成 9年	197	800	11,916	-	-
平成11年	195	872	11,987	-	-
平成14年	188	873	10,667	-	-
平成16年	165	787	9,836	2,344	7,492
平成19年	155	753	12,375	4,797	7,578
平成26年	143	1,017	16,413	3,200	13,212

出典：経済産業省「商業統計調査」

注) 平成 9～14 年の年間商品販売額は、統計法に基づき秘匿処理されている。

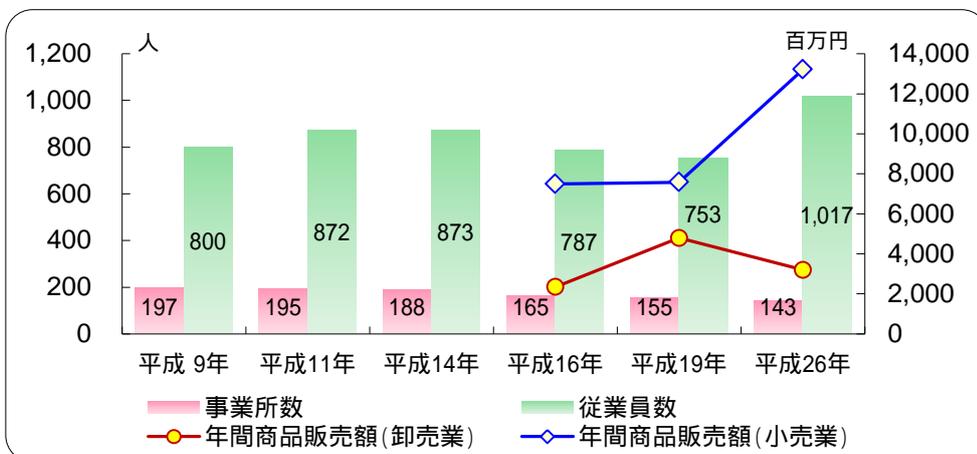


図 7-9 商業の概要

## 資料2 ごみ量の将来予測

### 1. トレンド推計の方法

将来のごみ発生量と処理・処分量の動向を把握するため、過去の実績値からトレンド推計式を用いて、ごみ種別の発生原単位について予測を行いました。

トレンド推計は、過去の実績をグラフにプロットしてその規則性を見出し、さらにその規則性により適合する傾向線を最小二乗法により算出する方法です。

5式の予測式より、5つの推計値が得られます。これらの中から1つの推計値を選定する際に、相関係数が最も高い推計式を採用しましたが、増加や減少の幅が著しく大きいものや減少により値がゼロとなるような、現実性の低いものについては採用を見送りました。また、相関係数が低いものについては、下記の一般値を根拠に、過去の実績との相関が認められないものとして、別途平均値等を用いました。

表 8-1 トレンド推計式

一次傾向式： $y = a + b$	$y$ ：ごみ量
二次傾向式： $y = a + b + c^2$	：経過年数
一次指数式： $y = a \cdot b$	$k$ ：飽和係数
べき乗式： $y = y_0 + a \cdot b$	$a, b, c$ ：係数
ロジスティック式： $y = k \div (1 + e^{(b-a)})$	$y_0$ ：基準年量

#### 【トレンド推計式の説明】

一次傾向式：トレンドを直線に置き換えたときの推計式です。式の $b$ はこの勾配の値で、 $b$ が正符号のとき上昇傾向となり、 $b$ が負符号のとき下降傾向となります。推計値が少なく出る傾向があります。

二次傾向式：トレンドを放物線に置き換えたときの推計式です。徐々に増加又は減少を示す曲線です。

一次指数式：過去のデータの伸びを一定の比率で増加又は減少させる公式です。増加あるいは減少傾向は急激になります。過去のデータが同比率的な傾向のときにあてはめやすい。

べき乗式：過去のデータの伸びを徐々に増加させる公式です。実績値が増加し続ける条件で、最もあてはまりが良い。

ロジスティック式：増加又は減少傾向を加速度的に伸ばした後、徐々に鈍化させ一定の値で飽和に達する推計式です。

相 関 係 数：【 0       $r$       0.2 】：ほとんど相関がない  
 【 0.2     $r$       0.4 】：やや相関がある  
 【 0.4     $r$       0.7 】：かなり相関がある  
 【 0.7     $r$       1      】：強い相関がある

## 2. 個別予測の結果

### (1) 排出先が複数あるごみ

#### 可燃ごみ、不燃・粗大ごみ

収集量と組合への直接搬入量（家庭系）を合算し、1人1日あたりごみ量を算出してトレンド予測を行い、過去5年間の実績の割合で按分しました。

表 8-2 可燃ごみ、不燃ごみ・粗大ごみの割合

ごみ種別	収集	直接搬入
可燃ごみ（家庭系）	99.8%	0.2%
不燃ごみ・金属類（家庭系）	97.4%	2.6%
不燃ごみ・ガラス類（家庭系）	97.2%	2.8%
可燃性粗大ごみ（家庭系）	92.8%	7.2%
不燃性粗大ごみ（家庭系）	91.1%	8.9%

#### 資源ごみ

収集量、あゆみ館回収量、生活学校回収量、集団回収量を合算し、1人1日あたりごみ量を算出してトレンド予測を行い、過去5年間の実績の割合で按分しました。

なお、びん（無色・茶色・その他）及び缶（スチール・アルミ）については、詳細を合算して推計を行い、過去5年間の実績の割合で按分しました。

表 8-3 資源ごみの排出源別比率

ごみ種別	収集	あゆみ館	生活学校	集団回収
びん（無色・茶色・その他）	76.5%	21.3%	2.2%	-
再利用びん	34.3%	19.2%	1.8%	44.7%
缶	46.6%	19.2%	1.6%	32.6%
ペットボトル	80.1%	18.3%	1.6%	-
プラスチック製容器包装	87.7%	11.0%	1.3%	-
廃食油	83.4%	14.2%	2.4%	-
ダンボール	26.3%	13.7%	1.2%	58.8%
新聞	28.4%	8.5%	0.9%	62.2%
雑誌	22.1%	14.5%	1.7%	61.7%
飲料用紙パック	18.2%	21.9%	1.4%	58.5%
紙製容器包装	45.8%	48.1%	6.1%	-
古着類	25.8%	17.0%	2.5%	54.7%

表 8-4 びんの割合

種別	無色	茶色	その他
びん（無色・茶色・その他）	50.7%	36.4%	12.9%

表 8-5 缶の割合

種別	スチール	アルミ
缶（スチール・アルミ）	60.2%	39.8%

(2) 個別のごみ発生量

事業系不燃ごみ・粗大ごみ

金属類、ガラス類、可燃性粗大ごみ、不燃性粗大ごみの組合直接搬入量を合算し、1日あたり排出量を算出してトレンド推計を行い、過去5年間の実績の割合で按分しました。

表 8-6 事業系不燃ごみ・粗大ごみの割合

金属類	ガラス類	可燃性粗大ごみ	不燃性粗大ごみ
0.0%	0.0%	89.6%	10.4%

排出量が少ないごみ

以下の項目は、排出量の実績が少ないためトレンド推計を行わず、過去の平均値を採用しました。

表 8-7 実績値の平均値としたごみ

項目	詳細	排出原単位
資源物	プラスチック製容器包装	10.50 g/人・日
特別ごみ	乾電池	0.64 g/人・日

トレンド推計結果

トレンド推計結果は、表 8-8～表 8-28 に示すとおりです。

表 8-8 可燃ごみ（家庭系）の推計結果

単位: g/人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値	
		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成	18	424.78	-	424.78	-	424.78	-	424.78	-	424.78	-	424.78
	19	408.92	-15.86	408.92	-15.86	408.92	-15.86	408.92	-15.86	408.92	-15.86	408.92
	20	399.57	-9.35	399.57	-9.35	399.57	-9.35	399.57	-9.35	399.57	-9.35	399.57
	21	408.79	9.22	408.79	9.22	408.79	9.22	408.79	9.22	408.79	9.22	408.79
	22	408.17	-0.62	408.17	-0.62	408.17	-0.62	408.17	-0.62	408.17	-0.62	408.17
	23	420.29	12.12	420.29	12.12	420.29	12.12	420.29	12.12	420.29	12.12	420.29
	24	423.53	3.24	423.53	3.24	423.53	3.24	423.53	3.24	423.53	3.24	423.53
	25	427.12	3.59	427.12	3.59	427.12	3.59	427.12	3.59	427.12	3.59	427.12
	26	404.89	-22.23	404.89	-22.23	404.89	-22.23	404.89	-22.23	404.89	-22.23	404.89
	27	390.35	-14.54	390.35	-14.54	390.35	-14.54	390.35	-14.54	390.35	-14.54	390.35
	28	406.84	16.49	396.92	6.57	406.56	16.21	431.61	41.26	421.34	30.99	411.64
	29	405.97	-0.87	390.63	-6.29	405.67	-0.89	431.34	-0.27	421.64	0.30	
	30	405.10	-0.87	383.44	-7.19	404.78	-0.89	431.10	-0.24	421.92	0.28	
	31	404.22	-0.88	375.35	-8.09	403.90	-0.88	430.89	-0.21	422.19	0.27	
	32	403.35	-0.87	366.36	-8.99	403.01	-0.89	430.69	-0.20	422.45	0.26	
	33	402.48	-0.87	356.47	-9.89	402.13	-0.88	430.52	-0.17	422.70	0.25	
	34	401.61	-0.87	345.67	-10.80	401.25	-0.88	430.37	-0.15	422.93	0.23	
	35	400.73	-0.88	333.97	-11.70	400.38	-0.87	430.22	-0.15	423.15	0.22	
	36	399.86	-0.87	321.37	-12.60	399.50	-0.88	430.09	-0.13	423.36	0.21	
	37	398.99	-0.87	307.87	-13.50	398.63	-0.87	429.97	-0.12	423.56	0.20	
	38	398.11	-0.88	293.46	-14.41	397.76	-0.87	429.86	-0.11	423.74	0.18	
	39	397.24	-0.87	278.15	-15.31	396.89	-0.87	429.75	-0.11	423.92	0.18	
	40	396.37	-0.87	261.94	-16.21	396.02	-0.87	429.66	-0.09	424.09	0.17	
	41	395.50	-0.87	244.83	-17.11	395.15	-0.87	429.56	-0.10	424.25	0.16	
	42	394.62	-0.88	226.82	-18.01	394.29	-0.86	429.48	-0.08	424.40	0.15	
	43	393.75	-0.87	207.90	-18.92	393.43	-0.86	429.40	-0.08	424.55	0.15	
採 用												
予 測 式	Yt =	a + bt		a + bt + ct <sup>2</sup>		a · b <sup>t</sup>		Yo + a(t-to) <sup>b</sup>		K / (1 + EXP(a-bt))		
	a =	431.28		206.63		432.26		18.27		-2.78		
	b =	-0.87		19.43		1.00		-0.43		0.05		
	c =			-0.45								
	Yo =							424.78				
	to =							18.00				
	K =									427.20		
r =	0.219858		0.361700		0.218641		0.362854		-0.031349			

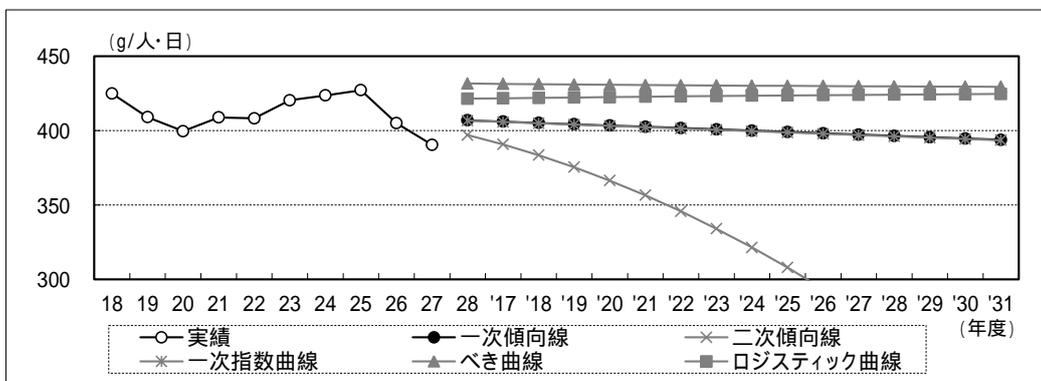


表 8-9 不燃ごみ・金属類（家庭系）の推計結果

単位: g/人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成 23	4.78	-	4.78	-	4.78	-	4.78	-	4.78	-	4.78
24	8.50	3.72	8.50	3.72	8.50	3.72	8.50	3.72	8.50	3.72	8.50
25	9.93	1.43	9.93	1.43	9.93	1.43	9.93	1.43	9.93	1.43	9.93
26	8.68	-1.25	8.68	-1.25	8.68	-1.25	8.68	-1.25	8.68	-1.25	8.68
27	7.53	-1.15	7.53	-1.15	7.53	-1.15	7.53	-1.15	7.53	-1.15	7.53
28	9.59	2.06	3.38	-4.15	10.12	2.59	8.04	0.51	9.36	1.83	<b>7.88</b>
29	10.16	0.57	-2.26	-5.64	11.11	0.99	7.94	-0.10	9.50	0.14	
30	10.72	0.56	-9.68	-7.42	12.19	1.08	7.85	-0.09	9.61	0.11	
31	11.29	0.57	-18.87	-9.19	13.38	1.19	7.78	-0.07	9.69	0.08	
32	11.86	0.57	-29.84	-10.97	14.69	1.31	7.71	-0.07	9.76	0.07	
33	12.43	0.57	-42.57	-12.73	16.12	1.43	7.66	-0.05	9.81	0.05	
34	13.00	0.57	-57.09	-14.52	17.69	1.57	7.61	-0.05	9.85	0.04	
35	13.56	0.56	-73.38	-16.29	19.41	1.72	7.56	-0.05	9.89	0.04	
36	14.13	0.57	-91.44	-18.06	21.30	1.89	7.52	-0.04	9.91	0.02	
37	14.70	0.57	-111.27	-19.83	23.38	2.08	7.49	-0.03	9.93	0.02	
38	15.27	0.57	-132.88	-21.61	25.66	2.28	7.45	-0.04	9.95	0.02	
39	15.84	0.57	-156.27	-23.39	28.16	2.50	7.42	-0.03	9.96	0.01	
40	16.40	0.56	-181.43	-25.16	30.90	2.74	7.39	-0.03	9.97	0.01	
41	16.97	0.57	-208.36	-26.93	33.91	3.01	7.37	-0.02	9.98	0.01	
42	17.54	0.57	-237.07	-28.71	37.22	3.31	7.34	-0.03	9.98	0.00	
43	18.11	0.57	-267.55	-30.48	40.84	3.62	7.32	-0.02	9.99	0.01	
採 用											
予 測 式	Yt =	a + bt	a + bt + ct <sup>2</sup>	a · b <sup>t</sup>	Yo + a(t-to) <sup>b</sup>	K / (1 + EXP(a-bt))					
	a =	-6.32	-559.01	0.75	4.38	4.47					
	b =	0.57	44.93	1.10	-0.18	0.26					
	c =		-0.89								
	Yo =				4.78						
	to =				23.00						
	K =					10.00					
r =	0.463268	0.975878	0.411608	-0.800172	0.256429						

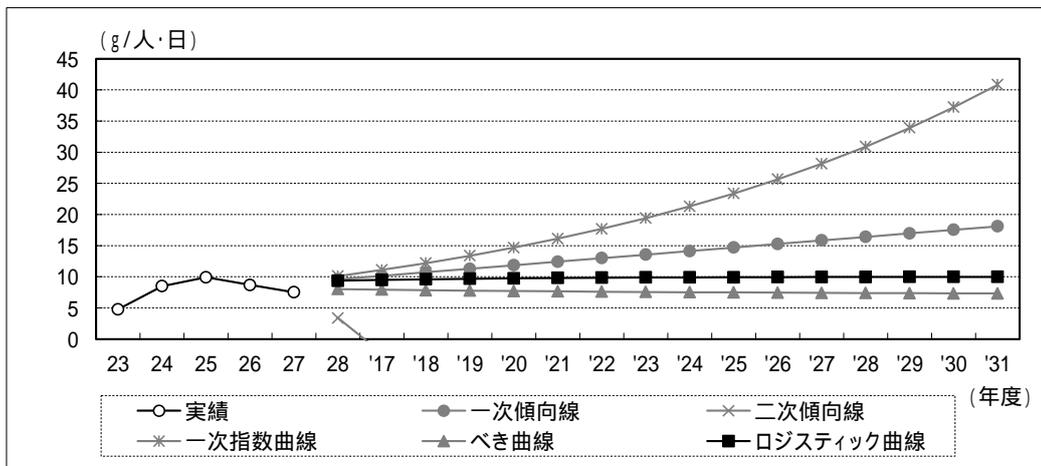


表 8-10 不燃ごみ・ガラス類の推計結果

単位: g/人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成 23	0.18	-	0.18	-	0.18	-	0.18	-	0.18	-	0.18
24	0.18	0.00	0.18	0.00	0.18	0.00	0.18	0.00	0.18	0.00	0.18
25	0.19	0.01	0.19	0.01	0.19	0.01	0.19	0.01	0.19	0.01	0.19
26	0.20	0.01	0.20	0.01	0.20	0.01	0.20	0.01	0.20	0.01	0.20
27	0.21	0.01	0.21	0.01	0.21	0.01	0.21	0.01	0.21	0.01	0.21
28	0.21	0.00	0.22	0.02	0.21	0.01	0.23	0.02	0.21	0.00	0.19
29	0.22	0.01	0.24	0.02	0.22	0.01	0.25	0.02	0.21	0.00	
30	0.23	0.01	0.26	0.02	0.23	0.01	0.27	0.02	0.21	0.00	
31	0.24	0.01	0.29	0.02	0.24	0.01	0.29	0.03	0.21	0.00	
32	0.24	0.01	0.32	0.03	0.25	0.01	0.32	0.03	0.21	0.00	
33	0.25	0.01	0.35	0.03	0.26	0.01	0.36	0.03	0.21	0.00	
34	0.26	0.01	0.38	0.03	0.27	0.01	0.39	0.04	0.21	0.00	
35	0.27	0.01	0.42	0.04	0.28	0.01	0.43	0.04	0.21	0.00	
36	0.27	0.01	0.46	0.04	0.29	0.01	0.47	0.04	0.21	0.00	
37	0.28	0.01	0.50	0.04	0.30	0.01	0.52	0.04	0.21	0.00	
38	0.29	0.01	0.55	0.05	0.31	0.01	0.56	0.05	0.21	0.00	
39	0.29	0.01	0.60	0.05	0.33	0.01	0.61	0.05	0.21	0.00	
40	0.30	0.01	0.65	0.05	0.34	0.01	0.67	0.05	0.21	0.00	
41	0.31	0.01	0.71	0.06	0.35	0.01	0.72	0.06	0.21	0.00	
42	0.32	0.01	0.77	0.06	0.37	0.01	0.78	0.06	0.21	0.00	
43	0.32	0.01	0.83	0.06	0.38	0.01	0.84	0.06	0.21	0.00	
採 用											
予 測 式	Yt =	a + bt		a + bt + ct <sup>2</sup>		a · b <sup>t</sup>		Yo + a(t-to) <sup>b</sup>		K / (1 + EXP(a-bt))	
	a =	0.01		0.98		0.07		0.00		17.04	
	b =	0.01		-0.07		1.04		1.91		0.79	
	c =			0.00							
	Yo =							0.18			
	to =							23.00			
	K =									0.21	
r =	0.963633		0.994901		0.972395		0.994332		0.827657		

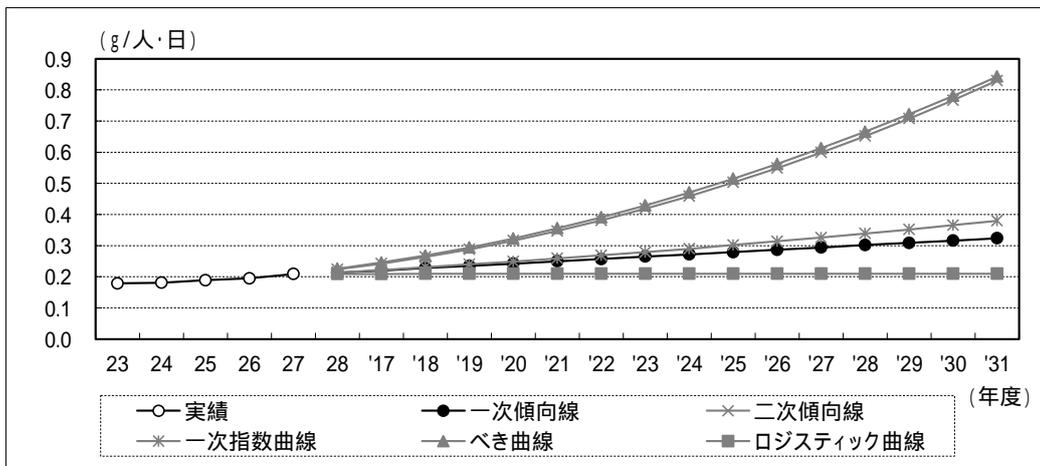


表 8-11 可燃性粗大ごみ（家庭系）の推計結果

単位: g/人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数		
平成 23	6.29	-	6.29	-	6.29	-	6.29	-	6.29	-	6.29
24	5.42	-0.86	5.42	-0.86	5.42	-0.86	5.42	-0.86	5.42	-0.86	5.42
25	5.03	-0.39	5.03	-0.39	5.03	-0.39	5.03	-0.39	5.03	-0.39	5.03
26	4.41	-0.63	4.41	-0.63	4.41	-0.63	4.41	-0.63	4.41	-0.63	4.41
27	5.68	1.27	5.68	1.27	5.68	1.27	5.68	1.27	5.68	1.27	5.68
28	4.70	-0.98	6.71	1.03	4.71	-0.97	7.33	1.65	2.30	-3.38	5.37
29	4.47	-0.22	8.51	1.79	4.52	-0.19	7.33	-0.00	1.03	-1.27	5.37
30	4.25	-0.22	10.88	2.37	4.34	-0.18	7.33	-0.00	0.39	-0.64	5.37
31	4.03	-0.22	13.82	2.95	4.17	-0.17	7.33	-0.00	0.14	-0.25	5.37
32	3.81	-0.22	17.34	3.52	4.00	-0.17	7.33	-0.00	0.05	-0.09	5.37
33	3.58	-0.22	21.44	4.10	3.84	-0.16	7.32	-0.00	0.02	-0.03	5.37
34	3.36	-0.22	26.12	4.68	3.68	-0.15	7.32	-0.00	0.01	-0.01	5.37
35	3.14	-0.22	31.37	5.25	3.53	-0.15	7.32	0.00	0.00	-0.00	5.37
36	2.91	-0.22	37.19	5.83	3.39	-0.14	7.32	-0.00	0.00	-0.00	5.37
37	2.69	-0.22	43.60	6.40	3.26	-0.14	7.32	-0.00	0.00	-0.00	5.37
38	2.47	-0.22	50.58	6.98	3.13	-0.13	7.32	0.00	0.00	0.00	5.37
39	2.25	-0.22	58.13	7.56	3.00	-0.13	7.32	-0.00	0.00	0.00	5.37
40	2.02	-0.22	66.26	8.13	2.88	-0.12	7.32	-0.00	0.00	0.00	5.37
41	1.80	-0.22	74.97	8.71	2.76	-0.12	7.32	0.00	0.00	0.00	5.37
42	1.58	-0.22	84.25	9.28	2.65	-0.11	7.32	-0.00	0.00	0.00	5.37
43	1.35	-0.22	94.11	9.86	2.55	-0.11	7.32	0.00	0.00	0.00	5.37
採 用											
予 測 式	$Y_t =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0 + a(t-t_0)^b$	$K / (1 + \text{EXP}(a-bt))$					
	a =	10.94	190.41	14.87	1.06	-29.68					
	b =	-0.22	-14.63	0.96	-0.01	-1.08					
	c =		0.29								
	$Y_0 =$				6.29						
	$t_0 =$				23.00						
	K =					6.29					
r =	0.501150	0.915759	0.517452	0.035003	0.131887						

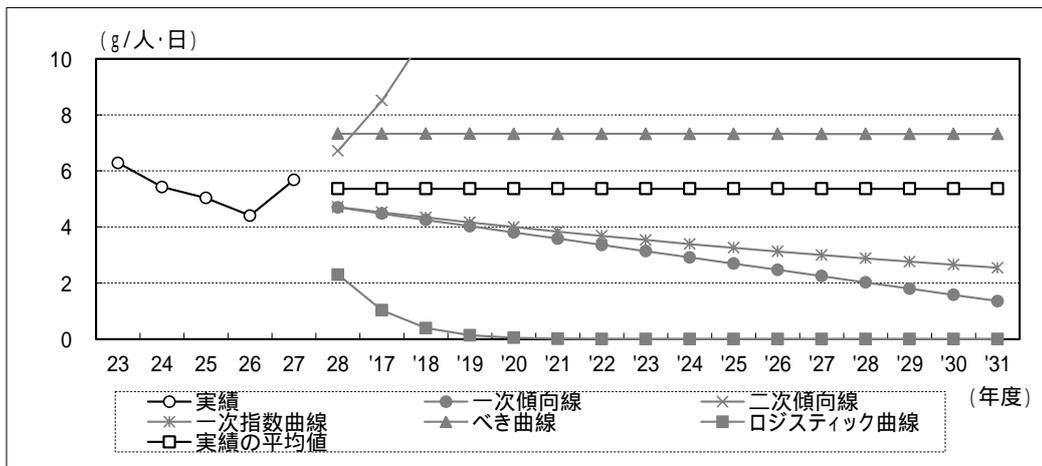


表 8-12 不燃性粗大ごみ（家庭系）の推計結果

単位: g/人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数	
平成 23	1.58	-	1.58	-	1.58	-	1.58	-	1.58	-	1.58
24	1.75	0.18	1.75	0.18	1.75	0.18	1.75	0.18	1.75	0.18	1.75
25	2.04	0.29	2.04	0.29	2.04	0.29	2.04	0.29	2.04	0.29	2.04
26	1.82	-0.21	1.82	-0.21	1.82	-0.21	1.82	-0.21	1.82	-0.21	1.82
27	1.69	-0.13	1.69	-0.13	1.69	-0.13	1.69	-0.13	1.69	-0.13	1.69
28	1.87	0.18	1.31	-0.38	1.87	0.18	1.76	0.07	1.94	0.25	<b>1.78</b>
29	1.90	0.03	0.79	-0.53	1.90	0.03	1.75	-0.01	1.95	0.01	
30	1.93	0.03	0.10	-0.69	1.94	0.04	1.75	-0.01	1.96	0.01	
31	1.96	0.03	-0.74	-0.84	1.98	0.04	1.74	-0.01	1.97	0.01	
32	1.99	0.03	-1.75	-1.00	2.01	0.04	1.74	-0.00	1.97	0.01	
33	2.02	0.03	-2.91	-1.16	2.05	0.04	1.73	-0.00	1.98	0.01	
34	2.05	0.03	-4.23	-1.32	2.09	0.04	1.73	-0.00	1.99	0.01	
35	2.08	0.03	-5.71	-1.48	2.13	0.04	1.73	-0.00	1.99	0.01	
36	2.11	0.03	-7.35	-1.64	2.16	0.04	1.73	-0.00	2.00	0.00	
37	2.14	0.03	-9.15	-1.80	2.20	0.04	1.72	-0.00	2.00	0.00	
38	2.17	0.03	-11.10	-1.96	2.24	0.04	1.72	-0.00	2.00	0.00	
39	2.20	0.03	-13.22	-2.12	2.29	0.04	1.72	-0.00	2.01	0.00	
40	2.23	0.03	-15.50	-2.28	2.33	0.04	1.72	-0.00	2.01	0.00	
41	2.26	0.03	-17.93	-2.43	2.37	0.04	1.72	-0.00	2.01	0.00	
42	2.30	0.03	-20.52	-2.59	2.42	0.04	1.71	-0.00	2.02	0.00	
43	2.33	0.03	-23.27	-2.75	2.46	0.04	1.71	-0.00	2.02	0.00	
採用											
予 測 式	Yt =	$a + bt$	$a + bt + ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0 + a(t-t_0)^b$	$K / (1 + \text{EXP}(a-bt))$					
	a =	1.01	-48.52	1.12	0.26	-0.03					
	b =	0.03	4.01	1.02	-0.22	0.10					
	c =		-0.08								
	Y <sub>0</sub> =				1.58						
	t <sub>0</sub> =				23.00						
K =					2.04						
r =	0.280824	0.909918	0.273994	-0.581540	0.047165						

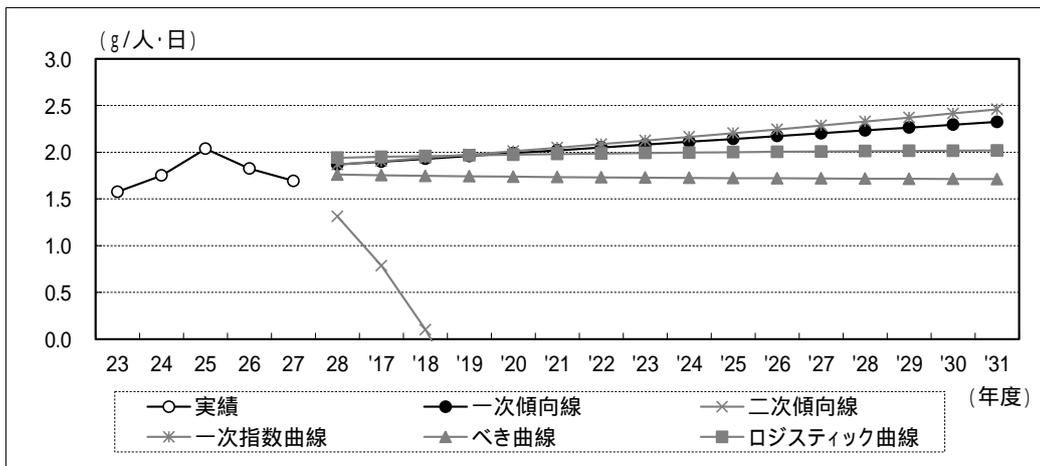


表 8-13 不燃ごみ・陶器類（収集・家庭系）の推計結果

単位: g/人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数	
平成 18	4.37	-	4.37	-	4.37	-	4.37	-	4.37	-	4.37
19	4.36	-0.01	4.36	-0.01	4.36	-0.01	4.36	-0.01	4.36	-0.01	4.36
20	3.47	-0.89	3.47	-0.89	3.47	-0.89	3.47	-0.89	3.47	-0.89	3.47
21	4.46	0.99	4.46	0.99	4.46	0.99	4.46	0.99	4.46	0.99	4.46
22	4.26	-0.20	4.26	-0.20	4.26	-0.20	4.26	-0.20	4.26	-0.20	4.26
23	4.17	-0.09	4.17	-0.09	4.17	-0.09	4.17	-0.09	4.17	-0.09	4.17
24	4.08	-0.09	4.08	-0.09	4.08	-0.09	4.08	-0.09	4.08	-0.09	4.08
25	4.23	0.15	4.23	0.15	4.23	0.15	4.23	0.15	4.23	0.15	4.23
26	4.60	0.37	4.60	0.37	4.60	0.37	4.60	0.37	4.60	0.37	4.60
27	3.65	-0.95	3.65	-0.95	3.65	-0.95	3.65	-0.95	3.65	-0.95	3.65
28	4.09	0.44	4.01	0.36	4.08	0.43	4.81	1.16	3.78	0.13	4.17
29	4.08	-0.01	3.95	-0.06	4.06	-0.02	4.86	0.05	3.69	-0.09	
30	4.06	-0.02	3.88	-0.07	4.05	-0.01	4.91	0.05	3.59	-0.10	
31	4.05	-0.01	3.81	-0.07	4.04	-0.01	4.96	0.05	3.48	-0.11	
32	4.04	-0.01	3.73	-0.08	4.02	-0.02	5.01	0.05	3.36	-0.12	
33	4.02	-0.02	3.64	-0.09	4.01	-0.01	5.05	0.04	3.24	-0.12	
34	4.01	-0.01	3.54	-0.10	4.00	-0.01	5.10	0.05	3.11	-0.13	
35	4.00	-0.01	3.44	-0.10	3.98	-0.02	5.15	0.05	2.97	-0.14	
36	3.98	-0.02	3.32	-0.12	3.97	-0.01	5.20	0.05	2.83	-0.14	
37	3.97	-0.01	3.20	-0.12	3.96	-0.01	5.25	0.05	2.68	-0.15	
38	3.96	-0.01	3.08	-0.12	3.94	-0.02	5.30	0.05	2.53	-0.15	
39	3.94	-0.02	2.94	-0.14	3.93	-0.01	5.35	0.05	2.38	-0.15	
40	3.93	-0.01	2.80	-0.14	3.92	-0.01	5.41	0.06	2.23	-0.15	
41	3.91	-0.02	2.65	-0.15	3.91	-0.01	5.46	0.05	2.08	-0.15	
42	3.90	-0.01	2.49	-0.16	3.89	-0.02	5.51	0.05	1.93	-0.15	
43	3.89	-0.01	2.33	-0.16	3.88	-0.01	5.56	0.05	1.78	-0.15	
採用											
予 測 式	$Y_t =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$		$a \cdot b^t$		$Y_0 + a(t-t_0)^b$		$K / (1 + \text{EXP}(a-bt))$		
	a =	4.47	2.58		4.47		0.04		-5.24		
	b =	-0.01	0.16		1.00		1.08		-0.13		
	c =		-0.00								
	$Y_0 =$						4.37				
	$t_0 =$						18.00				
	K =								4.60		
r =	0.143109	0.118096		0.070610		-0.033442		0.122948			

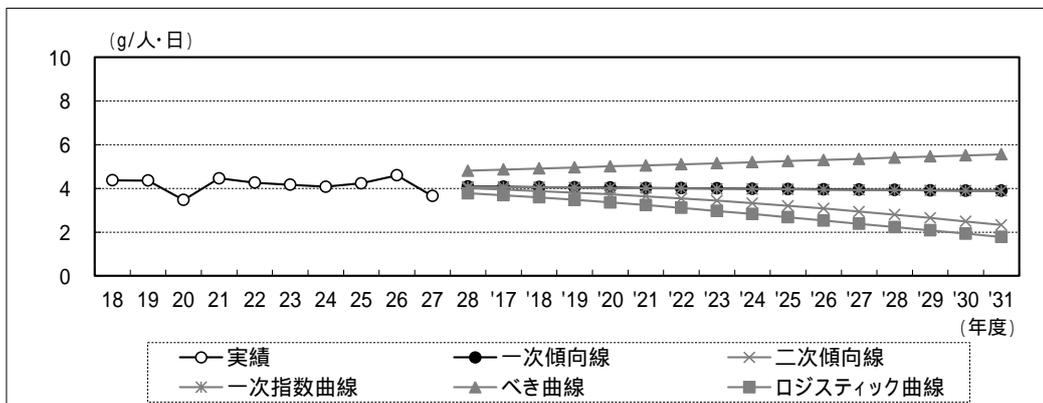


表 8-14 がれき類（直接搬入・家庭系）の推計結果

単位: g/人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値	
		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成	18	2.62	-	2.62	-	2.62	-	2.62	-	2.62	-	2.62
	19	5.11	2.49	5.11	2.49	5.11	2.49	5.11	2.49	5.11	2.49	5.11
	20	3.07	-2.04	3.07	-2.04	3.07	-2.04	3.07	-2.04	3.07	-2.04	3.07
	21	3.98	0.91	3.98	0.91	3.98	0.91	3.98	0.91	3.98	0.91	3.98
	22	3.08	-0.90	3.08	-0.90	3.08	-0.90	3.08	-0.90	3.08	-0.90	3.08
	23	1.97	-1.11	1.97	-1.11	1.97	-1.11	1.97	-1.11	1.97	-1.11	1.97
	24	2.20	0.23	2.20	0.23	2.20	0.23	2.20	0.23	2.20	0.23	2.20
	25	2.44	0.24	2.44	0.24	2.44	0.24	2.44	0.24	2.44	0.24	2.44
	26	6.44	4.00	6.44	4.00	6.44	4.00	6.44	4.00	6.44	4.00	6.44
	27	4.49	-1.95	4.49	-1.95	4.49	-1.95	4.49	-1.95	4.49	-1.95	4.49
	28	4.09	-0.40	5.88	1.39	3.66	-0.83	3.35	-1.14	5.22	0.73	3.54
	29	4.19	0.10	6.96	1.08	3.73	0.07	3.34	-0.01	5.39	0.17	
	30	4.29	0.10	8.20	1.24	3.80	0.07	3.33	-0.01	5.54	0.15	
	31	4.39	0.10	9.61	1.41	3.87	0.07	3.32	-0.01	5.67	0.13	
	32	4.49	0.10	11.17	1.56	3.95	0.08	3.31	-0.01	5.78	0.11	
	33	4.59	0.10	12.90	1.73	4.02	0.07	3.30	-0.01	5.89	0.11	
	34	4.69	0.10	14.80	1.90	4.10	0.08	3.30	0.00	5.98	0.09	
	35	4.79	0.10	16.85	2.05	4.17	0.07	3.29	-0.01	6.05	0.07	
	36	4.89	0.10	19.07	2.22	4.25	0.08	3.28	-0.01	6.12	0.07	
	37	4.99	0.10	21.45	2.38	4.33	0.08	3.28	0.00	6.18	0.06	
	38	5.09	0.10	24.00	2.55	4.42	0.09	3.27	-0.01	6.22	0.04	
	39	5.19	0.10	26.70	2.70	4.50	0.08	3.27	0.00	6.27	0.05	
	40	5.29	0.10	29.57	2.87	4.58	0.08	3.26	-0.01	6.30	0.03	
	41	5.39	0.10	32.61	3.04	4.67	0.09	3.26	0.00	6.33	0.03	
	42	5.49	0.10	35.80	3.19	4.76	0.09	3.25	-0.01	6.36	0.03	
	43	5.59	0.10	39.16	3.36	4.85	0.09	3.25	0.00	6.38	0.02	
採 用												
予 測 式	Yt =	a + bt		a + bt + ct <sup>2</sup>		a · b <sup>t</sup>		Yo + a(t-to) <sup>b</sup>		K / (1 + EXP(a-bt))		
	a =	1.28		41.86		2.17		1.10		3.40		
	b =	0.10		-3.57		1.02		-0.17		0.17		
	c =			0.08								
	Yo =							2.62				
	to =							18.00				
	K =									6.50		
r =	0.210436		0.481845		0.136049		-0.211065		0.162323			

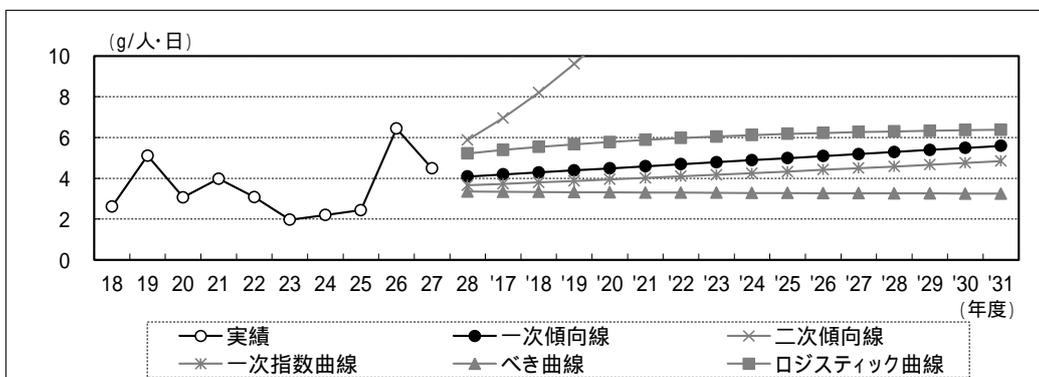


表 8-15 特別ごみ（蛍光灯）の推計結果

単位: g/人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数	
平成 18	0.40	-	0.40	-	0.40	-	0.40	-	0.40	-	0.40
19	0.40	-0.01	0.40	-0.01	0.40	-0.01	0.40	-0.01	0.40	-0.01	0.40
20	0.36	-0.03	0.36	-0.03	0.36	-0.03	0.36	-0.03	0.36	-0.03	0.36
21	0.35	-0.01	0.35	-0.01	0.35	-0.01	0.35	-0.01	0.35	-0.01	0.35
22	0.34	-0.01	0.34	-0.01	0.34	-0.01	0.34	-0.01	0.34	-0.01	0.34
23	0.32	-0.02	0.32	-0.02	0.32	-0.02	0.32	-0.02	0.32	-0.02	0.32
24	0.32	0.00	0.32	0.00	0.32	0.00	0.32	0.00	0.32	0.00	0.32
25	0.35	0.03	0.35	0.03	0.35	0.03	0.35	0.03	0.35	0.03	0.35
26	0.33	-0.02	0.33	-0.02	0.33	-0.02	0.33	-0.02	0.33	-0.02	0.33
27	0.30	-0.03	0.30	-0.03	0.30	-0.03	0.30	-0.03	0.30	-0.03	0.30
28	0.30	-0.00	0.32	0.02	0.30	0.00	0.52	0.22	0.26	-0.04	0.35
29	0.29	-0.01	0.33	0.01	0.29	-0.01	0.53	0.01	0.24	-0.02	
30	0.28	-0.01	0.34	0.01	0.29	-0.01	0.54	0.01	0.21	-0.03	
31	0.27	-0.01	0.35	0.01	0.28	-0.01	0.55	0.01	0.18	-0.03	
32	0.26	-0.01	0.36	0.01	0.27	-0.01	0.57	0.01	0.16	-0.03	
33	0.25	-0.01	0.37	0.01	0.26	-0.01	0.58	0.01	0.13	-0.02	
34	0.24	-0.01	0.39	0.02	0.26	-0.01	0.59	0.01	0.11	-0.02	
35	0.23	-0.01	0.41	0.02	0.25	-0.01	0.60	0.01	0.09	-0.02	
36	0.22	-0.01	0.43	0.02	0.24	-0.01	0.61	0.01	0.08	-0.02	
37	0.22	-0.01	0.45	0.02	0.24	-0.01	0.62	0.01	0.06	-0.01	
38	0.21	-0.01	0.48	0.03	0.23	-0.01	0.63	0.01	0.05	-0.01	
39	0.20	-0.01	0.51	0.03	0.23	-0.01	0.64	0.01	0.04	-0.01	
40	0.19	-0.01	0.54	0.03	0.22	-0.01	0.65	0.01	0.03	-0.01	
41	0.18	-0.01	0.57	0.03	0.21	-0.01	0.66	0.01	0.03	-0.01	
42	0.17	-0.01	0.61	0.04	0.21	-0.01	0.68	0.01	0.02	-0.01	
43	0.16	-0.01	0.64	0.04	0.20	-0.01	0.69	0.01	0.02	-0.00	
採用											
予 測 式	$Y_t =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$		$a \cdot b^t$		$Y_0 + a(t-t_0)^b$		$K / (1 + \text{EXP}(a-bt))$		
	a =	0.55	1.14		0.62		0.01		-7.59		
	b =	-0.01	-0.06		0.97		0.95		-0.25		
	c =		0.00								
	$Y_0 =$						0.40				
	$t_0 =$						18.00				
	K =								0.41		
r =	0.855435	0.902371		0.864081		-0.255839		0.779584			

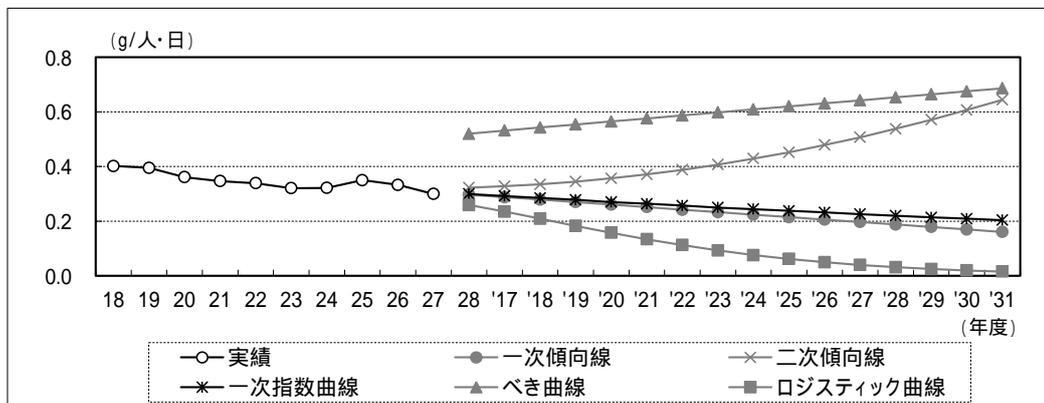


表 8-16 可燃ごみ（事業系）の推計結果

単位：t / 日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値	
		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成	18	2.91	-	2.91	-	2.91	-	2.91	-	2.91	-	2.91
	19	2.62	-0.29	2.62	-0.29	2.62	-0.29	2.62	-0.29	2.62	-0.29	2.62
	20	2.86	0.24	2.86	0.24	2.86	0.24	2.86	0.24	2.86	0.24	2.86
	21	3.04	0.18	3.04	0.18	3.04	0.18	3.04	0.18	3.04	0.18	3.04
	22	3.13	0.09	3.13	0.09	3.13	0.09	3.13	0.09	3.13	0.09	3.13
	23	3.17	0.03	3.17	0.03	3.17	0.03	3.17	0.03	3.17	0.03	3.17
	24	3.25	0.08	3.25	0.08	3.25	0.08	3.25	0.08	3.25	0.08	3.25
	25	3.17	-0.08	3.17	-0.08	3.17	-0.08	3.17	-0.08	3.17	-0.08	3.17
	26	2.94	-0.23	2.94	-0.23	2.94	-0.23	2.94	-0.23	2.94	-0.23	2.94
	27	3.04	0.10	3.04	0.10	3.04	0.10	3.04	0.10	3.04	0.10	3.04
	28	3.20	0.16	2.93	-0.11	3.21	0.17	3.04	-0.00	3.18	0.14	3.01
	29	3.23	0.03	2.82	-0.11	3.24	0.03	3.04	0.00	3.19	0.01	
	30	3.27	0.04	2.68	-0.14	3.28	0.04	3.04	0.00	3.21	0.02	
	31	3.30	0.03	2.52	-0.16	3.32	0.04	3.04	0.00	3.22	0.01	
	32	3.34	0.04	2.33	-0.19	3.36	0.04	3.04	0.00	3.23	0.01	
	33	3.37	0.03	2.12	-0.21	3.40	0.04	3.04	0.00	3.24	0.01	
	34	3.40	0.03	1.88	-0.24	3.44	0.04	3.03	-0.01	3.24	0.00	
	35	3.44	0.04	1.62	-0.26	3.48	0.04	3.03	0.00	3.25	0.01	
	36	3.47	0.03	1.33	-0.29	3.52	0.04	3.03	0.00	3.26	0.01	
	37	3.51	0.04	1.02	-0.31	3.56	0.04	3.03	0.00	3.26	0.00	
	38	3.54	0.03	0.69	-0.33	3.60	0.04	3.03	0.00	3.27	0.01	
	39	3.57	0.03	0.33	-0.36	3.64	0.04	3.03	0.00	3.27	0.00	
	40	3.61	0.04	-0.06	-0.39	3.69	0.05	3.03	0.00	3.27	0.00	
	41	3.64	0.03	-0.46	-0.40	3.73	0.04	3.03	0.00	3.28	0.01	
	42	3.67	0.03	-0.90	-0.44	3.77	0.04	3.03	0.00	3.28	0.00	
	43	3.71	0.04	-1.35	-0.45	3.82	0.05	3.03	0.00	3.28	0.00	
採	用											
予 測 式	$Y_t =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0 + a(t-t_0)^b$	$K / (1 + \text{EXP}(a-bt))$						
	a =	2.25	-3.87	2.32	0.18	0.32						
	b =	0.03	0.59	1.01	-0.13	0.13						
	c =		-0.01									
	$Y_0 =$					2.91						
	$t_0 =$					18.00						
	K =						3.30					
r =	0.557659	0.747763	0.553611	-0.203506	0.547213							

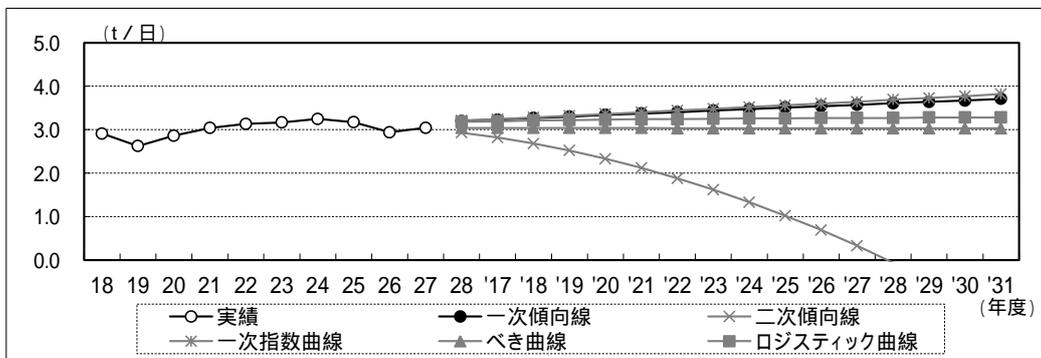


表 8-17 不燃・粗大ごみ（事業系）の推計結果

単位：t/日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数	
平成 18	0.053	-	0.053	-	0.053	-	0.053	-	0.053	-	0.05
19	0.030	-0.02	0.030	-0.02	0.030	-0.02	0.030	-0.02	0.030	-0.02	0.03
20	0.018	-0.01	0.018	-0.01	0.018	-0.01	0.018	-0.01	0.018	-0.01	0.02
21	0.038	0.02	0.038	0.02	0.038	0.02	0.038	0.02	0.038	0.02	0.04
22	0.044	0.01	0.044	0.01	0.044	0.01	0.044	0.01	0.044	0.01	0.04
23	0.031	-0.01	0.031	-0.01	0.031	-0.01	0.031	-0.01	0.031	-0.01	0.03
24	0.027	-0.00	0.027	-0.00	0.027	-0.00	0.027	-0.00	0.027	-0.00	0.03
25	0.059	0.03	0.059	0.03	0.059	0.03	0.059	0.03	0.059	0.03	0.06
26	0.108	0.05	0.108	0.05	0.108	0.05	0.108	0.05	0.108	0.05	0.11
27	0.100	-0.01	0.100	-0.01	0.100	-0.01	0.100	-0.01	0.100	-0.01	0.10
28	0.088	-0.01	0.140	0.04	0.083	-0.02	0.076	-0.02	0.099	-0.00	0.05
29	0.095	0.01	0.175	0.04	0.093	0.01	0.076	0.00	0.102	0.00	
30	0.102	0.01	0.215	0.04	0.104	0.01	0.076	0.00	0.104	0.00	
31	0.109	0.01	0.260	0.05	0.117	0.01	0.076	0.00	0.106	0.00	
32	0.115	0.01	0.309	0.05	0.131	0.01	0.076	0.00	0.107	0.00	
33	0.122	0.01	0.363	0.05	0.147	0.02	0.076	0.00	0.108	0.00	
34	0.129	0.01	0.422	0.06	0.165	0.02	0.076	0.00	0.109	0.00	
35	0.136	0.01	0.485	0.06	0.185	0.02	0.077	0.00	0.109	0.00	
36	0.142	0.01	0.554	0.07	0.208	0.02	0.077	0.00	0.109	0.00	
37	0.149	0.01	0.626	0.07	0.233	0.03	0.077	0.00	0.110	0.00	
38	0.156	0.01	0.704	0.08	0.262	0.03	0.077	0.00	0.110	0.00	
39	0.163	0.01	0.786	0.08	0.294	0.03	0.077	0.00	0.110	0.00	
40	0.170	0.01	0.874	0.09	0.330	0.04	0.077	0.00	0.110	0.00	
41	0.176	0.01	0.965	0.09	0.370	0.04	0.077	0.00	0.110	0.00	
42	0.183	0.01	1.062	0.10	0.415	0.05	0.077	0.00	0.110	0.00	
43	0.190	0.01	1.163	0.10	0.466	0.05	0.077	0.00	0.110	0.00	
採用											
予 測 式	Yt =	a + bt		a + bt + ct <sup>2</sup>		a · b <sup>t</sup>		Yo + a(t-to) <sup>b</sup>		K / (1 + EXP(a-bt))	
	a =	-0.10		1.07		0.00		0.02		8.50	
	b =	0.01		-0.10		1.12		0.06		0.38	
	c =			0.00							
	Yo =							0.05			
	to =							18.00			
	K =									0.11	
r =	0.671960		0.895785		0.723139		0.013624		0.646897		

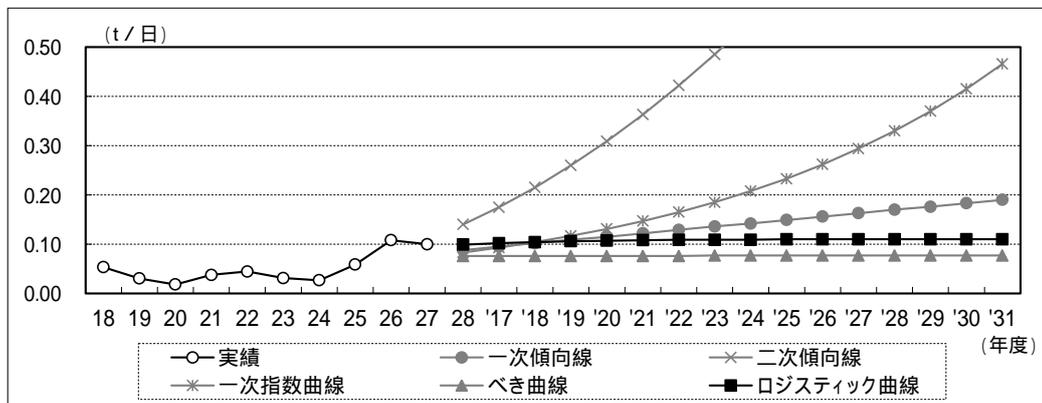


表 8-18 びん（無色・茶色・その他）の推計結果

単位: g/人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数	
平成 23	9.16	-	9.16	-	9.16	-	9.16	-	9.16	-	9.16
24	9.45	0.29	9.45	0.29	9.45	0.29	9.45	0.29	9.45	0.29	9.45
25	8.81	-0.64	8.81	-0.64	8.81	-0.64	8.81	-0.64	8.81	-0.64	8.81
26	6.95	-1.86	6.95	-1.86	6.95	-1.86	6.95	-1.86	6.95	-1.86	6.95
27	7.39	0.44	7.39	0.44	7.39	0.44	7.39	0.44	7.39	0.44	7.39
28	6.54	-0.85	6.08	-1.31	6.64	-0.74	11.94	4.55	4.16	-3.23	<b>8.35</b>
29	5.93	-0.61	5.02	-1.06	6.17	-0.47	12.84	0.90	1.74	-2.42	8.35
30	5.33	-0.60	3.82	-1.19	5.73	-0.44	13.82	0.98	0.58	-1.17	8.35
31	4.73	-0.60	2.50	-1.33	5.33	-0.41	14.89	1.06	0.17	-0.40	8.35
32	4.12	-0.60	1.04	-1.46	4.95	-0.38	16.02	1.14	0.05	-0.12	8.35
33	3.52	-0.60	-0.54	-1.59	4.60	-0.35	17.23	1.21	0.02	-0.04	8.35
34	2.91	-0.60	-2.26	-1.72	4.27	-0.33	18.50	1.27	0.00	-0.01	8.35
35	2.31	-0.60	-4.11	-1.85	3.97	-0.30	19.84	1.34	0.00	-0.00	8.35
36	1.71	-0.60	-6.09	-1.98	3.69	-0.28	21.23	1.40	0.00	-0.00	8.35
37	1.10	-0.60	-8.20	-2.11	3.42	-0.26	22.69	1.46	0.00	0.00	8.35
38	0.50	-0.60	-10.44	-2.24	3.18	-0.24	24.20	1.51	0.00	0.00	8.35
39	-0.11	-0.61	-12.82	-2.37	2.95	-0.23	25.77	1.57	0.00	0.00	8.35
40	-0.71	-0.60	-15.32	-2.50	2.74	-0.21	27.39	1.62	0.00	0.00	8.35
41	-1.32	-0.60	-17.95	-2.64	2.55	-0.20	29.07	1.67	0.00	0.00	8.35
42	-1.92	-0.60	-20.72	-2.77	2.37	-0.18	30.79	1.73	0.00	0.00	8.35
43	-2.52	-0.60	-23.62	-2.90	2.20	-0.17	32.57	1.77	0.00	0.00	8.35
採 用											
予 測 式	Yt =	a + bt		a + bt + ct <sup>2</sup>		a · b <sup>t</sup>		Yo + a(t-to) <sup>b</sup>		K / (1 + EXP(a-bt))	
	a =	23.45		-17.35		52.32		0.23		-34.68	
	b =	-0.60		2.67		0.93		1.54		-1.25	
	c =			-0.07							
	Yo =							9.16			
	to =							23.00			
	K =									9.45	
r =	0.857795		0.864875		0.851322		-0.348875		0.696838		

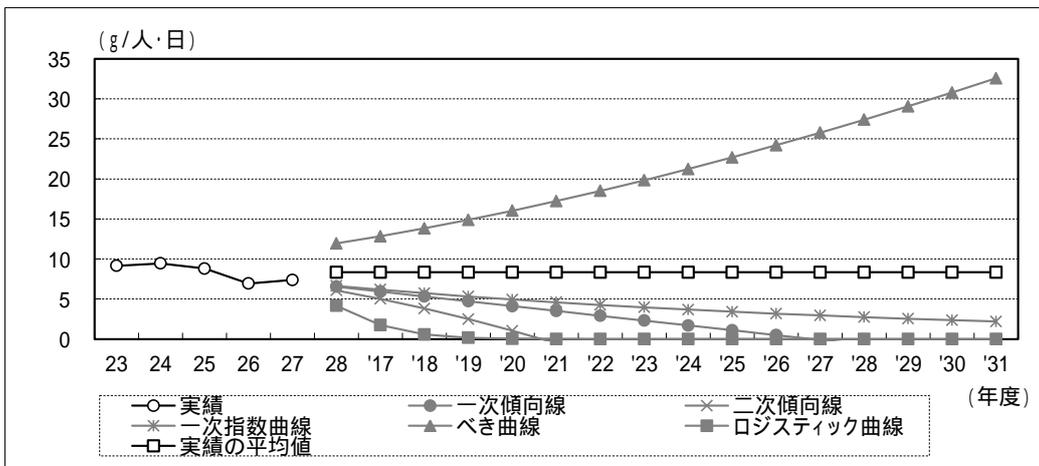


表 8-19 再利用びんの推計結果

単位: g/人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値	
	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数			
平成 23	1.57	-	1.57	-	1.57	-	1.57	-	1.57	-	1.57	
24	1.72	0.14	1.72	0.14	1.72	0.14	1.72	0.14	1.72	0.14	1.72	
25	1.40	-0.31	1.40	-0.31	1.40	-0.31	1.40	-0.31	1.40	-0.31	1.40	
26	0.94	-0.47	0.94	-0.47	0.94	-0.47	0.94	-0.47	0.94	-0.47	0.94	
27	1.19	0.25	1.19	0.25	1.19	0.25	1.19	0.25	1.19	0.25	1.19	
28	0.90	-0.29	0.93	-0.26	0.94	-0.25	2.17	0.98	0.64	-0.55	<b>1.36</b>	
29	0.75	-0.15	0.81	-0.12	0.84	-0.10	2.28	0.11	0.34	-0.31	1.36	
30	0.59	-0.16	0.70	-0.11	0.75	-0.09	2.39	0.11	0.15	-0.18	1.36	
31	0.44	-0.15	0.60	-0.10	0.66	-0.08	2.50	0.11	0.07	-0.09	1.36	
32	0.28	-0.16	0.50	-0.09	0.59	-0.07	2.61	0.11	0.03	-0.04	1.36	
33	0.13	-0.15	0.42	-0.09	0.53	-0.06	2.72	0.11	0.01	-0.02	1.36	
34	-0.03	-0.16	0.34	-0.08	0.47	-0.06	2.83	0.11	0.01	-0.01	1.36	
35	-0.18	-0.15	0.27	-0.07	0.42	-0.05	2.93	0.11	0.00	-0.00	1.36	
36	-0.34	-0.16	0.22	-0.06	0.37	-0.05	3.04	0.11	0.00	-0.00	1.36	
37	-0.49	-0.15	0.17	-0.05	0.33	-0.04	3.14	0.11	0.00	-0.00	1.36	
38	-0.65	-0.16	0.13	-0.04	0.29	-0.04	3.25	0.11	0.00	0.00	1.36	
39	-0.80	-0.15	0.10	-0.03	0.26	-0.03	3.35	0.11	0.00	0.00	1.36	
40	-0.95	-0.16	0.08	-0.02	0.23	-0.03	3.46	0.10	0.00	0.00	1.36	
41	-1.11	-0.15	0.07	-0.01	0.21	-0.03	3.56	0.10	0.00	0.00	1.36	
42	-1.26	-0.16	0.07	-0.00	0.19	-0.02	3.67	0.10	0.00	0.00	1.36	
43	-1.42	-0.15	0.08	0.01	0.16	-0.02	3.77	0.10	0.00	0.00	1.36	
採 用												
予 測 式	$Y_t =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0 + a(t-t_0)^b$	$K / (1 + \text{EXP}(a-bt))$						
	a =	5.23	8.12	24.44	0.13	-24.69						
	b =	-0.15	-0.39	0.89	0.94	-0.90						
	c =		0.00									
	$Y_0 =$				1.57							
	$t_0 =$				23.00							
	K =					1.72						
r =	0.790583	0.791207	0.788003	-0.275792	0.674924							

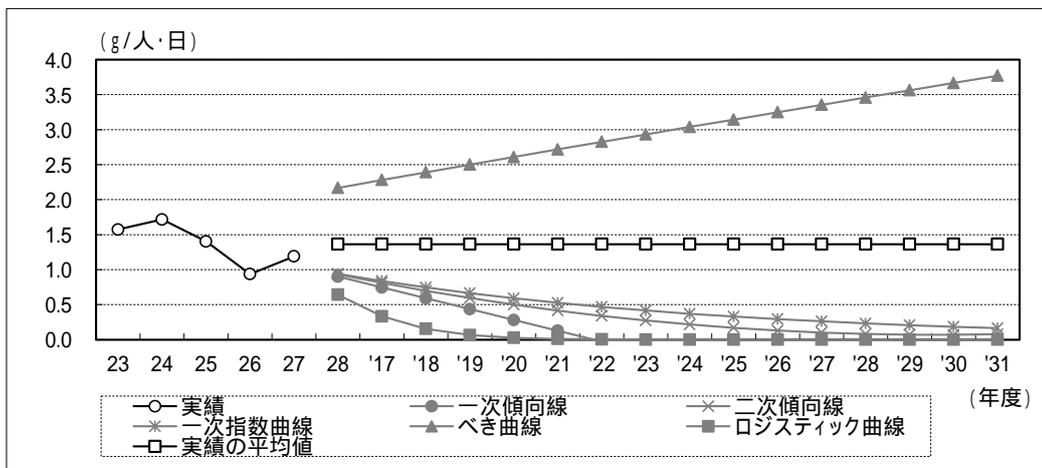


表 8-20 缶（スチール・アルミ）の推計結果

単位：g/人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数	
平成 18	4.50	-	4.50	-	4.50	-	4.50	-	4.50	-	4.50
19	4.03	-0.47	4.03	-0.47	4.03	-0.47	4.03	-0.47	4.03	-0.47	4.03
20	3.92	-0.11	3.92	-0.11	3.92	-0.11	3.92	-0.11	3.92	-0.11	3.92
21	4.52	0.60	4.52	0.60	4.52	0.60	4.52	0.60	4.52	0.60	4.52
22	4.22	-0.30	4.22	-0.30	4.22	-0.30	4.22	-0.30	4.22	-0.30	4.22
23	4.18	-0.03	4.18	-0.03	4.18	-0.03	4.18	-0.03	4.18	-0.03	4.18
24	4.18	-0.01	4.18	-0.01	4.18	-0.01	4.18	-0.01	4.18	-0.01	4.18
25	3.89	-0.29	3.89	-0.29	3.89	-0.29	3.89	-0.29	3.89	-0.29	3.89
26	3.41	-0.47	3.41	-0.47	3.41	-0.47	3.41	-0.47	3.41	-0.47	3.41
27	4.00	0.58	4.00	0.58	4.00	0.58	4.00	0.58	4.00	0.58	4.00
28	3.75	-0.25	3.61	-0.38	3.75	-0.25	4.95	0.95	3.50	-0.50	4.08
29	3.69	-0.06	3.48	-0.14	3.69	-0.06	4.96	0.01	3.23	-0.27	
30	3.63	-0.06	3.33	-0.15	3.63	-0.06	4.98	0.01	2.92	-0.31	
31	3.57	-0.06	3.17	-0.16	3.57	-0.06	4.99	0.01	2.58	-0.34	
32	3.51	-0.06	2.99	-0.17	3.51	-0.06	5.00	0.01	2.23	-0.35	
33	3.45	-0.06	2.81	-0.19	3.45	-0.06	5.01	0.01	1.88	-0.35	
34	3.38	-0.06	2.61	-0.20	3.38	-0.06	5.02	0.01	1.55	-0.33	
35	3.32	-0.06	2.40	-0.21	3.32	-0.06	5.04	0.01	1.25	-0.30	
36	3.26	-0.06	2.18	-0.22	3.26	-0.06	5.05	0.01	0.98	-0.26	
37	3.20	-0.06	1.94	-0.24	3.20	-0.06	5.06	0.01	0.76	-0.22	
38	3.14	-0.06	1.69	-0.25	3.14	-0.06	5.06	0.01	0.59	-0.18	
39	3.08	-0.06	1.43	-0.26	3.08	-0.06	5.07	0.01	0.44	-0.14	
40	3.02	-0.06	1.16	-0.27	3.02	-0.06	5.08	0.01	0.33	-0.11	
41	2.96	-0.06	0.88	-0.29	2.96	-0.06	5.09	0.01	0.25	-0.09	
42	2.90	-0.06	0.58	-0.30	2.90	-0.06	5.10	0.01	0.18	-0.06	
43	2.84	-0.06	0.27	-0.31	2.84	-0.06	5.11	0.01	0.14	-0.05	
採 用											
予 測 式	$Y_t =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0 + a(t-t_0)^b$	$K / (1 + \text{EXP}(a-bt))$					
	a =	5.45	2.34	5.73	0.21	-10.01					
	b =	-0.06	0.22	0.98	0.33	-0.31					
	c =		-0.01								
	$Y_0 =$				4.50						
	$t_0 =$				18.00						
	K =					4.52					
r =	0.574581	0.593299	0.571183	-0.092342	0.513485						

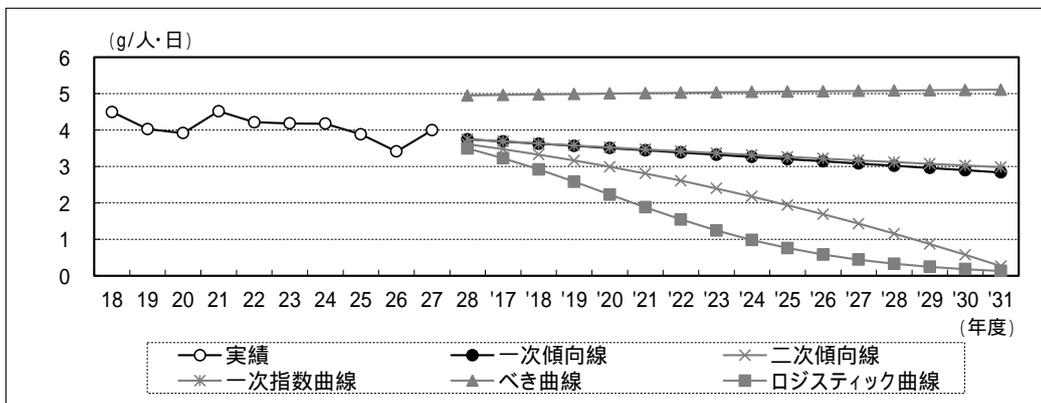


表 8-21 ペットボトルの推計結果

単位: g/人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数	
平成 18	2.96	-	2.96	-	2.96	-	2.96	-	2.96	-	2.96
19	2.83	-0.12	2.83	-0.12	2.83	-0.12	2.83	-0.12	2.83	-0.12	2.83
20	2.76	-0.08	2.76	-0.08	2.76	-0.08	2.76	-0.08	2.76	-0.08	2.76
21	2.58	-0.18	2.58	-0.18	2.58	-0.18	2.58	-0.18	2.58	-0.18	2.58
22	2.53	-0.05	2.53	-0.05	2.53	-0.05	2.53	-0.05	2.53	-0.05	2.53
23	3.01	0.48	3.01	0.48	3.01	0.48	3.01	0.48	3.01	0.48	3.01
24	2.92	-0.09	2.92	-0.09	2.92	-0.09	2.92	-0.09	2.92	-0.09	2.92
25	3.10	0.18	3.10	0.18	3.10	0.18	3.10	0.18	3.10	0.18	3.10
26	2.77	-0.33	2.77	-0.33	2.77	-0.33	2.77	-0.33	2.77	-0.33	2.77
27	2.37	-0.40	2.37	-0.40	2.37	-0.40	2.37	-0.40	2.37	-0.40	2.37
28	2.70	0.33	2.58	0.22	2.68	0.31	3.14	0.77	3.00	0.63	2.78
29	2.68	-0.02	2.50	-0.08	2.66	-0.02	3.14	0.00	3.01	0.01	
30	2.67	-0.02	2.41	-0.09	2.65	-0.02	3.14	0.00	3.02	0.01	
31	2.65	-0.02	2.32	-0.10	2.63	-0.02	3.14	0.00	3.03	0.01	
32	2.63	-0.02	2.21	-0.11	2.61	-0.02	3.14	0.00	3.03	0.01	
33	2.62	-0.01	2.09	-0.12	2.60	-0.02	3.14	0.00	3.04	0.01	
34	2.60	-0.02	1.95	-0.13	2.58	-0.02	3.14	0.00	3.04	0.01	
35	2.59	-0.02	1.81	-0.14	2.56	-0.02	3.14	0.00	3.05	0.01	
36	2.57	-0.02	1.66	-0.15	2.55	-0.02	3.14	0.00	3.06	0.01	
37	2.56	-0.02	1.50	-0.16	2.53	-0.02	3.14	0.00	3.06	0.00	
38	2.54	-0.02	1.33	-0.17	2.52	-0.02	3.15	0.00	3.06	0.00	
39	2.53	-0.02	1.14	-0.18	2.50	-0.02	3.15	0.00	3.07	0.00	
40	2.51	-0.02	0.95	-0.19	2.48	-0.02	3.15	0.00	3.07	0.00	
41	2.49	-0.02	0.75	-0.20	2.47	-0.02	3.15	0.00	3.07	0.00	
42	2.48	-0.02	0.53	-0.21	2.45	-0.02	3.15	0.00	3.08	0.00	
43	2.46	-0.02	0.31	-0.23	2.44	-0.02	3.15	0.00	3.08	0.00	
採用											
予 測 式	$Y_t =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0 + a(t-t_0)^b$	$K / (1 + \text{EXP}(a-bt))$					
	a =	3.13	0.53	3.20	0.16	-0.51					
	b =	-0.02	0.22	0.99	0.05	0.10					
	c =		-0.01								
	$Y_0 =$					2.96					
	$t_0 =$					18.00					
	K =						3.10				
r =	0.200348	0.267201	0.197416	-0.041613	-0.063248						

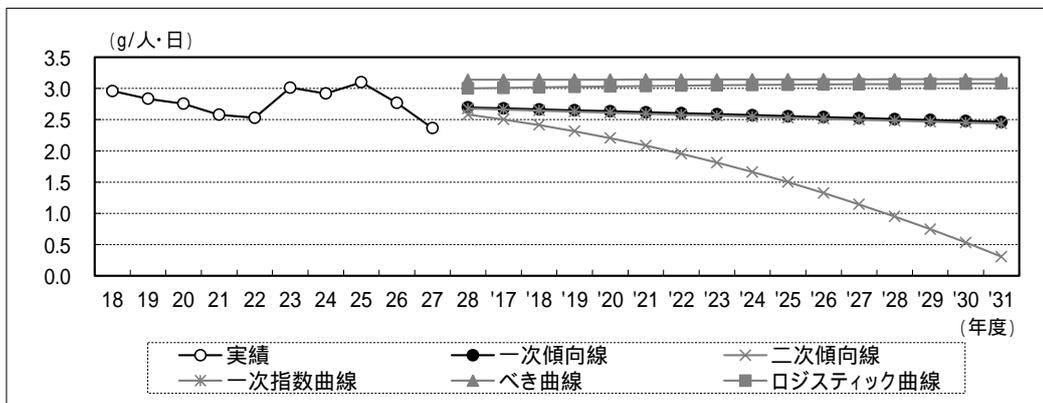


表 8-22 廃食油の推計結果

単位: g/人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値	
		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成	18	0.66	-	0.66	-	0.66	-	0.66	-	0.66	-	0.66
	19	0.63	-0.03	0.63	-0.03	0.63	-0.03	0.63	-0.03	0.63	-0.03	0.63
	20	0.60	-0.03	0.60	-0.03	0.60	-0.03	0.60	-0.03	0.60	-0.03	0.60
	21	0.64	0.04	0.64	0.04	0.64	0.04	0.64	0.04	0.64	0.04	0.64
	22	0.61	-0.03	0.61	-0.03	0.61	-0.03	0.61	-0.03	0.61	-0.03	0.61
	23	0.68	0.07	0.68	0.07	0.68	0.07	0.68	0.07	0.68	0.07	0.68
	24	0.65	-0.03	0.65	-0.03	0.65	-0.03	0.65	-0.03	0.65	-0.03	0.65
	25	0.66	0.02	0.66	0.02	0.66	0.02	0.66	0.02	0.66	0.02	0.66
	26	0.66	-0.00	0.66	-0.00	0.66	-0.00	0.66	-0.00	0.66	-0.00	0.66
	27	0.72	0.06	0.72	0.06	0.72	0.06	0.72	0.06	0.72	0.06	0.72
	28	0.69	-0.03	0.74	0.02	0.69	-0.03	0.67	-0.05	0.70	-0.01	0.65
	29	0.70	0.01	0.77	0.03	0.70	0.01	0.67	-0.00	0.71	0.00	
	30	0.70	0.01	0.81	0.04	0.70	0.01	0.67	0.00	0.71	0.00	
	31	0.71	0.01	0.85	0.04	0.71	0.01	0.67	-0.00	0.71	0.00	
	32	0.72	0.01	0.90	0.05	0.72	0.01	0.67	0.00	0.71	0.00	
	33	0.72	0.01	0.95	0.05	0.73	0.01	0.67	-0.00	0.71	0.00	
	34	0.73	0.01	1.00	0.05	0.74	0.01	0.67	0.00	0.72	0.00	
	35	0.74	0.01	1.06	0.06	0.74	0.01	0.67	0.00	0.72	0.00	
	36	0.75	0.01	1.13	0.06	0.75	0.01	0.67	0.00	0.72	0.00	
	37	0.75	0.01	1.20	0.07	0.76	0.01	0.67	0.00	0.72	0.00	
	38	0.76	0.01	1.27	0.07	0.77	0.01	0.67	-0.00	0.72	0.00	
	39	0.77	0.01	1.35	0.08	0.78	0.01	0.67	0.00	0.72	0.00	
	40	0.77	0.01	1.43	0.08	0.78	0.01	0.67	0.00	0.72	0.00	
	41	0.78	0.01	1.51	0.09	0.79	0.01	0.67	0.00	0.72	0.00	
	42	0.79	0.01	1.60	0.09	0.80	0.01	0.67	0.00	0.72	0.00	
	43	0.80	0.01	1.70	0.10	0.81	0.01	0.67	0.00	0.72	0.00	
採用												
予 測 式	$Y_t =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0 + a(t-t_0)^b$	$K / (1 + \text{EXP}(a-bt))$						
	a =	0.49	1.58	0.51	0.07	2.53						
	b =	0.01	-0.09	1.01	-1.02	0.22						
	c =		0.00									
	$Y_0 =$				0.66							
	$t_0 =$				18.00							
	K =					0.72						
r =	0.608484	0.771911	0.607918	0.114330	0.471129							

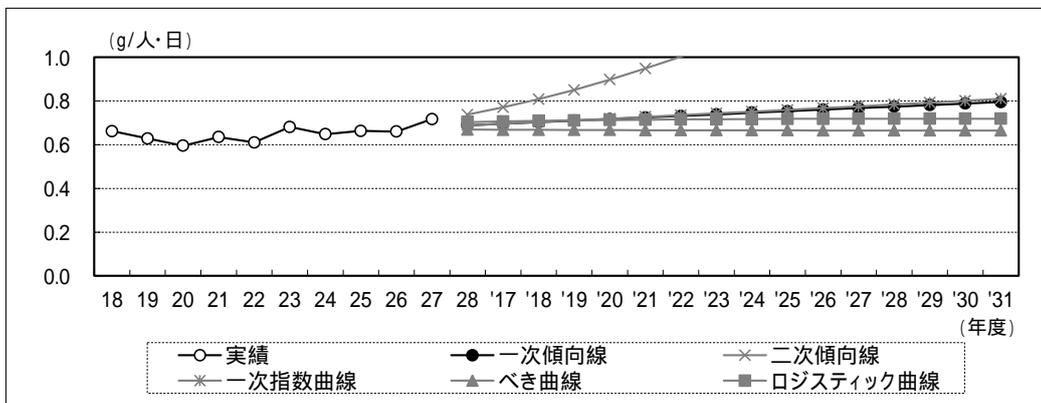


表 8-23 ダンボールの推計結果

単位: g/人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数	
平成 18	21.17	-	21.17	-	21.17	-	21.17	-	21.17	-	21.17
19	20.54	-0.63	20.54	-0.63	20.54	-0.63	20.54	-0.63	20.54	-0.63	20.54
20	20.47	-0.07	20.47	-0.07	20.47	-0.07	20.47	-0.07	20.47	-0.07	20.47
21	22.20	1.73	22.20	1.73	22.20	1.73	22.20	1.73	22.20	1.73	22.20
22	19.70	-2.50	19.70	-2.50	19.70	-2.50	19.70	-2.50	19.70	-2.50	19.70
23	18.38	-1.32	18.38	-1.32	18.38	-1.32	18.38	-1.32	18.38	-1.32	18.38
24	16.13	-2.25	16.13	-2.25	16.13	-2.25	16.13	-2.25	16.13	-2.25	16.13
25	15.19	-0.94	15.19	-0.94	15.19	-0.94	15.19	-0.94	15.19	-0.94	15.19
26	13.29	-1.90	13.29	-1.90	13.29	-1.90	13.29	-1.90	13.29	-1.90	13.29
27	17.54	4.25	17.54	4.25	17.54	4.25	17.54	4.25	17.54	4.25	17.54
28	14.15	-3.39	13.90	-3.64	14.32	-3.22	27.71	10.17	12.79	-4.75	18.46
29	13.37	-0.78	12.97	-0.93	13.71	-0.61	28.50	0.79	11.28	-1.51	18.46
30	12.58	-0.79	12.03	-0.94	13.12	-0.59	29.31	0.81	9.76	-1.52	18.46
31	11.80	-0.78	11.06	-0.97	12.55	-0.57	30.14	0.83	8.28	-1.48	18.46
32	11.01	-0.79	10.07	-0.99	12.01	-0.54	30.97	0.83	6.91	-1.37	18.46
33	10.23	-0.78	9.05	-1.02	11.49	-0.52	31.82	0.85	5.67	-1.24	18.46
34	9.45	-0.78	8.01	-1.04	11.00	-0.49	32.68	0.86	4.59	-1.08	18.46
35	8.66	-0.79	6.95	-1.06	10.53	-0.47	33.55	0.87	3.67	-0.92	18.46
36	7.88	-0.78	5.87	-1.08	10.07	-0.46	34.43	0.88	2.90	-0.77	18.46
37	7.09	-0.79	4.76	-1.11	9.64	-0.43	35.32	0.89	2.27	-0.63	18.46
38	6.31	-0.78	3.63	-1.13	9.22	-0.42	36.22	0.90	1.77	-0.50	18.46
39	5.53	-0.78	2.48	-1.15	8.83	-0.39	37.13	0.91	1.37	-0.40	18.46
40	4.74	-0.79	1.30	-1.18	8.45	-0.38	38.04	0.91	1.06	-0.31	18.46
41	3.96	-0.78	0.10	-1.20	8.08	-0.37	38.97	0.93	0.81	-0.25	18.46
42	3.17	-0.79	-1.12	-1.22	7.74	-0.34	39.90	0.93	0.62	-0.19	18.46
43	2.39	-0.78	-2.37	-1.25	7.40	-0.34	40.85	0.95	0.47	-0.15	18.46
採用											
予 測 式	$Y_t =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$		$a \cdot b^t$		$Y_0 + a(t-t_0)^b$		$K / (1 + \text{EXP}(a-bt))$		
	a =	36.10	30.35		49.10		0.41		-8.02		
	b =	-0.78	-0.26		0.96		1.20		-0.28		
	c =		-0.01								
	$Y_0 =$						21.17				
	$t_0 =$						18.00				
	K =								22.20		
r =	0.822346	0.823307	0.818635		-0.272801		0.803818				

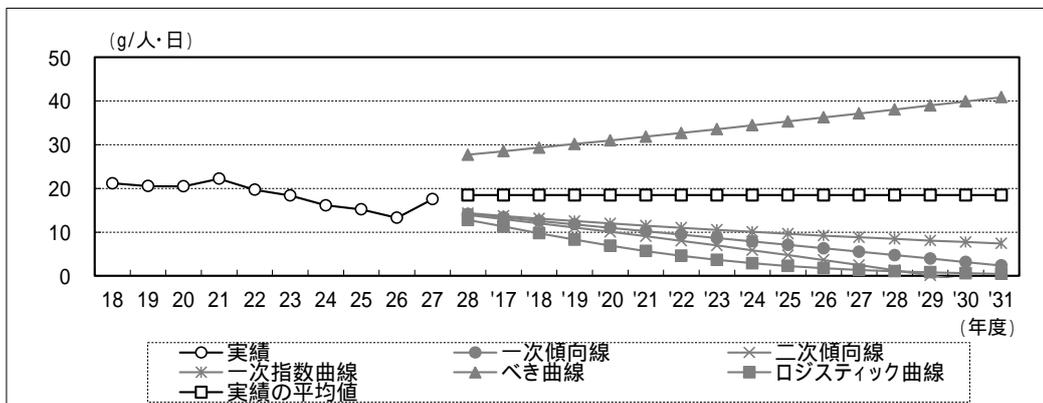


表 8-24 新聞の推計結果

単位: g/人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数	
平成 23	49.28	-	49.28	-	49.28	-	49.28	-	49.28	-	49.28
24	45.25	-4.03	45.25	-4.03	45.25	-4.03	45.25	-4.03	45.25	-4.03	45.25
25	40.47	-4.78	40.47	-4.78	40.47	-4.78	40.47	-4.78	40.47	-4.78	40.47
26	31.96	-8.51	31.96	-8.51	31.96	-8.51	31.96	-8.51	31.96	-8.51	31.96
27	32.36	0.40	32.36	0.40	32.36	0.40	32.36	0.40	32.36	0.40	32.36
28	25.72	-6.64	28.29	-4.07	27.49	-4.87	74.42	42.06	4.76	-27.60	39.86
29	21.01	-4.71	26.14	-2.15	24.40	-3.09	80.11	5.69	1.03	-3.73	39.86
30	16.30	-4.71	24.73	-1.41	21.67	-2.73	85.91	5.80	0.21	-0.82	39.86
31	11.59	-4.71	24.04	-0.69	19.24	-2.43	91.81	5.90	0.04	-0.17	39.86
32	6.87	-4.72	24.10	0.06	17.08	-2.16	97.80	5.99	0.01	-0.03	39.86
33	2.16	-4.71	24.88	0.78	15.17	-1.91	103.88	6.08	0.00	-0.01	39.86
34	-2.55	-4.71	26.39	1.51	13.47	-1.70	110.02	6.14	0.00	0.00	39.86
35	-7.27	-4.72	28.64	2.25	11.96	-1.51	116.23	6.21	0.00	0.00	39.86
36	-11.98	-4.71	31.63	2.99	10.62	-1.34	122.50	6.27	0.00	0.00	39.86
37	-16.69	-4.71	35.34	3.71	9.43	-1.19	128.84	6.34	0.00	0.00	39.86
38	-21.41	-4.72	39.79	4.45	8.37	-1.06	135.22	6.38	0.00	0.00	39.86
39	-26.12	-4.71	44.97	5.18	7.43	-0.94	141.66	6.44	0.00	0.00	39.86
40	-30.83	-4.71	50.88	5.91	6.60	-0.83	148.14	6.48	0.00	0.00	39.86
41	-35.54	-4.71	57.53	6.65	5.86	-0.74	154.67	6.53	0.00	0.00	39.86
42	-40.26	-4.72	64.91	7.38	5.20	-0.66	161.24	6.57	0.00	0.00	39.86
43	-44.97	-4.71	73.02	8.11	4.62	-0.58	167.86	6.62	0.00	0.00	39.86
採用											
予 測 式	Yt =	a + bt		a + bt + ct <sup>2</sup>		a · b <sup>t</sup>		Yo + a(t-to) <sup>b</sup>		K / (1 + EXP(a-bt))	
	a =	157.69		385.97		767.09		4.15		-42.92	
	b =	-4.71		-23.03		0.89		1.12		-1.61	
	c =			0.37							
	Yo =							49.28			
	to =							23.00			
	K =									49.30	
r =	0.968502		0.972614		0.971839		-0.335153		0.817166		

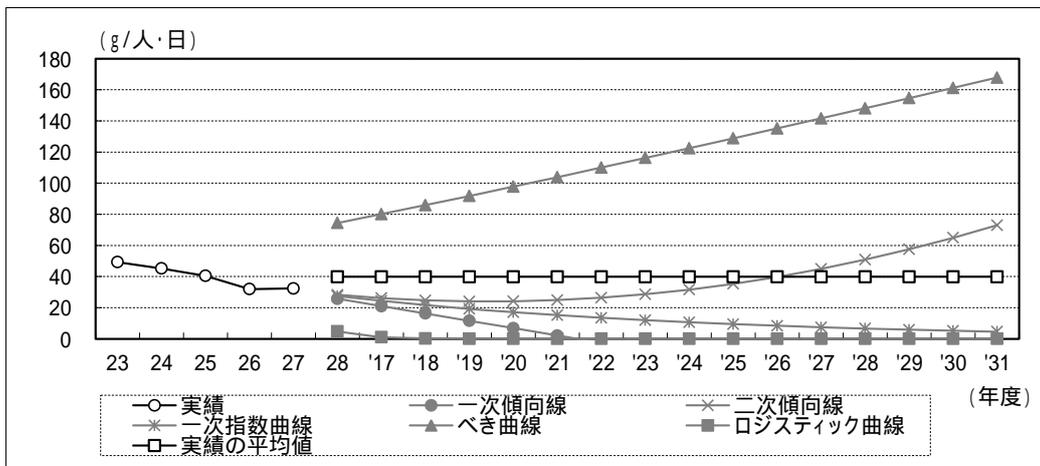


表 8-25 雑誌の推計結果

単位: g/人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値	
		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成 18		54.95	-	54.95	-	54.95	-	54.95	-	54.95	-	54.95
19		50.32	-4.63	50.32	-4.63	50.32	-4.63	50.32	-4.63	50.32	-4.63	50.32
20	実 績	48.04	-2.28	48.04	-2.28	48.04	-2.28	48.04	-2.28	48.04	-2.28	48.04
21		46.31	-1.73	46.31	-1.73	46.31	-1.73	46.31	-1.73	46.31	-1.73	46.31
22		40.46	-5.85	40.46	-5.85	40.46	-5.85	40.46	-5.85	40.46	-5.85	40.46
23		39.50	-0.96	39.50	-0.96	39.50	-0.96	39.50	-0.96	39.50	-0.96	39.50
24		36.65	-2.85	36.65	-2.85	36.65	-2.85	36.65	-2.85	36.65	-2.85	36.65
25		34.01	-2.64	34.01	-2.64	34.01	-2.64	34.01	-2.64	34.01	-2.64	34.01
26		28.04	-5.97	28.04	-5.97	28.04	-5.97	28.04	-5.97	28.04	-5.97	28.04
27	33.06	5.02	33.06	5.02	33.06	5.02	33.06	5.02	33.06	5.02	33.06	
28	見 通 し	26.03	-7.03	28.87	-4.19	27.83	-5.23	82.27	49.21	12.65	-20.41	41.13
29		23.29	-2.74	27.67	-1.20	26.02	-1.81	84.46	2.19	8.28	-4.37	
30		20.54	-2.75	26.72	-0.95	24.32	-1.70	86.61	2.15	5.24	-3.04	
31		17.79	-2.75	26.04	-0.68	22.74	-1.58	88.72	2.11	3.24	-2.00	
32		15.05	-2.74	25.61	-0.43	21.26	-1.48	90.81	2.09	1.97	-1.27	
33		12.30	-2.75	25.44	-0.17	19.87	-1.39	92.87	2.06	1.19	-0.78	
34		9.56	-2.74	25.53	0.09	18.58	-1.29	94.90	2.03	0.71	-0.48	
35	6.81	-2.75	25.88	0.35	17.37	-1.21	96.91	2.01	0.42	-0.29		
36	4.07	-2.74	26.48	0.60	16.23	-1.14	98.89	1.98	0.25	-0.17		
37	1.32	-2.75	27.34	0.86	15.18	-1.05	100.86	1.97	0.15	-0.10		
38	-1.43	-2.75	28.46	1.12	14.19	-0.99	102.80	1.94	0.09	-0.06		
39	-4.17	-2.74	29.84	1.38	13.26	-0.93	104.73	1.93	0.05	-0.04		
40	-6.92	-2.75	31.47	1.63	12.40	-0.86	106.64	1.91	0.03	-0.02		
41	-9.66	-2.74	33.36	1.89	11.59	-0.81	108.53	1.89	0.02	-0.01		
42	-12.41	-2.75	35.51	2.15	10.84	-0.75	110.41	1.88	0.01	-0.01		
43	-15.16	-2.75	37.92	2.41	10.13	-0.71	112.27	1.86	0.01	0.00		
採 用												
予 測 式	Yt =	a + bt	a + bt + ct <sup>2</sup>	a · b <sup>t</sup>	Yo + a(t-to) <sup>b</sup>	K / (1 + EXP(a-bt))						
	a =	102.91	167.07	183.67	4.24	-13.38						
	b =	-2.75	-8.54	0.93	0.81	-0.52						
	c =		0.13									
	Yo =					54.95						
	to =					18.00						
	K =						55.00					
r =	0.970540	0.977301	0.976382	-0.266140	0.894903							

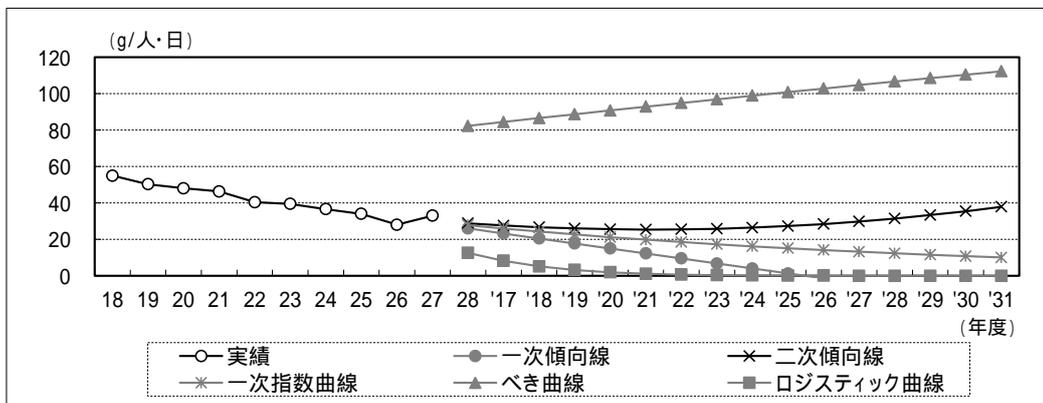


表 8-26 飲料用紙パックの推計結果

単位: g/人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値	
		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成	18	0.98	-	0.98	-	0.98	-	0.98	-	0.98	-	0.98
	19	0.81	-0.17	0.81	-0.17	0.81	-0.17	0.81	-0.17	0.81	-0.17	0.81
	20	0.80	-0.01	0.80	-0.01	0.80	-0.01	0.80	-0.01	0.80	-0.01	0.80
	21	1.09	0.29	1.09	0.29	1.09	0.29	1.09	0.29	1.09	0.29	1.09
	22	0.93	-0.16	0.93	-0.16	0.93	-0.16	0.93	-0.16	0.93	-0.16	0.93
	23	0.96	0.03	0.96	0.03	0.96	0.03	0.96	0.03	0.96	0.03	0.96
	24	0.71	-0.25	0.71	-0.25	0.71	-0.25	0.71	-0.25	0.71	-0.25	0.71
	25	0.93	0.22	0.93	0.22	0.93	0.22	0.93	0.22	0.93	0.22	0.93
	26	0.81	-0.12	0.81	-0.12	0.81	-0.12	0.81	-0.12	0.81	-0.12	0.81
	27	3.95	3.14	3.95	3.14	3.95	3.14	3.95	3.14	3.95	3.14	3.95
	28	2.07	-1.88	3.58	-0.37	1.53	-2.42	1.17	-2.78	2.87	-1.08	1.20
	29	2.23	0.16	4.57	0.99	1.65	0.12	1.18	0.01	3.09	0.22	
	30	2.39	0.16	5.69	1.12	1.78	0.13	1.19	0.01	3.28	0.19	
	31	2.55	0.16	6.95	1.26	1.91	0.13	1.19	0.00	3.44	0.16	
	32	2.71	0.16	8.34	1.39	2.05	0.14	1.20	0.01	3.57	0.13	
	33	2.87	0.16	9.87	1.53	2.21	0.16	1.20	0.00	3.67	0.10	
	34	3.03	0.16	11.54	1.67	2.38	0.17	1.21	0.01	3.75	0.08	
	35	3.19	0.16	13.35	1.81	2.56	0.18	1.22	0.01	3.81	0.06	
	36	3.35	0.16	15.30	1.95	2.75	0.19	1.22	0.00	3.86	0.05	
	37	3.51	0.16	17.38	2.08	2.96	0.21	1.22	0.00	3.89	0.03	
	38	3.66	0.15	19.60	2.22	3.18	0.22	1.23	0.01	3.92	0.03	
	39	3.82	0.16	21.95	2.35	3.42	0.24	1.23	0.00	3.94	0.02	
	40	3.98	0.16	24.45	2.50	3.68	0.26	1.24	0.01	3.96	0.02	
	41	4.14	0.16	27.08	2.63	3.96	0.28	1.24	0.00	3.97	0.01	
	42	4.30	0.16	29.85	2.77	4.26	0.30	1.25	0.01	3.98	0.01	
	43	4.46	0.16	32.75	2.90	4.59	0.33	1.25	0.00	3.98	0.00	
採	用											
予 測 式	$Y_t =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0 + a(t-t_0)^b$	$K / (1 + \text{EXP}(a-bt))$						
	a =	-2.39	31.81	0.20	0.08	7.35						
	b =	0.16	-2.93	1.08	0.36	0.30						
	c =		0.07									
	$Y_0 =$					0.98						
	$t_0 =$					18.00						
	K =						4.00					
	r =	0.492524	0.733927	0.454440	0.178534	0.507805						

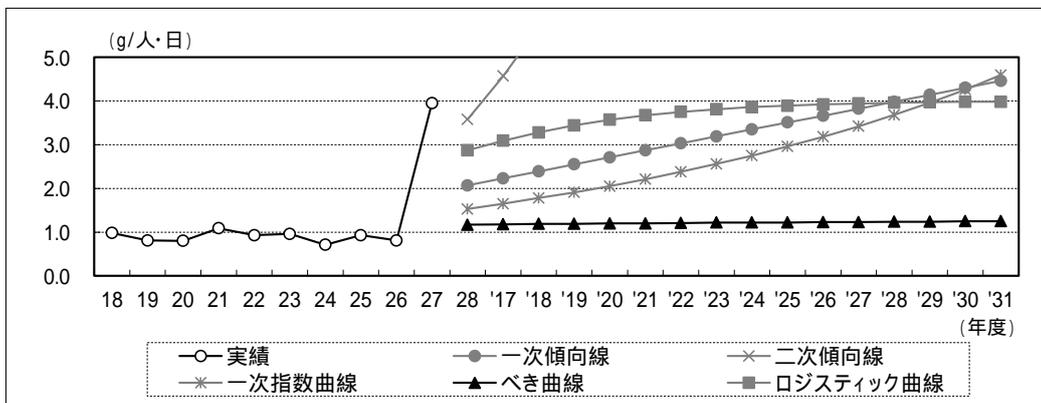


表 8-27 紙製容器包装の推計結果

単位: g/人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数		
平成 18	2.08	-	2.08	-	2.08	-	2.08	-	2.08	-	2.08
19	2.02	-0.06	2.02	-0.06	2.02	-0.06	2.02	-0.06	2.02	-0.06	2.02
20	1.57	-0.45	1.57	-0.45	1.57	-0.45	1.57	-0.45	1.57	-0.45	1.57
21	1.50	-0.07	1.50	-0.07	1.50	-0.07	1.50	-0.07	1.50	-0.07	1.50
22	1.36	-0.14	1.36	-0.14	1.36	-0.14	1.36	-0.14	1.36	-0.14	1.36
23	1.39	0.03	1.39	0.03	1.39	0.03	1.39	0.03	1.39	0.03	1.39
24	1.16	-0.23	1.16	-0.23	1.16	-0.23	1.16	-0.23	1.16	-0.23	1.16
25	1.11	-0.05	1.11	-0.05	1.11	-0.05	1.11	-0.05	1.11	-0.05	1.11
26	1.13	0.02	1.13	0.02	1.13	0.02	1.13	0.02	1.13	0.02	1.13
27	1.53	0.40	1.53	0.40	1.53	0.40	1.53	0.40	1.53	0.40	1.53
28	1.00	-0.53	1.53	0.00	1.06	-0.47	3.37	1.84	0.66	-0.87	1.49
29	0.91	-0.09	1.73	0.20	1.01	-0.05	3.50	0.13	0.50	-0.16	1.49
30	0.83	-0.08	1.97	0.24	0.95	-0.06	3.62	0.12	0.37	-0.13	1.49
31	0.74	-0.09	2.27	0.30	0.90	-0.05	3.75	0.13	0.27	-0.10	1.49
32	0.65	-0.09	2.61	0.34	0.85	-0.05	3.88	0.13	0.20	-0.07	1.49
33	0.56	-0.09	3.00	0.39	0.80	-0.05	4.00	0.12	0.14	-0.06	1.49
34	0.48	-0.08	3.44	0.44	0.76	-0.04	4.13	0.13	0.10	-0.04	1.49
35	0.39	-0.09	3.92	0.48	0.72	-0.04	4.25	0.12	0.07	-0.03	1.49
36	0.30	-0.09	4.45	0.53	0.68	-0.04	4.38	0.13	0.05	-0.02	1.49
37	0.21	-0.09	5.03	0.58	0.64	-0.04	4.50	0.12	0.03	-0.02	1.49
38	0.13	-0.08	5.66	0.63	0.61	-0.03	4.63	0.13	0.02	-0.01	1.49
39	0.04	-0.09	6.34	0.68	0.57	-0.04	4.76	0.13	0.02	0.00	1.49
40	-0.05	-0.09	7.06	0.72	0.54	-0.03	4.88	0.12	0.01	-0.01	1.49
41	-0.14	-0.09	7.83	0.77	0.51	-0.03	5.01	0.13	0.01	0.00	1.49
42	-0.23	-0.09	8.65	0.82	0.48	-0.03	5.13	0.12	0.01	0.00	1.49
43	-0.31	-0.08	9.52	0.87	0.46	-0.02	5.26	0.13	0.00	-0.01	1.49
採用											
予 測 式	Yt =	a + bt	a + bt + ct <sup>2</sup>	a · b <sup>t</sup>	Yo + a(t-to) <sup>b</sup>	K / (1 + EXP(a-bt))					
	a =	3.46	15.34	5.17	0.13	-9.63					
	b =	-0.09	-1.16	0.95	0.98	-0.37					
	c =		0.02								
	Yo =				2.08						
	to =				18.00						
	K =					2.10					
r =	0.777835	0.945647	0.816799	-0.234745	0.647795						

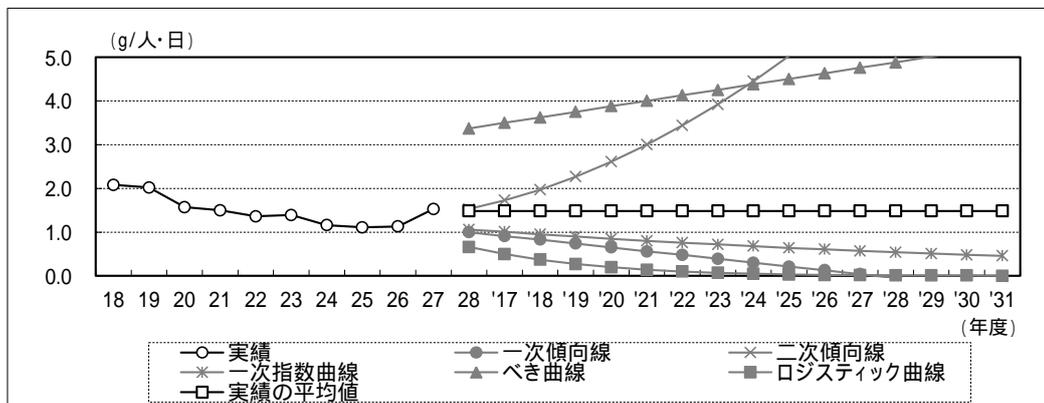
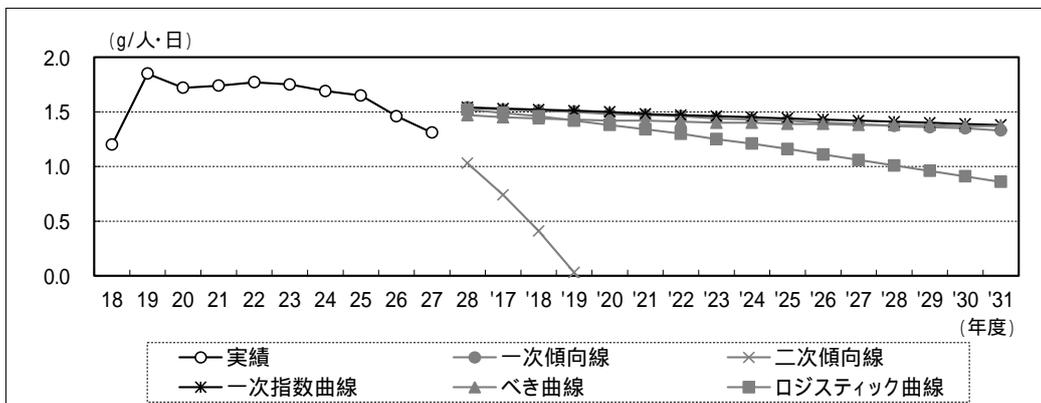


表 8-28 古着類の推計結果

単位: g/人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値	
		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成	18	1.20	-	1.20	-	1.20	-	1.20	-	1.20	-	1.20
	19	1.85	0.65	1.85	0.65	1.85	0.65	1.85	0.65	1.85	0.65	1.85
	20	1.72	-0.13	1.72	-0.13	1.72	-0.13	1.72	-0.13	1.72	-0.13	1.72
	21	1.74	0.02	1.74	0.02	1.74	0.02	1.74	0.02	1.74	0.02	1.74
	22	1.77	0.03	1.77	0.03	1.77	0.03	1.77	0.03	1.77	0.03	1.77
	23	1.75	-0.02	1.75	-0.02	1.75	-0.02	1.75	-0.02	1.75	-0.02	1.75
	24	1.69	-0.06	1.69	-0.06	1.69	-0.06	1.69	-0.06	1.69	-0.06	1.69
	25	1.65	-0.04	1.65	-0.04	1.65	-0.04	1.65	-0.04	1.65	-0.04	1.65
	26	1.46	-0.19	1.46	-0.19	1.46	-0.19	1.46	-0.19	1.46	-0.19	1.46
	27	1.31	-0.15	1.31	-0.15	1.31	-0.15	1.31	-0.15	1.31	-0.15	1.31
	28	1.54	0.23	1.03	-0.28	1.54	0.23	1.47	0.16	1.52	0.21	<b>1.61</b>
	29	1.52	-0.02	0.74	-0.29	1.53	-0.01	1.45	-0.02	1.49	-0.03	
	30	1.51	-0.01	0.41	-0.33	1.52	-0.01	1.44	-0.01	1.46	-0.03	
	31	1.50	-0.01	0.03	-0.38	1.51	-0.01	1.43	-0.01	1.42	-0.04	
	32	1.48	-0.02	-0.40	-0.43	1.50	-0.01	1.42	-0.01	1.38	-0.04	
	33	1.47	-0.01	-0.87	-0.47	1.48	-0.02	1.42	0.00	1.34	-0.04	
	34	1.46	-0.01	-1.39	-0.52	1.47	-0.01	1.41	-0.01	1.30	-0.04	
	35	1.44	-0.02	-1.95	-0.56	1.46	-0.01	1.40	-0.01	1.25	-0.05	
	36	1.43	-0.01	-2.57	-0.62	1.45	-0.01	1.40	0.00	1.21	-0.04	
	37	1.42	-0.01	-3.22	-0.65	1.44	-0.01	1.39	-0.01	1.16	-0.05	
	38	1.40	-0.02	-3.92	-0.70	1.43	-0.01	1.39	0.00	1.11	-0.05	
	39	1.39	-0.01	-4.67	-0.75	1.42	-0.01	1.38	-0.01	1.06	-0.05	
	40	1.37	-0.02	-5.47	-0.80	1.41	-0.01	1.38	0.00	1.01	-0.05	
	41	1.36	-0.01	-6.31	-0.84	1.40	-0.01	1.38	0.00	0.96	-0.05	
	42	1.35	-0.01	-7.19	-0.88	1.39	-0.01	1.37	-0.01	0.91	-0.05	
	43	1.33	-0.02	-8.12	-0.93	1.38	-0.01	1.37	0.00	0.86	-0.05	
採用												
予 測 式	Yt =	a + bt		a + bt + ct <sup>2</sup>		a · b <sup>t</sup>		Yo + a(t-to) <sup>b</sup>		K / (1 + EXP(a-bt))		
	a =	1.92		-9.51		1.88		0.85		-4.36		
	b =	-0.01		1.02		0.99		-0.50		-0.11		
	c =			-0.02								
	Yo =							1.20				
	to =							18.00				
	K =									1.90		
r =	0.158602		0.837221		0.181574		-0.638535		0.216305			



(3) 中間処理量・最終処分量

組合で中間処理を行う可燃ごみ及び不燃・粗大ごみの資源化率、最終処分率及び算出方法は、以下に示すとおりです。

表 8-29 中間処理後処理率（過去 5 年間の平均値）

大項目	中項目	詳細	割合
不燃・粗大ごみ	中間処理	破碎選別処理残渣率	80.6%
	資源化	金属回収率	19.4%
焼却溶融処理 (可燃ごみ + 処理残渣)	中間処理	スラグ化率	9.2%
	資源化	焼却鉄資源化率	0.4%
		溶融メタル資源化率	0.3%
		スラグ資源化率(利用率)	19.9%
		飛灰山元還元資源化率	0.8%
	最終処分	飛灰固化物埋立率	1.8%
スラグ埋立率		3.4%	

【中間処理量の算出方法】

焼却・溶融処理量 = 可燃ごみ(収集 + 直接搬入) + 処理残渣量

破碎選別処理量 = 不燃ごみ(収集 + 直接搬入) + 粗大ごみ(収集 + 直接搬入)

処理残渣量 = 破碎選別処理量 × 破碎選別処理残渣率(80.6%)

スラグ化率 = 焼却・溶融処理量 ÷ スラグ発生量

スラグ資源化率(利用率) = スラグ発生量 ÷ スラグ資源化量

【中間処理後資源化量の算出方法】

焼却資源化量(焼却鉄) = 焼却・溶融処理量 × 焼却鉄資源化率(0.4%)

溶融資源化量(溶融メタル) = 焼却・溶融処理量 × 溶融メタル資源化率(0.3%)

溶融資源化量(スラグ) = 焼却・溶融処理量 × スラグ化率(9.2%) × スラグ資源化率(19.9%)

溶融資源化量(飛灰・山元還元) = 焼却・溶融処理量 × 飛灰山元還元資源化率(0.8%)

破碎・金属回収量 = 破碎選別処理量 × 金属回収率(19.4%)

【中間処理後最終処分量の算出方法】

飛灰固化物 = 焼却・溶融処理量 × 飛灰固化物埋立率(1.8%)

スラグ = 焼却・溶融処理量 × スラグ埋立率(3.4%)

3. ごみ量の実績及び将来予測

施策実施前のごみ排出量・処理量の実績及び将来予測は表 8-30 に、施策実施後のごみ排出量及び処理量の将来予測は、表 8-31 に示すとおりです。

表 8-30 (1) ごみ量の実績及び将来予測 (施策実施前)

項目		単位	実績							
			H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
目標	ごみ総排出量	t/年	5,783	5,495	5,368	5,452	5,295	5,274	5,253	5,161
	1人1日家庭系ごみ排出量	g/人・日	471	455	440	450	441	446	453	458
	事業系ごみ排出量	t/年	1,082	972	1,051	1,124	1,159	1,170	1,195	1,179
指標	リサイクル率	%	26.9	27.0	25.6	24.4	20.9	19.7	18.8	18.3
	最終処分量	t/年	123	151	130	142	139	473	146	166
ごみ総排出量		t/年	5,783.2	5,495.1	5,368.5	5,452.0	5,294.7	5,273.6	5,253.1	5,161.3
収集ごみ		t/年	3,897.2	3,786.8	3,619.0	3,601.3	3,474.4	3,484.3	3,464.1	3,433.0
可燃ごみ		t/年	3,067.9	2,956.1	2,859.4	2,921.5	2,907.8	2,983.2	2,980.3	2,972.4
不燃ごみ		t/年	218.5	210.5	186.1	177.8	127.0	107.6	133.2	140.8
金属類		t/年	136.3	128.9	113.8	97.8	50.9	32.4	58.7	68.1
ガラス類		t/年	50.6	49.9	47.5	48.0	45.8	45.6	45.7	43.2
陶器類		t/年	31.6	31.6	24.9	32.0	30.4	29.6	28.8	29.5
粗大ごみ		t/年	80.0	73.6	69.6	64.3	68.0	53.4	43.7	47.5
可燃性粗大ごみ		t/年	40.7	40.9	42.0	41.8	56.6	43.8	32.7	34.1
不燃性粗大ごみ		t/年	39.3	32.7	27.6	22.5	11.3	9.6	11.0	13.4
資源物		t/年	524.6	540.7	496.0	429.5	362.2	337.9	298.6	264.6
びん		t/年	84.3	82.1	77.4	70.9	67.3	60.7	58.9	51.7
無色(透明)		t/年	38.5	37.3	35.7	33.7	31.2	28.0	27.1	24.1
茶色		t/年	28.5	28.1	25.9	23.3	22.9	20.3	20.2	17.8
その他		t/年	8.5	8.4	8.1	7.4	7.3	6.7	6.8	6.1
再利用びん		t/年	8.8	8.3	7.8	6.5	6.0	5.7	4.7	3.8
缶		t/年	22.8	20.4	19.0	17.1	14.6	14.8	13.9	12.5
スチール缶		t/年	13.6	13.1	11.6	10.5	9.2	10.0	9.5	8.6
アルミ缶		t/年	9.2	7.3	7.5	6.6	5.4	4.8	4.4	3.9
ペットボトル		t/年	21.4	20.5	19.2	16.1	14.5	17.1	15.8	16.7
プラスチック製容器包装		t/年	4.4	6.4	9.7	9.3	8.4	9.8	9.1	9.1
プラスチック製容器包装		t/年	-	-	-	-	-	-	-	-
廃プラスチック		t/年	0.0	2.0	5.5	5.5	4.8	5.8	5.3	5.5
トレイ類		t/年	4.4	4.4	4.2	3.9	3.6	4.1	3.8	3.7
廃食用油		t/年	4.8	4.6	4.1	4.2	3.9	4.2	3.9	3.9
紙類		t/年	386.9	402.7	361.8	307.6	249.4	227.4	193.8	168.1
ダンボール		t/年	53.0	56.7	57.3	56.7	44.6	41.1	33.0	29.1
新聞		t/年	200.0	202.0	186.6	153.5	132.1	116.6	97.8	81.1
雑誌類		t/年	116.6	127.4	105.5	87.6	64.9	62.8	57.3	53.0
飲料用紙パック		t/年	2.1	2.0	2.0	1.9	1.5	1.5	1.4	1.2
紙製容器包装		t/年	15.1	14.6	10.5	8.0	6.4	5.5	4.3	3.7
古着類		t/年	0.0	4.1	4.7	4.3	4.1	3.8	3.2	2.7
特別ごみ		t/年	6.2	5.8	7.9	8.1	9.5	2.3	8.3	7.7
蛍光管		t/年	2.9	2.9	2.6	2.5	2.4	2.3	2.3	2.4
乾電池		t/年	3.3	3.0	5.3	5.7	7.0	0.0	6.1	5.2

実績			予測									
H26	H27	H28	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24	'25	'26
4,832	4,857	4,955	4,911	4,872	4,844	4,795	4,779	4,766	4,771	4,748	4,743	4,736
438	420	433	432	432	431	430	429	429	428	427	427	426
1,113	1,150	1,204	1,216	1,232	1,247	1,258	1,269	1,281	1,299	1,306	1,321	1,332
17.6	20.2	19.6	19.4	19.2	19.1	19.0	18.9	18.8	18.8	18.8	18.9	18.9
454	418	320	318	317	316	313	313	312	313	312	312	311
4,832.3	4,856.5	4,955.2	4,911.0	4,871.7	4,843.8	4,794.5	4,779.5	4,766.3	4,771.1	4,747.5	4,742.8	4,736.3
3,238.9	3,120.2	3,208.2	3,164.0	3,120.1	3,084.9	3,033.5	3,010.5	2,987.9	2,973.9	2,943.8	2,922.4	2,901.9
2,791.6	2,689.4	2,763.1	2,725.1	2,687.3	2,656.7	2,611.9	2,591.4	2,571.0	2,557.5	2,530.3	2,510.1	2,490.3
132.9	110.5	91.2	91.1	90.6	90.3	89.4	89.1	88.8	88.8	88.1	87.6	87.3
58.7	50.6	62.0	62.2	62.2	62.1	61.6	61.6	61.5	61.6	61.2	60.9	60.7
42.5	34.7	1.4	1.4	1.5	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.7	1.7	1.7
31.8	25.2	27.8	27.4	27.0	26.7	26.2	25.9	25.7	25.6	25.2	25.0	24.8
41.7	44.2	45.5	45.1	44.8	44.5	44.1	44.0	43.9	44.0	43.8	43.7	43.6
29.9	33.4	33.9	33.5	33.1	32.8	32.3	32.1	31.9	31.8	31.6	31.4	31.2
11.8	10.8	11.6	11.6	11.7	11.8	11.8	11.9	12.0	12.1	12.2	12.3	12.4
267.7	267.1	302.0	296.4	291.3	287.4	282.3	280.2	278.5	277.9	276.1	275.5	275.3
34.6	37.3	46.6	46.1	45.5	45.1	44.4	44.2	44.0	43.8	43.4	43.2	42.9
17.4	17.5	22.0	21.8	21.5	21.3	21.0	20.9	20.8	20.7	20.5	20.4	20.3
12.2	12.1	15.8	15.6	15.4	15.3	15.1	15.0	14.9	14.9	14.7	14.6	14.6
4.6	4.7	5.6	5.5	5.5	5.4	5.3	5.3	5.3	5.3	5.2	5.2	5.2
0.4	3.0	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9
10.6	12.4	11.9	11.6	11.2	10.9	10.6	10.4	10.1	9.9	9.6	9.4	9.2
7.4	9.1	7.1	7.0	6.8	6.6	6.4	6.2	6.1	6.0	5.8	5.7	5.5
3.2	3.3	4.7	4.6	4.5	4.4	4.2	4.1	4.0	4.0	3.8	3.8	3.7
14.2	15.0	14.7	14.4	14.2	14.0	13.7	13.5	13.4	13.3	13.1	12.9	12.8
63.4	81.3	62.6	61.9	61.2	60.6	59.7	59.4	59.0	58.9	58.4	58.0	57.7
61.7	81.3	62.6	61.9	61.2	60.6	59.7	59.4	59.0	58.9	58.4	58.0	57.7
1.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0.7	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0
138.5	115.4	159.5	155.9	152.7	150.3	147.5	146.4	145.7	145.7	145.3	145.7	146.4
24.0	21.3	33.1	32.7	32.3	32.0	31.5	31.4	31.2	31.1	30.8	30.6	30.5
60.9	48.3	77.0	76.1	75.2	74.5	73.4	73.0	72.5	72.3	71.7	71.3	70.9
49.1	41.6	43.4	41.1	39.2	37.9	36.7	36.3	36.2	36.6	37.1	38.1	39.4
1.1	1.0	1.5	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
3.4	3.2	4.6	4.6	4.5	4.5	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3
2.7	2.0	2.7	2.6	2.6	2.6	2.5	2.5	2.4	2.4	2.4	2.3	2.3
5.0	9.1	6.4	6.3	6.1	6.0	5.9	5.8	5.7	5.7	5.6	5.5	5.5
2.3	2.1	2.0	2.0	1.9	1.8	1.8	1.7	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5
2.7	7.1	4.3	4.3	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0

表 8-30 (2) ごみ量の実績及び将来予測 (施策実施前)

項目	単位	実績								
		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	
直接搬入ごみ	t/年	1,116.1	1,026.3	1,108.6	1,257.3	1,287.2	1,306.8	1,334.9	1,316.6	
可燃ごみ	t/年	1,069.8	967.8	1,051.2	1,119.3	1,147.3	1,161.8	1,191.8	1,163.1	
家庭系	t/年	7.4	7.3	6.9	9.4	4.2	3.2	6.2	5.8	
事業系	t/年	1,062.4	960.5	1,044.3	1,109.9	1,143.0	1,158.6	1,185.5	1,157.3	
不燃ごみ	t/年	24.7	42.7	26.6	34.6	25.6	16.7	17.9	19.3	
金属類	t/年	4.3	4.4	3.6	5.1	2.1	1.6	1.3	1.1	
家庭系	t/年	4.3	4.4	3.5	5.1	2.1	1.6	1.3	1.1	
事業系	t/年	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ガラス類	t/年	1.4	1.3	1.0	1.0	1.5	1.2	1.2	1.2	
家庭系	t/年	1.4	1.3	0.9	1.0	1.5	1.2	1.2	1.2	
事業系	t/年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
がれき類	t/年	19.0	37.0	22.0	28.5	22.0	14.0	15.5	17.0	
小和沢最終処分場	t/年	19.0	37.0	22.0	28.5	-	-	-	-	
南山最終処分場	t/年	-	-	-	-	22.0	14.0	15.5	17.0	
粗大ごみ	t/年	21.6	15.8	9.1	21.3	17.9	13.9	16.6	23.2	
可燃性粗大ごみ	t/年	17.7	11.7	6.4	15.9	14.7	11.9	15.1	19.9	
家庭系	t/年	0.8	0.9	1.5	5.7	0.3	0.9	5.6	1.0	
事業系	t/年	16.9	10.8	4.9	10.2	14.4	11.0	9.6	19.0	
不燃性粗大ごみ	t/年	3.9	4.1	2.7	5.4	3.3	2.0	1.5	3.2	
家庭系	t/年	1.4	3.8	1.1	1.9	1.5	1.6	1.3	0.8	
事業系	t/年	2.5	0.3	1.6	3.5	1.8	0.4	0.2	2.4	
資源物(あゆみ館)	t/年	-	-	-	64.9	84.0	100.8	97.2	99.7	
びん	t/年	-	-	-	5.8	8.5	9.9	13.3	14.1	
無色(透明)	t/年	-	-	-	2.4	3.9	4.6	5.7	6.2	
茶色	t/年	-	-	-	1.6	2.7	3.1	4.0	4.5	
その他	t/年	-	-	-	0.6	0.8	1.1	1.5	1.5	
再利用びん	t/年	-	-	-	1.2	1.1	1.1	2.1	1.8	
缶	t/年	-	-	-	3.9	5.0	4.9	5.6	5.4	
スチール缶	t/年	-	-	-	1.1	1.8	1.9	2.3	2.1	
アルミ缶	t/年	-	-	-	2.8	3.2	3.0	3.3	3.3	
ペットボトル	t/年	-	-	-	1.9	3.1	3.9	4.4	4.6	
プラスチック製容器包装	t/年	-	-	-	1.1	1.6	1.9	2.2	2.4	
廃プラスチック	t/年	-	-	-	0.6	0.9	1.1	1.2	1.3	
トレイ類	t/年	-	-	-	0.5	0.7	0.8	0.9	1.1	
廃食用油	t/年	-	-	-	0.3	0.4	0.5	0.5	0.7	
紙類	t/年	-	-	-	51.2	64.2	78.5	69.3	70.8	
ダンボール	t/年	-	-	-	9.0	11.7	14.4	11.9	12.7	
新聞	t/年	-	-	-	15.5	18.9	24.1	20.7	21.0	
雑誌類	t/年	-	-	-	23.4	29.8	35.1	32.7	32.2	
飲料用紙パック	t/年	-	-	-	1.2	1.1	1.2	0.5	1.4	
紙製容器包装	t/年	-	-	-	2.1	2.7	3.8	3.5	3.6	
古着類	t/年	-	-	-	0.7	1.2	1.3	1.9	1.9	

実績		予測										
H26	H27	H28	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24	'25	'26
1,270.8	1,343.7	1,360.3	1,369.9	1,382.9	1,396.5	1,405.9	1,416.8	1,427.9	1,446.5	1,453.9	1,469.4	1,481.2
1,078.2	1,117.7	1,172.7	1,183.6	1,198.1	1,212.3	1,223.5	1,234.5	1,245.4	1,263.4	1,270.8	1,285.4	1,296.3
4.8	4.5	4.7	4.6	4.6	4.5	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.2
1,073.4	1,113.1	1,168.0	1,179.0	1,193.6	1,207.8	1,219.1	1,230.1	1,241.0	1,259.0	1,266.6	1,281.2	1,292.1
47.0	33.8	29.5	29.9	30.2	30.6	30.8	31.3	31.8	32.3	32.7	33.1	33.6
1.3	1.4	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6
1.3	1.4	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1.2	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
1.2	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
44.5	31.0	27.8	28.2	28.5	28.9	29.1	29.6	30.1	30.6	31.0	31.4	31.9
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
44.5	31.0	27.8	28.2	28.5	28.9	29.1	29.6	30.1	30.6	31.0	31.4	31.9
40.8	43.2	39.9	40.9	41.7	42.5	42.7	43.1	43.4	43.5	43.4	43.8	43.8
31.6	37.2	35.0	35.9	36.6	37.3	37.5	37.8	38.1	38.2	38.1	38.4	38.4
0.5	5.8	2.6	2.6	2.6	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.4	2.4	2.4
31.1	31.4	32.4	33.4	34.0	34.8	35.0	35.3	35.6	35.7	35.6	36.0	36.0
9.2	6.1	4.9	5.0	5.1	5.2	5.2	5.3	5.3	5.3	5.3	5.4	5.4
0.8	0.9	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
8.4	5.2	3.8	3.9	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.2	4.2
94.8	139.2	107.7	105.2	103.0	101.3	99.3	98.5	97.9	97.8	97.5	97.6	98.0
14.4	17.2	13.9	13.7	13.6	13.5	13.2	13.2	13.1	13.1	13.0	12.9	12.8
6.4	7.9	6.2	6.1	6.0	6.0	5.9	5.8	5.8	5.8	5.7	5.7	5.7
4.6	5.5	4.4	4.4	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1
1.6	2.0	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.4
1.9	1.8	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6
4.9	5.5	4.9	4.8	4.6	4.5	4.4	4.3	4.2	4.1	4.0	3.9	3.8
2.1	1.5	2.9	2.9	2.8	2.7	2.6	2.6	2.5	2.5	2.4	2.3	2.3
2.8	4.0	2.0	1.9	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.5	1.5
4.7	1.0	3.4	3.3	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	3.0	2.9	2.9
0.4	0.0	7.9	7.8	7.7	7.6	7.5	7.5	7.4	7.4	7.3	7.3	7.3
0.2	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0.2	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0.7	1.0	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
67.8	112.5	75.2	73.2	71.5	70.2	68.7	68.2	67.9	68.0	68.0	68.4	69.0
12.6	25.9	17.2	17.0	16.8	16.7	16.4	16.3	16.2	16.2	16.0	15.9	15.8
20.1	28.1	23.1	22.8	22.5	22.3	22.0	21.9	21.7	21.7	21.5	21.4	21.2
30.0	41.1	28.4	26.9	25.7	24.8	24.0	23.7	23.7	23.9	24.3	24.9	25.8
1.2	10.5	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7
3.8	6.8	4.9	4.8	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.5
2.0	2.1	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5

表 8-30 (3) ごみ量の実績及び将来予測 (施策実施前)

項目	単位	実績							
		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
資源物(生活学校)	t/年	-	-	21.7	17.3	12.4	13.5	11.4	11.3
びん	t/年	-	-	2.6	2.0	1.5	1.5	1.5	1.4
無色(透明)	t/年	-	-	1.2	1.0	0.7	0.7	0.7	0.7
茶色	t/年	-	-	0.8	0.6	0.5	0.4	0.5	0.5
その他	t/年	-	-	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1
再利用びん	t/年	-	-	0.3	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2
缶	t/年	-	-	0.6	0.5	0.4	0.5	0.4	0.4
スチール缶	t/年	-	-	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2
アルミ缶	t/年	-	-	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2
ペットボトル	t/年	-	-	0.6	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3
プラスチック製容器包装	t/年	-	-	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2
廃プラスチック	t/年	-	-	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1
トレイ類	t/年	-	-	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
廃食用油	t/年	-	-	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1
紙類	t/年	-	-	17.0	13.4	9.5	10.5	8.5	8.5
ダンボール	t/年	-	-	2.3	2.0	1.4	1.4	1.3	1.2
新聞	t/年	-	-	4.2	3.6	2.4	2.8	2.6	2.6
雑誌類	t/年	-	-	9.6	7.1	5.0	5.5	4.1	4.1
飲料用紙パック	t/年	-	-	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
紙製容器包装	t/年	-	-	0.8	0.6	0.6	0.6	0.4	0.5
古着類	t/年	-	-	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.4
集回収量	t/年	769.8	682.0	641.0	593.4	533.0	482.5	454.0	411.6
ダンボール	t/年	100.2	92.2	87.3	91.5	82.8	73.8	67.5	63.0
新聞	t/年	358.8	325.1	299.8	259.8	235.2	206.7	198.0	177.5
雑誌類	t/年	281.2	237.2	229.6	213.8	189.1	177.3	164.4	147.8
飲料用紙パック	t/年	5.0	3.9	3.7	4.7	4.1	4.0	3.0	3.8
布類	t/年	8.7	9.4	7.1	7.1	7.1	7.0	6.5	6.6
缶類	t/年	9.7	8.8	8.5	10.8	10.1	9.6	9.5	8.8
再利用びん	t/年	6.3	5.5	5.0	5.6	4.7	4.2	5.1	4.0
生活系ごみ	t/年	4,701.4	4,523.4	4,317.5	4,328.4	4,135.4	4,103.6	4,057.8	3,982.5
家庭系ごみ	t/年	3,406.9	3,300.7	3,158.9	3,223.5	3,143.8	3,168.8	3,196.5	3,195.2
事業系ごみ	t/年	1,081.8	971.6	1,051.0	1,123.6	1,159.2	1,170.0	1,195.3	1,178.7

実績		予測										
H26	H27	H28	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24	'25	'26
10.0	9.9	10.5	10.2	10.0	9.8	9.6	9.5	9.5	9.4	9.4	9.5	9.5
1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
0.4	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3
0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
7.6	7.4	8.0	7.7	7.5	7.4	7.2	7.2	7.1	7.2	7.2	7.2	7.3
1.4	1.3	1.5	1.5	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
2.1	2.0	2.4	2.3	2.3	2.3	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2
3.5	3.5	3.4	3.2	3.1	3.0	2.9	2.8	2.8	2.8	2.9	3.0	3.1
0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
322.6	392.6	386.7	377.1	368.7	362.3	355.1	352.2	350.5	350.7	349.9	351.0	353.2
53.8	72.6	73.8	72.9	72.1	71.4	70.4	70.0	69.6	69.4	68.8	68.4	68.0
137.6	145.0	168.8	166.9	164.9	163.4	161.0	160.1	159.1	158.7	157.3	156.4	155.5
111.1	141.9	121.2	114.9	109.6	105.8	102.5	101.3	101.1	102.1	103.6	106.4	110.1
3.2	15.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.5	4.6	4.5	4.5	4.5
5.2	4.9	5.7	5.6	5.5	5.4	5.3	5.2	5.2	5.1	5.0	5.0	4.9
7.7	9.3	8.3	8.1	7.9	7.7	7.4	7.3	7.1	6.9	6.8	6.6	6.4
4.1	3.3	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8
3,719.4	3,706.9	3,751.1	3,694.8	3,640.2	3,597.2	3,536.4	3,510.0	3,485.5	3,472.1	3,441.2	3,421.5	3,404.0
3,024.2	2,898.1	2,944.2	2,905.8	2,867.3	2,836.4	2,790.1	2,769.7	2,749.2	2,736.3	2,708.3	2,688.0	2,668.1
1,112.9	1,149.7	1,204.1	1,216.2	1,231.5	1,246.6	1,258.2	1,269.5	1,280.8	1,298.9	1,306.3	1,321.3	1,332.3

表 8-30 (4) ごみ量の実績及び将来予測 (施策実施前)

項目	単位	実績							
		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
ささゆりクリーンパーク	t/年	5,210.5	4,923.6	4,812.8	4,931.7	4,774.8	4,714.2	4,808.8	4,834.0
焼却・溶融処理	t/年	4,321.7	4,095.9	4,071.6	4,210.8	4,207.0	4,268.0	4,299.1	4,273.5
可燃ごみ	t/年	4,137.7	3,923.9	3,910.6	4,040.8	4,055.0	4,145.0	4,172.1	4,135.5
処理残渣	t/年	184.0	172.0	161.0	170.0	152.0	123.0	127.0	138.0
破碎・選別処理	t/年	294.2	274.0	244.4	237.6	186.1	148.0	167.1	184.3
不燃ごみ	t/年	192.6	184.6	165.8	152.0	100.2	80.7	106.8	113.6
金属類	t/年	140.6	133.4	117.4	102.9	53.0	34.0	59.9	69.3
ガラス類	t/年	52.1	51.2	48.4	49.0	47.3	46.7	46.9	44.4
粗大ごみ	t/年	101.6	89.4	78.7	85.6	85.9	67.3	60.3	70.7
可燃性粗大ごみ	t/年	58.4	52.6	48.4	57.7	71.3	55.7	47.8	54.1
不燃性粗大ごみ	t/年	43.2	36.8	30.2	27.9	14.6	11.6	12.5	16.6
特別ごみ	t/年	6.2	5.8	7.9	8.1	9.5	2.3	8.3	7.7
総資源化量	t/年	1,554.5	1,482.8	1,376.7	1,328.0	1,105.7	1,036.8	986.2	943.3
資源物	t/年	524.6	540.7	517.7	511.6	458.6	452.3	407.2	375.7
収集・資源ごみ	t/年	524.6	540.7	496.0	429.5	362.2	337.9	298.6	264.6
直接搬入・あゆみ館	t/年	-	-	-	64.9	84.0	100.8	97.2	99.7
直接搬入・生活学校	t/年	-	-	21.7	17.3	12.4	13.5	11.4	11.3
集団回収	t/年	769.8	682.0	641.0	593.4	533.0	482.5	454.0	411.6
中間処理後資源化量	t/年	260.0	260.0	218.0	223.0	114.0	102.0	125.0	156.0
焼却資源化量(焼却鉄)	t/年	22.0	18.0	19.0	16.0	14.0	14.0	16.0	17.0
溶融資源化量(溶融メタル)	t/年	18.0	14.0	15.0	13.0	11.0	10.0	14.0	12.0
溶融資源化量(スラグ)	t/年	74.0	96.0	68.0	92.0	30.0	16.0	23.0	48.0
溶融資源化量(飛灰・山元還元)	t/年	33.0	30.0	32.0	32.0	25.0	37.0	33.0	34.0
破碎・金属回収量	t/年	113.0	102.0	84.0	70.0	34.0	25.0	39.0	45.0
リサイクル率	%	26.9	27.0	25.6	24.4	20.9	19.7	18.8	18.3
最終処分量	t/年	122.6	150.6	129.9	142.5	139.4	472.6	146.3	165.5
不燃ごみ	t/年	50.6	68.6	46.9	60.5	52.4	43.6	44.3	46.5
陶器類	t/年	31.6	31.6	24.9	32.0	30.4	29.6	28.8	29.5
がれき類	t/年	19.0	37.0	22.0	28.5	22.0	14.0	15.5	17.0
中間処理後最終処分量	t/年	72.0	82.0	83.0	82.0	87.0	429.0	102.0	119.0
飛灰固化物	t/年	72.0	73.0	72.0	72.0	68.0	73.0	73.0	79.0
スラグ	t/年	0.0	9.0	11.0	10.0	19.0	356.0	29.0	40.0
最終処分率	%	2.1	2.7	2.4	2.6	2.6	9.0	2.8	3.2

実績		予測										
H26	H27	H28	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24	'25	'26
4,583.1	4,485.4	4,515.0	4,491.3	4,469.3	4,455.0	4,418.5	4,410.0	4,401.2	4,406.8	4,384.2	4,378.8	4,368.9
4,019.8	3,950.0	4,057.2	4,030.8	4,007.8	3,991.9	3,957.7	3,948.4	3,939.0	3,943.8	3,923.5	3,917.9	3,908.8
3,869.8	3,807.0	3,935.8	3,908.7	3,885.4	3,869.0	3,835.4	3,825.8	3,816.3	3,820.9	3,801.1	3,795.5	3,786.6
150.0	142.9	121.3	122.1	122.4	122.9	122.3	122.5	122.7	122.9	122.4	122.4	122.2
186.1	175.5	150.5	151.4	151.8	152.4	151.6	151.9	152.2	152.4	151.7	151.8	151.5
103.6	88.0	65.1	65.4	65.4	65.3	64.9	64.9	64.8	64.9	64.5	64.3	64.1
59.9	52.0	63.7	63.9	63.9	63.8	63.3	63.3	63.2	63.2	62.8	62.6	62.3
43.7	36.0	1.4	1.5	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.7	1.7	1.8	1.8
82.5	87.4	85.3	86.1	86.4	87.0	86.8	87.0	87.3	87.5	87.2	87.5	87.4
61.5	70.6	68.9	69.4	69.7	70.1	69.8	69.9	70.0	70.0	69.6	69.8	69.6
21.0	16.9	16.5	16.6	16.8	16.9	17.0	17.1	17.3	17.5	17.5	17.7	17.8
5.0	9.1	6.4	6.3	6.1	6.0	5.9	5.8	5.7	5.7	5.6	5.5	5.5
848.2	979.2	972.4	953.8	937.0	924.5	908.7	902.5	898.2	897.9	894.2	894.6	896.7
372.5	416.1	420.1	411.8	404.2	398.4	391.1	388.1	385.8	385.2	383.0	382.5	382.7
267.7	267.1	302.0	296.4	291.3	287.4	282.3	280.2	278.5	277.9	276.1	275.5	275.3
94.8	139.2	107.7	105.2	103.0	101.3	99.3	98.5	97.9	97.8	97.5	97.6	98.0
10.0	9.9	10.5	10.2	10.0	9.8	9.6	9.5	9.5	9.4	9.4	9.5	9.5
322.6	392.6	386.7	377.1	368.7	362.3	355.1	352.2	350.5	350.7	349.9	351.0	353.2
153.0	170.5	165.5	164.8	164.1	163.7	162.4	162.2	161.9	162.1	161.3	161.1	160.8
16.0	18.5	16.4	16.3	16.2	16.2	16.0	16.0	15.9	16.0	15.9	15.9	15.8
13.0	12.0	12.3	12.2	12.1	12.1	12.0	11.9	11.9	11.9	11.9	11.8	11.8
55.0	74.5	73.8	73.3	72.9	72.6	72.0	71.8	71.6	71.7	71.4	71.3	71.1
33.0	33.1	34.0	33.8	33.6	33.4	33.1	33.1	33.0	33.0	32.9	32.8	32.7
36.0	32.5	29.1	29.3	29.4	29.5	29.4	29.4	29.5	29.5	29.4	29.4	29.3
17.6	20.2	19.6	19.4	19.2	19.1	19.0	18.9	18.8	18.8	18.8	18.9	18.9
454.3	417.8	319.9	318.2	316.5	315.6	313.1	312.7	312.4	313.1	311.8	311.7	311.3
76.3	56.2	55.7	55.6	55.5	55.6	55.3	55.5	55.8	56.2	56.2	56.5	56.7
31.8	25.2	27.8	27.4	27.0	26.7	26.2	25.9	25.7	25.6	25.2	25.0	24.8
44.5	31.0	27.8	28.2	28.5	28.9	29.1	29.6	30.1	30.6	31.0	31.4	31.9
378.0	361.6	264.3	262.6	261.1	260.0	257.8	257.2	256.6	256.9	255.6	255.2	254.6
69.0	73.2	73.4	72.9	72.5	72.2	71.6	71.4	71.2	71.3	71.0	70.9	70.7
309.0	288.4	190.9	189.7	188.6	187.8	186.2	185.8	185.3	185.6	184.6	184.3	183.9
9.4	8.6	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6

表 8-31 (1) ごみ量の実績及び将来予測 (施策実施後)

項目		単位	実績							
			H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
目標	ごみ総排出量	t/年	5,783	5,495	5,368	5,452	5,295	5,274	5,253	5,161
	1人1日家庭系ごみ排出量	g/人・日	471	455	440	450	441	446	453	458
	事業系ごみ排出量	t/年	1,082	972	1,051	1,124	1,159	1,170	1,195	1,179
指標	リサイクル率	%	26.9	27.0	25.6	24.4	20.9	19.7	18.8	18.3
	最終処分量	t/年	123	151	130	142	139	473	146	166
ごみ総排出量		t/年	5,783.2	5,495.1	5,368.5	5,452.0	5,294.7	5,273.6	5,253.1	5,161.3
収集ごみ		t/年	3,897.2	3,786.8	3,619.0	3,601.3	3,474.4	3,484.3	3,464.1	3,433.0
可燃ごみ		t/年	3,067.9	2,956.1	2,859.4	2,921.5	2,907.8	2,983.2	2,980.3	2,972.4
不燃ごみ		t/年	218.5	210.5	186.1	177.8	127.0	107.6	133.2	140.8
金属類		t/年	136.3	128.9	113.8	97.8	50.9	32.4	58.7	68.1
ガラス類		t/年	50.6	49.9	47.5	48.0	45.8	45.6	45.7	43.2
陶器類		t/年	31.6	31.6	24.9	32.0	30.4	29.6	28.8	29.5
粗大ごみ		t/年	80.0	73.6	69.6	64.3	68.0	53.4	43.7	47.5
可燃性粗大ごみ		t/年	40.7	40.9	42.0	41.8	56.6	43.8	32.7	34.1
不燃性粗大ごみ		t/年	39.3	32.7	27.6	22.5	11.3	9.6	11.0	13.4
資源物		t/年	524.6	540.7	496.0	429.5	362.2	337.9	298.6	264.6
びん		t/年	84.3	82.1	77.4	70.9	67.3	60.7	58.9	51.7
無色(透明)		t/年	38.5	37.3	35.7	33.7	31.2	28.0	27.1	24.1
茶色		t/年	28.5	28.1	25.9	23.3	22.9	20.3	20.2	17.8
その他		t/年	8.5	8.4	8.1	7.4	7.3	6.7	6.8	6.1
再利用びん		t/年	8.8	8.3	7.8	6.5	6.0	5.7	4.7	3.8
缶		t/年	22.8	20.4	19.0	17.1	14.6	14.8	13.9	12.5
スチール缶		t/年	13.6	13.1	11.6	10.5	9.2	10.0	9.5	8.6
アルミ缶		t/年	9.2	7.3	7.5	6.6	5.4	4.8	4.4	3.9
ペットボトル		t/年	21.4	20.5	19.2	16.1	14.5	17.1	15.8	16.7
プラスチック製容器包装		t/年	4.4	6.4	9.7	9.3	8.4	9.8	9.1	9.1
プラスチック製容器包装		t/年	-	-	-	-	-	-	-	-
廃プラスチック		t/年	0.0	2.0	5.5	5.5	4.8	5.8	5.3	5.5
トレイ類		t/年	4.4	4.4	4.2	3.9	3.6	4.1	3.8	3.7
廃食用油		t/年	4.8	4.6	4.1	4.2	3.9	4.2	3.9	3.9
紙類		t/年	386.9	402.7	361.8	307.6	249.4	227.4	193.8	168.1
ダンボール		t/年	53.0	56.7	57.3	56.7	44.6	41.1	33.0	29.1
新聞		t/年	200.0	202.0	186.6	153.5	132.1	116.6	97.8	81.1
雑誌類		t/年	116.6	127.4	105.5	87.6	64.9	62.8	57.3	53.0
飲料用紙パック		t/年	2.1	2.0	2.0	1.9	1.5	1.5	1.4	1.2
紙製容器包装		t/年	15.1	14.6	10.5	8.0	6.4	5.5	4.3	3.7
雑がみ		t/年	-	-	-	-	-	-	-	-
古着類		t/年	0.0	4.1	4.7	4.3	4.1	3.8	3.2	2.7
剪定枝		t/年	-	-	-	-	-	-	-	-
特別ごみ		t/年	6.2	5.8	7.9	8.1	9.5	2.3	8.3	7.7
蛍光管		t/年	2.9	2.9	2.6	2.5	2.4	2.3	2.3	2.4
乾電池		t/年	3.3	3.0	5.3	5.7	7.0	0.0	6.1	5.2

実績		予測										
H26	H27	H28	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24	'25	'26
4,832	4,857	4,955	4,900	4,846	4,807	4,747	4,717	4,693	4,683	4,645	4,626	4,609
438	420	433	432	432	431	430	429	429	428	427	427	426
1,113	1,150	1,204	1,216	1,232	1,247	1,258	1,269	1,281	1,299	1,306	1,321	1,332
17.6	20.2	19.6	19.4	19.2	19.1	19.0	18.9	18.8	18.8	18.8	18.9	18.9
454	418	320	318	317	316	313	313	312	313	312	312	311
4,832.3	4,856.5	4,955.2	4,900.0	4,846.1	4,807.2	4,747.1	4,717.4	4,693.3	4,683.2	4,645.3	4,626.0	4,608.5
3,238.9	3,120.2	3,208.2	3,164.0	3,120.1	3,072.5	3,017.7	2,991.3	2,965.4	2,948.0	2,914.8	2,893.5	2,873.2
2,791.6	2,689.4	2,763.1	2,725.1	2,687.3	2,613.9	2,556.7	2,523.7	2,490.9	2,464.9	2,425.8	2,399.9	2,374.5
132.9	110.5	91.2	91.1	90.6	90.3	89.4	89.1	88.8	88.8	88.1	87.6	87.3
58.7	50.6	62.0	62.2	62.2	62.1	61.6	61.6	61.5	61.6	61.2	60.9	60.7
42.5	34.7	1.4	1.4	1.5	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.7	1.7	1.7
31.8	25.2	27.8	27.4	27.0	26.7	26.2	25.9	25.7	25.6	25.2	25.0	24.8
41.7	44.2	45.5	45.1	44.8	44.5	44.1	44.0	43.9	44.0	43.8	43.7	43.6
29.9	33.4	33.9	33.5	33.1	32.8	32.3	32.1	31.9	31.8	31.6	31.4	31.2
11.8	10.8	11.6	11.6	11.7	11.8	11.8	11.9	12.0	12.1	12.2	12.3	12.4
267.7	267.1	302.0	296.4	291.3	317.7	321.6	328.7	336.1	344.6	351.6	356.8	362.3
34.6	37.3	46.6	46.1	45.5	45.1	44.4	44.2	44.0	43.8	43.4	43.2	42.9
17.4	17.5	22.0	21.8	21.5	21.3	21.0	20.9	20.8	20.7	20.5	20.4	20.3
12.2	12.1	15.8	15.6	15.4	15.3	15.1	15.0	14.9	14.9	14.7	14.6	14.6
4.6	4.7	5.6	5.5	5.5	5.4	5.3	5.3	5.3	5.3	5.2	5.2	5.2
0.4	3.0	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9
10.6	12.4	11.9	11.6	11.2	10.9	10.6	10.4	10.1	9.9	9.6	9.4	9.2
7.4	9.1	7.1	7.0	6.8	6.6	6.4	6.2	6.1	6.0	5.8	5.7	5.5
3.2	3.3	4.7	4.6	4.5	4.4	4.2	4.1	4.0	4.0	3.8	3.8	3.7
14.2	15.0	14.7	14.4	14.2	14.0	13.7	13.5	13.4	13.3	13.1	12.9	12.8
63.4	81.3	62.6	61.9	61.2	60.6	59.7	59.4	59.0	58.9	58.4	58.0	57.7
61.7	81.3	62.6	61.9	61.2	60.6	59.7	59.4	59.0	58.9	58.4	58.0	57.7
1.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0.7	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0
138.5	115.4	159.5	155.9	152.7	160.9	160.9	162.7	164.8	167.7	170.1	170.3	170.9
24.0	21.3	33.1	32.7	32.3	32.0	31.5	31.4	31.2	31.1	30.8	30.6	30.5
60.9	48.3	77.0	76.1	75.2	74.5	73.4	73.0	72.5	72.3	71.7	71.3	70.9
49.1	41.6	43.4	41.1	39.2	37.9	36.7	36.3	36.2	36.6	37.1	38.1	39.4
1.1	1.0	1.5	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
3.4	3.2	4.6	4.6	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
-	-	0.0	0.0	0.0	15.1	17.8	20.7	23.5	26.4	29.0	28.9	28.7
2.7	2.0	2.7	2.6	2.6	2.6	2.5	2.5	2.4	2.4	2.4	2.3	2.3
-	-	0.0	0.0	0.0	19.8	25.9	32.2	38.5	44.8	50.7	56.7	62.7
5.0	9.1	6.4	6.3	6.1	6.0	5.9	5.8	5.7	5.7	5.6	5.5	5.5
2.3	2.1	2.0	2.0	1.9	1.8	1.8	1.7	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5
2.7	7.1	4.3	4.3	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0

表 8-31 (2) ごみ量の実績及び将来予測 (施策実施後)

項目	単位	実績							
		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
直接搬入ごみ	t/年	1,116.1	1,026.3	1,108.6	1,257.3	1,287.2	1,306.8	1,334.9	1,316.6
可燃ごみ	t/年	1,069.8	967.8	1,051.2	1,119.3	1,147.3	1,161.8	1,191.8	1,163.1
家庭系	t/年	7.4	7.3	6.9	9.4	4.2	3.2	6.2	5.8
事業系	t/年	1,062.4	960.5	1,044.3	1,109.9	1,143.0	1,158.6	1,185.5	1,157.3
不燃ごみ	t/年	24.7	42.7	26.6	34.6	25.6	16.7	17.9	19.3
金属類	t/年	4.3	4.4	3.6	5.1	2.1	1.6	1.3	1.1
家庭系	t/年	4.3	4.4	3.5	5.1	2.1	1.6	1.3	1.1
事業系	t/年	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ガラス類	t/年	1.4	1.3	1.0	1.0	1.5	1.2	1.2	1.2
家庭系	t/年	1.4	1.3	0.9	1.0	1.5	1.2	1.2	1.2
事業系	t/年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
がれき類	t/年	19.0	37.0	22.0	28.5	22.0	14.0	15.5	17.0
小和沢最終処分場	t/年	19.0	37.0	22.0	28.5	-	-	-	-
南山最終処分場	t/年	-	-	-	-	22.0	14.0	15.5	17.0
粗大ごみ	t/年	21.6	15.8	9.1	21.3	17.9	13.9	16.6	23.2
可燃性粗大ごみ	t/年	17.7	11.7	6.4	15.9	14.7	11.9	15.1	19.9
家庭系	t/年	0.8	0.9	1.5	5.7	0.3	0.9	5.6	1.0
事業系	t/年	16.9	10.8	4.9	10.2	14.4	11.0	9.6	19.0
不燃性粗大ごみ	t/年	3.9	4.1	2.7	5.4	3.3	2.0	1.5	3.2
家庭系	t/年	1.4	3.8	1.1	1.9	1.5	1.6	1.3	0.8
事業系	t/年	2.5	0.3	1.6	3.5	1.8	0.4	0.2	2.4
資源物(あゆみ館)	t/年	-	-	-	64.9	84.0	100.8	97.2	99.7
びん	t/年	-	-	-	5.8	8.5	9.9	13.3	14.1
無色(透明)	t/年	-	-	-	2.4	3.9	4.6	5.7	6.2
茶色	t/年	-	-	-	1.6	2.7	3.1	4.0	4.5
その他	t/年	-	-	-	0.6	0.8	1.1	1.5	1.5
再利用びん	t/年	-	-	-	1.2	1.1	1.1	2.1	1.8
缶	t/年	-	-	-	3.9	5.0	4.9	5.6	5.4
スチール缶	t/年	-	-	-	1.1	1.8	1.9	2.3	2.1
アルミ缶	t/年	-	-	-	2.8	3.2	3.0	3.3	3.3
ペットボトル	t/年	-	-	-	1.9	3.1	3.9	4.4	4.6
プラスチック製容器包装	t/年	-	-	-	1.1	1.6	1.9	2.2	2.4
廃プラスチック	t/年	-	-	-	0.6	0.9	1.1	1.2	1.3
トレイ類	t/年	-	-	-	0.5	0.7	0.8	0.9	1.1
廃食用油	t/年	-	-	-	0.3	0.4	0.5	0.5	0.7
紙類	t/年	-	-	-	51.2	64.2	78.5	69.3	70.8
ダンボール	t/年	-	-	-	9.0	11.7	14.4	11.9	12.7
新聞	t/年	-	-	-	15.5	18.9	24.1	20.7	21.0
雑誌類	t/年	-	-	-	23.4	29.8	35.1	32.7	32.2
飲料用紙パック	t/年	-	-	-	1.2	1.1	1.2	0.5	1.4
紙製容器包装	t/年	-	-	-	2.1	2.7	3.8	3.5	3.6
雑がみ	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-
古着類	t/年	-	-	-	0.7	1.2	1.3	1.9	1.9

実績		予測										
H26	H27	H28	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24	'25	'26
1,270.8	1,343.7	1,360.3	1,358.9	1,357.4	1,372.4	1,374.3	1,373.9	1,377.4	1,384.6	1,380.7	1,381.5	1,382.1
1,078.2	1,117.7	1,172.7	1,172.6	1,172.6	1,175.6	1,176.0	1,172.3	1,172.2	1,175.4	1,168.5	1,168.4	1,168.4
4.8	4.5	4.7	4.6	4.6	4.4	4.3	4.3	4.2	4.2	4.1	4.1	4.0
1,073.4	1,113.1	1,168.0	1,168.0	1,168.0	1,171.2	1,171.7	1,168.0	1,168.0	1,171.2	1,164.4	1,164.4	1,164.4
47.0	33.8	29.5	29.9	30.2	30.6	30.8	31.3	31.8	32.3	32.7	33.1	33.6
1.3	1.4	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6
1.3	1.4	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1.2	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
1.2	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
44.5	31.0	27.8	28.2	28.5	28.9	29.1	29.6	30.1	30.6	31.0	31.4	31.9
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
44.5	31.0	27.8	28.2	28.5	28.9	29.1	29.6	30.1	30.6	31.0	31.4	31.9
40.8	43.2	39.9	40.9	41.7	42.5	42.7	43.1	43.4	43.5	43.4	43.8	43.8
31.6	37.2	35.0	35.9	36.6	37.3	37.5	37.8	38.1	38.2	38.1	38.4	38.4
0.5	5.8	2.6	2.6	2.6	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.4	2.4	2.4
31.1	31.4	32.4	33.4	34.0	34.8	35.0	35.3	35.6	35.7	35.6	36.0	36.0
9.2	6.1	4.9	5.0	5.1	5.2	5.2	5.3	5.3	5.3	5.3	5.4	5.4
0.8	0.9	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
8.4	5.2	3.8	3.9	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.2	4.2
94.8	139.2	107.7	105.2	103.0	112.4	113.4	115.6	118.0	120.9	123.4	123.4	123.6
14.4	17.2	13.9	13.7	13.6	13.5	13.2	13.2	13.1	13.1	13.0	12.9	12.8
6.4	7.9	6.2	6.1	6.0	6.0	5.9	5.8	5.8	5.8	5.7	5.7	5.7
4.6	5.5	4.4	4.4	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1
1.6	2.0	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.4
1.9	1.8	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6
4.9	5.5	4.9	4.8	4.6	4.5	4.4	4.3	4.2	4.1	4.0	3.9	3.8
2.1	1.5	2.9	2.9	2.8	2.7	2.6	2.6	2.5	2.5	2.4	2.3	2.3
2.8	4.0	2.0	1.9	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.5	1.5
4.7	1.0	3.4	3.3	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	3.0	2.9	2.9
0.4	0.0	7.9	7.8	7.7	7.6	7.5	7.5	7.4	7.4	7.3	7.3	7.3
0.2	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0.2	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0.7	1.0	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
67.8	112.5	75.2	73.2	71.5	81.3	82.8	85.3	88.0	91.1	93.9	94.2	94.7
12.6	25.9	17.2	17.0	16.8	16.7	16.4	16.3	16.2	16.2	16.0	15.9	15.8
20.1	28.1	23.1	22.8	22.5	22.3	22.0	21.9	21.7	21.7	21.5	21.4	21.2
30.0	41.1	28.4	26.9	25.7	24.8	24.0	23.7	23.7	23.9	24.3	24.9	25.8
1.2	10.5	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7
3.8	6.8	4.9	4.8	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
-	-	0.0	0.0	0.0	15.8	18.7	21.7	24.7	27.7	30.5	30.3	30.1
2.0	2.1	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5

表 8-31 (3) ごみ量の実績及び将来予測 (施策実施後)

項目	単位	実績							
		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
資源物(生活学校)	t/年	-	-	21.7	17.3	12.4	13.5	11.4	11.3
びん	t/年	-	-	2.6	2.0	1.5	1.5	1.5	1.4
無色(透明)	t/年	-	-	1.2	1.0	0.7	0.7	0.7	0.7
茶色	t/年	-	-	0.8	0.6	0.5	0.4	0.5	0.5
その他	t/年	-	-	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1
再利用びん	t/年	-	-	0.3	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2
缶	t/年	-	-	0.6	0.5	0.4	0.5	0.4	0.4
スチール缶	t/年	-	-	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2
アルミ缶	t/年	-	-	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2
ペットボトル	t/年	-	-	0.6	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3
プラスチック製容器包装	t/年	-	-	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2
廃プラスチック	t/年	-	-	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1
トレイ類	t/年	-	-	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
廃食用油	t/年	-	-	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1
紙類	t/年	-	-	17.0	13.4	9.5	10.5	8.5	8.5
ダンボール	t/年	-	-	2.3	2.0	1.4	1.4	1.3	1.2
新聞	t/年	-	-	4.2	3.6	2.4	2.8	2.6	2.6
雑誌類	t/年	-	-	9.6	7.1	5.0	5.5	4.1	4.1
飲料用紙パック	t/年	-	-	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
紙製容器包装	t/年	-	-	0.8	0.6	0.6	0.6	0.4	0.5
雑がみ	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-
古着類	t/年	-	-	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.4
集団回収量	t/年	769.8	682.0	641.0	593.4	533.0	482.5	454.0	411.6
ダンボール	t/年	100.2	92.2	87.3	91.5	82.8	73.8	67.5	63.0
新聞	t/年	358.8	325.1	299.8	259.8	235.2	206.7	198.0	177.5
雑誌類	t/年	281.2	237.2	229.6	213.8	189.1	177.3	164.4	147.8
飲料用紙パック	t/年	5.0	3.9	3.7	4.7	4.1	4.0	3.0	3.8
布類	t/年	8.7	9.4	7.1	7.1	7.1	7.0	6.5	6.6
缶類	t/年	9.7	8.8	8.5	10.8	10.1	9.6	9.5	8.8
再利用びん	t/年	6.3	5.5	5.0	5.6	4.7	4.2	5.1	4.0
生活系ごみ	t/年	4,701.4	4,523.4	4,317.5	4,328.4	4,135.4	4,103.6	4,057.8	3,982.5
家庭系ごみ	t/年	3,406.9	3,300.7	3,158.9	3,223.5	3,143.8	3,168.8	3,196.5	3,195.2
事業系ごみ	t/年	1,081.8	971.6	1,051.0	1,123.6	1,159.2	1,170.0	1,195.3	1,178.7

実績		予測										
H26	H27	H28	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24	'25	'26
10.0	9.9	10.5	10.2	10.0	11.2	11.4	11.7	12.0	12.4	12.7	12.7	12.8
1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
0.4	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3
0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
7.6	7.4	8.0	7.7	7.5	8.8	9.0	9.3	9.7	10.1	10.5	10.5	10.6
1.4	1.3	1.5	1.5	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
2.1	2.0	2.4	2.3	2.3	2.3	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2
3.5	3.5	3.4	3.2	3.1	3.0	2.9	2.8	2.8	2.8	2.9	3.0	3.1
0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
-	-	0.0	0.0	0.0	2.0	2.4	2.8	3.1	3.5	3.9	3.9	3.8
0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
322.6	392.6	386.7	377.1	368.7	362.3	355.1	352.2	350.5	350.7	349.9	351.0	353.2
53.8	72.6	73.8	72.9	72.1	71.4	70.4	70.0	69.6	69.4	68.8	68.4	68.0
137.6	145.0	168.8	166.9	164.9	163.4	161.0	160.1	159.1	158.7	157.3	156.4	155.5
111.1	141.9	121.2	114.9	109.6	105.8	102.5	101.3	101.1	102.1	103.6	106.4	110.1
3.2	15.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.5	4.6	4.5	4.5	4.5
5.2	4.9	5.7	5.6	5.5	5.4	5.3	5.2	5.2	5.1	5.0	5.0	4.9
7.7	9.3	8.3	8.1	7.9	7.7	7.4	7.3	7.1	6.9	6.8	6.6	6.4
4.1	3.3	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8
3,719.4	3,706.9	3,751.1	3,694.8	3,640.2	3,597.2	3,536.4	3,510.0	3,485.5	3,472.1	3,441.2	3,421.5	3,404.0
3,024.2	2,898.1	2,944.2	2,905.8	2,867.3	2,793.5	2,734.9	2,701.8	2,669.0	2,643.5	2,603.7	2,577.6	2,552.1
1,112.9	1,149.7	1,204.1	1,205.2	1,206.0	1,210.0	1,210.7	1,207.4	1,207.8	1,211.1	1,204.1	1,204.5	1,204.5

表 8-31 (4) ごみ量の実績及び将来予測 (施策実施後)

項目	単位	実績							
		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
ささゆりクリーンパーク	t/年	5,210.5	4,923.6	4,812.8	4,931.7	4,774.8	4,714.2	4,808.8	4,834.0
焼却・溶融処理	t/年	4,321.7	4,095.9	4,071.6	4,210.8	4,207.0	4,268.0	4,299.1	4,273.5
可燃ごみ	t/年	4,137.7	3,923.9	3,910.6	4,040.8	4,055.0	4,145.0	4,172.1	4,135.5
処理残渣	t/年	184.0	172.0	161.0	170.0	152.0	123.0	127.0	138.0
破砕・選別処理	t/年	294.2	274.0	244.4	237.6	186.1	148.0	167.1	184.3
不燃ごみ	t/年	192.6	184.6	165.8	152.0	100.2	80.7	106.8	113.6
金属類	t/年	140.6	133.4	117.4	102.9	53.0	34.0	59.9	69.3
ガラス類	t/年	52.1	51.2	48.4	49.0	47.3	46.7	46.9	44.4
粗大ごみ	t/年	101.6	89.4	78.7	85.6	85.9	67.3	60.3	70.7
可燃性粗大ごみ	t/年	58.4	52.6	48.4	57.7	71.3	55.7	47.8	54.1
不燃性粗大ごみ	t/年	43.2	36.8	30.2	27.9	14.6	11.6	12.5	16.6
特別ごみ	t/年	6.2	5.8	7.9	8.1	9.5	2.3	8.3	7.7
総資源化量	t/年	1,554.5	1,482.8	1,376.7	1,328.0	1,105.7	1,036.8	986.2	943.3
資源物量	t/年	524.6	540.7	517.7	511.6	458.6	452.3	407.2	375.7
収集・資源ごみ	t/年	524.6	540.7	496.0	429.5	362.2	337.9	298.6	264.6
直接搬入・あゆみ館	t/年	-	-	-	64.9	84.0	100.8	97.2	99.7
直接搬入・生活学校	t/年	-	-	21.7	17.3	12.4	13.5	11.4	11.3
集団回収量	t/年	769.8	682.0	641.0	593.4	533.0	482.5	454.0	411.6
中間処理後資源化量	t/年	260.0	260.0	218.0	223.0	114.0	102.0	125.0	156.0
焼却資源化量(焼却鉄)	t/年	22.0	18.0	19.0	16.0	14.0	14.0	16.0	17.0
溶融資源化量(溶融メタル)	t/年	18.0	14.0	15.0	13.0	11.0	10.0	14.0	12.0
溶融資源化量(スラグ)	t/年	74.0	96.0	68.0	92.0	30.0	16.0	23.0	48.0
溶融資源化量(飛灰・山元還元)	t/年	33.0	30.0	32.0	32.0	25.0	37.0	33.0	34.0
破砕・金属回収量	t/年	113.0	102.0	84.0	70.0	34.0	25.0	39.0	45.0
リサイクル率	%	26.9	27.0	25.6	24.4	20.9	19.7	18.8	18.3
最終処分量	t/年	122.6	150.6	129.9	142.5	139.4	472.6	146.3	165.5
不燃ごみ	t/年	50.6	68.6	46.9	60.5	52.4	43.6	44.3	46.5
陶器類	t/年	31.6	31.6	24.9	32.0	30.4	29.6	28.8	29.5
がれき類	t/年	19.0	37.0	22.0	28.5	22.0	14.0	15.5	17.0
中間処理後最終処分量	t/年	72.0	82.0	83.0	82.0	87.0	429.0	102.0	119.0
飛灰固化物	t/年	72.0	73.0	72.0	72.0	68.0	73.0	73.0	79.0
スラグ	t/年	0.0	9.0	11.0	10.0	19.0	356.0	29.0	40.0
最終処分率	%	2.1	2.7	2.4	2.6	2.6	9.0	2.8	3.2

実績		予測										
H26	H27	H28	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24	'25	'26
4,583.1	4,485.4	4,515.0	4,480.4	4,443.8	4,375.5	4,315.8	4,280.1	4,248.0	4,226.1	4,177.4	4,151.6	4,125.1
4,019.8	3,950.0	4,057.2	4,019.9	3,982.2	3,912.4	3,855.0	3,818.5	3,785.8	3,763.2	3,716.6	3,690.7	3,665.1
3,869.8	3,807.0	3,935.8	3,897.8	3,859.8	3,789.5	3,732.7	3,696.0	3,663.1	3,640.3	3,594.2	3,568.3	3,542.9
150.0	142.9	121.3	122.1	122.4	122.9	122.3	122.5	122.7	122.9	122.4	122.4	122.2
186.1	175.5	150.5	151.4	151.8	152.4	151.6	151.9	152.2	152.4	151.7	151.8	151.5
103.6	88.0	65.1	65.4	65.4	65.3	64.9	64.9	64.8	64.9	64.5	64.3	64.1
59.9	52.0	63.7	63.9	63.9	63.8	63.3	63.3	63.2	63.2	62.8	62.6	62.3
43.7	36.0	1.4	1.5	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.7	1.7	1.8	1.8
82.5	87.4	85.3	86.1	86.4	87.0	86.8	87.0	87.3	87.5	87.2	87.5	87.4
61.5	70.6	68.9	69.4	69.7	70.1	69.8	69.9	70.0	70.0	69.6	69.8	69.6
21.0	16.9	16.5	16.6	16.8	16.9	17.0	17.1	17.3	17.5	17.5	17.7	17.8
5.0	9.1	6.4	6.3	6.1	6.0	5.9	5.8	5.7	5.7	5.6	5.5	5.5
848.2	979.2	972.4	953.4	936.2	964.7	960.5	966.0	973.3	984.7	991.9	997.4	1,004.5
372.5	416.1	420.1	411.8	404.2	441.3	446.4	455.9	466.1	478.0	487.7	492.9	498.7
267.7	267.1	302.0	296.4	291.3	317.7	321.6	328.7	336.1	344.6	351.6	356.8	362.3
94.8	139.2	107.7	105.2	103.0	112.4	113.4	115.6	118.0	120.9	123.4	123.4	123.6
10.0	9.9	10.5	10.2	10.0	11.2	11.4	11.7	12.0	12.4	12.7	12.7	12.8
322.6	392.6	386.7	377.1	368.7	362.3	355.1	352.2	350.5	350.7	349.9	351.0	353.2
153.0	170.5	165.5	164.5	163.3	161.1	159.0	157.8	156.7	156.0	154.3	153.5	152.6
16.0	18.5	16.4	16.3	16.1	15.8	15.6	15.5	15.3	15.2	15.0	14.9	14.8
13.0	12.0	12.3	12.1	12.0	11.8	11.6	11.5	11.4	11.4	11.2	11.2	11.1
55.0	74.5	73.8	73.1	72.4	71.2	70.1	69.4	68.8	68.4	67.6	67.1	66.7
33.0	33.1	34.0	33.7	33.3	32.8	32.3	32.0	31.7	31.5	31.1	30.9	30.7
36.0	32.5	29.1	29.3	29.4	29.5	29.4	29.4	29.5	29.5	29.4	29.4	29.3
17.6	20.2	19.6	19.5	19.3	20.1	20.2	20.5	20.7	21.0	21.4	21.6	21.8
454.3	417.8	319.9	317.4	314.9	310.4	306.4	304.2	302.4	301.3	298.3	296.9	295.4
76.3	56.2	55.7	55.6	55.5	55.6	55.3	55.5	55.8	56.2	56.2	56.5	56.7
31.8	25.2	27.8	27.4	27.0	26.7	26.2	25.9	25.7	25.6	25.2	25.0	24.8
44.5	31.0	27.8	28.2	28.5	28.9	29.1	29.6	30.1	30.6	31.0	31.4	31.9
378.0	361.6	264.3	261.8	259.4	254.8	251.1	248.7	246.6	245.1	242.1	240.4	238.7
69.0	73.2	73.4	72.7	72.0	70.8	69.7	69.1	68.5	68.1	67.2	66.8	66.3
309.0	288.4	190.9	189.1	187.4	184.1	181.4	179.7	178.1	177.1	174.9	173.7	172.4
9.4	8.6	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4

## 資料3 生活排水処理の将来予測

### 1. 生活排水処理形態別人口の予測

生活排水処理形態別人口の実績及び予測は、表9-1に示すとおりです。

表9-1 生活排水処理形態別人口の実績と予測

区分	単位	実績					予測		
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	'17	'18
計画処理区域内人口	人	18,909	19,124	18,922	18,856	18,718	18,639	18,422	18,205
水洗化・生活雑排水処理人口	人	14,373	14,647	13,706	13,786	13,743	13,332	13,346	13,369
公共下水道人口	人	10,935	11,268	10,373	10,433	10,428	10,425	10,420	10,403
合併処理浄化槽人口	人	3,438	3,379	3,333	3,353	3,315	2,907	2,926	2,966
水洗化・生活雑排水未処理人口	人	1,434	1,250	1,221	1,169	1,114	1,188	1,137	1,083
単独処理浄化槽人口	人	1,434	1,250	1,221	1,169	1,114	1,188	1,137	1,083
非水洗化人口	人	3,102	3,227	3,995	3,901	3,861	4,119	3,939	3,753
し尿人口(くみ取り)	人	3,102	3,227	3,995	3,901	3,861	4,119	3,939	3,753
自家処理人口	人	0	0	0	0	0	0	0	0
生活排水処理率	%	76.0	76.6	72.4	73.1	73.4	71.5	72.4	73.4

区分	単位	予測							
		'19	'20	'21	'22	'23	'24	'25	'26
計画処理区域内人口	人	17,988	17,771	17,670	17,569	17,467	17,366	17,265	17,167
水洗化・生活雑排水処理人口	人	13,405	13,458	13,489	13,625	13,851	14,078	14,164	14,316
公共下水道人口	人	10,413	10,441	11,479	11,665	11,943	12,182	12,280	13,125
合併処理浄化槽人口	人	2,992	3,017	2,010	1,960	1,908	1,896	1,884	1,191
水洗化・生活雑排水未処理人口	人	1,026	966	936	883	810	736	694	638
単独処理浄化槽人口	人	1,026	966	936	883	810	736	694	638
非水洗化人口	人	3,557	3,347	3,245	3,061	2,806	2,552	2,407	2,213
し尿人口(くみ取り)	人	3,557	3,347	3,245	3,061	2,806	2,552	2,407	2,213
自家処理人口	人	0	0	0	0	0	0	0	0
生活排水処理率	%	74.5	75.7	76.3	77.6	79.3	81.1	82.0	83.4

## 2. し尿及び汚泥発生量の予測

し尿及び浄化槽汚泥発生量の実績及び予測は、表 9-2 に示すとおりです。

表 9-2 し尿及び浄化槽汚泥発生量の実績と予測

区分	単位	実績					予測			
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	'17	'18	
発生量	し尿	kL/年	2,070	1,788	1,701	1,620	1,505	2,018	1,531	1,459
	浄化槽汚泥	kL/年	4,233	4,090	3,935	3,861	3,793	3,540	3,512	3,500
	合計	kL/年	6,303	5,878	5,636	5,481	5,298	5,558	5,043	4,959
	1日平均排出量	kL/日	17.2	16.1	15.4	15.0	14.5	15.2	13.8	13.6

区分	単位	予測								
		'19	'20	'21	'22	'23	'24	'25	'26	
発生量	し尿	kL/年	1,386	1,301	1,261	1,190	1,094	992	936	860
	浄化槽汚泥	kL/年	3,483	3,443	2,546	2,457	2,356	2,275	2,228	1,581
	合計	kL/年	4,869	4,744	3,808	3,647	3,449	3,267	3,164	2,441
	1日平均排出量	kL/日	13.3	13.0	10.4	10.0	9.4	9.0	8.7	6.7

## 資料4 アンケート結果

### 1. 調査概要

#### (1) 調査の目的・概要

一般廃棄物処理基本計画策定にあたり、住民満足度を把握するとともに、ごみ出しの状況やごみに対する考えを把握し、計画策定のための資料とするためにアンケート調査を実施しました。

表 10-1 アンケート調査の概要

項目	内容
調査対象	住民基本台帳から 20 歳以上 1,000 件を無作為に抽出
調査方法	郵送による送付・回収、無記名式
実施期間	平成 28 年 6 月 16 日（発送）～ 6 月 30 日（調査票回収期限）
回収状況	回収数：445 通、回収率：44.5%、標本誤差：4.6%

#### (2) 標本誤差

アンケート調査を行う場合、全母集団を対象とすることが望ましいですが、実際には適切な数の標本を抽出してサンプル調査を行うこととなります。

サンプル調査では、サンプルの結果から母集団あるいは調査対象の全体を推計するため、回答に誤差の可能性が生じます。この誤差を標本誤差と呼びます。

100 回調査をした結果が、95 回は一定の範囲で収まる精度、すなわちその度合いで正確さが保障できることを信頼度と呼びます。

社会調査ではコストと調査期間、設問に対する許容誤差の点で、信頼度 95%（係数 1.96）を用いるのが一般的です。

サンプル調査  $n$  人<sup>1</sup>で、母集団でのパーセントを  $P$ <sup>2</sup>、母集団の大きさを  $N$ <sup>3</sup>とすると、標本誤差（ $E$ ）の計算式は下記の通りとなります。

この結果、本調査の標本誤差は 4.6%となり、国の実施している調査の目安である「誤差率 5%」を下回り良好でした。

$$E = 1.96 \times \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P \times (1 - P)}{n}}$$

1：アンケート回収数（445 通）

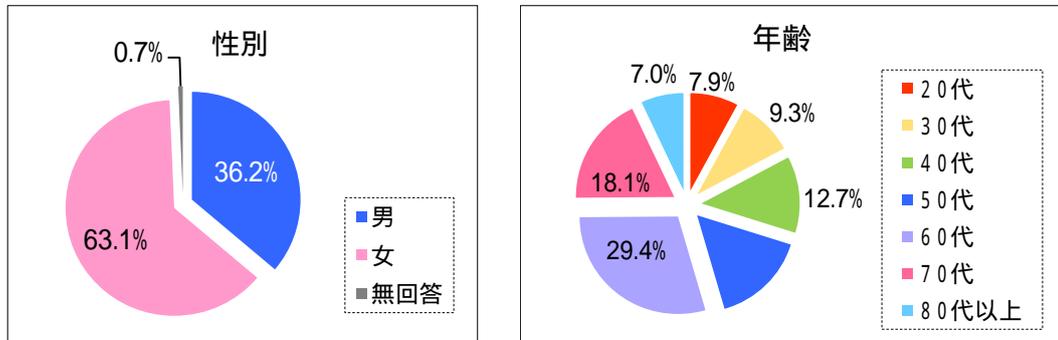
2：ある質問に回答する割合（2 択の設問が最大となり 50%）

3：本町の人口（18,699 人・6 月 1 日現在）

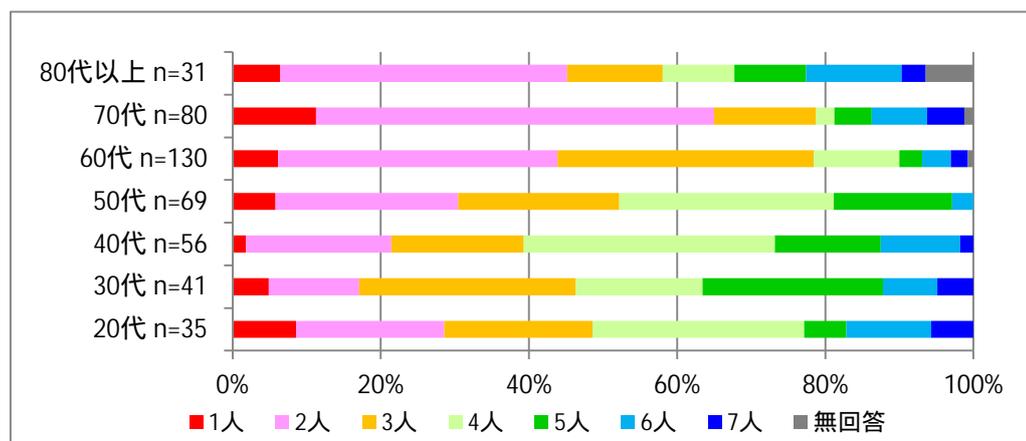
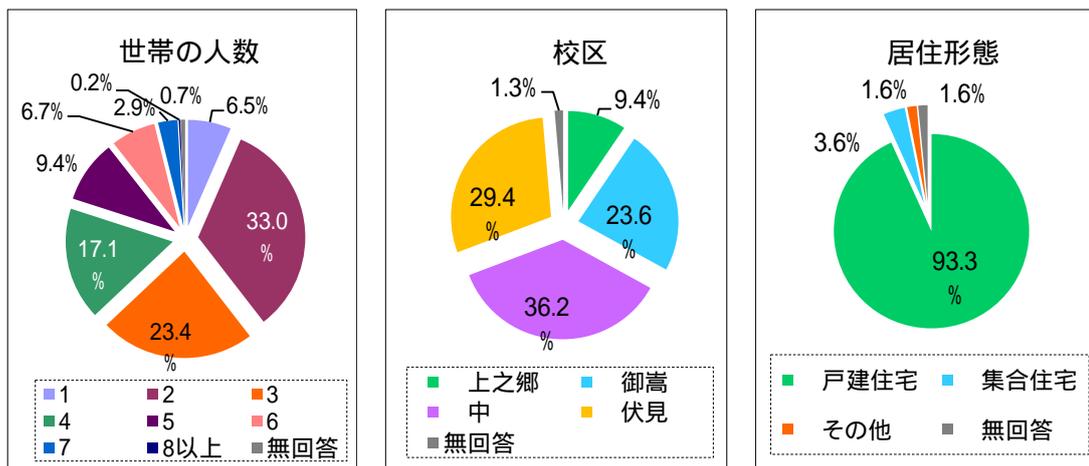
## 2. アンケート結果

### (1) 回答者概要

問1 あなたの「性別」と「年齢」を教えてください。



問2 あなたの「世帯の人数」「住所(校区)」「居住形態」を教えてください。

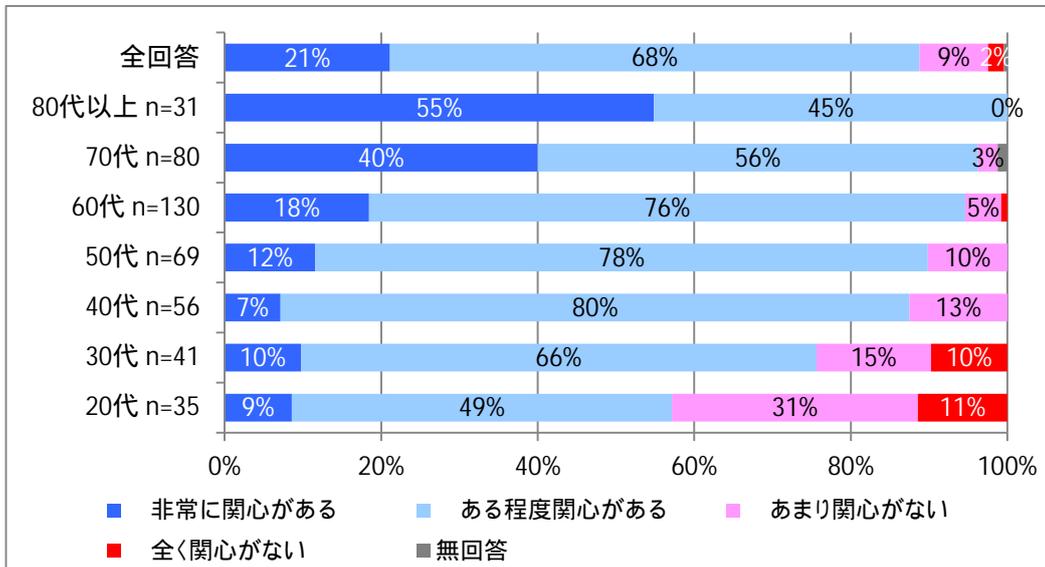


問2 年代別世帯の人数

図中の「n=」は回答数を示します。

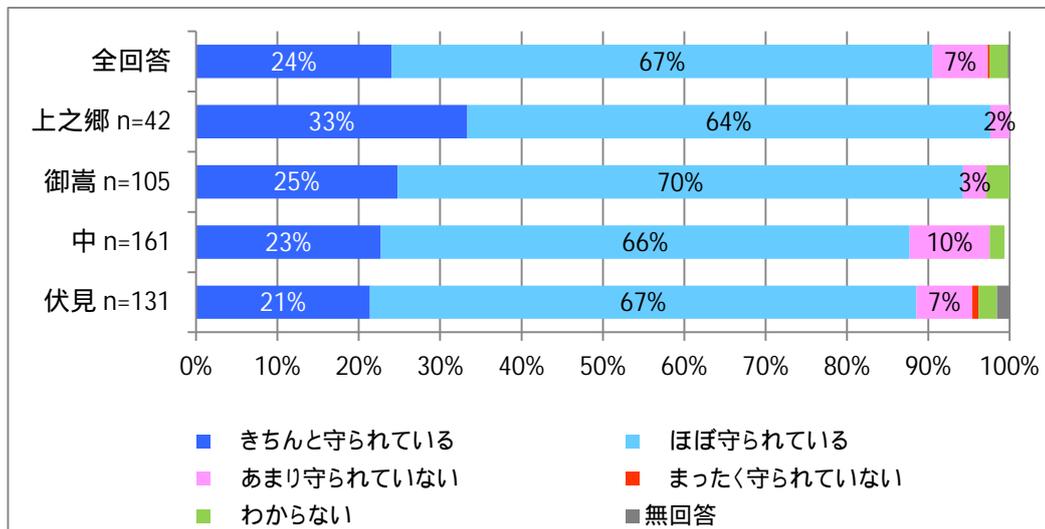
(2) ごみの収集・分別について

問3 ごみ問題に関心がありますか？



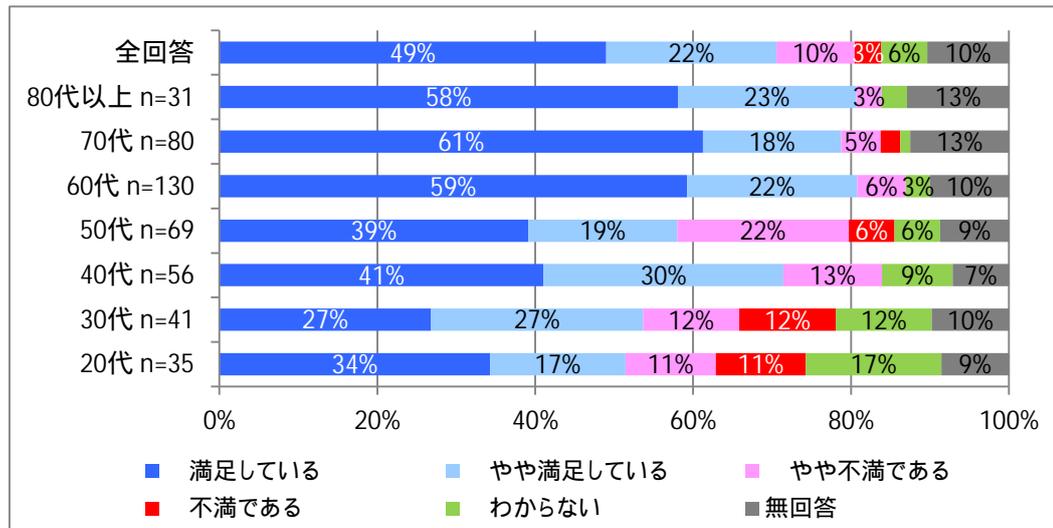
問3 年代別クロス集計結果

問4 あなたが利用しているごみ集積所では、ごみ出しルールが守られていると思いますか？



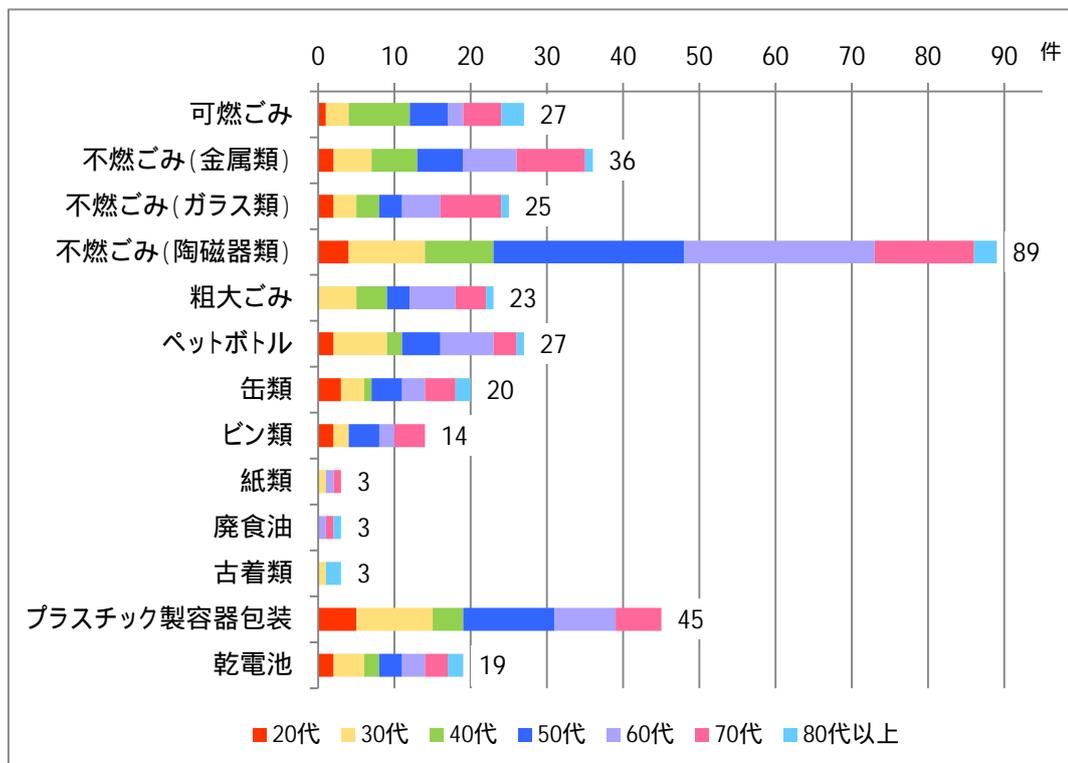
問4 校区別クロス集計結果

問5 ごみの収集（収集回数や分別区分など）に関して満足していますか？



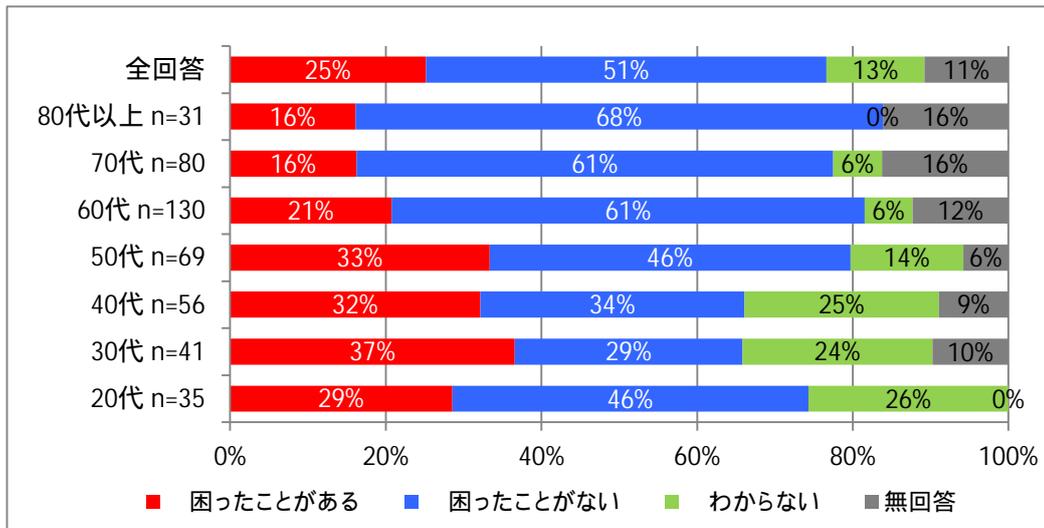
問5 年代別クロス集計結果

問6 問5で「 やや満足している」「 やや不満である」「 不満である」とご回答いただいた方にお聞きします。どのごみの収集回数に不便を感じたことがありますか？  
（複数回答可）



問6 年代別集計結果

問7 あなたはごみの出し方で困ったことがありますか？

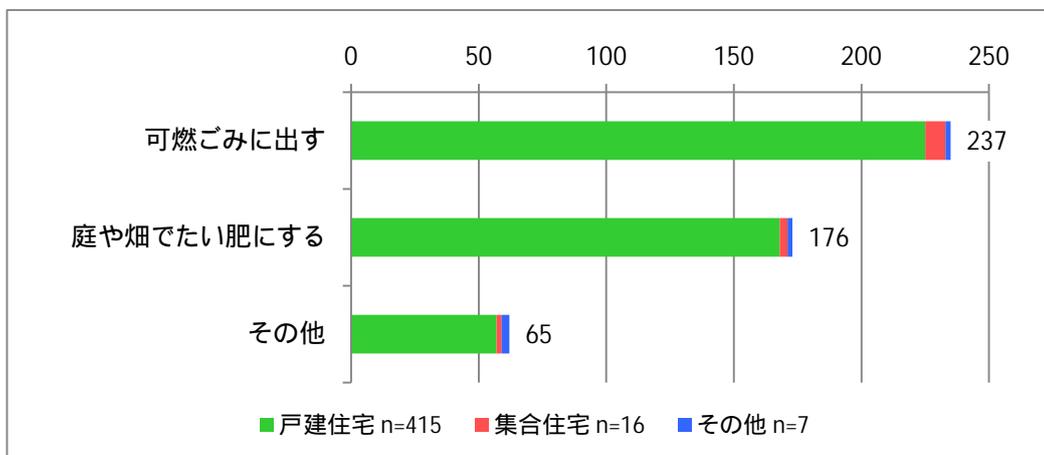


問7 年代別クロス集計結果

問7 困ったことのある内容

内容	件数	割合
分別方法	33件	7.4%
収集場所が遠い、ごみのはみ出ししている	14件	3.1%
処分方法の分からないごみがある	9件	2.0%
収集時間が早い	7件	1.6%
ごみ出しルールが守られていない	6件	1.3%
粗大ごみが収集場所・玄関まで運ばない	6件	1.3%

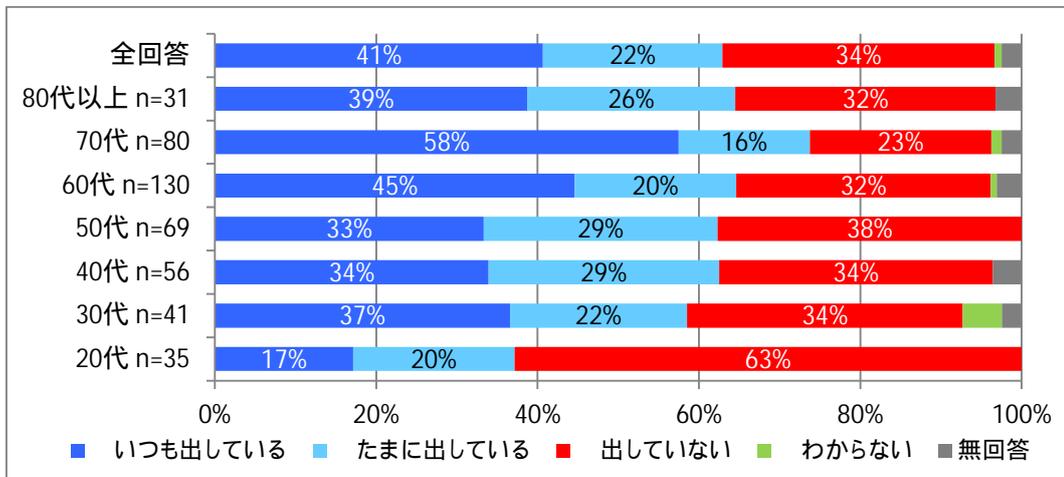
問8 あなたの家庭では剪定した枝や草をどのように処理していますか？



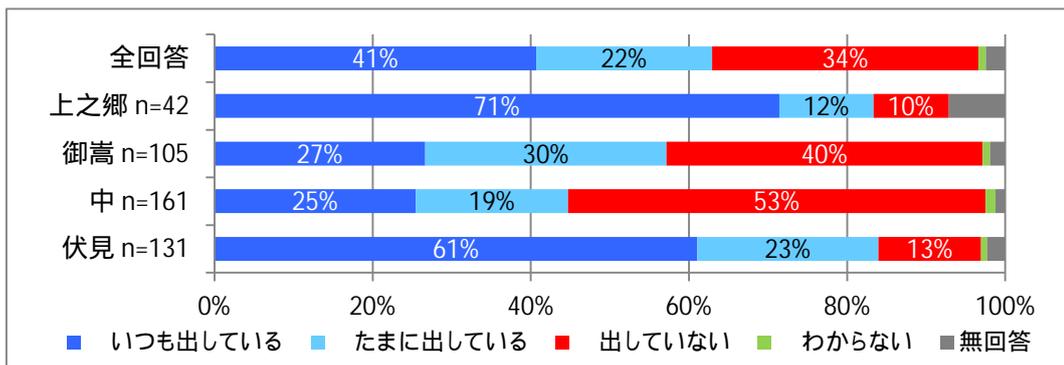
問8 住居形態別集計結果

(3) 3Rの取り組みについて

問9 小・中学校のPTAが行う資源集団回収に古紙等を出していますか？

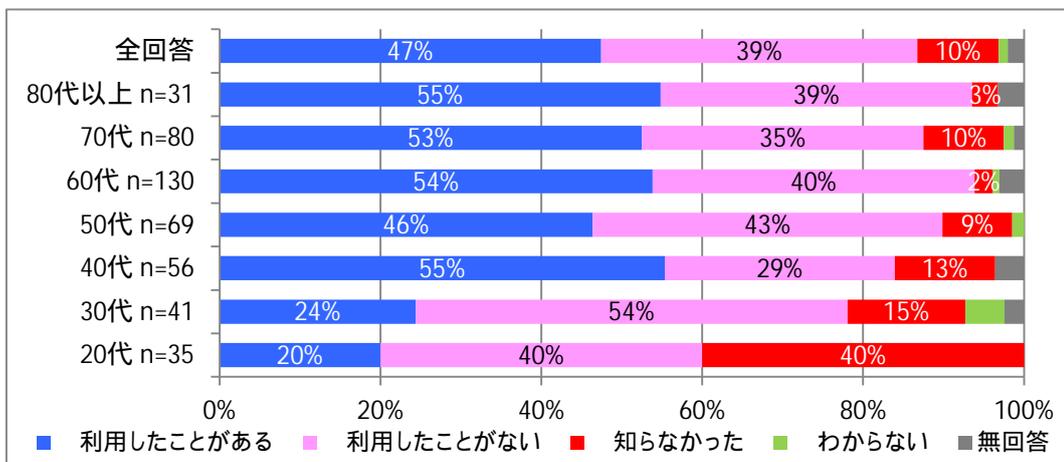


問9 年代別クロス集計結果



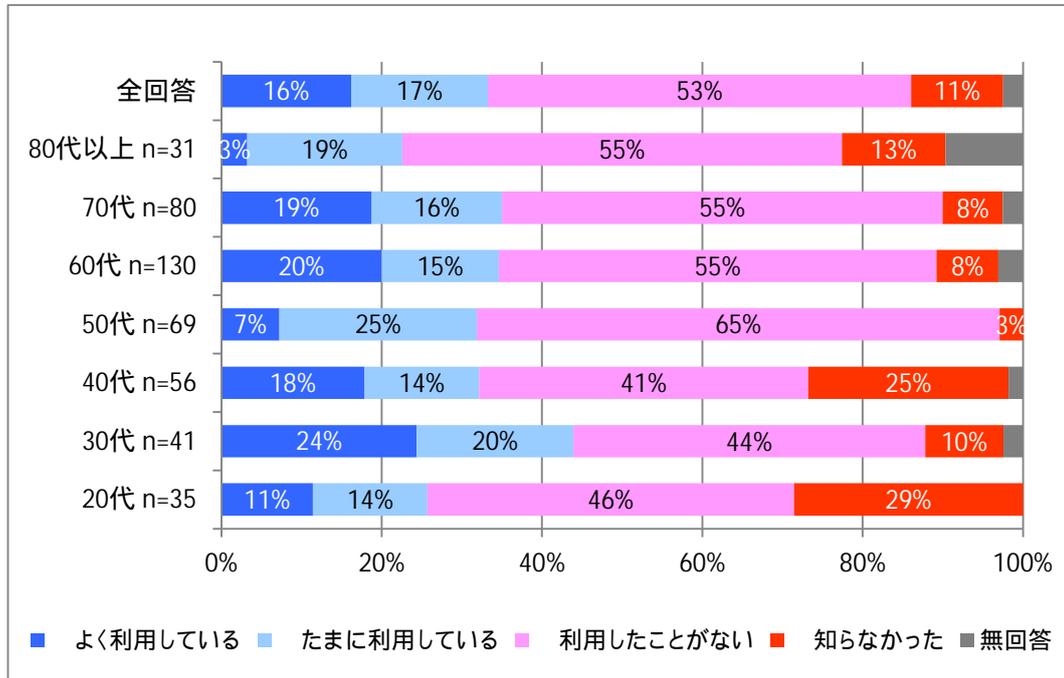
問9 校区別クロス集計結果

問10 役場や公民館に設置してある小型家電の回収ボックスを利用したことがありますか？

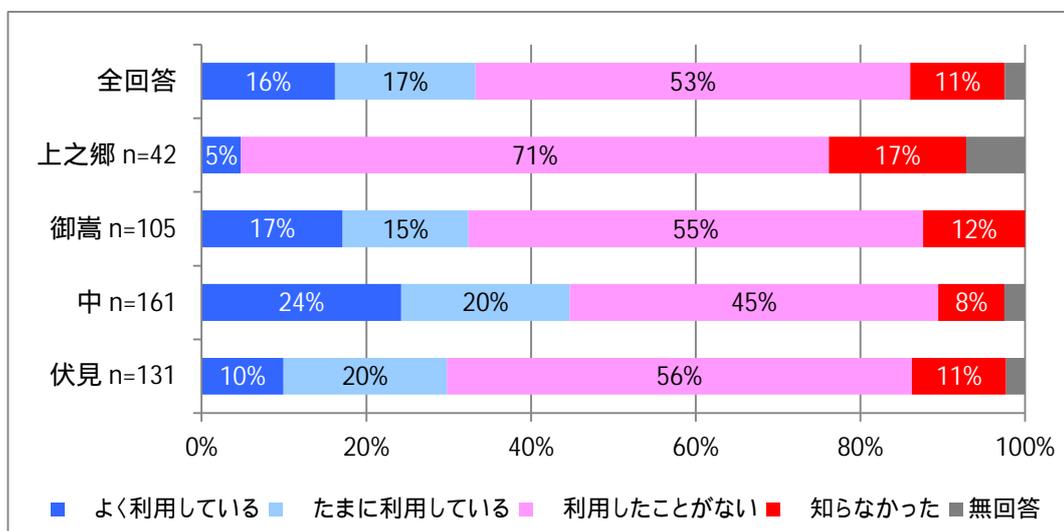


問10 年代別クロス集計結果

問11 あゆみ館などに設置している「リサイクルステーション」を利用したことがありますか？

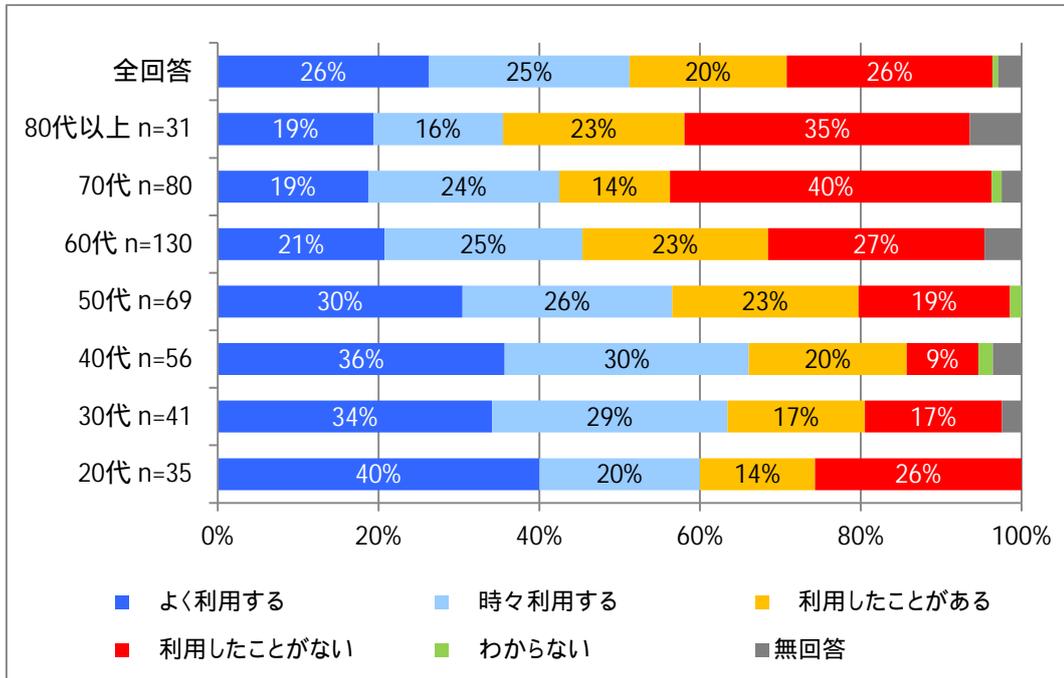


問11 年代別クロス集計結果

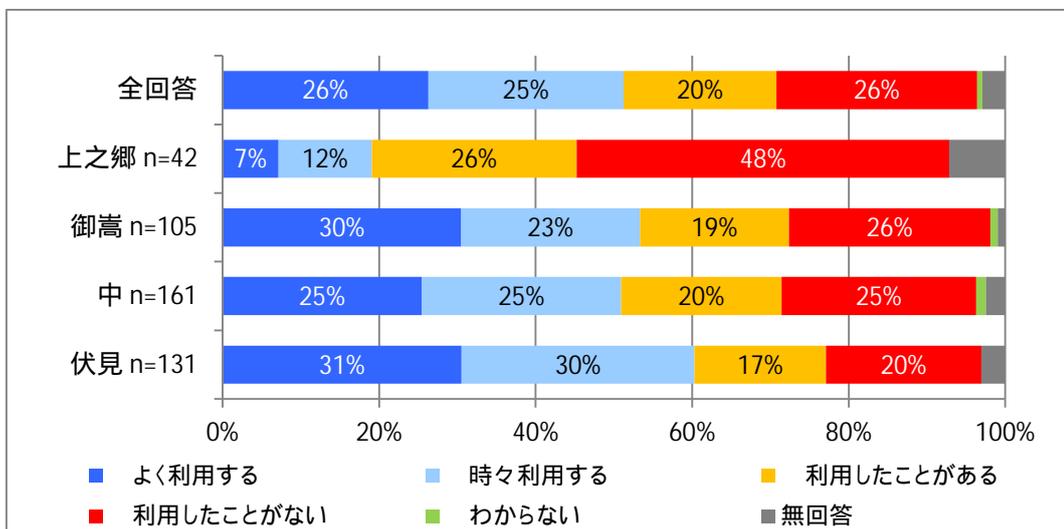


問11 校区別クロス集計結果

問 12 民間企業が設置している古紙や古着などの回収ボックスを利用したことがありますか？

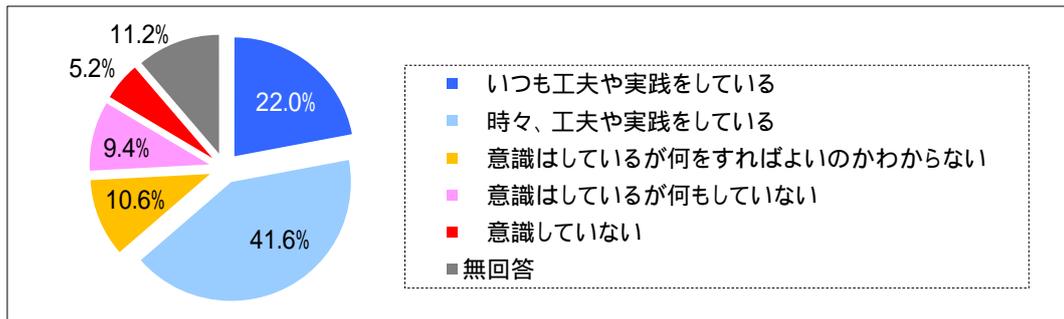


問 12 年代別クロス集計結果



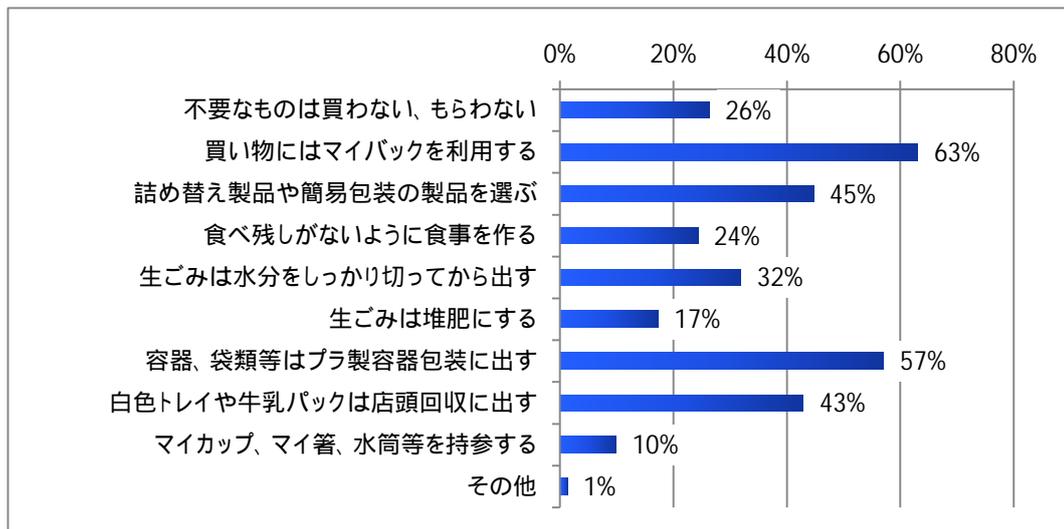
問 12 校区別クロス集計結果

問 13 あなたの家庭では「ごみ」を減らす工夫や実践をしていますか？



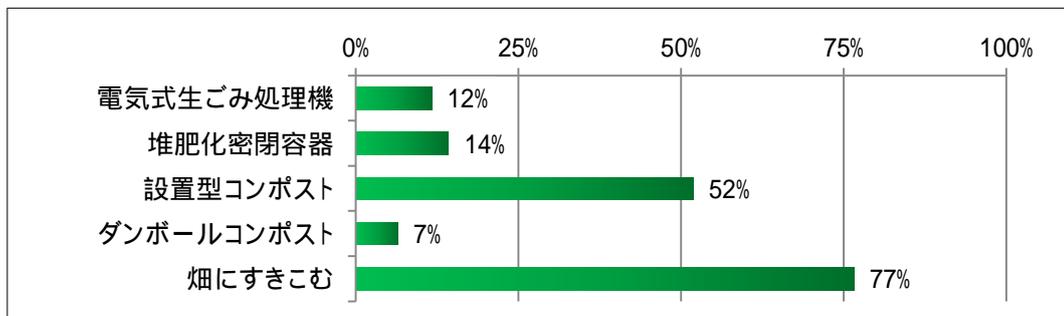
問 13 集計結果

問 14 問 13 で「いつも工夫や実践をしている」「時々、工夫や実践をしている」とご回答いただいた方にお聞きします。具体的に何を工夫・実践していますか？（複数回答可）



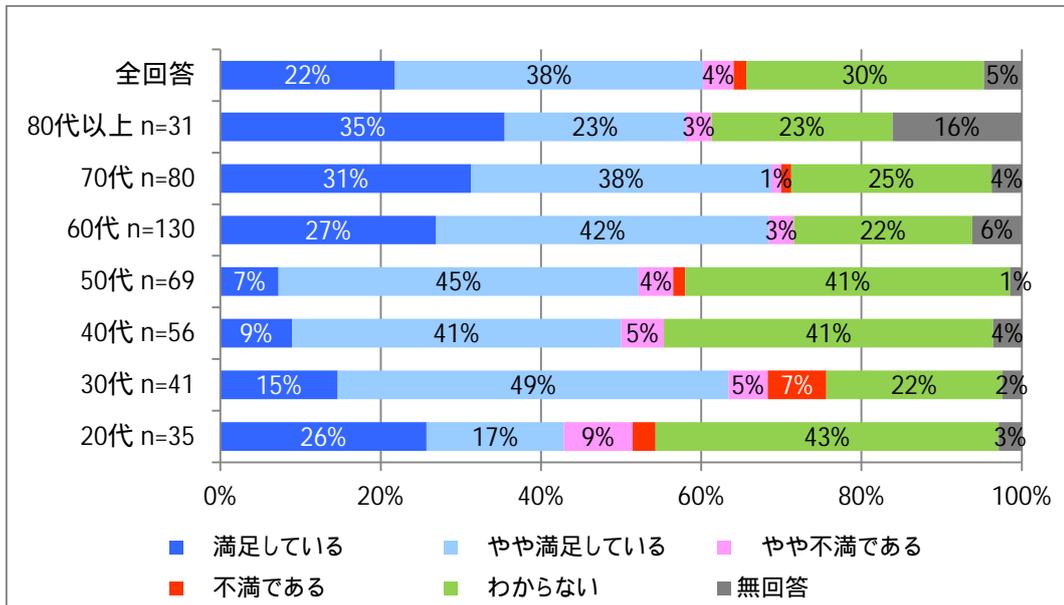
問 14 集計結果

問 15 問 14 で「堆肥化している」と回答した人にお聞きします。あなたの家ではどのような方法で生ごみを堆肥化していますか？（複数回答可）



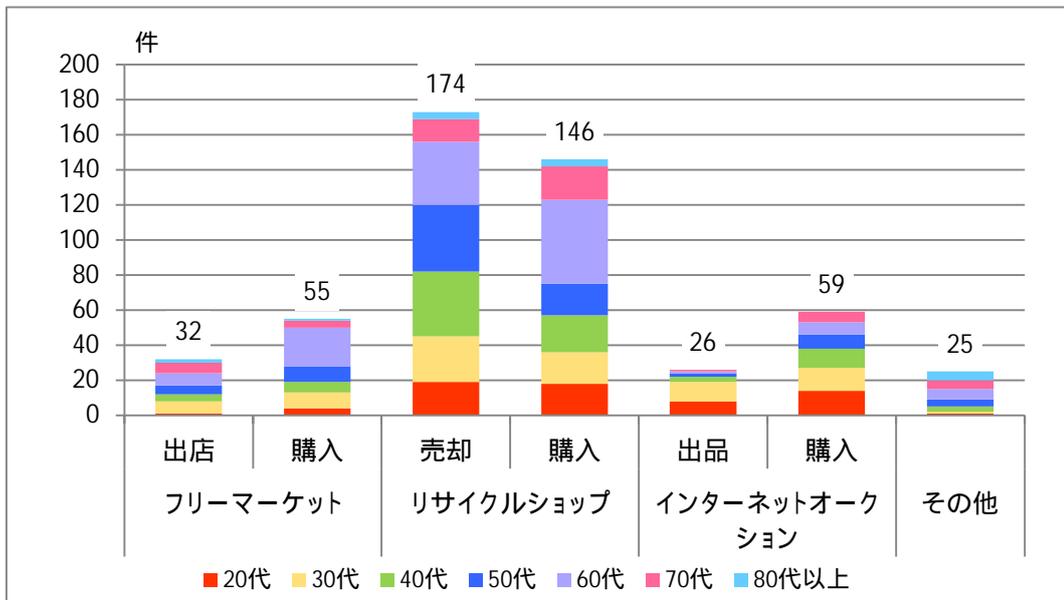
問 15 集計結果

問 16 御嵩町の3R（ごみ減量・再使用・リサイクル）への取り組みに満足していますか？



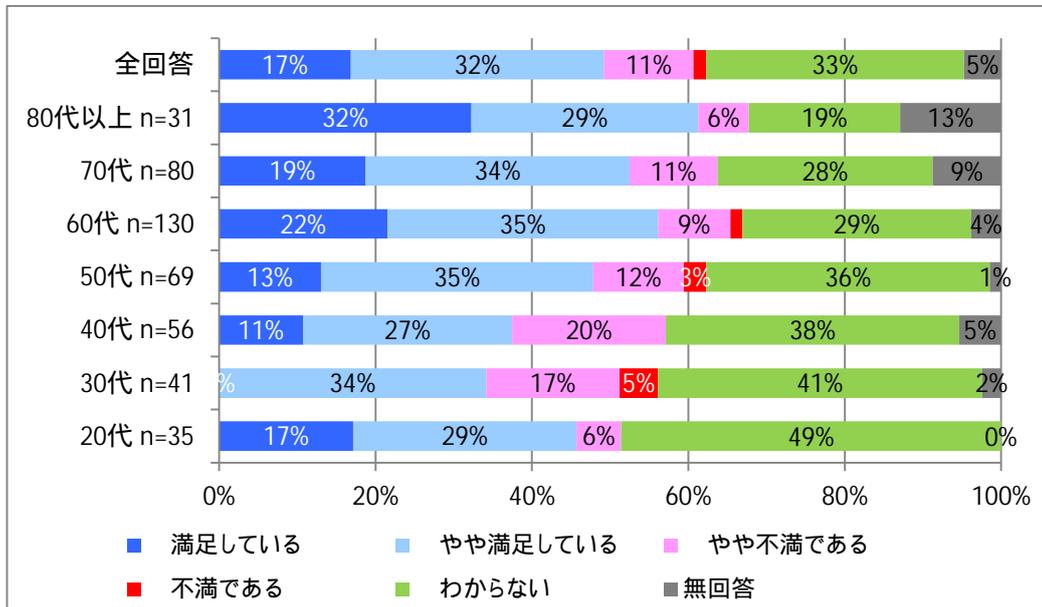
問 16 年代別クロス集計結果

問 17 あなたが行ったことのある再利用（リユース）の取り組みはどれですか？（複数回答可）



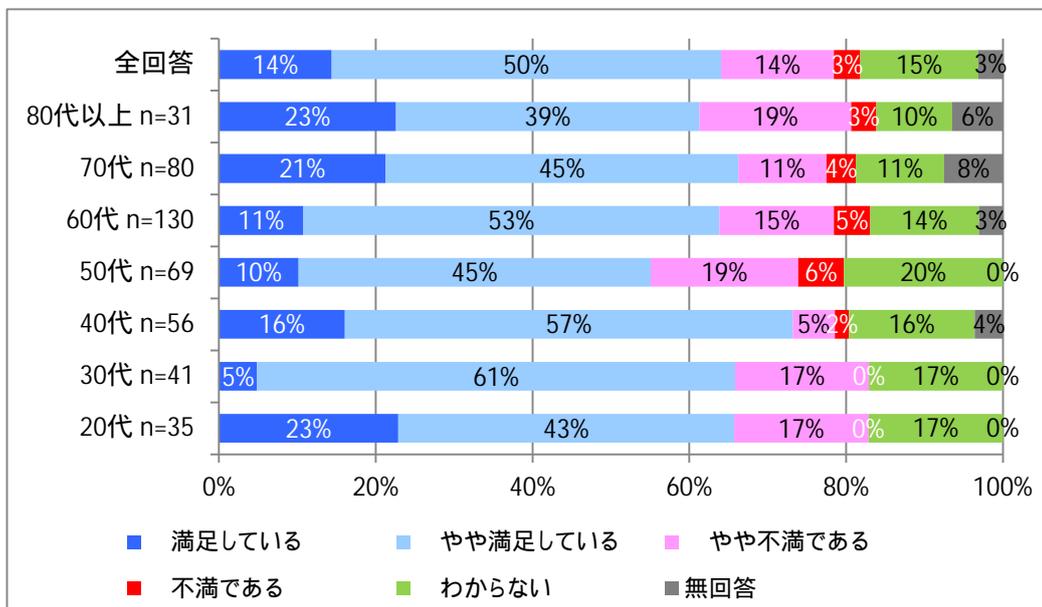
問 17 年代別集計結果

問 18 ごみ処理や3 R (ごみ減量・再使用・リサイクル)の情報公開や提供に満足していますか？



問 18 年代別クロス集計結果

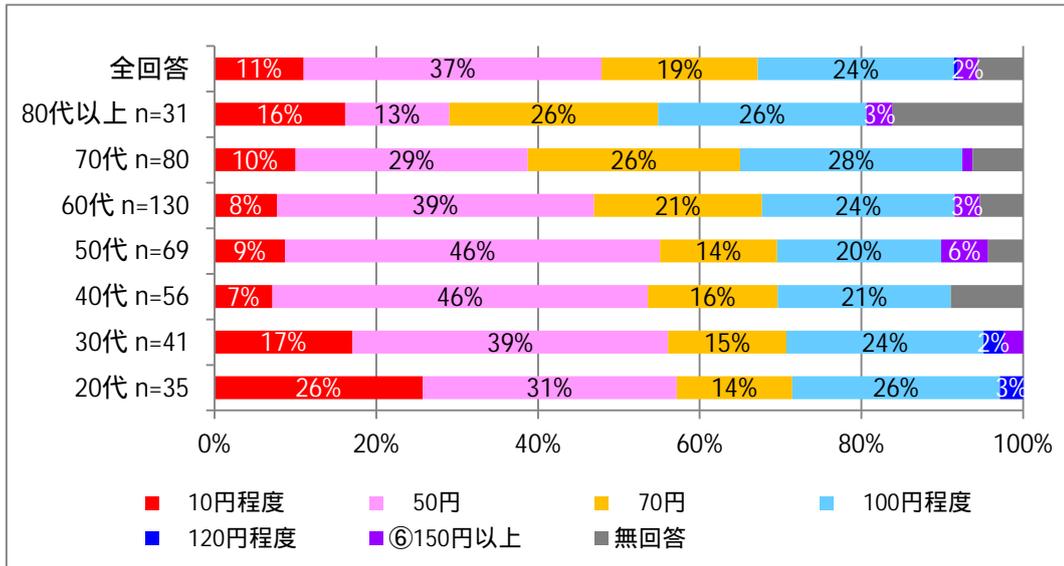
問 19 御嵩町の街の清潔さに満足していますか？



問 19 年代別クロス集計結果

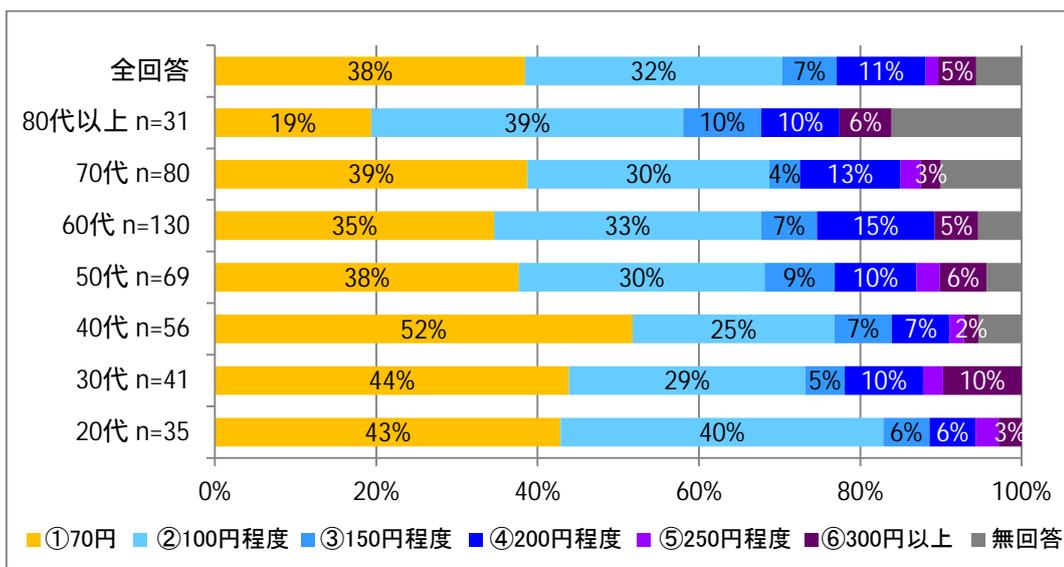
(4) ごみ処理費用について

問 20 可燃ごみを処理（収集運搬・焼却・埋立）する費用は、可燃ごみ大 1 袋（7kg）あたり約 390 円必要です。平成 26 年 10 月にゴミ袋（大）を 50 円から 70 円に値上げするとともに、ゴミ袋（中）を新たに追加しましたが、あなたがごみ処理手数料として払っても良いと思う金額はいくらですか？



問 20 年代別クロス集計結果

問 21 不燃ごみを処理（収集運搬・処理）する費用は、不燃ごみ大 1 袋（10kg）あたり約 1,800 円必要です。あなたがごみ処理手数料として払っても良いと思う金額はいくらですか？ 現在の指定袋は 1 袋 70 円



問 21 年代別クロス集計結果

## 資料5 策定の経緯

### 1. 策定の経緯

年 月	内 容
平成 28 年 5 月 24 日	可燃ごみ組成調査
平成 28 年 6 月 10 日	平成 28 年度 第 1 回 廃棄物減量等推進審議会
平成 28 年 6 月 16 日～ 6 月 30 日	家庭のごみと資源に関するアンケート調査
平成 28 年 8 月 23 日	平成 28 年度 第 2 回 廃棄物減量等推進審議会
平成 28 年 8 月 25 日	平成 28 年度 第 1 回 生活排水指導員会議
平成 28 年 11 月 1 日	平成 28 年度 第 3 回 廃棄物減量等推進審議会
平成 28 年 12 月 20 日	平成 28 年度 第 4 回 廃棄物減量等推進審議会
平成 29 年 2 月 9 日～ 2 月 28 日	パブリック・コメント
平成 29 年 3 月 1 日	平成 28 年度 第 2 回 生活排水指導員会議

### 2. パブリック・コメント

項 目	内 容
実施方法	御嵩町パブリック・コメント手続に関する規則
意見募集期間	平成 29 年 2 月 9 日 ~ 2 月 28 日
意見提出方法	持参、郵送、ファクシミリ、電子メール
資料の公表場所	御嵩町ホームページ、御嵩町住民環境課、 上之郷・中・伏見出張所
実施結果	住民の皆様からご意見を募集したところ、寄せられた意見はありませんでした。

### 3. 廃棄物減量等推進審議会

氏名	備考
奥村 悟（会長）	住民
吉川 政夫（会長職務代理者）	住民
小西 和子	住民
伊佐次 誠治	住民
籠橋 美恵子	住民
田中 絹江	住民
小栗 芙美子	住民
鈴木 妙子	婦人の会
伊左治 矩子	農家生活改善グループ
高屋 敦子	生活学校
棚瀬 哲	御嵩町立小中学校長会長
特定非営利法人ささゆり あゆみ館	事業者（指定管理者）
株式会社 橋本	事業者（一般廃棄物運搬許可業者）

順不同・敬称略

### 4. 生活排水指導員会議

氏名	備考
平田 悟	環境マイスター
斎藤 貞子	生活学校
伊佐次 武子	生活学校
永瀬 俊子	生活学校
鈴木 妙子	婦人の会

順不同・敬称略





## 御嵩町第2次一般廃棄物処理基本計画

平成29年3月

発行：岐阜県 御嵩町

編集：民生部 住民環境課

岐阜県可児郡御嵩町御嵩1239番地1  
0574-67-2111（代表）

編集協力：一般財団法人岐阜県公衆衛生検査センター